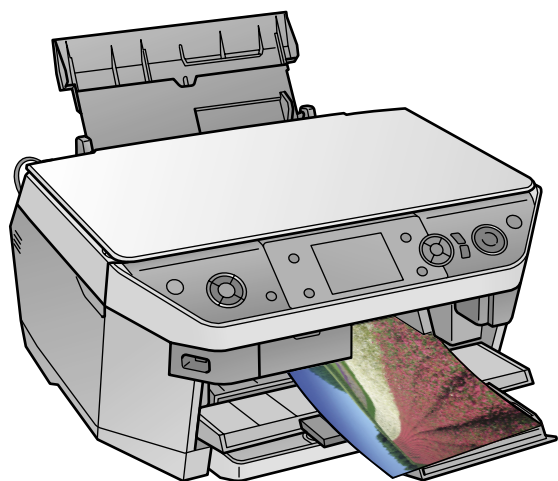
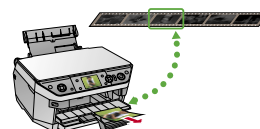
Colorio

インクジェットプリンタ（複合機）

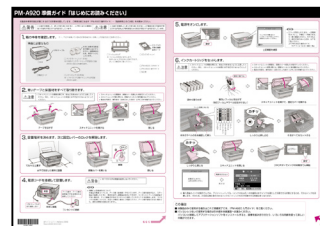
PM-A920
操作ガイド

本製品の使い方全般を説明しています。

おうちプリント

―― 本書は製品の近くに置いてご活用ください。――

マニュアルの使い方

1

『PM-A920 準備ガイド』

本製品を使用できる状態にするまでの手順を説明しています。
手順に従って、本製品のセットアップを行ってください。

2

『PM-A920 入門ガイド』

本製品の準備ができたら、早速使ってみましょう。
本製品の基本の使い方「カラーコピー」、および「メモリカードからの写真プリント」の手順を、わかりやすく説明しています。

3

『PM-A920 操作ガイド』（本書）

本製品の使い方全般を説明しています。

4

『PM-A920 活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）

パソコンとつないだときの、詳しい使い方を説明しています。

- もっと便利に楽しく使うための活用情報
- 困ったときの対処方法
- 付属ソフトウェアの紹介

☞本書 106 ページ「ソフトウェアの使い方 / 活用方法は、活用＋サポートガイドをご覧ください」

上記 1 ～ 4 のマニュアルは、すべて最新版（PDF 形式）を以下のホームページからダウンロードすることができます。
< http://www.epson.jp/guide/pcopy/ >

本書中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

マーク	説明
!注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足情報や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。
※	表や図の中での補足情報や制限事項を記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

もくじ

印刷用紙、CD/DVD のセット方法

コピー

メモリカードから写真プリント

フィルムから写真プリント

携帯電話 / デジタルカメラから直接印刷

便利な使い方、その他の機能

パソコンとつないで使う / もっと活用する

メンテナンス

困ったときは（トラブル対処方法）

付録

製品使用上のご注意

- 本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に付属のその他の取扱説明書をお読みください。
- 本書および製品に付属のその他の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
- 本書および製品に付属のその他の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

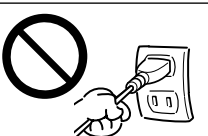
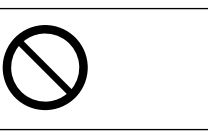
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。		**この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。**
	この記号は、分解禁止を示しています。		**この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。**
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。		**この記号は、アース接続して使用することを示しています。**

設置上のご注意

本製品は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
水　平		10〜35℃ 20〜80%

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。
  本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。
- 「本製品底面より小さな台」の上には設置しないでください。
  本製品底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ず本体より広い平らな面の上に、本製品底面の脚すべてが確実に載るように設置してください。

⚠警告	**アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所には設置しないでください。** 火災・感電の原因となります。

⚠注意	**不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところなど）や小さなお子様の手の届くところ、他の機械の振動が伝わるところなどには、設置、保管しないでください。** 落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。	
	湿気・ホコリ・油煙の多い場所、水に濡れやすい場所、直射日光のあたる場所、温度や湿度の変化が激しい場所、冷暖房器具に近い場所に設置しないでください。 感電・火災・本製品の動作不良や故障につながるおそれがあります。	
	本製品の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。 次のような場所には設置しないでください。 • 押し入れや本箱などの風通しが悪くて狭い場所 • じゅうたんや布団の上 壁際に設置する場合は、壁から 10cm 以上のすき間をあけてください。 また、毛布やテーブルクロスのような布をかけないでください。	

電源に関するご注意

⚠警告	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電の原因となります。	
	指定されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。また、電源コードのたこ足配線はしないでください。 指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。家庭用コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。	
	破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 電源コードが破損したら、販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。 電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない	
	電源プラグの取り扱いには注意してください。 取り扱いを誤ると火災の原因になります。 • 電源はホコリなどの異物が付着したまま差し込まない • 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む	
	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張ると、コードが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。	
	付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。 感電・火災の原因となります。	
	漏電事故の防止のため、接地接続（アース）を行ってください。 アース線（接地線）の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。	

⚠注意	**電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。	
	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	

使用上のご注意

⚠警告	**煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。** 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。	
	通風口などの開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。	
	異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。	
	(取扱説明書で指示されている以外の)分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。	
⚠注意	**本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。** 特に、小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがをするおそれがあります。 また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。	
	各種ケーブル(コード)は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。	
	本製品とコンピュータ(または他の機器)をケーブルで接続するときは、コネクタの向きを間違えないように注意してください。 各ケーブルのコネクタには向きがあります。本製品側およびコンピュータ(または他の機器)側の双方に、向きを間違えてコネクタを接続すると、接続した双方の機器が故障するおそれがあります。	
	本製品を保管 / 輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。 インクが漏れるおそれがあります。	
	本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。	
	本製品を移動する場合は、安全のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。	

インクカートリッジに関するご注意

<table>
<tr><td rowspan="4">⚠注意</td><td>インクカートリッジを交換するときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないようにご注意ください。
目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに水や石けんで洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。万一、異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。</td><td></td></tr>
<tr><td>インクカートリッジを分解しないでください。</td><td></td></tr>
<tr><td>インクカートリッジは強く振らないでください。
強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。</td><td></td></tr>
<tr><td>インクカートリッジは、お子様の手の届かないところに保管してください。またインクは飲まないでください。</td><td></td></tr>
</table>

メモリカード使用時のご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはパソコン、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償致しかねます。

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、メモリカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

メモリカードを譲渡 / 廃棄するときのご注意

メモリカード（USB フラッシュメモリを含む）を譲渡 / 廃棄する際は､市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、メモリカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、メモリカードを物理的に破壊することもお勧めします。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

各部の名称と働き

1 用紙サポート

印刷するための用紙を支えます。

2 背面オートシートフィーダ

セットした用紙を自動的に連続して給紙します。

3 給紙口カバー

本体内部に異物が入るのを防ぎます。

4 エッジガイド

セットした用紙が斜めに給紙されないように、用紙の側面に合わせます。

5 外部機器 /Bluetooth ユニット接続コネクタ

外部記憶装置やデジタルカメラ、Bluetooth ユニットなどを接続する USB コネクタです。

6 赤外線通信ポート

携帯電話から直接印刷するときに、携帯電話の赤外線ポートをこのポートに向けてデータを送信します。

7 メモリカードスロット / カバー

カバーを開けてメモリカードをセットします。セット後はカバーを閉じて使用します。

8 排紙トレイ

排出された用紙を保持します。排紙トレイの先端は、通常は閉じて使用します（排出された用紙が排紙トレイから飛び出すときにのみ開きます）。

9 CD/DVD ガイド

CD/DVD を印刷するときに使用します。【CD ガイド開閉】ボタンを押すと、トレイをセットするためのガイドが出てきます。

10 前面用紙カセット

A4、ハガキ、L 判などの定形紙をセットできます。

11 カートリッジ固定カバー

インクカートリッジの取り付け時や交換時に開けます。カバーを閉じると、カートリッジが固定されます。

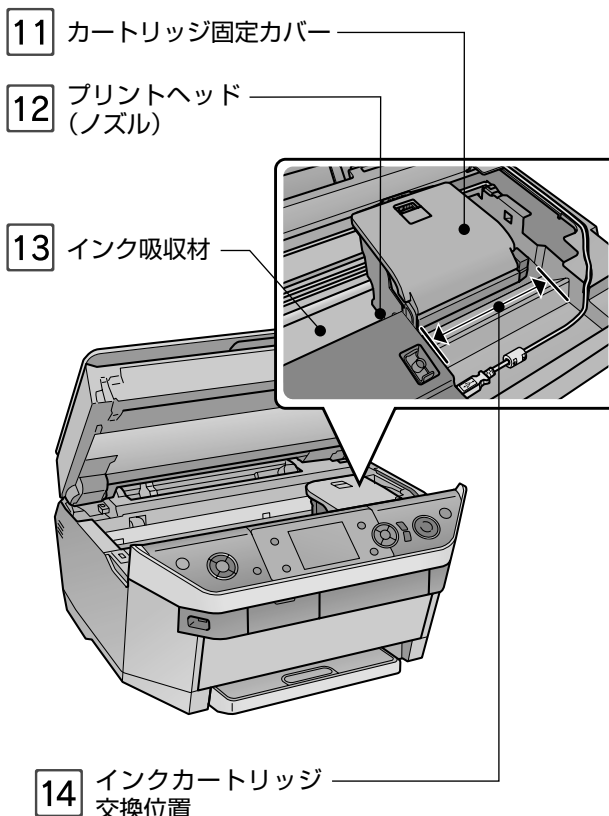
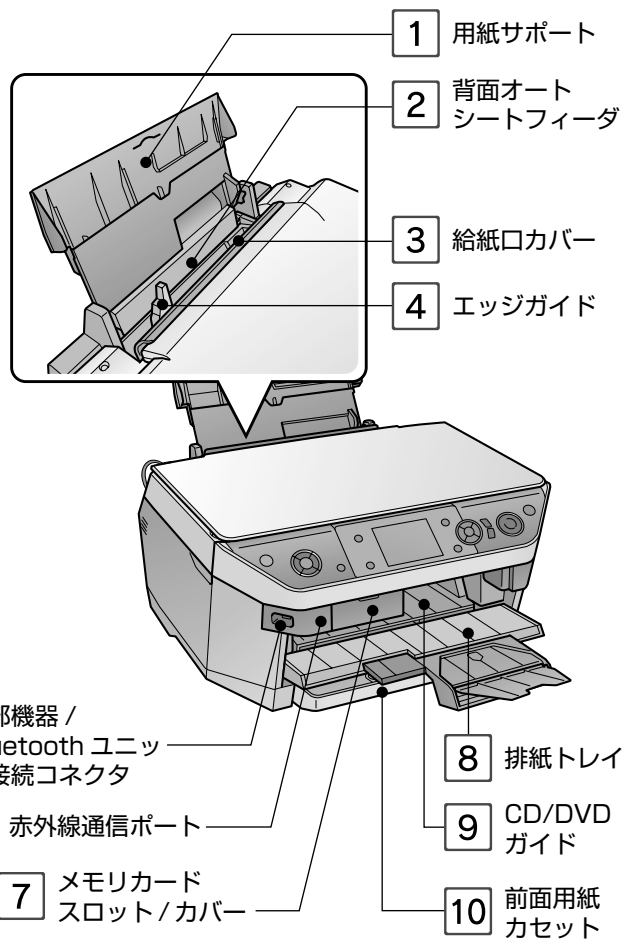
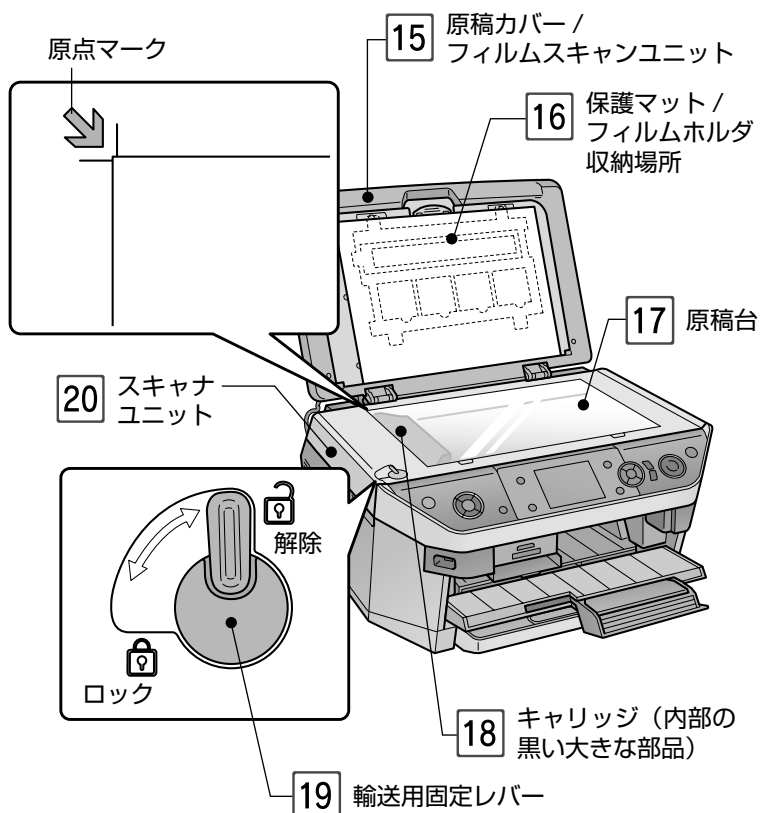
12 プリントヘッド（ノズル）

インクを用紙に吐出する部分です。外からは見えません。

13 インク吸収材

フチなし印刷時に、はみ出したインクを吸収します。

14 インクカートリッジ交換位置

インクカートリッジの取り付け時や交換時には、プリントヘッドがこの位置に移動します。

15 原稿カバー / フィルムスキャンユニット

- 原稿台に原稿をセットするときに開けます。セット後は原稿カバーを閉じて外部の光をさえぎります。
- フィルムをスキャンするときは、保護マットを取り外して、フィルムスキャンユニットとして使用します。

16 保護マット / フィルムホルダ収納場所

- 写真や書類などをスキャンするときは、必ず保護マットを取り付けてください。フィルムをスキャンするときは、取り外します。
- 保護マットの裏側に、フィルムホルダを収納することができます。

本書 85 ページ「フィルムホルダの収納」

17 原稿台

原稿のスキャンする面を下にして置きます。原稿のセット位置を示す原点マークと、原稿の大きさを示す目盛りが付いています。

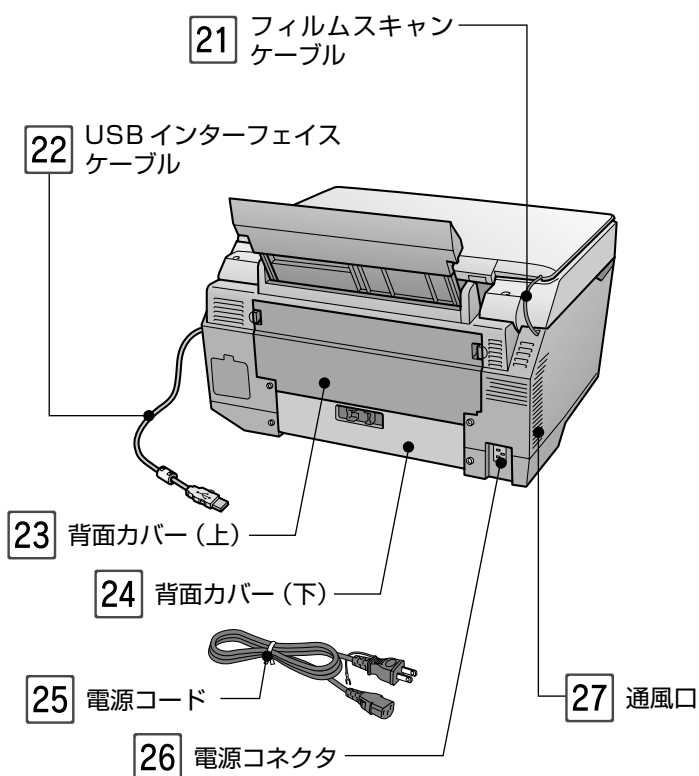
18 キャリッジ

原稿を照射する蛍光ランプと、反射した光を読み取るセンサが付いていて、スキャン時に移動します。

19 輸送用固定レバー

輸送時にキャリッジが動かないようにロックします。
使用するときは、輸送用固定レバーのロックを解除（図の位置に）します。

20 スキャナユニット

通常は閉じて使用します。インクカートリッジの交換時や用紙が内部に詰まったときなどに、左右側面の取っ手に手をかけて開けます。開閉は、原稿カバーを閉じた状態で行ってください。

21 フィルムスキャンケーブル

フィルムスキャンユニットと本体をつないでいるケーブルです。絶対に取り外さないでください。

22 USB インターフェイスケーブル

パソコンに接続する標準装備の USB ケーブルです。

23 背面カバー（上）

用紙が詰まったときや、オプションの自動両面ユニットを使用するときに取り外します。

24 背面カバー（下）

用紙が詰まったときに開けます。

25 電源コード

電源コネクタと AC100V の電源コンセントに接続します。

26 電源コネクタ

電源コードのプラグを接続します。

27 通風口

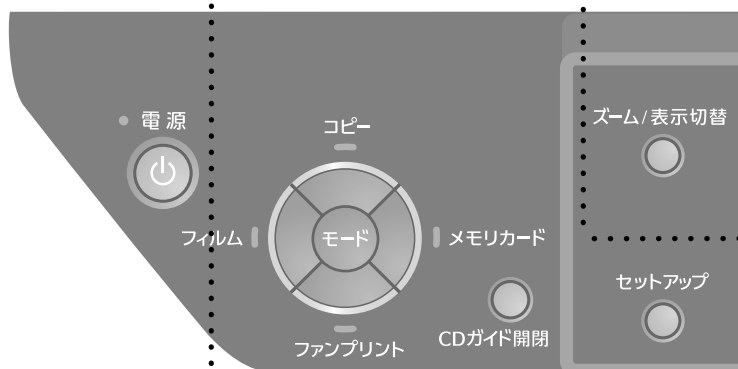
本製品の過熱を防ぐため、内部で発生する熱を放出します。設置の際には、通風口をふさがないようにしてください。また通風口のそばには物を置かないでください。

操作パネルの基本操作

1 電源オン

【電源】ボタンを押すと、電源ランプが点滅し、液晶ディスプレイに起動画面が表示されます。

2 モード選択

モードボタンでやりたいことを選択します。

電源オフ

【電源】ボタンを押すと、終了動作後、液晶ディスプレイとすべてのランプが消えます。

！注意

- 電源のオン / オフは、電源プラグの抜き差しで行わず、必ず本体の【電源】ボタンで行ってください。【電源】ボタンでオン / オフしないと、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- CD/DVD ガイドが出ている状態で電源をオフにすると、CD/DVD ガイドは自動的に通常の印刷位置に戻ります。CD/DVD ガイドに CD/DVD トレイを挿入したまま電源をオフにしないでください。

【コピー】
原稿台にセットした原稿をコピー（スキャンして印刷）します。

【メモリカード】
デジタルカメラや携帯電話のメモリカードを使って、写真プリントします。また、原稿台にセットした原稿をスキャンしてデータ化し、メモリカードに保存します。

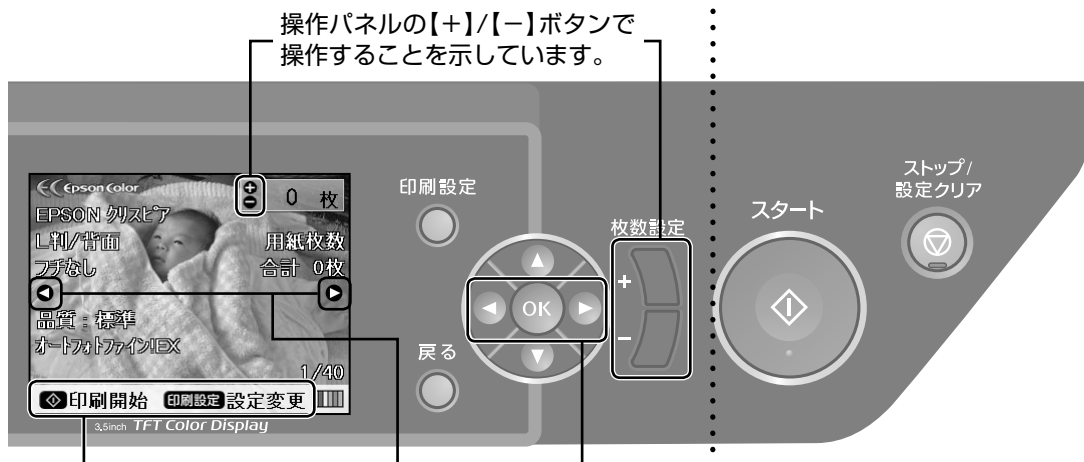
【フィルム】
写真フィルムをスキャンしてプリントしたり、データをメモリカードに保存したりします。

【ファンプリント】
上記の機能を組み合わせた、便利で楽しいプリント機能が集まっています。

【CD ガイド開閉】
CD/DVD トレイをセットするためのガイドを出します。元に戻すには、再度ボタンを押します。

【セットアップ】
インク残量表示や印刷品質が悪くなったときのメンテナンス､外部機器接続や無線通信印刷の設定など､各種設定を行います。

3 設定

液晶ディスプレイの画面を見て右側のボタンで操作します。

この画面で操作すること / できることを、ボタンと共に示しています。

操作パネルの【◁】/【▷】ボタンで操作することを示しています。

【△】【▽】【◁】【▷】
項目や設定値を選択するときなどに使用します。

【OK】
選択 / 変更した設定を有効にします。

【戻る】
ひとつ前の画面に戻ります。
現在のモードのトップ画面まで戻るには、【ストップ / 設定クリア】ボタンを押してください。

【+】【−】
印刷枚数を設定します。

メモリカード内の写真やスキャンデータを確認する際、表示方法を切り替えることができます。
☞本書 75 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

【印刷設定】ボタンを押すと、用紙や印刷品質の設定ができます。

4 印刷実行

【スタート】ボタンで印刷を実行します。

【スタート】
印刷を実行します。
用紙がなくなったときや紙詰まりのときは、画面のメッセージに従って【スタート】ボタンを押すこともあります。

【ストップ / 設定クリア】
印刷が中止されます。
印刷中止までには多少時間がかかる場合があります。

液晶ディスプレイについて

■ 電源オン時

本製品の初期動作が終了するまで、起動画面が表示されます。
※この画面が表示されている間は、ボタン操作は無効です。

！注意

- この画面が表示されている間は、CD/DVD トレイを絶対に挿入しないでください。故障の原因になります。

■ 各種操作画面

操作パネルのボタン操作で、メニューの選択や設定ができます。

約 3 分間操作しないと・・・

【電源】ボタン以外のいずれかのボタンを押すと、元の操作画面に戻ります。

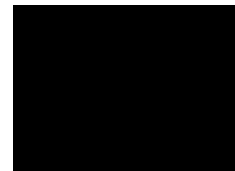
■ スクリーンセーバ起動

スクリーンセーバの設定がされていると、メモリカードの写真が一定間隔で順次表示されます。

☞ 本書 128 ページ「スクリーンセーバの設定」

※ デジタルカメラが接続されている場合には、スクリーンセーバは起動しません。

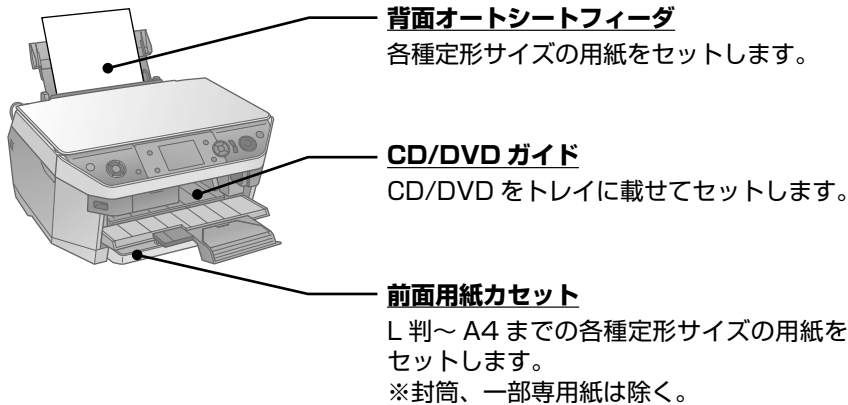
さらに約 10 分間操作しないと・・・

■ スリープモード

ディスプレイのライトが消えて、スリープモードになります。

印刷用紙と CD/DVD

印刷できる用紙と CD/DVD

用紙、CD/DVD のセット方法

用紙、CD/DVD のセット位置

背面オートシートフィーダ
各種定形サイズの用紙をセットします。

CD/DVD ガイド
CD/DVD をトレイに載せてセットします。

前面用紙カセット
L 判〜 A4 までの各種定形サイズの用紙をセットします。
※封筒、一部専用紙は除く。

用紙、CD/DVD のセット方法

用紙の設定

印刷用紙に適した設定をすると、最適な印刷結果を得ることができます。

印刷できる用紙・CD/DVD

エプソンでは、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう、各種用紙をご用意しています。よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙のご使用をお勧めします。

エプソン製専用紙

用紙名称		特長	サイズ	入り枚数	型番	セット方法
写真用紙	写真用紙 クリスピア ＜高光沢＞	【プロ仕様】 かつてない光沢感と透明感あふれる白さ、重厚な質感を実現した写真用紙です。	L 判	50 枚 100 枚	KL50SCK KL100SCK	☞22 ページ
			KG サイズ	100 枚	KKG100SCK	
			2L 判	20 枚	K2L20SCK	
			六切	20 枚	K6G20SCK	
			A4	20 枚	KA420SCK	
	写真用紙 ＜光沢＞	【スタンダード】 美しい光沢感のある仕上がりが魅力の写真用紙です。高い保存性を実現し、長期間色あせにくい写真プリントが可能です。	カード	50 枚	KC50PSK	
			L 判	20 枚 50 枚 100 枚 200 枚 300 枚 400 枚	KL20PSK KL50PSK KL100PSK KL200PSK KL300PSK KL400PSK	
			KG サイズ	100 枚 200 枚	KKG100PSK KKG200PSK	
			2L 判	20 枚 50 枚	K2L20PSK K2L50PSK	
			ハイビジョンサイズ	20 枚	KHV20PSK	
			六切	50 枚	K6G50PSK	
			A4	20 枚 50 枚 100 枚 250 枚	KA420PSK KA450PSK KA4100PSK KA4250PSKN	
	写真用紙エントリー＜光沢＞	【お得】 鮮やかな画質でたくさんプリントするのに最適な写真用紙です。	L 判	100 枚 200 枚 400 枚	KL100SEK KL200SEK KL400SEK	
			KG サイズ	100 枚 200 枚	KKG100SEK KKG200SEK	
			2L 判	20 枚 50 枚	K2L20SEK K2L50SEK	
			A4	20 枚 50 枚 100 枚	KA420SEK KA450SEK KA4100SEK	
	写真用紙 ＜絹目調＞	長期間色あせにくい、耐光性 / 耐水性に優れた光沢感を抑えた写真用紙です。	L 判	20 枚 100 枚	KL20MSH KL100MSH	
			2L 判	20 枚 50 枚	K2L20MSH K2L50MSH	
			A4	20 枚	KA420MSH	
マット紙	フォトマット紙	光沢のない落ち着いた質感のマット紙で、耐久性、耐光性に優れた専用紙です。	A4	50 枚	KA450PM	☞22 ページ
	スーパーファイン紙	写真入りカラー文書、インターネット出力、さまざまな用途に最適な用紙です。	A4	100 枚 250 枚	KA4100NSF KA4250NSF	
	両面マット紙 ＜再生紙＞	あなただけのオリジナル名刺を 1 枚から作れます。両面印刷対応です。	名刺	100 枚	KNC100MPD	
普通紙	両面上質普通紙 ＜再生紙＞	ビジネス文書の作成時などに役立つ両面印刷が可能なインクジェットプリンタ用の普通紙（古紙 100% 配合の再生紙）です。	A4	250 枚	KA4250NPD	☞18 ページ

	用紙名称	特長	サイズ	入り枚数	型番	セット方法
ハガキ	写真用紙<絹目調>はがき	長期間色あせにくい、耐光性 / 耐水性に優れた光沢感を抑えた、ハガキサイズの写真用紙です。	ハガキ	20 枚 50 枚	KH20MSH KH50MSH	☞19 ページ
	スーパーファイン専用ハガキ	デジタルカメラで撮影した写真入りのハガキ印刷に適した、ハガキサイズのマット紙です。	ハガキ	50 枚	MJSP5	
バラエティ用紙	ミニフォトシール	16 分割の小さなオリジナルシールができます。	ハガキ （16 分割）	5 枚	MJHSP5	☞22 ページ
	フォトシール フリーカット	ハガキサイズの全面シールです。	ハガキ	5 枚	KH5PFC	
	スーパーファイン専用ラベルシート	オリジナルのステッカーが手軽に作れる、裏面糊付きのラベルシートです。 ※ミシン目のない全面シールです。	A4	10 枚	MJA4SP5	
	アイロンプリントペーパー	印刷した写真やイラストを、アイロンを使って衣類などに転写可能な特殊用紙です。 ※ 転写できる素材は、「綿 100%」または「綿 50%以上の混紡」です。	A4	5 枚	MJTRSP1	

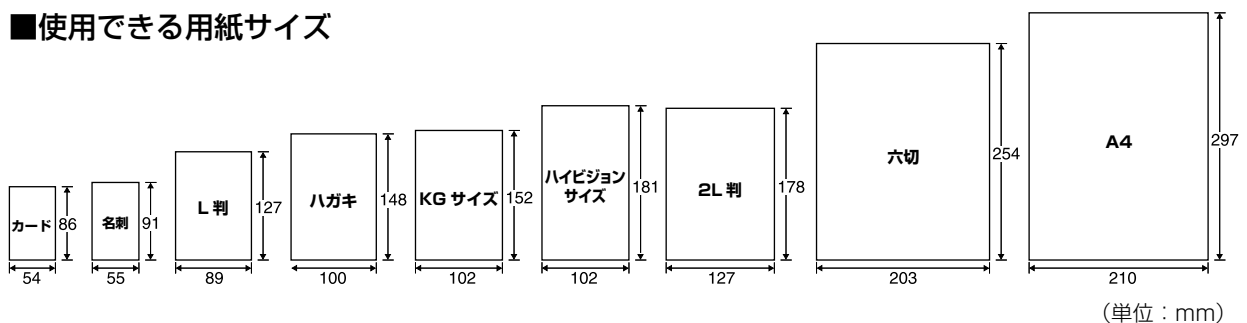
（2006 年 8 月現在）

市販の用紙

用紙名称	サイズ	セット方法	備考
コピー用紙 事務用普通紙	最小： 54 × 86mm（カード） 最大： 210 × 297mm（A4）	☞18 ページ	坪量 64 〜 90g/m²、厚さ 0.08 〜 0.11mm の範囲のものをご使用ください。 再生紙は、紙質によってはにじむことがあります。
郵便ハガキ（再生紙）＊1 郵便ハガキ（インクジェット紙）＊1 郵便光沢ハガキ（写真用）＊1	ハガキ	☞19 ページ	写真を貼り付けたハガキや、シールなどを貼ったハガキは、使用しないでください。
往復郵便ハガキ＊1	往復ハガキ	☞19 ページ	中央に折り目のないものをお使いください。
封筒	長形 3 号 /4 号 洋形 1 号 /2 号 /3 号 /4 号 ☞ 21 ページ「使用できる封筒のサイズ」	☞21 ページ	−

＊ 1：日本郵政公社製

■使用できる用紙サイズ

（単位：mm）

CD/DVD

レーベル面がインクジェット方式カラープリンタでの印刷に対応している＊12cm/8cm サイズの CD/DVD メディア（CD-R/RW、DVD-R/RW など）

＊： CD/DVD の取扱説明書などに、「レーベル面印刷可能」や「インクジェットプリンタ対応」などと表記されているもの

参考

- CD/DVD の取り扱い方法やデータ書き込み時の注意事項については、CD/DVD の取扱説明書をご覧ください。
- 印刷できることを確認した CD/DVD の情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
＜ http://www.epson.jp/cd_dvd/ ＞

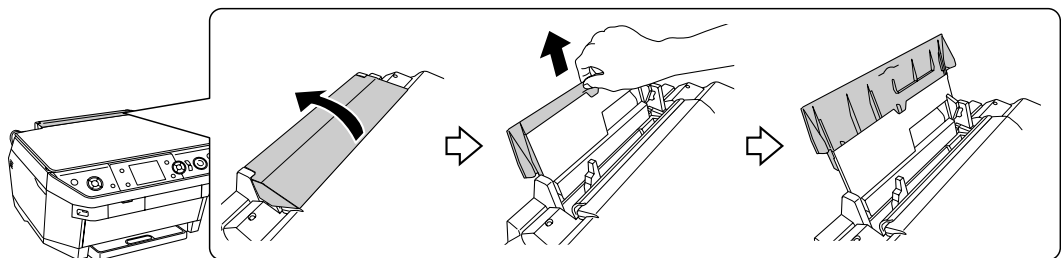
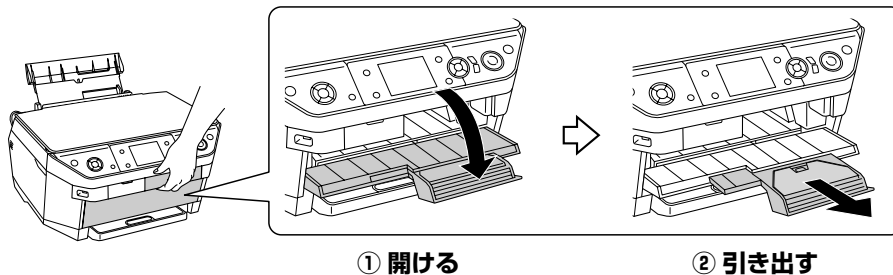
用紙のセット方法

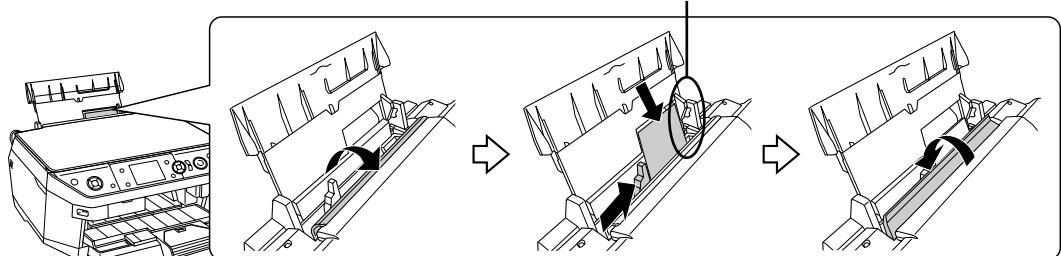
本製品では、背面オートシートフィーダと前面用紙カセットに用紙をセットできます。

参考

- 印刷時にどちらの給紙装置を使用するかの設定は、［印刷設定］画面で行います。
☞ 本書 44 ページ、76 ページ、88 ページ「印刷設定」
- 一部の機能では、使用できる給紙装置が限定されます。

背面オートシートフィーダへの用紙のセット（基本手順）

1 用紙サポートを引き出します。

2 排紙トレイを引き出します。

3 用紙を挿入して、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。

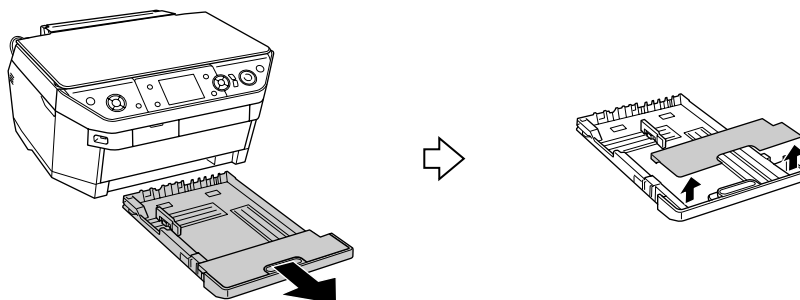
用紙は印刷する面を手前にして、縦方向にセットしてください。

参考

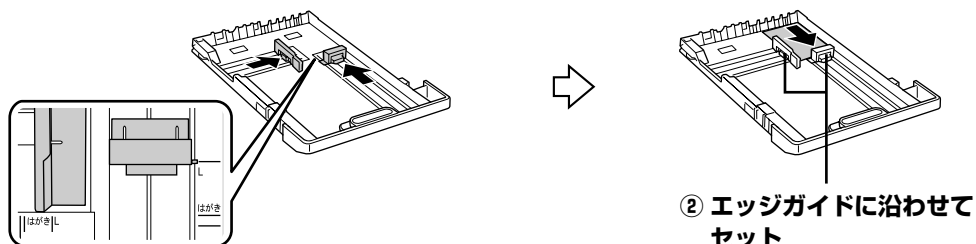
- L 判などの小さな用紙は、正面から見えなくなりますので、のぞき込むようにしてエッジガイドを合わせてください。
- 用紙ごとの注意事項やセット可能枚数などの制限については、以下をご確認ください。
☞ 本書 18 ページ「普通紙のセット」
☞ 本書 19 ページ「ハガキのセット」
☞ 本書 21 ページ「封筒のセット」
☞ 本書 22 ページ「写真用紙 / 特殊用紙（バラエティ用紙）のセット」

前面用紙カセットへの用紙のセット（基本手順）

！注意

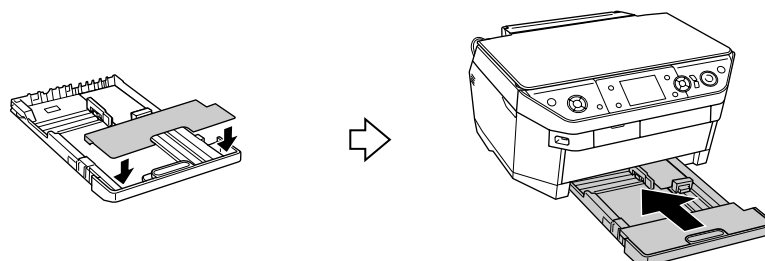
- 次の用紙は前面用紙カセットにセットできません。背面オートシートフィーダにセットしてください。
  両面マット紙<再生紙> / ミニフォトシール / フォトシール フリーカット / アイロンプリントペーパー / スーパーファイン専用ラベルシート / 封筒 / 往復郵便はがき / カードサイズの用紙
- Mac OS X から印刷する場合には、前面用紙カセットからの給紙はできない場合があります。

1 前面用紙カセットを引き出し、前面用紙カセットのカバーを取り外します。

2 エッジガイド（2 箇所）をカセット上の用紙サイズに合わせ、用紙をセットします。

用紙は印刷する面を下にして、縦方向にセットしてください。

① ツマミを押さえながらエッジガイドをカセット上のサイズに合わせる
※ KG サイズの用紙は「4 × 6”」に合わせる

② エッジガイドに沿わせてセット
※印刷面は下

3 前面用紙カセットのカバーを取り付け、前面用紙カセットをセットします。

前面用紙カセットは、奥までしっかりセットしてください。

参考

- 用紙ごとの注意事項やセット可能枚数などの制限については、以下をご確認ください。
  ☞ 本書 18 ページ「普通紙のセット」
  ☞ 本書 19 ページ「ハガキのセット」
  ☞ 本書 21 ページ「封筒のセット」
  ☞ 本書 22 ページ「写真用紙 / 特殊用紙（バラエティ用紙）のセット」

以上で、「用紙のセット方法」の説明は終了です。

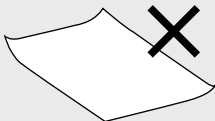
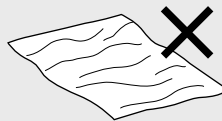
普通紙のセット

用紙の準備

用紙をセットする前に、以下をご確認ください。

!注意

- 次のような用紙は、使用しないでください。紙詰まりの原因になります。

・丸まっている用紙
・破れている用紙
・切れている用紙
・穴があいている用紙
・折りがある用紙

・角が反っている用紙

・印刷面が波打っている用紙

- 前面用紙カセットには、新しい用紙をセットしてください。片面に印刷した用紙や通紙（給排紙）したことのある用紙をセットすると、うまく給紙できないことがあります。

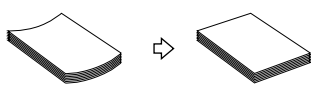
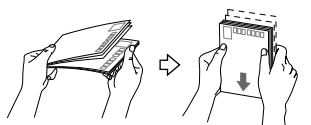
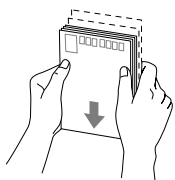
用紙	セット可能枚数		準備
	背面	前面	
両面上質普通紙 <再生紙>＊1	100 枚		反りを修正して平らにします。
市販の普通紙＊2	エッジガイドの▼マークまで	エッジガイドの▼マークまで	用紙をよくさばき、端を揃えます。反ったまま使用しないでください。用紙がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。

＊ 1： 手動両面印刷時のセット可能枚数は 30 枚までです。また、手動両面印刷時は、背面オートシートフィーダにセットしてください。自動両面ユニットを装着して自動両面印刷を行うときは、背面 / 前面どちらにもセットできます。
＊ 2： ユーザー定義サイズの用紙セット可能枚数は 1 枚です。

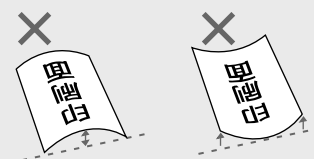
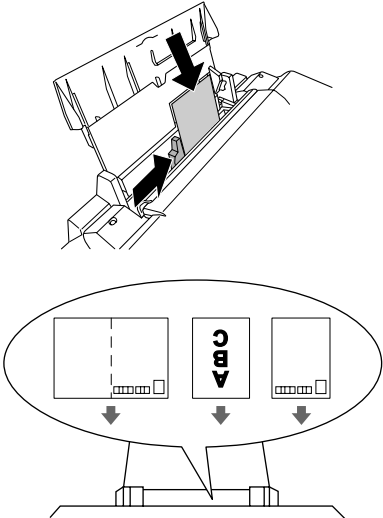
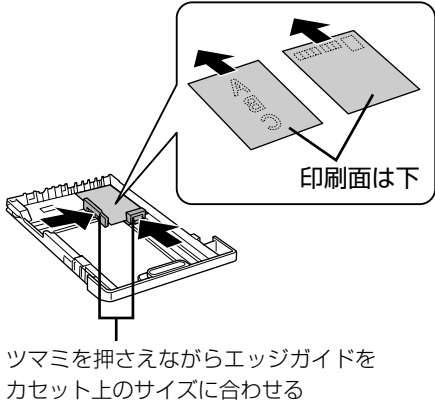
普通紙のセット時のポイント

背面オートシートフィーダ	前面用紙カセット
セットの向き 印刷する面を手前にして、縦方向に挿入。 用紙の上下を区別する必要があるときは、 用紙の上端を下に向けて挿入。	**セットの向き** 印刷する面を下にして、縦方向に挿入。 用紙の上下を区別する必要があるときは、 用紙の上端を奥側にして挿入。 印刷面は下 ツマミを押さえながらエッジガイドをカセット上のサイズに合わせる

ハガキのセット

ハガキの準備

ハガキをセットする前に、以下をご確認ください。

！注 意

- 写真を貼り付けたハガキや、シールなどを貼ったハガキは、使用しないでください。
- 往復郵便ハガキは、パソコンからの印刷のみに対応しています。
- 往復郵便ハガキは、中央に折り目のないものをお使いください。
- 用紙取り扱いの注意については、用紙の取扱説明書をご確認ください。
- エプソン製専用ハガキは、必要な枚数だけを袋から取り出し、残りは袋に入れて保管してください。
- 右図のように反っているハガキは、セットしないでください。印刷面が汚れたり、正常に給排紙されないなどの原因になるおそれがあります。

- 印刷終了後、残ったハガキは本製品から取り除いて高温、高湿、直射日光を避けて保管してください。ハガキを本製品にセットしたまま放置すると、反りや品質低下の原因となる場合があります。
- 片面に印刷後その裏面に印刷するときは、しばらく乾かした後、反りを修正して平らにしてください。先に宛名面から印刷することをお勧めします。

用紙	セット可能枚数		準備
	背面	前面	
郵便ハガキ（再生紙）	50 枚	30 枚	反りを修正して平らにします。
郵便ハガキ（インクジェット紙）			
郵便光沢ハガキ（写真用）			用紙をよくさばき、端を揃えます。反ったまま使用しないでください。用紙がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。
往復郵便ハガキ*1	50 枚	×	
スーパーファイン専用ハガキ	50 枚	30 枚	
写真用紙＜絹目調＞はがき	20 枚		用紙の端を揃えます。 用紙をさばいたり、反らせたりしないでください。印刷面が傷付くおそれがあります。

＊ 1：前面用紙カセットにはセットできません。

ハガキのセット時のポイント

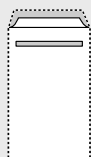
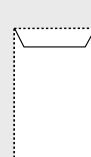
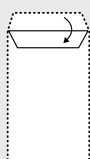
背面オートシートフィーダ	前面用紙カセット
セットの向き 宛先用の郵便番号枠を下側にし、印刷する面を手前にして挿入。 通常のハガキは縦方向に挿入。 往復ハガキは折り目を付けずに横方向に挿入。 	**セットの向き** 宛先用の郵便番号枠を奥側にし、印刷する面を下にして縦方向に挿入。 ツマミを押さえながらエッジガイドを カセット上のサイズに合わせる

封筒のセット

封筒の準備

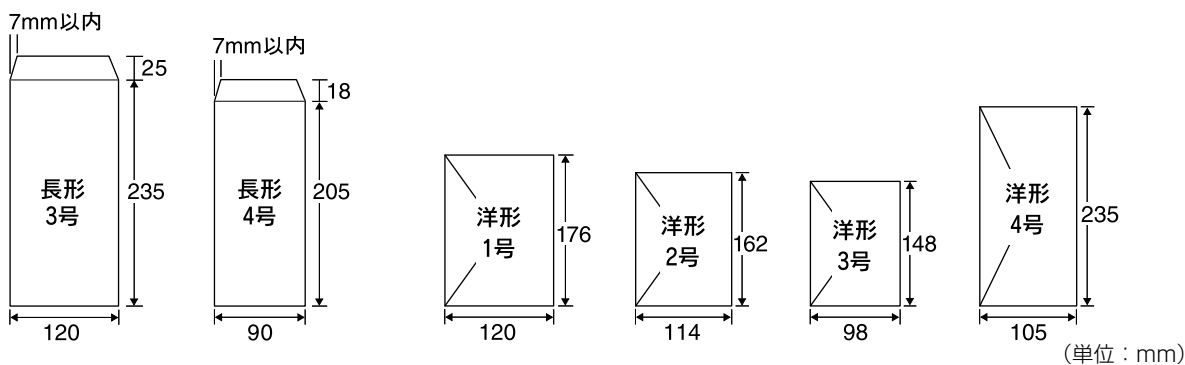
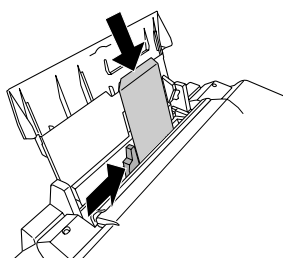
封筒をセットする前に、以下をご確認ください。

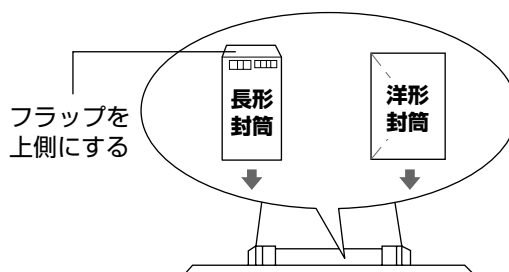
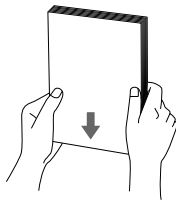
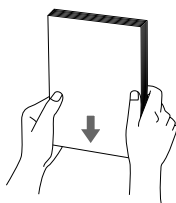
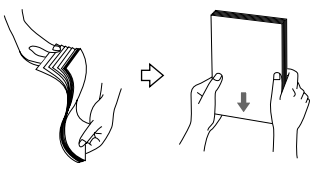
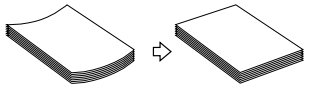
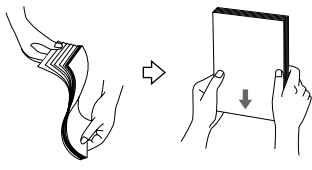
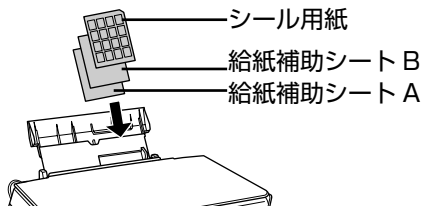
！注意

- 長形 3 号 /4 号封筒は、Windows パソコンからの印刷のみに対応しています（Mac OS は非対応）。
- 次のような封筒は使用しないでください。紙詰まりの原因になります。

用紙	セット可能枚数	印刷面	準備
長形 3 号 /4 号 洋形 1 号 /2 号 / 3 号 /4 号	10 枚*1	宛名面	よくさばき、端を揃えます。ふくらんでいる場合は、ふくらみを取り除いてください。

＊ 1：封筒は前面用紙カセットにはセットできません。

■使用できる封筒のサイズ

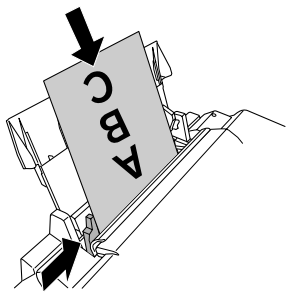
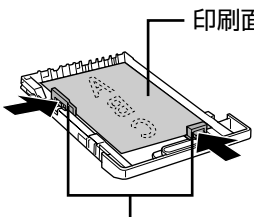
（単位：mm）

封筒のセット時のポイント

セットの向き

印刷する面を手前にして、縦方向に挿入。
長形封筒はフラップを開いた状態で挿入。
洋形封筒はフラップを閉じた状態で挿入。

写真用紙 / 特殊用紙（バラエティ用紙）のセット

用紙の準備

用紙をセットする前に、以下をご確認ください。

!注意

- 用紙取り扱いの注意については、用紙の取扱説明書をご確認ください。
- 必要な枚数だけを袋から取り出し、残りは袋に入れて保管してください。

用紙	セット可能枚数		印刷面	準備
	背面	前面		
写真用紙クリスピア＜高光沢＞	20 枚（L 判 /KG サイズは 50 枚）[*1]	20 枚（L 判 /KG サイズは 50 枚）[*1*2]	より光沢のある面	用紙の端を揃えます。 用紙が大きく反っているときは、1 枚ずつ反りを修正してからセットしてください。
写真用紙＜光沢＞	20 枚（L 判 /KG サイズは 50 枚、カードサイズは 30 枚）[*1]	20 枚（L 判 /KG サイズは 50 枚[*1*2]、カードサイズはセット不可）	より光沢のある面	用紙の端を揃えます。 用紙をさばいたり、反らせたりしないでください。印刷面が傷付くおそれがあります。
写真用紙エントリー＜光沢＞	20 枚（L 判 /KG サイズは 50 枚）[*1]	20 枚（L 判 /KG サイズは 50 枚）[*1*2]	より光沢のある面	
写真用紙＜絹目調＞	20 枚（L 判のみ 50 枚）[*1]	20 枚（L 判のみ 50 枚）[*1*2]	より光沢のある面	
フォトマット紙	20 枚		より白い面	用紙をよくさばき、端を揃えます。
スーパーファイン紙	100 枚		より白い面	反りを修正して平らにします。 用紙をよくさばき、端を揃えます。 反ったまま使用しないでください。用紙がプリントヘッドとこすれて汚れるおそれがあります。

用紙	セット可能枚数		印刷面	準備
	背面	前面		
アイロンプリントペーパー*3	1 枚	×	白い面（印刷されていない面）	用紙が反っている場合は、反りを修正します。
ミニフォトシール*3	1 枚	×	コーナーカット（切り欠け部）が右上にくる面 印刷面	用紙が反っている場合は、反りを修正します。 シール用紙のパッケージに入っている給紙補助シート 2 枚（A と B）を下に敷いて、セットしてください。 シール用紙 給紙補助シート B 給紙補助シート A
フォトシール フリーカット*3	1 枚	×	白い面	シール用紙のパッケージに入っている給紙補助シートを下に敷いて、セットしてください。
スーパーファイン専用ラベルシート*3	1 枚	×	EPSON ロゴマークが印刷されていない面	用紙が反っている場合は、反りを修正します。 ラベルシートの台紙を剥がした状態でセットしないでください。また、一度カットしたラベルシートや、台紙から一度剥がして再度貼り付けたラベルシートはセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。
両面マット紙＜再生紙＞名刺サイズ*3	30 枚	×	－	用紙が反っている場合は、反りを修正します。 裏面に印刷するときは、乾かした後に反りを修正してください。

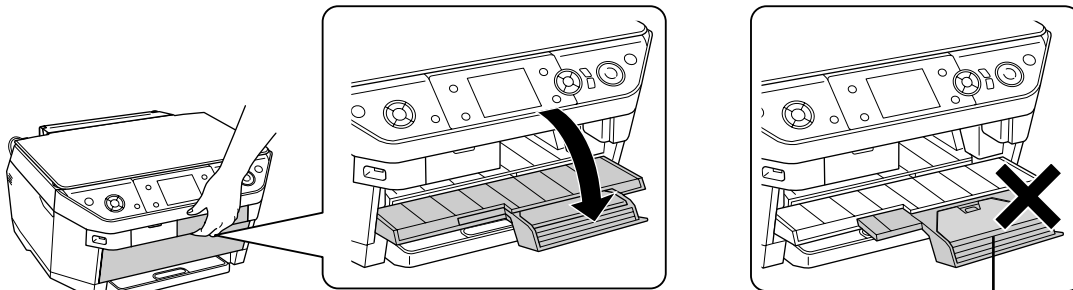
＊ 1： 印刷結果がこすれたりムラになったりする場合は、1 枚ずつセットしてください。
＊ 2： 用紙の状態によってはセット枚数が 50 枚以下でもエッジガイドの▼マークを超えることがあります。そのときは▼マークを超えないようにセット枚数を減らしてください。
＊ 3： 前面用紙カセットにはセットできません。

用紙のセット時のポイント

背面オートシートフィーダ	前面用紙カセット
セットの向き 印刷する面を手前にして、縦方向に挿入。 用紙の上下を区別する必要があるときは、用紙の上端を下に向けて挿入。 ABC	**セットの向き** 印刷する面を下にして、縦方向に挿入。 用紙の上下を区別する必要があるときは、用紙の上端を奥側にして挿入。 印刷面は下 ツマミを押さえながらエッジガイドをカセット上のサイズに合わせる ※ KG サイズの用紙は「4 × 6”」に合わせる

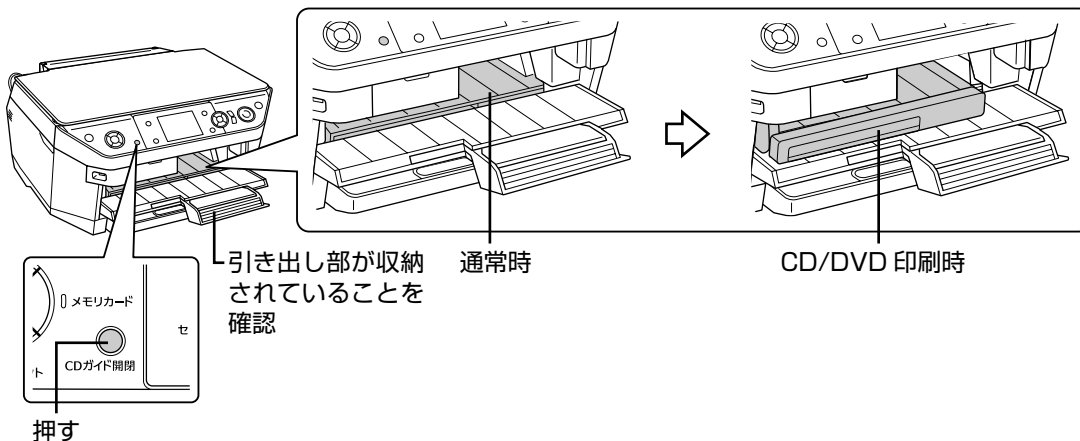
CD/DVD のセット方法

使用できる CD/DVD、および印刷時の注意事項については、以下をご覧ください。
☞ 本書 168 ページ「CD/DVD」

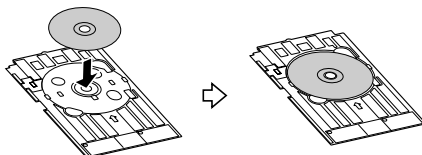
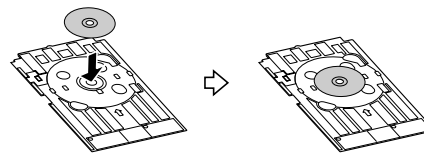
1 本製品の電源をオンにして、排紙トレイを手前に開けます。

2 【CD ガイド開閉】ボタンを押します。

【CD ガイド開閉】ボタンを押すと、CD/DVD ガイドが出てきます。

！注意

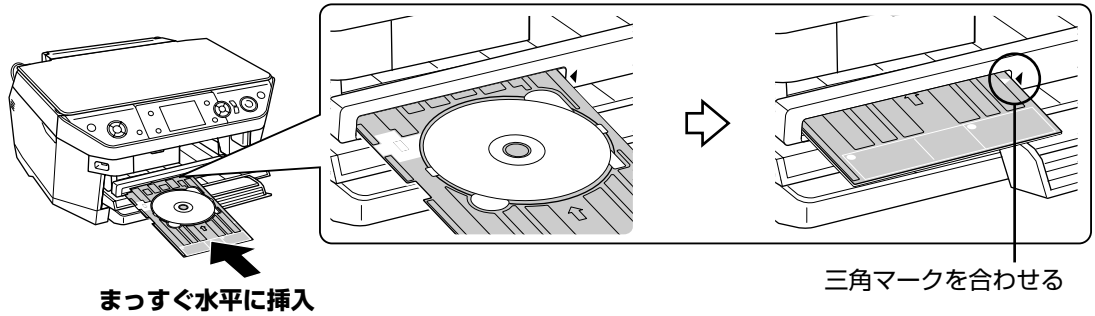
- 排紙トレイの上に用紙などが載っていないこと、本製品が動作中でないこと（動作音が完全に止まっていること）を確認してから【CD ガイド開閉】ボタンを押してください。
- CD/DVD ガイドの動作中は、ガイド部分に触らないでください。ガイドの動きを妨げると注意メッセージが表示され、ガイドは元の位置（【CD ガイド開閉】ボタンを押す前の位置）に戻ります。そのようなときは、再度【CD ガイド開閉】ボタンを押してください。

3 CD/DVD を付属のトレイに載せます。

トレイ上にゴミがないかを確認し、CD/DVD の印刷面（レーベル面）を上にして 1 枚だけ載せてください。付属の『CD/DVD 印刷位置確認用シート（お試し印刷用）』は取り除いてお使いください。

12cm CD/DVD の場合

8cm CD/DVD の場合

4 トレイを CD/DVD ガイドにセットします。

図の向きに従ってトレイを挿入し、トレイと CD/DVD ガイドの三角マークを合わせます。
印刷を実行すると、自動的にトレイが引き込まれます。

!注意

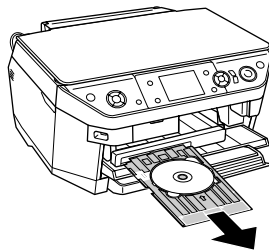
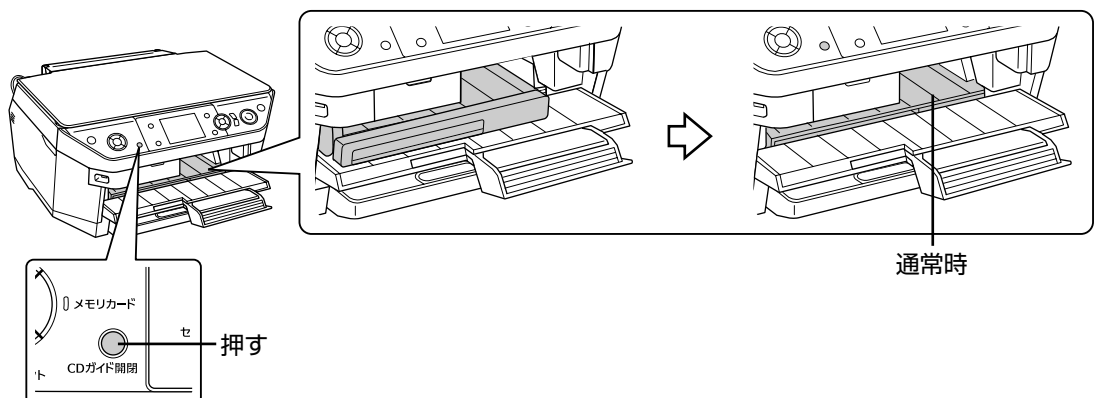
- CD/DVD トレイは、本製品の動作中（印刷中などの表示がされているとき）は絶対に挿入しないでください。動作中に挿入すると故障の原因になります。

以上で、「CD/DVD のセット方法」の説明は終了です。

CD コピーの手順　本書 42 ページ「CD レーベルへのコピー」
メモリカードから印刷する場合　本書 58 ページ「CD/DVD レーベルに印刷」
パソコンから印刷する場合　本書 111 ページ「CD/DVD レーベルの作成と印刷」
携帯電話から印刷する場合　本書 90 ページ「携帯電話から赤外線通信で印刷」

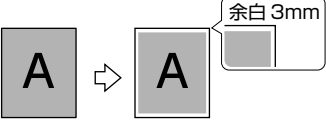
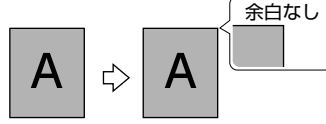
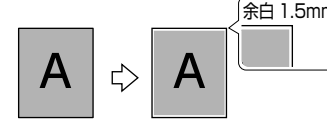
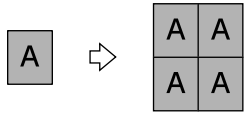
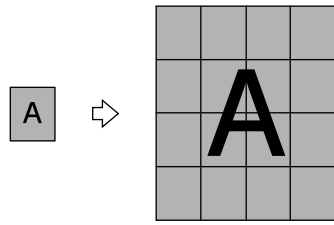
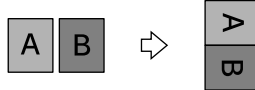
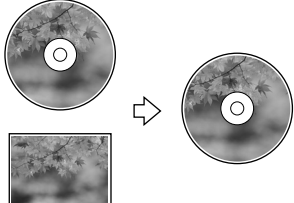
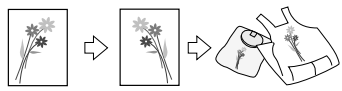
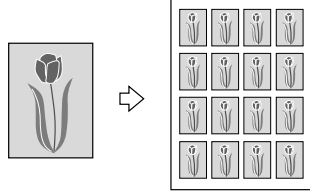
CD/DVD の取り出し方法

!注意

- CD/DVD 印刷が終了したら、必ず CD/DVD トレイを取り出してください。CD/DVD トレイをセットしたままの状態で電源をオン / オフすると、故障するおそれがあります。

1 印刷中でないことを確認し、CD/DVD トレイごと引き抜きます。

2 【CD ガイド開閉】ボタンを押して、CD/DVD ガイドを通常の印刷位置に戻します。

以上で、「CD/DVD の取り出し方法」の説明は終了です。

［用紙種類］の設定

最適な印刷結果を得るためには、印刷用紙に適した［用紙種類］の設定をしてください。
下表内の×印は非対応を意味します。

	用紙名称	［用紙種類］の設定			
		コピー	メモリカード印刷	フィルム印刷	パソコンから印刷
写真用紙	写真用紙クリスピア＜高光沢＞	EPSON クリスピア			EPSON 写真用紙クリスピア
	写真用紙＜光沢＞ 写真用紙＜絹目調＞	写真用紙			EPSON 写真用紙
	写真用紙エントリー＜光沢＞	写真用紙エントリー			EPSON 写真用紙エントリー
マット紙	フォトマット紙	フォトマット紙			EPSON フォトマット紙
	スーパーファイン紙	スーパーファイン紙	×		EPSON スーパーファイン紙
	両面マット紙＜再生紙＞	×	両面マット紙	×	EPSON 両面マット紙＜再生紙＞
普通紙	両面上質普通紙＜再生紙＞ コピー用紙 / 事務用普通紙	普通紙			普通紙
ハガキ	郵便ハガキ(再生紙)*1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ		×	宛名面：普通紙 通信面：普通紙
	往復郵便ハガキ*1	×			普通紙
	郵便ハガキ（インクジェット紙）*1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便 IJ ハガキ		×	宛名面：普通紙 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）
	郵便光沢ハガキ(写真用)*1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便光沢ハガキ		×	宛名面：普通紙 通信面：郵便光沢ハガキ
	スーパーファイン専用ハガキ	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便 IJ ハガキ		×	宛名面：普通紙 通信面：EPSON スーパーファイン紙
	写真用紙＜絹目調＞はがき	宛名面：郵便ハガキ 通信面：写真用紙		×	宛名面：普通紙 通信面：EPSON 写真用紙
バラエティ用紙	ミニフォトシール	ミニフォトシール 16		×	EPSON フォトシール
	フォトシール フリーカット	フォトシール全面		×	EPSON フォトシール
	アイロンプリントペーパー	アイロンペーパー		×	EPSON アイロンプリントペーパー
	スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン紙	×		EPSON スーパーファイン紙
封筒	封筒	×			封筒
CD/DVD	CD/DVD	CD/DVD レーベル		×	CD/DVD レーベル
	高画質 CD/DVD	CD/DVD レーベル		×	高画質対応 CD/DVD レーベル

＊ 1：日本郵政公社製

いろいろなコピー

レイアウトを変更したりファンプリントモードの機能を使うと、いろいろなコピーができます。

レイアウトを変更する

■標準コピー
余白 3mm でコピー
☞32 ページ

■フチなしコピー
余白なしで全面コピー
☞32 ページ

■ギリギリコピー
余白 1.5mm でコピー
☞32 ページ

■リピート自動
用紙サイズに合わせて、原稿を等倍で複数枚割り付けコピー
☞37 ページ

■ポスター 16
原稿を 16 倍に拡大コピー
☞35 ページ

■2 アップコピー
2 枚の原稿を A4 サイズの用紙に自動割り付け
☞36 ページ

特殊なもの（用紙）にコピーする

■CD コピー
12cm CD/DVD レーベルにコピー

☞42 ページ

■ミラーコピー
アイロンプリントペーパーに左右反転コピー

☞33 ページ

■フォトシール全面
■ミニフォトシール 16
シール用紙にコピー

☞34 ページ

写真を焼き増しする（ファンプリントモード）

■写真コピー
写真を複数枚まとめて焼き増し

☞38 ページ

■ズーム印刷
写真をズームアップしてコピー

☞39 ページ

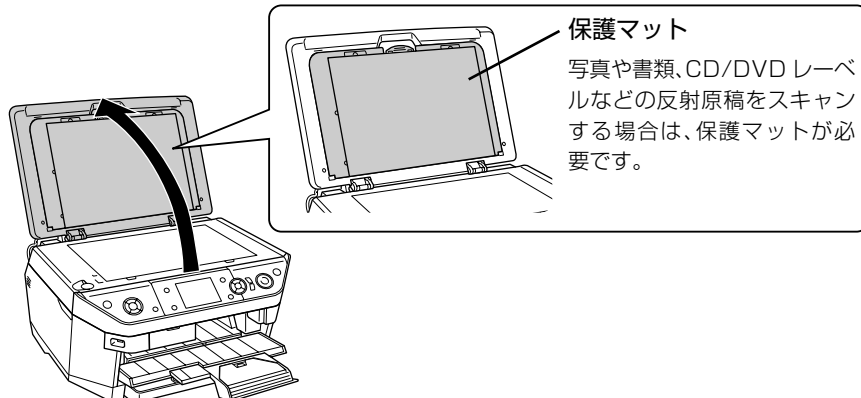
■P.I.F. 印刷
写真にフレームを付けてコピー

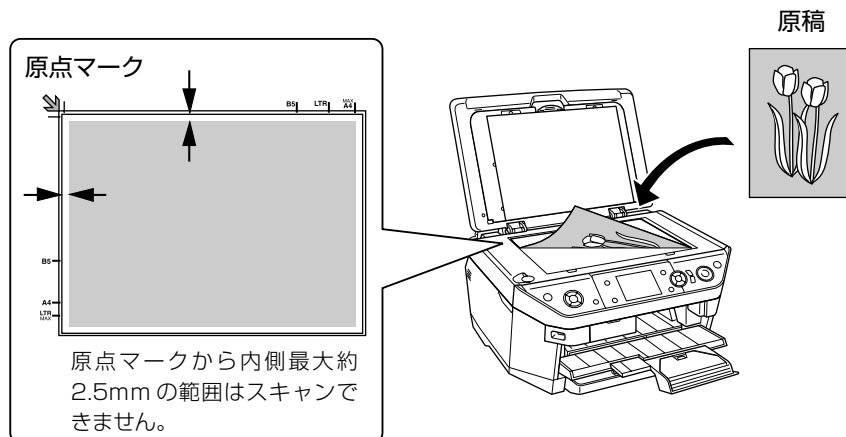
☞40 ページ

参考

- オプションの自動両面ユニットを装着すると、自動で両面コピーができます。
☞ 本書 172 ページ「自動両面印刷」

原稿のセット方法

1 原稿カバーを開け、保護マットが付いていることを確認します。

2 原稿を原稿台に置きます。

スキャンする面を下に向け、原稿台の原点マーク（⇘）に合わせて、図の向きに置いてください。

! 注意

- 原稿は、スキャンする面が平らなものを使用してください。スキャンする面がゆがんでいると、ゆがんだままスキャンされます。
- 原稿台のガラス面や、原稿カバーの裏側にゴミ、汚れなどがある場合は、取り除いてください。汚れがスキャンされたり、スキャン領域に含まれたりする場合があります。

3 原稿カバーを閉じます。

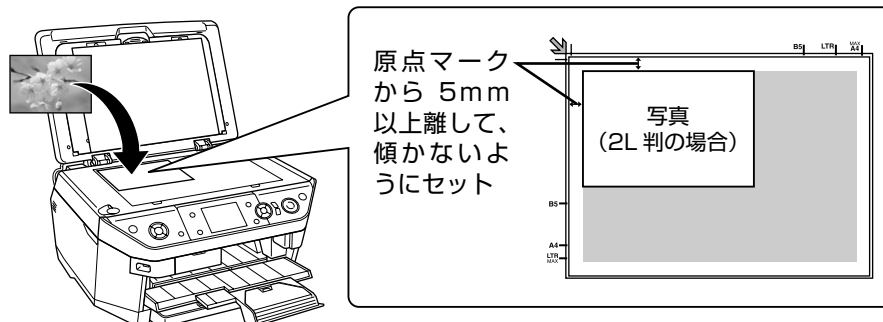
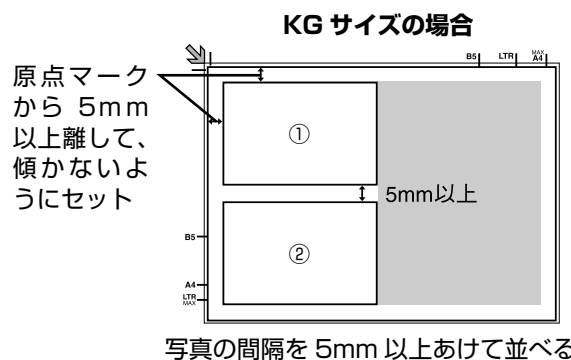
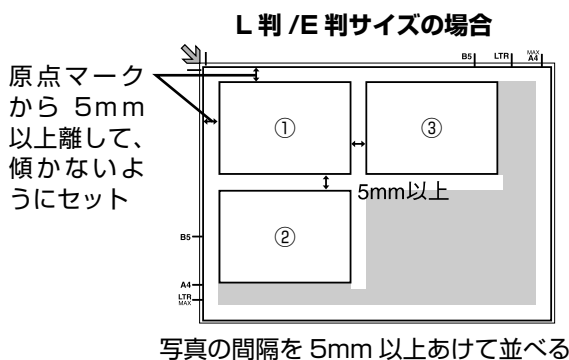
原稿が動かないように、ゆっくり閉じてください。

! 注意

- 原稿カバーを閉じるときは指を挟まないよう注意してください。
- 原稿台や原稿カバーに強い力をかけたり、重いものを載せたりしないでください。製品の破損や故障の原因となります。
- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。

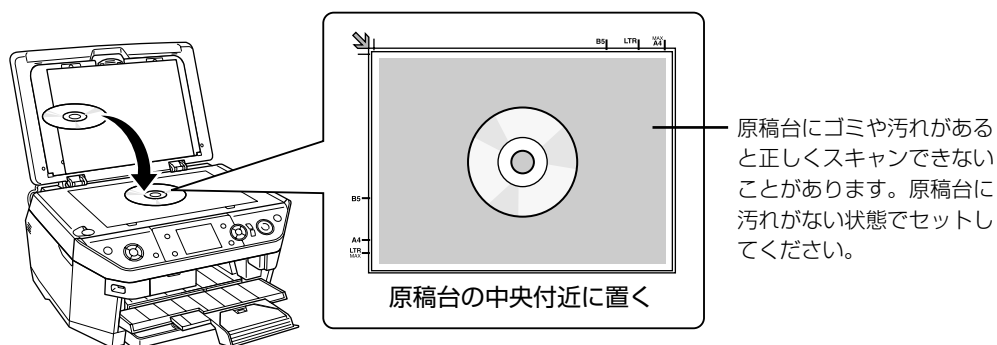
ファンプリントモードでの写真原稿のセット

ファンプリントモードでは、写真原稿をきれいに簡単にコピーする機能があります。ファンプリントモードで写真をコピーする場合は、写真原稿を下図のようにセットしてください。

本書 38 ページ「写真の焼き増し<写真コピー>」
本書 39 ページ「写真をズームアップして焼き増し」
本書 40 ページ「写真にフレームを付けて焼き増し< P.I.F. 印刷>」

なお、ファンプリントモードの「写真コピー」では、L 判 /E 判サイズの写真原稿をまとめて 3 枚、KG サイズは 2 枚までセットすることができます。
複数枚の原稿をセットするときは、下図の①②③の位置に①→②→③の順番で置いてください。

※うまくコピーできなかったときは、1 枚ずつセットしてください。

CD/DVD レーベル原稿のセット

CD/DVD レーベルをコピーする場合は、下図のようにセットしてください。

本書 42 ページ「CD レーベルへのコピー」

以上で、「原稿のセット方法」の説明は終了です。

コピー

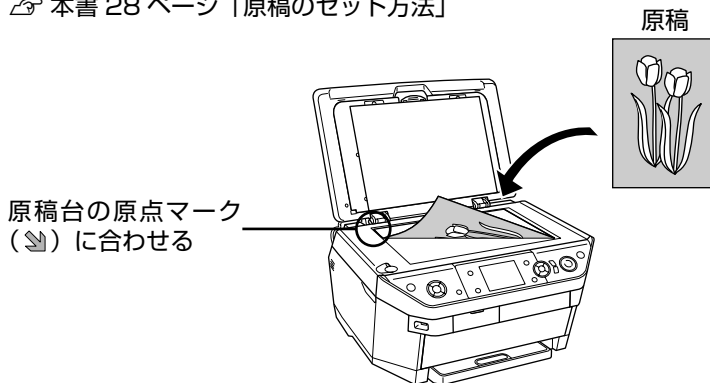
コピーの基本手順

1 電源をオンにします。

2 原稿をセットして、原稿カバーを閉じます。

☞ 本書 28 ページ「原稿のセット方法」

原稿

原稿台の原点マーク（⇘）に合わせる

3 印刷用紙をセットし、排紙トレイを引き出します。

☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

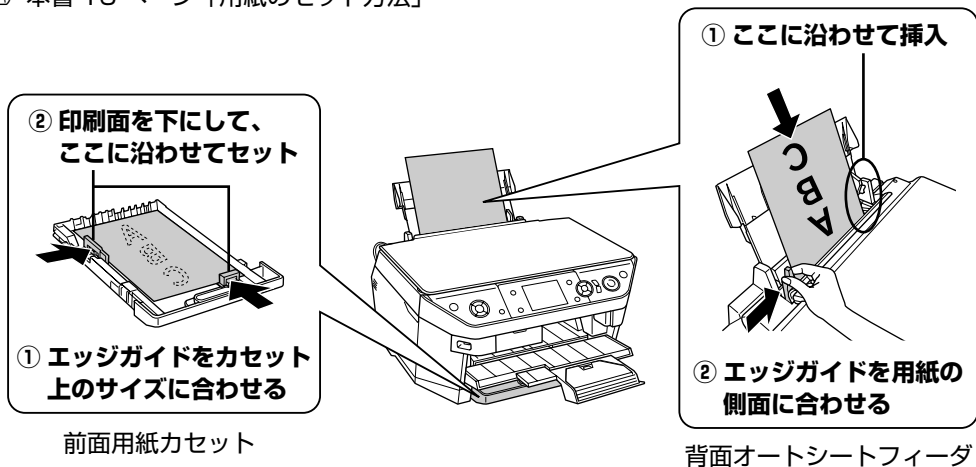
② 印刷面を下にして、ここに沿わせてセット

① エッジガイドをカセット上のサイズに合わせる

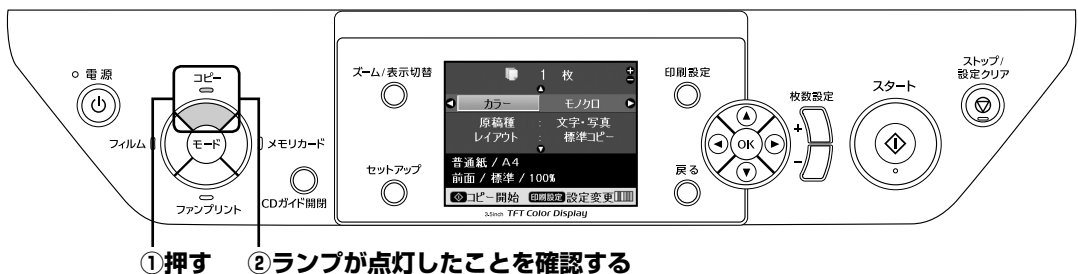
前面用紙カセット

① ここに沿わせて挿入

② エッジガイドを用紙の側面に合わせる

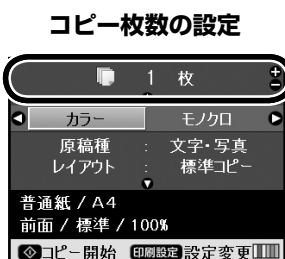
背面オートシートフィーダ

4 操作パネルの【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。

コピーモードのランプが点灯します。

①押す　②ランプが点灯したことを確認する

参考

- コピーモードにならない場合は、もう一度【コピー】ボタンを押してください。電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンが反応しません。
- 液晶ディスプレイが暗くなっているとき（スリープモード時）や、スクリーンセーバ起動中は、【コピー】ボタンを 2 回押してください。

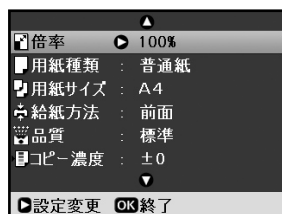
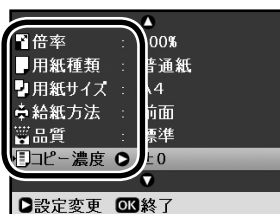
5 コピー枚数を設定します。モノクロでコピーしたい場合は、[モノクロ]に設定します。

必要に応じて、原稿種（[文字] / [文字・写真] / [写真]）、およびレイアウトを設定します。
☞ 本書 43 ページ「コピー設定」

コピー枚数の設定

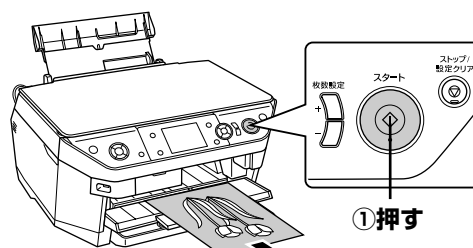
【+】ボタンを押すごとに「2 枚、3 枚、･･･99 枚」と枚数を増やせます。
【−】ボタンを押すと「99 枚、98 枚・・・」と枚数を減らせます。

カラー / モノクロコピーの設定

6 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定を変更します。

用紙の設定は、セットした印刷用紙に合わせてください。[用紙種類] を設定してから [用紙サイズ] を設定します。また、印刷用紙をセットした給紙装置と [給紙方法] の設定が合っていることを確認してください。
☞ 本書 44 ページ「印刷設定」

①【印刷設定】ボタンで設定画面表示

②【▽】か【△】ボタンで項目選択
③【▷】ボタンで設定値表示

④【▽】か【△】ボタンで設定値選択
⑤【OK】ボタンで決定
⑥【OK】ボタンで設定終了

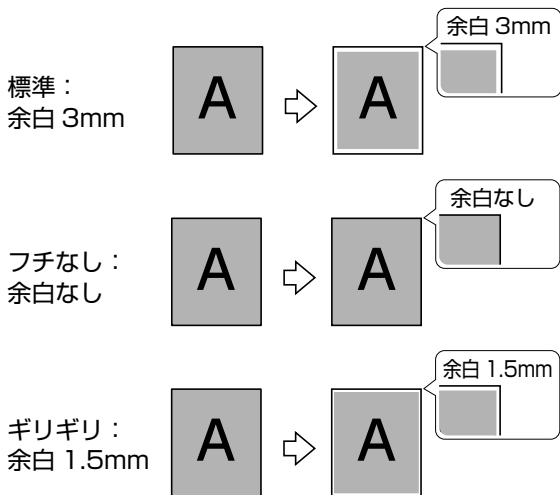
7 【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。

②コピーのできあがり！

- 印刷を途中で止めたい場合は、【ストップ / 設定クリア】ボタンを押してください。
  印刷が中止されるまでには、多少時間がかかる場合があります。

以上で、「コピーの基本手順」の説明は終了です。

コピーの応用手順

余白設定の変更＜標準コピー / フチなしコピー / ギリギリコピー＞

3 種類の余白の設定ができます。

1 **原稿をセットします。**

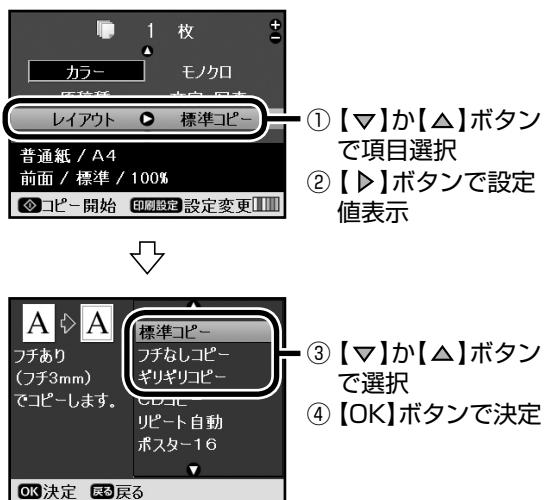
本書 28 ページ「原稿のセット方法」

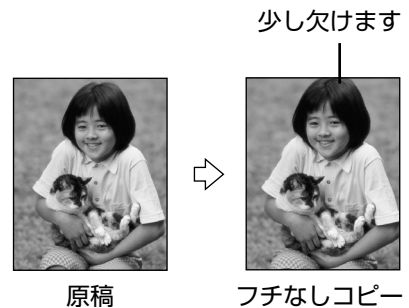
2 **印刷用紙をセットします。**

本書 16 ページ「用紙のセット方法」

3 **【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。**

4 **【+】か【−】ボタンを押して、コピー枚数を設定します。**

5 **レイアウトを［標準コピー］/［フチなしコピー］/［ギリギリコピー］のいずれかに設定します。**

参考

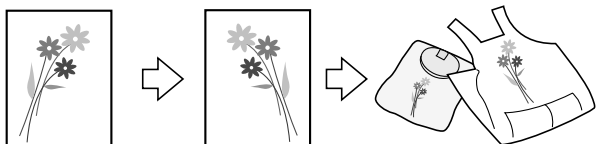
- ［フチなしコ ピー］設定は、原稿を少し拡大し、印刷用紙からはみ出させて印刷することにより、余白をなくします。そのため、原稿の周囲が少し欠けることがあります。欠けが気になる場合は、印刷設定の［フチなし領域調整］で拡大率を調整してください。
  本書 45 ページ「印刷設定」

6 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

本書 44 ページ「印刷設定」

7 **【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。**

以上で、「余白設定の変更＜標準コピー / フチなしコピー / ギリギリコピー＞」の説明は終了です。

左右反転コピー＜ミラーコピー＞

原稿を左右反転してコピーします。
反転コピーしたアイロンプリントペーパーを、アイロンを使って布（綿 100% または綿 50% 以上の混紡）に転写すると、原稿と同じ向きになります。

1 **原稿をセットします。**

本書 28 ページ「原稿のセット方法」

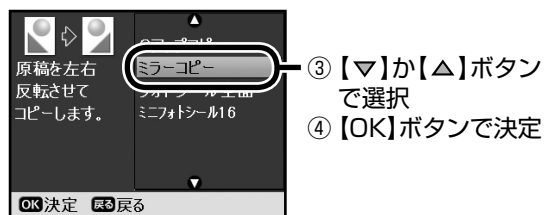
2 **印刷用紙（A4 普通紙またはアイロンプリントペーパー）をセットします。**

アイロンプリントペーパーは 1 枚ずつ、背面オートシートフィーダにセットしてください。
本書 16 ページ「背面オートシートフィーダへの用紙のセット（基本手順）」

3 **【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。**

4 **レイアウトを［ミラーコピー］に設定します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

5 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

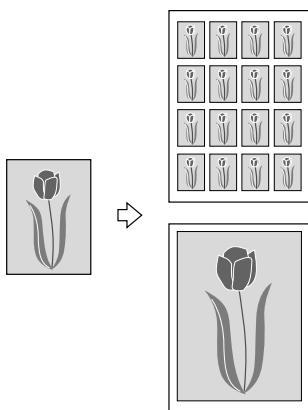
本書 44 ページ「印刷設定」

6 **【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。**

> **参考**
> - アイロンを使って布に転写する方法は、アイロンプリントペーパーの説明書をご覧ください。
> - アイロンプリントペーパーを使った楽しい活用例を、『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）でご案内しています。ぜひ、ご覧ください。
> 本書 106 ページ「活用＋サポートガイドの表示方法」

以上で、「左右反転コピー＜ミラーコピー＞」の説明は終了です。

フォトシールへのコピー

フォトシール用紙（ハガキサイズ）にコピーして、オリジナルシールを作ります。

1 **原稿（ミニフォトシールの場合は L 判サイズ以下）をセットします。**

☞ 本書 28 ページ「原稿のセット方法」

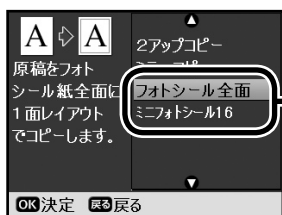
2 **印刷用紙（フォトシール フリーカットまたはミニフォトシール）を 1 枚だけ、背面オートシートフィーダにセットします。**

☞本書 16 ページ「背面オートシートフィーダへの用紙のセット（基本手順）」

3 **【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。**

4 **レイアウトを［フォトシール全面］または［ミニフォトシール 16］に設定します。**

フォトシール フリーカットでは［フォトシール全面］、ミニフォトシールでは［ミニフォトシール 16］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

③ 【▽】か【△】ボタンで選択
④ 【OK】ボタンで決定

5 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

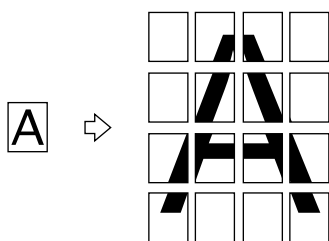
☞ 本書 44 ページ「印刷設定」

6 **【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。**

- ミニフォトシールの印刷位置のズレが気になる場合は、セットアップモードの「CD/シール位置調整」で、印刷位置を微調整できます。
  ☞本書 127 ページ「ミニフォトシールの位置調整」

以上で、「フォトシールへのコピー」の説明は終了です。

ポスターサイズに拡大コピー

原稿をA4サイズの用紙に分割して拡大コピーします。コピー結果を貼り合わせると大判のポスターが完成します。

参考

- 最大コピー倍率は400%です。小さな原稿では、A4サイズの用紙16枚分に拡大されない場合があります。

1 原稿をセットします。

本書28ページ「原稿のセット方法」

2 印刷用紙(A4サイズ)を16枚セットします。

本書16ページ「用紙のセット方法」

3 【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。

4 レイアウトを［ポスター16］に設定します。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

5 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

本書44ページ「印刷設定」

6 【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。

16枚に分割して拡大コピーされます。

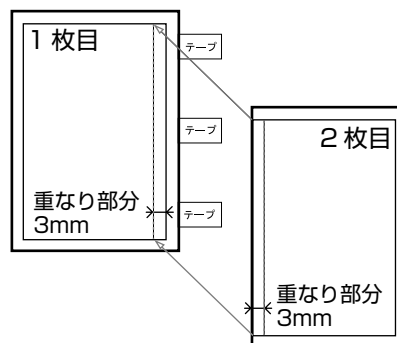
コピー結果の貼り合わせ

コピー結果を貼り合わせて1枚のポスターにする手順を説明します。

1 下図のグレーの部分（用紙の余白）を切り取ります。

コピー結果には、上下左右に3mmの余白があります。貼り合わせるときに不要となる下図の余白（グレーの部分）を切り取ります。

2 1枚目の裏面にテープを付け、2枚目を重ねるように貼り合わせます。

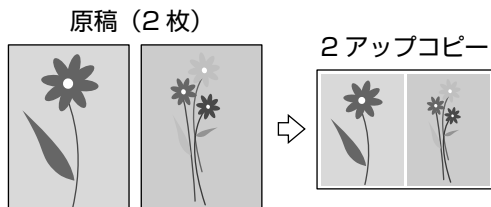
貼り合わせる辺には、重なり部分が3mmずつあります。自然なつながりになるように貼り合わせてください。

3 3枚目以降も同様の手順で貼り合わせます。

以上で、「ポスターサイズに拡大コピー」の説明は終了です。

コピー

用紙の節約　縮小割り付けコピー ＜２アップコピー＞

2 枚の A4 サイズの原稿を、A4 サイズ 1 枚の用紙に縮小割り付けしてコピーします。

原稿（2 枚）

2 アップコピー

1　1 枚目の原稿をセットします。

☞ 本書 28 ページ「原稿のセット方法」

参考

- 原稿の向きとコピー結果（割り付け順序）については以下をご覧ください。

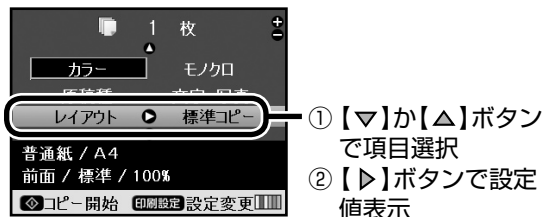
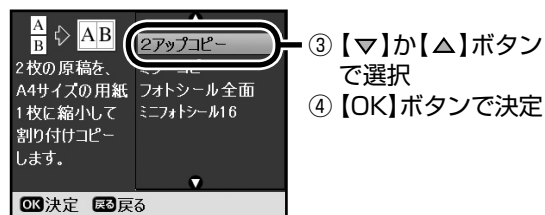
＜縦長原稿の場合＞
原稿の○の部分を原点マークに合わせ、伏せてセットしてください。

＜横長原稿の場合＞
原稿の○の部分を原点マークに合わせ、伏せてセットしてください。

2　印刷用紙（A4 サイズ）をセットします。

☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

3　【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。

4　レイアウトを[2 アップコピー]に設定します。

5　必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

☞ 本書 44 ページ「印刷設定」

6　【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。

1 枚目の原稿のコピーが始まります。

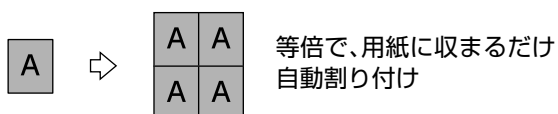
7　「原稿交換」のメッセージが表示されたら、2 枚目の原稿をセットし、【スタート】ボタンを押します。

2 枚目の原稿のコピーが始まり、コピー結果が排出されます。

以上で、「用紙の節約　縮小割り付けコピー＜ 2 アップコピー＞」の説明は終了です。

リピートコピー

用紙サイズに合わせて、原稿を等倍で複数枚割り付けてコピーします。

等倍で、用紙に収まるだけ自動割り付け

参考

- 原稿の最小サイズは 30 × 40mm です。これより小さい原稿をセットすると、A4 サイズの原稿として認識され、リピートコピーできません。

1 **原稿をセットします。**

☞ 本書 28 ページ「原稿のセット方法」

2 **印刷用紙（A4 サイズ）をセットします。**

☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

3 **【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。**

4 **【+】か【−】ボタンを押して、コピー枚数を設定します。**

5 **レイアウトを［リピート自動］に設定します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

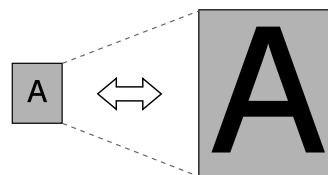
6 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

☞ 本書 44 ページ「印刷設定」

7 **【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。**

以上で、「リピートコピー」の説明は終了です。

拡大 / 縮小してコピー

原稿を拡大 / 縮小してコピーします。

1 **コピーの基本手順に従い、コピー設定をします。**

☞ 本書 30 ページ「コピーの基本手順」手順 1 〜 5

2 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示します。**

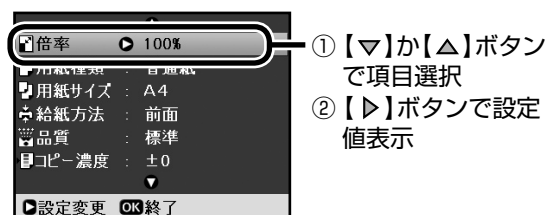
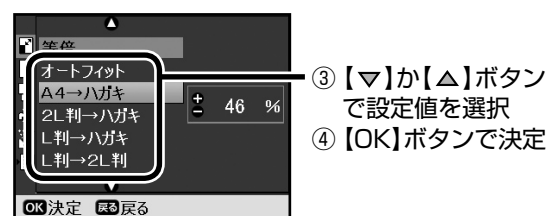
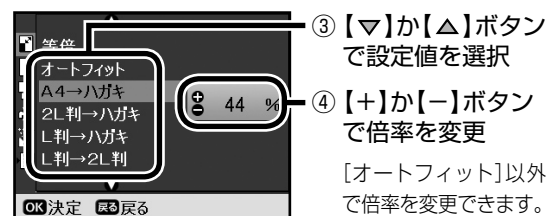
3 **コピー倍率を設定します。**

［オートフィット］に設定すると、セットした原稿のサイズを［用紙サイズ］に合わせて、自動的に拡大 / 縮小してコピーします。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

<定形サイズ→定形サイズ（自動倍率設定）>

③【▽】か【△】ボタンで設定値を選択
④【OK】ボタンで決定

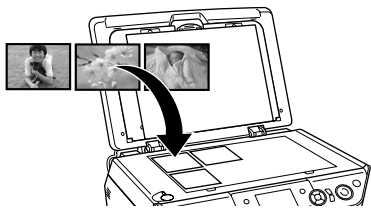
<任意倍率設定>

③【▽】か【△】ボタンで設定値を選択
④【+】か【−】ボタンで倍率を変更
［オートフィット］以外で倍率を変更できます。
⑤【OK】ボタンで決定

4 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して設定を終了します。**

☞ 本書 44 ページ「印刷設定」

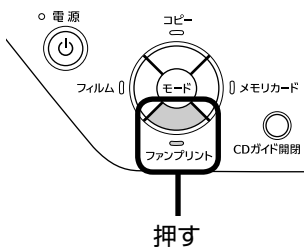
5 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、「拡大 / 縮小してコピー」の説明は終了です。

写真の焼き増し＜写真コピー＞

写真の焼き増し / 引き伸ばしが簡単にできます。また、L 判写真などを複数枚同時にセットし、一度にまとめてコピーすることもできます。

1 **印刷用紙（写真用紙）をセットします。**

本書 16 ページ「用紙のセット方法」

2 **【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。**

3 **メニューの［写真コピー］を選択します。**

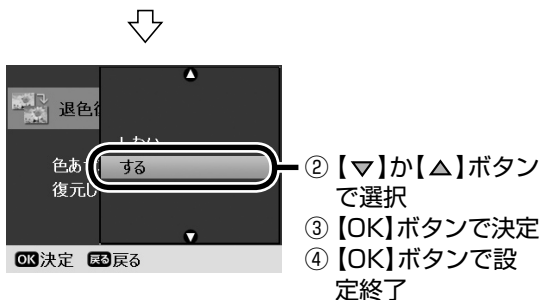
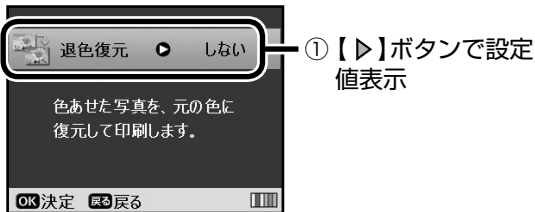
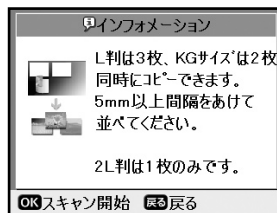
①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

4 **必要に応じて、退色復元の設定をします。**

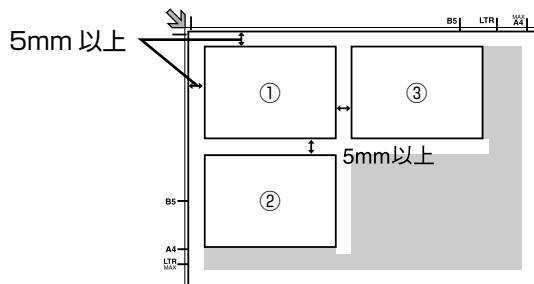
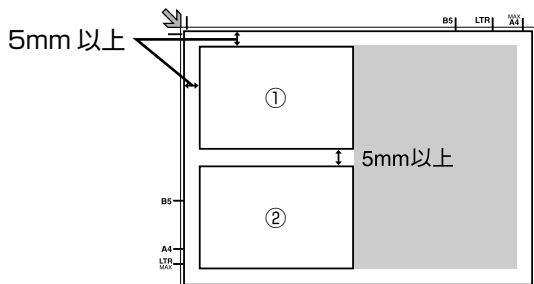
退色復元は、色あせたり変色した写真を、色鮮やかに甦らせることができる機能です。

①【▷】ボタンで設定値表示

⇩

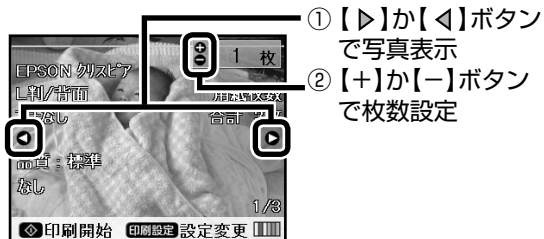
②【▽】か【△】ボタンで選択
③【OK】ボタンで決定
④【OK】ボタンで設定終了

5 **写真原稿をセットし、【OK】ボタンを押してスキャンします。**

①【OK】ボタンでスキャン

原稿は、原点マークから 5mm 以上離して、できるだけ傾かないように横置きでセットしてください。
写真原稿は、L 判 /E 判サイズで 3 枚、KG サイズで 2 枚までまとめてセットできます。
複数枚の原稿をセットするときは、下図の①②③の位置に①→②→③の順番で置いてください。
また、写真の間隔を 5mm 以上あけて並べてください。
2L 判サイズの場合は 1 枚だけセットできます。

L 判 /E 判サイズの場合

KG サイズの場合

※ うまくコピーできなかったときは、1 枚ずつセットしてください。

参考

- スキャンできる写真のサイズは、最小で 30 × 40mm、最大で 127 × 178mm（2L 判）までです。
- 余白（フチ）のある写真や、周囲に白い部分のある写真の場合は、原稿を認識しないことがあります。

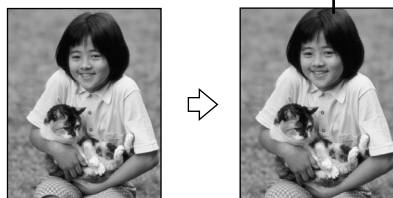
6 **写真ごとに焼き増し枚数を設定します。**

①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【+】か【−】ボタンで枚数設定

7 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

☞本書 44 ページ「印刷設定」
☞本書 45 ページ「ファンプリントモード（写真原稿のコピー）時の印刷設定」

参考

- 通常の設定（レイアウトにフチなしを選択時）では、原稿を少し拡大し、印刷用紙からはみ出させて印刷することにより、余白をなくします。そのため、原稿の周囲が少し欠けることがあります。欠けが気になる場合は、「印刷設定」ではみ出し量を調整してください。
  ☞本書 45 ページ「ファンプリントモード（写真原稿のコピー）時の印刷設定」

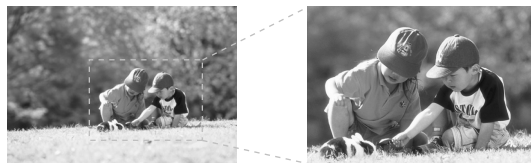
少し欠けます

原稿

フチなしコピー

8 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、「写真の焼き増し<写真コピー>」の説明は終了です。

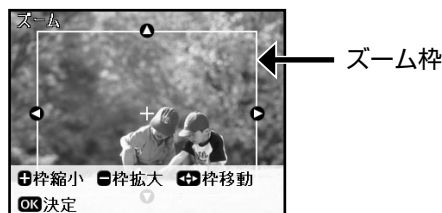
写真をズームアップして焼き増し

写真の一部をズームアップして焼き増しします。

1 **写真の焼き増し<写真コピー>の手順に従い、原稿をスキャンします。**

☞本書 38 ページ「写真の焼き増し<写真コピー>」手順 1 〜手順 5

2 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

☞ 本書 44 ページ「印刷設定」

3 **印刷する写真を表示します。**

4 **【ズーム / 表示切替】ボタンを押します。**

ズーム枠が表示されます。

5 **ズームアップする範囲を設定します。**

ズームアップ設定の詳細および以降の手順については、以下をご覧ください。

☞本書 57 ページ「メモリカードから写真印刷」−「ズームアップして印刷」手順 5 〜 9

参考

- 写真コピーでは、ズーム枠の向きを変更（回転）することはできません。

以上で、「写真をズームアップして焼き増し」の説明は終了です。

コピー

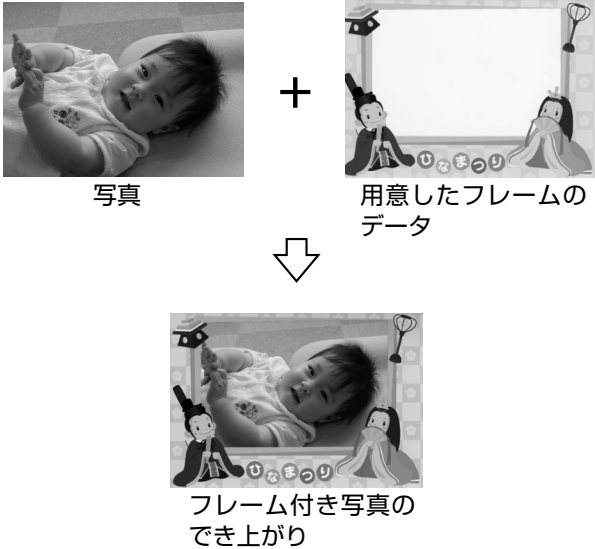
写真にフレームを付けて焼き増し ＜ P.I.F. 印刷＞

あらかじめ用意したフレームを写真に重ね合わせて（合成して）焼き増しします。

写真

＋

用意したフレームのデータ

フレーム付き写真のでき上がり

①フレームデータの準備

フレームデータを準備し、メモリカードに保存します。

☞本書 71 ページ「①フレームデータをメモリカードに保存」

②写真の焼き増し

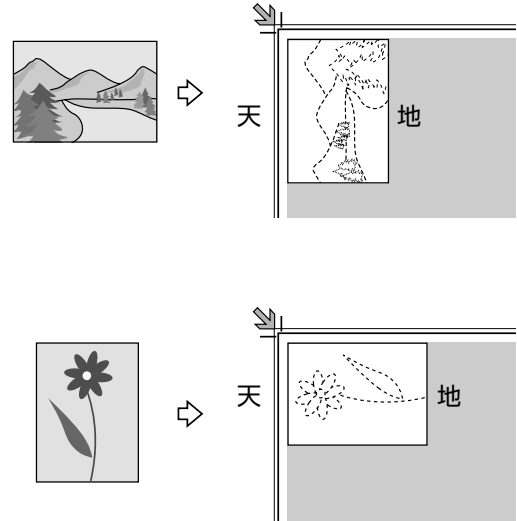
1 フレームデータが保存されているメモリカードをセットします。

☞ 本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

2 写真コピーの手順に従い、写真コピーのメニューに入ります。

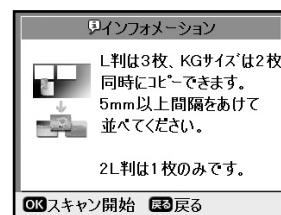
☞本書 38 ページ「写真の焼き増し<写真コピー>」手順 1 ～ 4

3 写真原稿をセットします。

横長写真の場合は縦置きで、縦長写真の場合は横置きで、1 枚だけセットしてください。

参考

- 原稿は原点マークから 5mm 以上離してセットしてください。
- 原稿のサイズは 2L 判まで可能です。
  A4/ 六切 / ハイビジョンサイズの原稿には対応していません。

4 【OK】ボタンを押して、写真をスキャンします。

画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。

① 【OK】ボタンでスキャン

5 スキャンされた写真を確認します。

参考

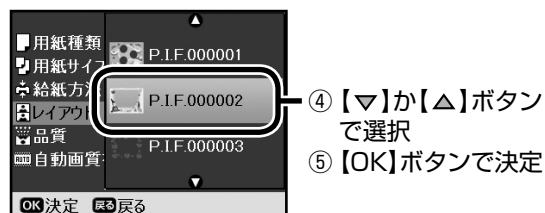
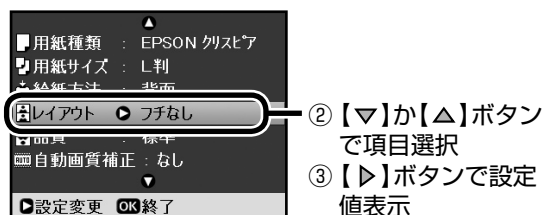
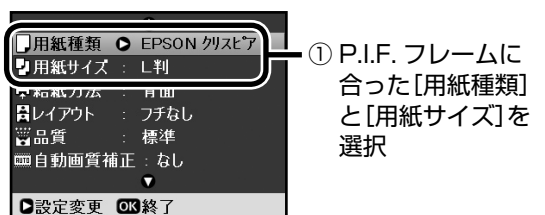
- 写真の一部をズームアップすることもできます。
  ☞本書 39 ページ「写真をズームアップして焼き増し」

6 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示し、［レイアウト］で P.I.F. フレームを選択します。

P.I.F. フレームは L 判用、ハガキ用など、対応用紙サイズが決まっています。対応用紙サイズはメモリカードに保存する際にご確認ください。［用紙種類］と［用紙サイズ］の組み合わせによって、それに対応した P.I.F. フレームが表示されます。

① P.I.F. フレームに合った[用紙種類]と[用紙サイズ]を選択

②【▽】か【△】ボタンで項目選択
③【▷】ボタンで設定値表示

④【▽】か【△】ボタンで選択
⑤【OK】ボタンで決定

7 必要に応じて他の項目も設定し【OK】ボタンを押して、設定を終了します。

☞ 本書 44 ページ「印刷設定」

- フチなしの P.I.F. フレームを使用する場合でも、［フチなし領域調整］の設定は反映されません。

8 焼き増し枚数を設定します。

①【+】か【−】ボタンで枚数設定

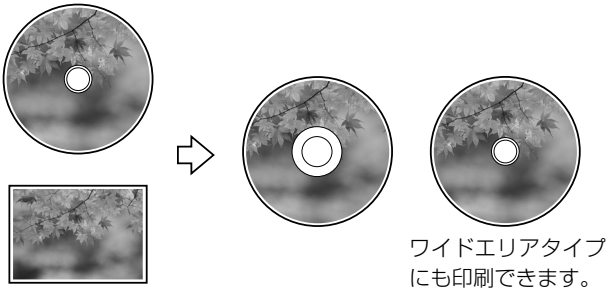
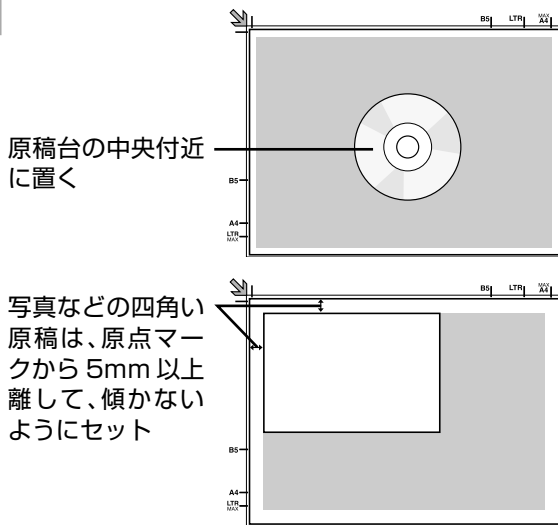
9 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、「写真にフレームを付けて焼き増し< P.I.F. 印刷>」の説明は終了です。

コピー

CD レーベルへのコピー

CD レーベルから CD レーベルへのコピーはもちろん、写真などの四角い原稿も CD レーベルにレイアウトして印刷します。

ワイドエリアタイプにも印刷できます。

1 原稿をセットします。

参考

- 原稿台にゴミや汚れがあると正しくスキャンできないことがあります。原稿台に汚れがない状態で原稿をセットしてください。
- 四角い原稿の場合は、原稿の中心から読み取れる最大の正方形領域がスキャンされます。印刷時は、スキャンした正方形領域を CD/DVD サイズに拡大 / 縮小し、ドーナツ状にくり抜いて印刷します。

2 12cm CD/DVD をセットします。

☞ 本書 24 ページ「CD/DVD のセット方法」

3 【コピー】ボタンを押して、コピーモードにします。

4 レイアウトを［CD コピー］に設定します。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

5 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

☞ 本書 44 ページ「印刷設定」

- 12cm CD/DVD レーベルの内径 / 外径調整により、印刷領域を広げることができます（ワイドエリアタイプに対応）。
  ☞ 本書 45 ページ「CD 外径内径調整」
- CD/DVD レーベルにコピーするときは、用紙種類を［CD/DVD レーベル］に設定してください。なお、用紙種類を［普通紙］に設定すると、試し印刷ができます。その場合は、CD/DVD を取り出して CD/DVD ガイドを通常の印刷位置に戻してから、背面オートシートフィーダまたは前面用紙カセットに A4 サイズの普通紙をセットしてください。
  ☞本書 25 ページ「CD/DVD の取り出し方法」
  ☞本書 16 ページ「用紙のセット方法」

6 【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。

- 印刷位置がずれる場合は、セットアップモードの［CD/ シール位置調整］で、印刷位置を微調整できます。
  ☞本書 126 ページ「CD/DVD レーベルの位置調整」

7 コピーが終了したことを確認し、CD/DVD を取り出します。

☞ 本書 25 ページ「CD/DVD の取り出し方法」

以上で、「CD レーベルへのコピー」の説明は終了です。

設定項目の詳細

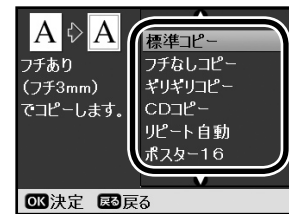
コピーモードで設定できる項目と設定値について説明します。

コピー設定

コピー色の設定

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】か【◁】ボタンで設定値選択

原稿種 / レイアウトの設定

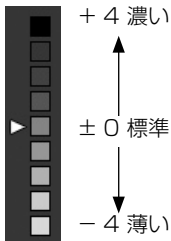
① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

③ 【▽】か【△】ボタンで設定値選択
④ 【OK】ボタンで決定

参考

- ［文字］/［文字・写真］/［写真］の原稿種ごとに、コピー設定の情報を保持します。

設定項目	設定値の詳細
枚数 コピー枚数を設定します。	1 ～ 99 枚 ※コピー終了後は「1 枚」の設定に戻ります。 ※レイアウトを［ポスター 16］、［2 アップコピー］、［CD コピー］に設定した場合は、「1 枚」に固定となります。
コピー色 原稿をカラーかモノクロでコピーします。	カラー ：カラーコピー モノクロ ：モノクロコピー
原稿種 原稿の種類に合わせた最適な設定で、コピーします。	文字 ：文字が多い原稿に最適な設定（文字の印刷品質重視）でコピーします。 文字・写真 ：文字と画像の両方が含まれている原稿に最適な設定でコピーします。 写真 ：写真に最適な設定（写真の印刷品質重視）でコピーします。
レイアウト 原稿をさまざまなレイアウト（配置）でコピーします。	☞ 本書 27 ページ「いろいろなコピー」 標準コピー ：余白 3mm でコピー フチなしコピー ：余白なしで全面コピー ギリギリコピー ：余白 1.5mm でコピー CD コピー ：CD/DVD レーベルにコピー リピート自動 ：用紙サイズに合わせて、等倍で複数枚割り付けコピー ポスター 16 ：原稿を 16 倍に拡大してポスターサイズコピー 2 アップコピー ：2 枚の原稿を A4 サイズの用紙に割り付けてコピー ミラーコピー ：アイロンプリントペーパーに左右反転コピー フォトシール全面 ：フォトシール フリーカット用紙に全面コピー ミニフォトシール 16：ミニフォトシール用紙に 16 面付けでコピー

印刷設定

①【印刷設定】ボタンで設定画面表示

②【▽】か【△】ボタンで項目選択
③【▷】ボタンで設定値表示

④【▽】か【△】ボタンで設定値選択
⑤【OK】ボタンで決定
⑥【OK】ボタンで設定終了

- 設定値の組み合わせによっては、表示されない（設定できない）項目や設定値があります。

設定項目	設定値の詳細
倍率 原稿を拡大 / 縮小してコピーします。	等倍 ： 原稿と同じサイズでコピー オートフィット ： 設定されている［用紙サイズ］に合わせて、自動的に拡大 / 縮小コピー ※［用紙サイズ］の設定に対して、拡大率が 400%以上になる場合は 400%、縮小率が 25%以下になる場合は 25%で印刷します。 A4 →ハガキ（46%）、2L 判→ハガキ（76%）、L 判→ハガキ（110%）、L 判→ 2L 判（139%）、2L 判→ A4（165%）、ハガキ→ A4（201%）、L 判→ A4（235%） ：［標準コピー］レイアウトの場合は（ ）内の倍率でコピーします。 L 判→ハガキ上半分 ：［フチなしコピー］レイアウトの場合のみ設定可能。L 判の原稿を 88%に縮小し、ハガキの半分にレイアウトして印刷します。 ※［オートフィット］以外の設定時に【+】か【−】ボタンを押すと、25 ～ 400%の間で任意の倍率を設定できます。 本書 37 ページ「拡大 / 縮小してコピー」
用紙種類 セットした用紙の種類に設定を合わせると、きれいにコピーできます。	普通紙 ： 両面上質普通紙<再生紙>、事務用普通紙 EPSON クリスピア ： 写真用紙クリスピア<高光沢> 写真用紙 ： 写真用紙<光沢>、写真用紙<絹目調> 写真用紙エントリー ： 写真用紙エントリー<光沢> フォトマット紙 ： フォトマット紙 スーパーファイン紙 ： スーパーファイン紙、スーパーファイン専用ラベルシート 郵便光沢ハガキ ： 郵便光沢ハガキ（写真用）の通信面 郵便 IJ ハガキ ： 郵便ハガキ（インクジェット紙）の通信面、スーパーファイン専用ハガキの通信面 郵便ハガキ ： 郵便ハガキ（再生紙）、ハガキの宛名面 CD/DVD レーベル ： 12cm CD/DVD のレーベル面 フォトシール全面 ： フォトシール フリーカット ミニフォトシール 16 ： ミニフォトシール アイロンペーパー ： アイロンプリントペーパー
用紙サイズ セットした用紙のサイズを設定します。	A4、L 判、2L 判、ハガキ、KG サイズ、カード、B5、CD/DVD
給紙方法 給紙装置を設定します。	前面 ：前面用紙カセットから給紙します。 背面 ：背面オートシートフィーダから給紙します。 CD-R：CD/DVD ガイドから給紙します。
品質 コピー品質を設定します。	エコノミー、速い、標準、きれい ※ エコノミー <速い< 標準 < きれい の順にコピー品質が高くなりますが、印刷速度は遅くなります。

設定項目	設定値の詳細
コピー濃度 コピーの濃さを調整します。	＋４ 濃い ±０ 標準 －４ 薄い
フチなし領域調整 フチなしコピー設定時の拡大率を調整します。	標準 ： フチなし標準の拡大率でコピーします。フチが完全になくなります。 少ない ： フチなし標準より少なめの拡大率でコピーします。フチが出ることがあります。 より少ない ： フチなしギリギリの拡大率でコピーします。フチが出ることがあります。
CD 外径内径調整 12cm CD/DVD レーベルの印刷領域を調整します（ワイドエリアタイプに対応）。	外径 ： 114 mm が標準です。114 ～ 120 mm まで 1mm 刻みで調整できます。 内径 ： 46 mm が標準です。18 ～ 46 mm まで 1mm 刻みで調整できます。 外径 ◀▶ 114mm 標準 内径 ▼▲ 46mm 標準 OK 確定 戻る 戻る ①【▷】か【◁】ボタンで外径調整 ②【△】か【▽】ボタンで内径調整 ③【OK】ボタンで決定 ④【OK】ボタンで設定終了

ファンプリントモード（写真原稿のコピー）時の印刷設定

設定項目	設定値の詳細
用紙種類	EPSON クリスピア、写真用紙、写真用紙エントリー、フォトマット紙 ☞ 本書 44 ページ
用紙サイズ	L 判、2L 判、ハガキ、カード、KG サイズ、A4
給紙方法	前面、背面
レイアウト	フチなし、フチあり
品質	標準（固定）
自動画質補正	オートフォトファイン !EX、なし ☞ 本書 77 ページ ※［なし］に設定すると、［赤目補正］の設定は［しない］になります。
フチなし領域調整	☞ 上表
フィルタ	なし、モノクロ
赤目補正	しない、する ☞ 本書 77 ページ ※［する］に設定すると、［自動画質補正］の設定は［オートフォトファイン !EX］になります。

いろいろなメモリカード印刷

写真プリント

■**レイアウト設定**
フチなし / フチあり、上半分や多面付けなどで印刷

☞54 ページ

■**日付印刷**
写真データに記録されている撮影日を入れて印刷

☞56 ページ

■**ズーム印刷**
写真の一部をズームアップして印刷

☞57 ページ

■**赤目補正して印刷**
写真の赤目を補正して印刷

☞56 ページ

■**動画印刷**
動画を切り出して印刷

☞73、74 ページ

バラエティ用紙・CD/DVD に印刷

■**CD/DVD レーベル**
12cm の CD/DVD レーベルに直接印刷

☞58 ページ

■**CD お試し**
A4 普通紙にお試し印刷

☞58 ページ

■**CD/DVD ジャケット**
A4 用紙にジャケット印刷

☞59 ページ

■**フォトシール印刷**
シール用紙に印刷

☞60 ページ

■**アイロンプリント**
アイロンプリントペーパーに左右反転して印刷

☞60 ページ

■**名刺 / カード印刷**
名刺サイズやキャッシュカードサイズなどの、小さいサイズの用紙に印刷

☞60 ページ

写真に文字やフレームを合成してプリント

■**手書き合成シート**
手書きの文字やイラストを合成してプリント

☞64 ページ

■**携帯電話で文字入力**
携帯電話で入力した文字を合成してプリント

☞68 ページ

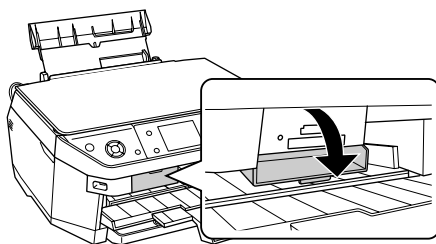
■**P.I.F. 印刷**
写真にフレームを付けて印刷

☞71 ページ

メモリカードのセット方法

使用できるメモリカードについては、以下をご覧ください。
☞ 本書 169 ページ「対応メモリカード」

1 電源をオンにし、メモリカードスロットカバーを開けます。

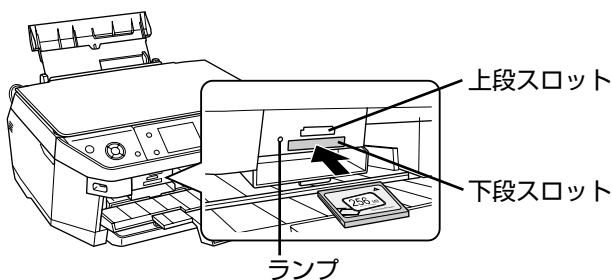
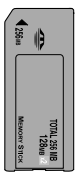
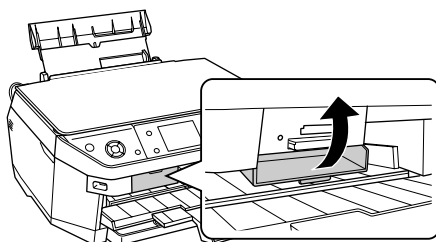
メモリカードスロットカバーは止まるところまでしっかりと押し下げてください。

2 メモリカードを 1 枚だけ挿入します。

メモリカードの種類によって挿入するスロットが異なります。お使いのメモリカードとスロットの位置を確認してください。メモリカードが正常に挿入されるとメモリカードスロットランプが点灯します。
☞ 本書 49 ページ「メモリカードの種類とセット位置」

!注意

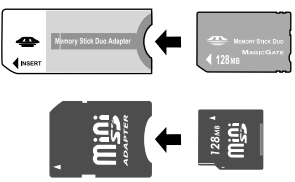
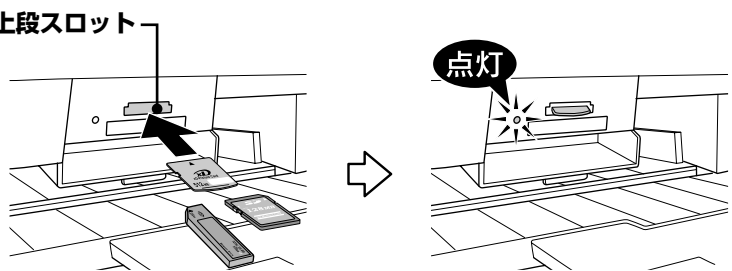
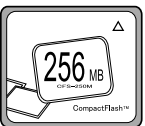
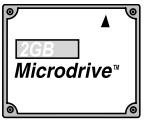
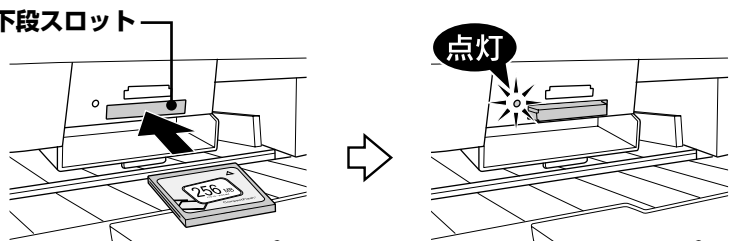
- ランプが点滅しているとき（通信中）は、メモリカードを絶対に取り出さないでください。メモリカードに保存されているデータが壊れるおそれがあります。

参考

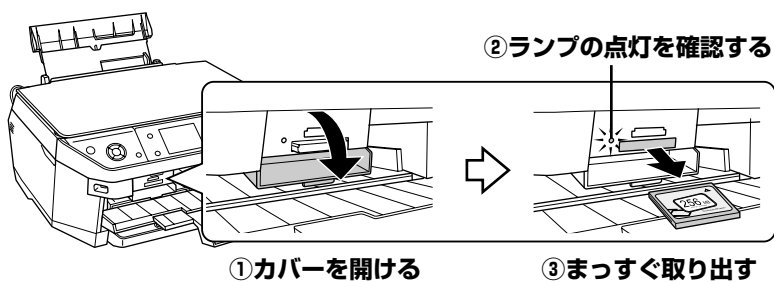
- 複数のメモリカードを一度にセットしないでください。複数のメモリカードを同時にセットすると、目的のメモリカード（印刷したいデータが保存されているメモリカード）が認識されない場合があります。

3 メモリカードスロットカバーを閉じます。

カバーを閉じないと、メモリカードを通して伝わる静電気により、本製品が誤作動する場合があります。

メモリカードの種類とセット位置

- xD-Picture Card ™
- xD-Picture Card ™ Type M
- xD-Picture Card ™ Type H

- メモリースティック
- メモリースティック PRO
- マジックゲート メモリースティック

- SD メモリーカード
- SDHC メモリーカード
- マルチメディアカード

- メモリースティック Duo *1
- メモリースティック PRO Duo *1
- マジックゲート メモリースティック Duo *1

- miniSD カード*1
- miniSDHC カード*1
- microSD カード*1
- microSDHC カード*1

＊1：各カードの専用アダプタにカードを差し込んでから、本製品のスロットに差し込んでください。

- コンパクトフラッシュ
- マイクロドライブ

メモリカードの取り出し方法

取り出し方は、上段スロット / 下段スロットともに同じです。

以上で、「メモリカードのセット方法」の説明は終了です。

メモリカード印刷の基本手順

写真を選んで印刷

1 メモリカードの種類と挿入位置を確認して、メモリカードをセットします。

☞ 本書 169 ページ「対応メモリカード」
☞ 本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

2 印刷用紙をセットします。

☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

② 印刷面を下にして、ここに沿わせてセット

① エッジガイドをカセット上のサイズに合わせる

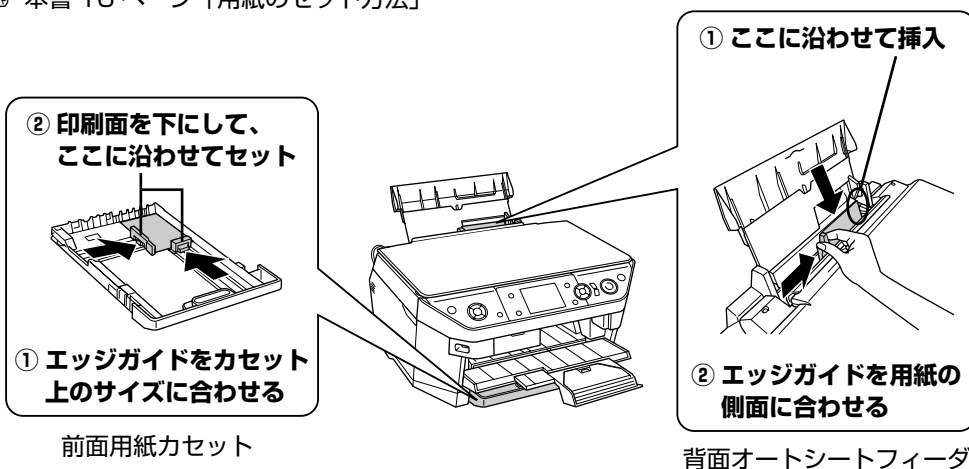
前面用紙カセット

① ここに沿わせて挿入

② エッジガイドを用紙の側面に合わせる

背面オートシートフィーダ

3 操作パネルの【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。

参考

- メモリカードモードにならない場合は、もう一度【メモリカード】ボタンを押してください。電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンが反応しません。
- 液晶ディスプレイが暗くなっているとき（スリープモード時）や、スクリーンセーバ起動中は、【メモリカード】ボタンを 2 回押してください。

4 メニューの［選んで印刷］を選択します。

5 印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。

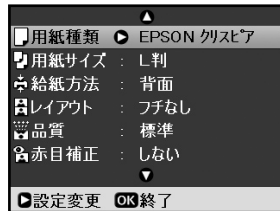
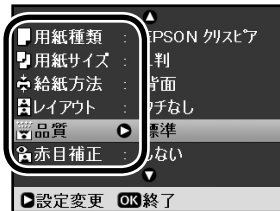
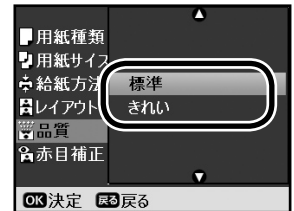
写真を1つだけ選択する場合は、①と②の手順のみになります。
複数の写真を選択する場合は、①～④の手順を繰り返してください。

①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【+】か【−】ボタンで枚数設定

③【▷】か【◁】ボタンで次の写真を表示
④【+】か【−】ボタンで枚数設定

6 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定を変更します。

用紙の設定は、セットした印刷用紙に合わせてください。［用紙種類］を設定してから［用紙サイズ］を設定します。また、印刷用紙をセットした給紙装置と［給紙方法］の設定が合っていることを確認してください。

☞ 本書 76 ページ「印刷設定」

① 【印刷設定】ボタンで設定画面表示

② 【▽】か【△】ボタンで項目選択
③ 【▷】ボタンで設定値表示

④ 【▽】か【△】ボタンで設定値選択
⑤ 【OK】ボタンで決定
⑥ 【OK】ボタンで設定終了

7 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

8 印刷が終了したら、メモリカードを取り出します。

ランプが点滅していないこと（点灯していること）を確認して、取り出します。

☞ 本書 49 ページ「メモリカードの取り出し方法」

以上で、「メモリカード印刷の基本手順」の説明は終了です。

メモリカード印刷の応用手順

メモリカードからの印刷メニュー

メモリカード内の写真を印刷するには、以下の方法（メニュー）があります。

■メモリカードモード

- すべて印刷 本書 52 ページ
- 選んで印刷 本書 50 ページ
- 日付選択印刷 本書 53 ページ
- オーダーシート 本書 61 ページ
- CD/DVD 印刷 本書 58 ページ
- スライドショー 本書 75 ページ
- スキャンしてメモリカードに保存 本書 100 ページ

■ファンプリントモード

- 手書き合成シート 本書 64 ページ
- ケータイで文字入力 本書 68 ページ
- 動画印刷 本書 73、74 ページ

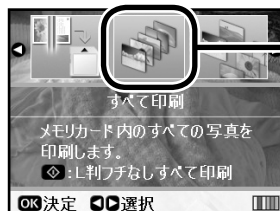
すべての写真を印刷

メモリカード内のすべての写真を、一括して印刷します。

1 **メモリカードをセットします。**
本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

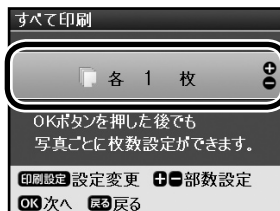
2 **印刷用紙をセットします。**
本書 16 ページ「用紙のセット方法」

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **メニューの［すべて印刷］を選択します。**

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

参考

- 上記画面で【スタート】ボタンを押すと、本製品が記憶している印刷設定に関わらず、以下の設定ですべての写真を印刷します。
  用紙種類　：EPSON クリスピア
  用紙サイズ：L 判
  給紙方法　：背面
  レイアウト：フチなし

5 **印刷部数を設定します。**

① 【+】か【-】ボタンで各何枚印刷するかを設定

参考

- 【OK】ボタンを押すと、写真ごとに印刷枚数を設定できます。

6 **【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**
本書 76 ページ「印刷設定」

7 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、「すべての写真を印刷」の説明は終了です。

日付で写真を選んで印刷

特定の撮影日から写真を選んで印刷します。
運動会や遠足など、イベントがあった日の写真を選ぶ場合などに便利です。

1 **メモリカードをセットします。**

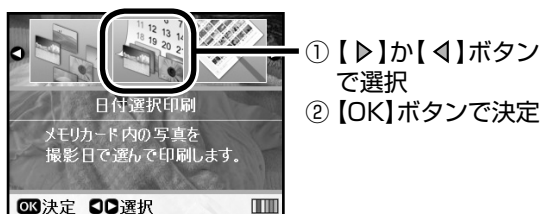
☞ 本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **印刷用紙をセットします。**

☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **メニューの［日付選択印刷］を選択します。**

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

5 **日付を選択します。**

日付を複数選択するときは、①と②の手順を繰り返し、最後に【OK】ボタンを押します。

① 【▽】か【△】ボタンで日付選択

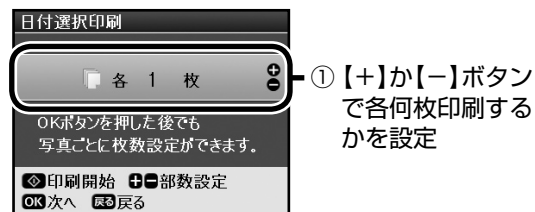
② 【▷】か【◁】ボタンでチェック(☑)を付ける

もう一度押すとチェックを外せます。

③ 【OK】ボタンで決定

- パソコンで保存し直した写真データは、保存日で表示されることがあります。

6 **印刷部数を設定します。**

① 【＋】か【－】ボタンで各何枚印刷するかを設定

- 【OK】ボタンを押すと、写真ごとに印刷枚数を設定できます。

7 **【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

☞ 本書 76 ページ「印刷設定」

8 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、「日付で写真を選んで印刷」の説明は終了です。

用紙と余白を設定して印刷

セットした用紙の種類 / サイズを設定したり、余白を設定して印刷します。

フチなし

フチあり

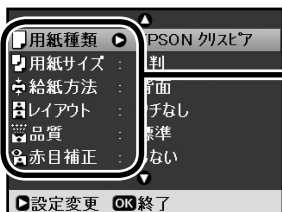
上半分

1 **メモリカード印刷の基本手順に従い、メモリカードモードのメニューを選択します。**

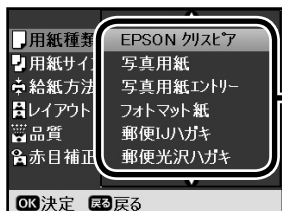
☞本書 50 ページ「メモリカード印刷の基本手順」手順 1 〜 4

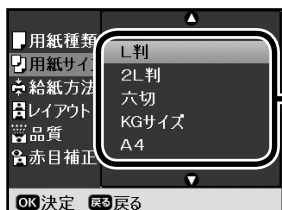
2 **印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。**

☞本書 75 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

3 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示し、設定する項目を選択します。**

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

4 **［用紙種類］/［用紙サイズ］/［レイアウト］の設定値を選択します。**

用紙種類［写真用紙］/［ミニフォトシール］などの場合

① 【▽】か【△】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

用紙サイズ［L 判］/［ハガキ］などの場合

レイアウト(余白)［フチなし］/［フチあり］などの場合

① 【▽】か【△】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

- ［フチなし］設定は、写真を少し拡大し、印刷用紙からはみ出させて印刷することにより、余白をなくします。そのため、写真の周囲が少し欠けることがあります。欠けが気になる場合は、印刷設定の［フチなし領域調整］で拡大率を調整してください。
  ☞ 本書 77 ページ「印刷設定」

少し欠けます

写真データ

フチなしプリント

5 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

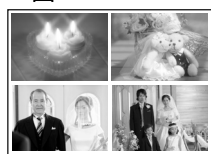
6 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、「用紙と余白を設定して印刷」の説明は終了です。

複数の写真を割り付けて印刷

1 枚の用紙に 2 面以上の面付けレイアウトで印刷します。

2 面

4 面

8 面

20 面

80 面
（インデックス）

参考

- ミニフォトシールに印刷するときは、用紙種類を［ミニフォトシール 16］に設定すると、ハガキサイズ /16 面のレイアウトになります。
  ☞本書 60 ページ「バラエティ用紙（名刺 / カード / アイロン / シール）に印刷」

1 **メモリカード印刷の基本手順に従い、メモリカードモードのメニューを選択します。**

☞本書 50 ページ「メモリカード印刷の基本手順」手順 1 〜 4

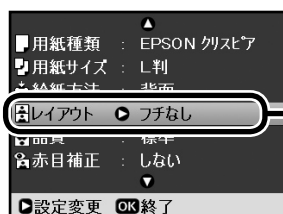
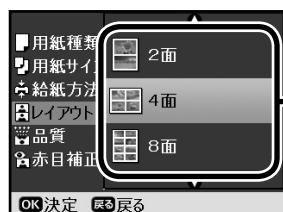
2 **印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。**

☞本書 75 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

3 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示します。**

4 **［レイアウト］の設定値を選択します。**

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

⇩

③ 【▽】か【△】ボタンで選択
④ 【OK】ボタンで決定

5 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

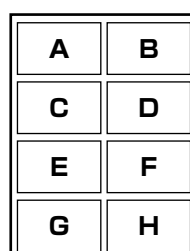
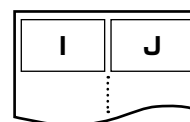
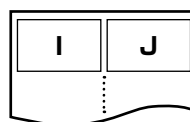
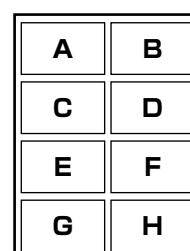
6 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

参考

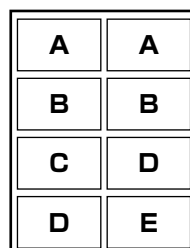
- メニューの［すべて印刷］や［日付選択印刷］で、印刷部数設定画面（本書 52 ページ 手順 5、53 ページ 手順 6）から印刷すると、下図のように印刷されます。

  <例>
  すべての写真を 2 部、8 面レイアウトで印刷

  1 部

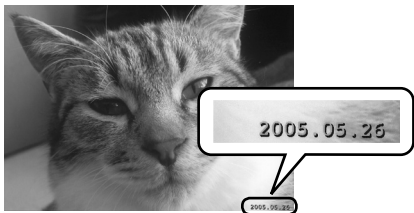
A	B
C	D
E	F
G	H

  2 部

  ただし、写真選択画面へ移行して印刷したときや、メニューの［選んで印刷］から印刷したときは、下図のような順番で印刷されます。

  <例>
  8 面レイアウトで、写真の枚数を以下のように設定

A	A
B	B
C	D
D	E

  写真 A・B を 2 枚ずつ
  写真 C を 1 枚
  写真 D を 2 枚
  写真 E を 1 枚

以上で、「複数の写真を割り付けて印刷」の説明は終了です。

日付を入れて印刷

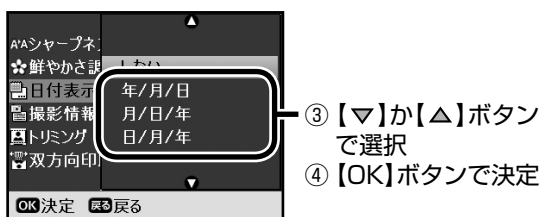
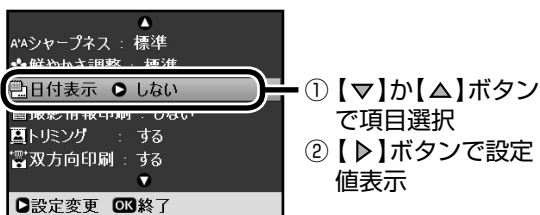
写真データに記録されている撮影日を入れて印刷します。

1 **メモリカード印刷の基本手順に従い、メモリカードモードのメニューを選択します。**

☞本書 50 ページ「メモリカード印刷の基本手順」手順 1 ～ 4

2 **印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。**

☞本書 75 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

3 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示します。**

4 **［日付表示］の設定値を選択します。**

年 / 月 / 日	例 : 2006.10.21
月 / 日 / 年	例 : Oct.21.2006
日 / 月 / 年	例 : 21.Oct.2006

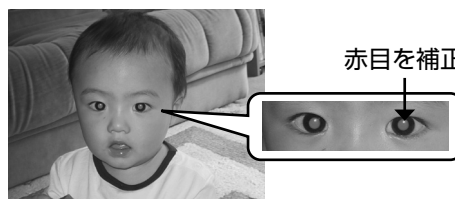
5 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

☞ 本書 76 ページ「印刷設定」

6 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、「日付を入れて印刷」の説明は終了です。

赤目補正して印刷

赤目（カメラのフラッシュによって、人物の目の色が赤色に撮影される現象）を修正して印刷します。

参考

- 画像によっては赤目以外の部分が補正されることがあります。

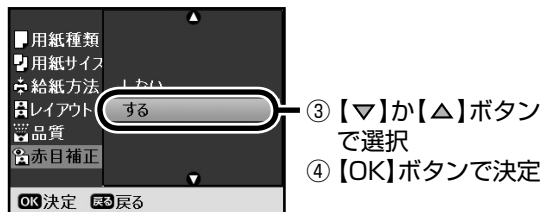
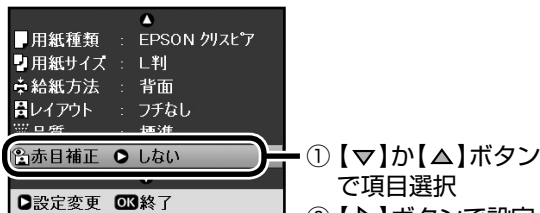
1 **メモリカード印刷の基本手順に従い、メモリカードモードのメニューを選択します。**

☞本書 50 ページ「メモリカード印刷の基本手順」手順 1 ～ 4

2 **印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。**

☞本書 75 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

3 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示します。**

4 **赤目補正を［する］に設定します。**

5 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

☞ 本書 76 ページ「印刷設定」

6 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、「赤目補正して印刷」の説明は終了です。

ズームアップして印刷

写真の一部をズームアップして印刷します。

1 **メモリカード印刷の基本手順に従い、メモリカードモードのメニューを選択します。**

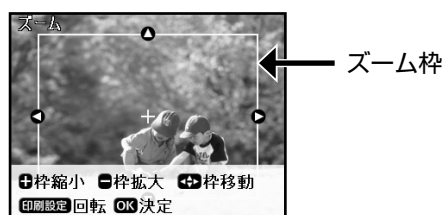
本書 50 ページ「メモリカード印刷の基本手順」手順 1 〜 4

2 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

本書 76 ページ「印刷設定」

3 **印刷する写真を表示します。**

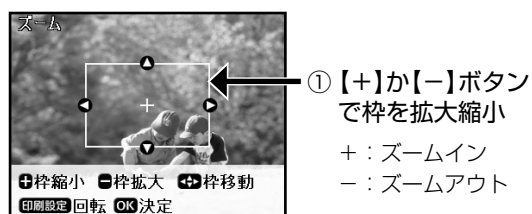
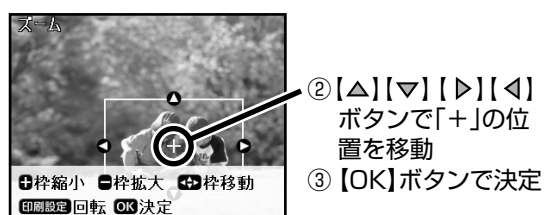
4 **【ズーム / 表示切替】ボタンを押します。**

ズーム枠が表示されます。

参考

- 枠の縦向き / 横向きを変更（回転）するときは、【印刷設定】ボタンを押します。

5 **ズームアップする範囲を設定します。**

ズーム倍率は0.25 刻みで3倍まで設定できます。

① 【+】か【−】ボタンで枠を拡大縮小
＋：ズームイン
−：ズームアウト

②【△】【▽】【▷】【◁】ボタンで「+」の位置を移動
③ 【OK】ボタンで決定

6 **ズーム結果を確認します。**

① 【OK】ボタンで決定
設定し直す場合は【戻る】ボタンを押します。

7 **印刷枚数を設定します。**

① 【+】か【−】ボタンで枚数決定

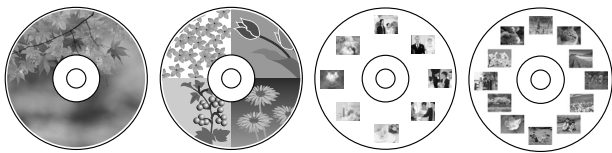
8 **複数の写真をズームアップして印刷する場合は、手順 3 〜 7 を繰り返します。**

9 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、「ズームアップして印刷」の説明は終了です。

CD/DVD レーベルに印刷

写真を CD/DVD のレーベル面に直接印刷します。

1 面　　4 面　　8 面　　12 面

1 **メモリカードをセットします。**

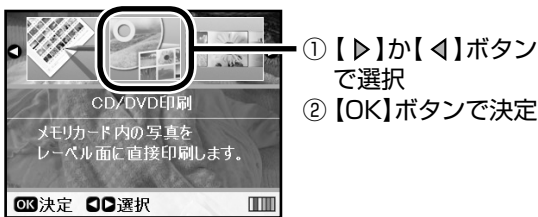
本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **12cm の CD/DVD をセットします。**

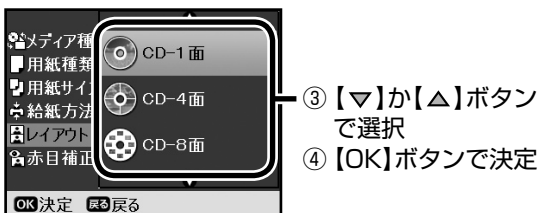
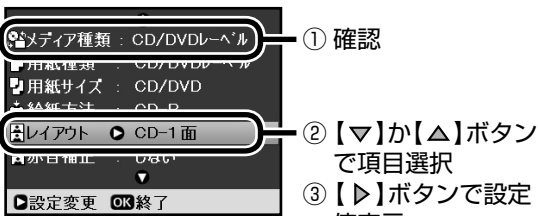
本書 24 ページ「CD/DVD のセット方法」

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **メニューの［CD/DVD 印刷］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

5 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示します。**

6 **メディア種類が［CD/DVD レーベル］になっていることを確認して、レイアウトを選択します。**

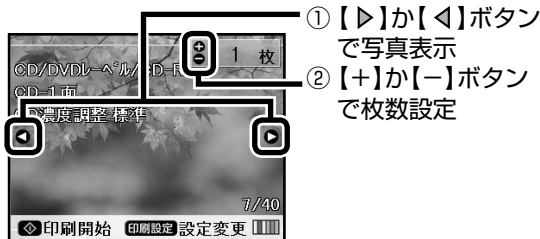
1 面 /4 面 /8 面 /12 面のレイアウトが選択できます。

7 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

本書 78 ページ「CD/DVD 印刷時の印刷設定」

- 用紙種類を［普通紙］に設定すると、A4 サイズの普通紙に事前に試し印刷をすることができます。その場合は、CD/DVD を取り出して CD/DVD ガイドを通常の印刷位置に戻してから、背面オートシートフィーダまたは前面用紙カセットに A4 普通紙をセットしてください。
  本書 16 ページ「用紙のセット方法」

8 **印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。**

設定したレイアウトの面付け数を超えないように、写真を選択してください。

①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【+】か【−】ボタンで枚数設定

9 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

参考

- 印刷位置がずれる場合は、セットアップモードの［CD/ シール位置調整］で、印刷位置を微調整できます。
  本書 126 ページ「CD/DVD レーベルの位置調整」
- 12cm CD/DVD レーベルの内径 / 外径調整により、印刷領域を広げることができます（ワイドエリアタイプに対応）。
  本書 78 ページ「CD 外径内径調整」

10 **印刷が終了したら、【ストップ / 設定クリア】ボタンを押して、CD/DVD トレイごと引き抜き CD/DVD を取り出します。**

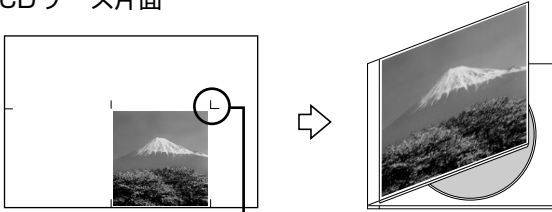
続けてもう 1 枚印刷する場合は、CD/DVD をセットし直し、「もう 1 枚印刷しますか？」のメッセージ画面で【スタート】ボタンを押してください。

11 **【CD ガイド開閉】ボタンを押して、CD/DVD ガイドを通常の印刷位置に戻します。**

以上で、「CD/DVD レーベルに印刷」の説明は終了です。

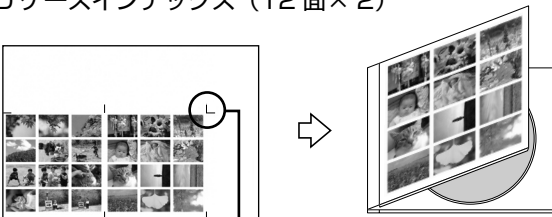
CD ケース用ジャケット印刷

A4 サイズの用紙に、CD ケースのサイズにレイアウトして印刷します。切り取りガイドに沿って切り取ると、CD ジャケットになります。

CD ケース片面

切り取りガイド

CD ケースインデックス（12 面× 2）

切り取りガイド

1 メモリカードをセットします。

☞ 本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

2 印刷用紙（A4 サイズ）をセットします。

☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

3 【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。

4 メニューの［CD/DVD 印刷］を選択します。

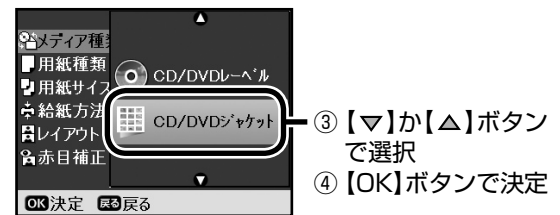
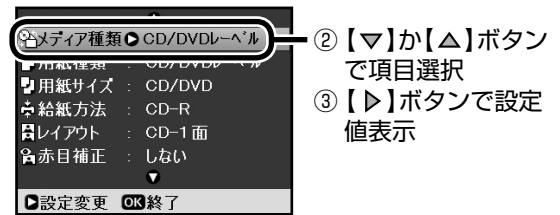
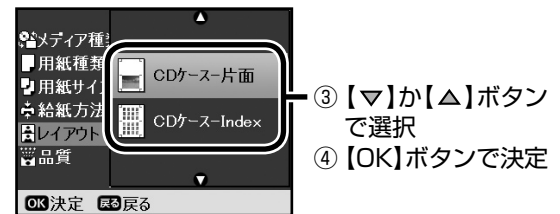
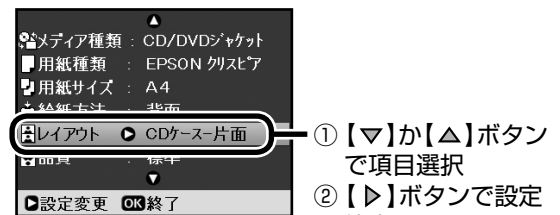
① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

5 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示します。

6 メディア種類を［CD/DVD ジャケット］に設定します。

③ 【▽】か【△】ボタンで選択
④ 【OK】ボタンで決定

7 レイアウトを選択します。

③ 【▽】か【△】ボタンで選択
④ 【OK】ボタンで決定

8 必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。

☞ 本書 78 ページ「CD/DVD 印刷時の印刷設定」

9 印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。

☞本書 75 ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

10 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

11 印刷結果を切り取りガイドに沿って切り取ります。

以上で、「CD ケース用ジャケット印刷」の説明は終了です。

バラエティ用紙（名刺 / カード / アイロン / シール）に印刷

用紙の設定を変更することで、ミニフォトシールやアイロンプリントペーパーなどのいろいろな用紙に、最適な設定で印刷することができます。

1 **メモリカード印刷の基本手順に従い、メモリカードモードのメニューを選択します。**

☞本書 50 ページ「メモリカード印刷の基本手順」手順 1 ～ 4

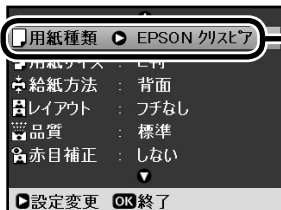
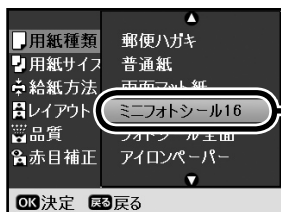
!注意

- 名刺 / カードサイズの用紙、アイロンプリントペーパー、ミニフォトシール、フォトシール フリーカットは、背面オートシートフィーダにセットしてください。

2 **印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。**

☞本書75ページ「写真の表示切替と枚数設定方法」

3 **【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定画面を表示します。**

4 **用紙の設定をします。**

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

③ 【▽】か【△】ボタンで選択
④ 【OK】ボタンで決定

■名刺サイズの用紙に印刷する場合

用紙種類　：両面マット紙
用紙サイズ：名刺（固定）

■カードサイズの用紙に印刷する場合

用紙種類　：写真用紙
用紙サイズ：カード

参考

- 携帯電話を使用して、写真に文字を合成して印刷することもできます。
☞本書 68 ページ「写真に携帯電話で入力した文字を合成して印刷」

■アイロンプリントペーパーに印刷する場合

用紙種類　：アイロンペーパー
用紙サイズ：A4（固定）

写真データ

反転して印刷

アイロンで転写

- アイロンを使って布に転写する方法は、アイロンプリントペーパーの説明書をご覧ください。

■シールに印刷する場合

用紙種類　：ミニフォトシール 16/ フォトシール全面
用紙サイズ：ハガキ（固定）

参考

- ミニフォトシールのレイアウトについて

写真を複数枚選択した場合、選択された写真が、設定枚数分ずつ順番に 16 面付け(レイアウト)されます。合計枚数が 16 枚未満の場合は余白ができます。

写真を 1 枚だけ選択した場合（合計枚数が 1 枚の場合）は、同じ写真が 16 個印刷されます。

5 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

6 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、「バラエティ用紙（名刺 / カード / アイロン / シール）に印刷」の説明は終了です。

参考

- 『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）でバラエティ用紙を使った楽しい活用例をご案内しています。ぜひご覧ください。
☞本書 106 ページ「活用＋サポートガイドの表示方法」

マークシート方式で簡単印刷 ＜オーダーシート印刷＞

操作パネルで写真の選択や印刷設定をせずに、オーダーシート（写真プリント注文用紙）に手書きでマークを付けるだけで、簡単に写真プリントができます。

①オーダーシートを印刷

1 **メモリカードをセットします。**

本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **A4 サイズの普通紙（オーダーシート印刷用）を前面用紙カセットにセットします。**

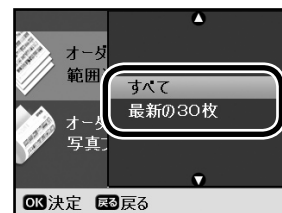
本書 17 ページ「前面用紙カセットへの用紙のセット（基本手順）」

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **メニューの［オーダーシート］を選択します。**

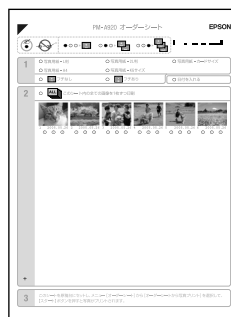
① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

5 **［オーダーシートを印刷］を選択し、設定値を選択します。**

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

③ 【▽】か【△】ボタンで選択
④ 【OK】ボタンで決定
⑤ 【OK】ボタンで確認

設定項目	設定値	
範囲選択	すべて	メモリカード内のすべての写真を印刷します。
	最新の 30 枚	ファイル名順（ASCII コード順）に並べられた写真の 1 枚目から 30 枚目までを印刷します。
	最新の 60 枚	ファイル名順（ASCII コード順）に並べられた写真の 1 枚目から 60 枚目までを印刷します。
	最新の 90 枚	ファイル名順（ASCII コード順）に並べられた写真の 1 枚目から 90 枚目までを印刷します。

※ メモリカードに保存されている写真の枚数によって、表示される設定値は異なります。

6 **【スタート】ボタンを押して、オーダーシートを印刷します。**

参考

- オーダーシートを印刷した後は、写真プリントが終了するまで、メモリカードの内容を変更したり、別のメモリカードに差し替えたりしないでください。

②オーダーシートに記入して写真プリント

1 印刷用紙と印刷したい写真を選択して、オーダーシートにマークを付けます。

マークは、HB などの濃い鉛筆か濃い色のペンを使用し、しっかりと塗りつぶしてください。

正しい記入例 ●

悪い記入例

①用紙を 1 種類選択
[フチなし]/[フチあり]の選択、および[日付を入れる]を指定することもできます。

②写真を選択
各写真の印刷枚数は 3 枚まで設定できます。すべての写真を 1 枚ずつ印刷する場合は、[ALL] にマークを付けてください。

参考

- オーダーシートに対応した写真用紙は以下の通りです。
  - ・写真用紙クリスピア<高光沢>
  - ・写真用紙<光沢>
  - ・写真用紙エントリー<光沢>
  - ・写真用紙<絹目調>

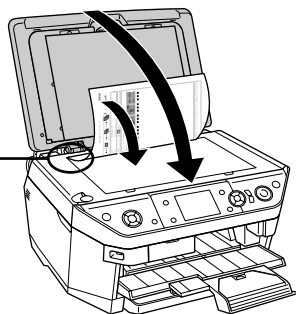
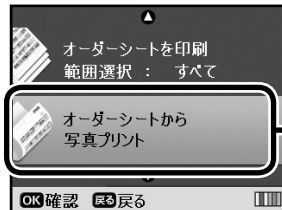
2 印刷用紙を背面オートシートフィーダにセットします。

手順 1 で選択した用紙をセットします。

☞本書 16 ページ「背面オートシートフィーダへの用紙のセット（基本手順）」

3 オーダーシートを原稿台にセットします。

図の向きでセットし、原稿カバーを閉じます。

オーダーシートの▼マークを、原稿台の ⇘ マークに合わせる

4 ［オーダーシートから写真プリント］を選択します。

5 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

オーダーシートにマークした写真が印刷されます。

以上で、「マークシート方式で簡単印刷 <オーダーシート印刷 >」の説明は終了です。

デジタルカメラで指定した写真を印刷< DPOF 印刷>

デジタルカメラ側で「印刷する写真」や「枚数」を指定することができます。指定した写真を印刷する場合は、以下の手順に従ってください。

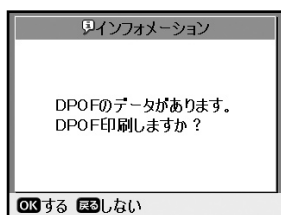
参考
- 本製品が対応している DPOF（ディーポフ）のバージョンは、Ver1.10 です。
- お使いのデジタルカメラによっては、印刷写真指定機能(DPOF)の呼び方が異なる場合があります。詳しくは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

1 DPOF 情報の入ったメモリカードをセットします。

☞ 本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

2 印刷用紙をセットします。

☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

3 表示された画面を確認して、【OK】ボタンを押します。

① 【OK】ボタンで決定

参考
- DPOF 情報の入った写真データがない場合は、メッセージ画面は表示されません（DPOF 印刷はできません）。

4 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

☞ 本書 76 ページ「印刷設定」

参考
- DPOF では、印刷タイプ（通常印刷 / インデックス印刷）と印刷する写真の指定ができます。通常印刷の場合には、印刷枚数も指定できます。これ以外の項目については、本製品の設定で印刷されます。

5 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

DPOF 情報と印刷設定に従って印刷されます。

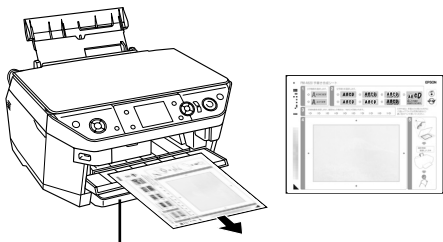
参考
- デジタルカメラでインデックス印刷を指定した場合は、コマ番号なしのインデックス印刷のレイアウト（20 面 /80 面など）で印刷されます。なお、カラー印刷のみの対応となります。
- デジタルカメラでインデックス印刷と通常印刷の両方を指定した場合は、指定されている順番に従って両方を順番に処理します。

以上で、「デジタルカメラで指定した写真を印刷 <DPOF 印刷 >」の説明は終了です。

手書きの文字やイラストを合成して印刷＜手書き合成シート＞

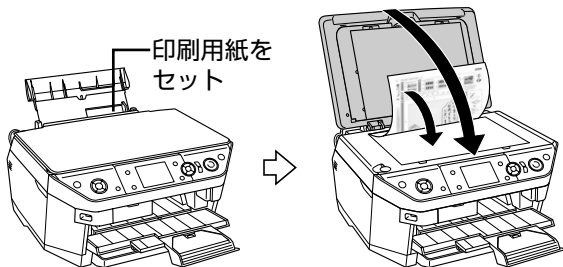
メモリカード内の写真に、手書きの文字やイラストを合成して印刷します。

作業の流れ

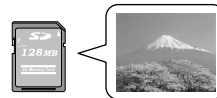
①手書き合成シートの作成（印刷）

A4 普通紙をセットして、手書き合成シートを印刷

※シートを別途購入する必要はありません。

②手書き合成シートに記入

③合成シートをスキャンして合成写真プリント

楽しい合成写真プリントのできあがり！

用意するもの

- 合成したい写真の入ったメモリカード（1 枚）
  ☞ 本書 49 ページ「メモリカードの種類とセット位置」

- ペンなどの筆記用具
  ※ いろいろな色が使えますが、淡い色や金色などのペン、蛍光塗料を使ったペンなどは不向きです。

- A4 普通紙（手書き合成シート印刷用）

- 印刷用紙
  ※ 手書き合成印刷に対応している用紙は以下の通りです。
  - L 判サイズの写真用紙
  - ハガキ
  - フォトシール フリーカット
  - ミニフォトシール

①手書き合成シートの印刷

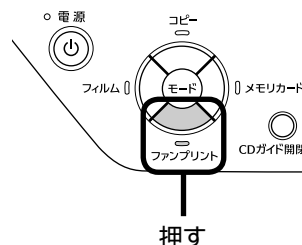
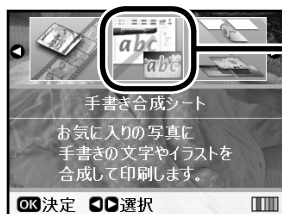
1 メモリカードをセットします。

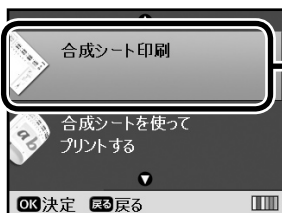
☞ 本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

2 A4 サイズの普通紙（手書き合成シート印刷用）を前面用紙カセットにセットします。

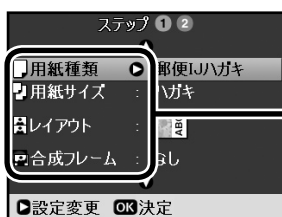
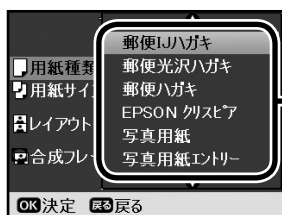
☞本書 17 ページ「前面用紙カセットへの用紙のセット（基本手順）」

- 手書き合成シートに使用する用紙は、両面に汚れ（異物）のないことを確認してください。合成時に用紙の汚れ（異物）が手書きデータとして認識される場合があります。

3 【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。

4 メニューの[手書き合成シート]を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

5 [合成シート印刷] を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

6 合成写真をプリントする用紙と、合成方法をあらかじめ設定しておきます。

手書きの文字やイラストを合成した写真をプリントするための項目を設定します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

③ 【▽】か【△】ボタンで選択
④ 【OK】ボタンで決定
⑤ 【OK】ボタンで設定終了

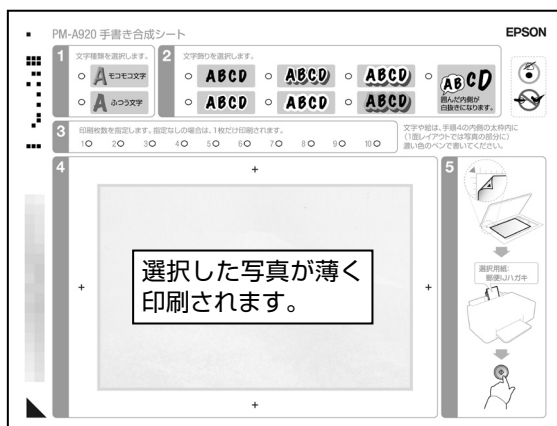
選択できる合成フレームやレイアウトの種類は、用紙種類 / 用紙サイズの設定によって異なります。下表①～④の順番で設定してください。

①	用紙種類	合成写真をプリントする用紙種類を設定します。
②	用紙サイズ	[ハガキ]、[L 判] のいずれかから、合成写真をプリントする用紙サイズを選択します。
③	レイアウト	合成する写真をどのように配置するかを設定します。
④	合成フレーム	[楕円] に設定すると、合成する写真を楕円形にプリントします。[楕円ぼかし] に設定すると楕円のフチをぼかします。

※【印刷設定】ボタンを押すと、このほかの項目も設定できます。
☞ 本書 76 ページ「印刷設定」

7 合成する写真を 1 つだけ選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで写真表示

8 【スタート】ボタンを押して、手書き合成シートを印刷します。

参考

- 手書き合成シートを印刷した後は、合成写真プリントが終了するまで、メモリカードの内容を変更したり、別のメモリカードに差し替えたりしないでください。

②手書き合成シートに記入

1 印刷された「手書き合成シート」上の手順 1 で、文字種類を選択します。

HB などの濃い鉛筆か濃い色のペンで、○をしっかりと塗りつぶしてください。

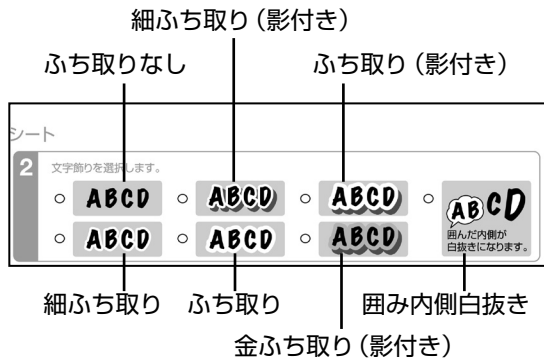
手書きした文字や絵を立体的な質感（タッチ）で合成

手書きした文字や絵をそのままの質感（タッチ）で合成

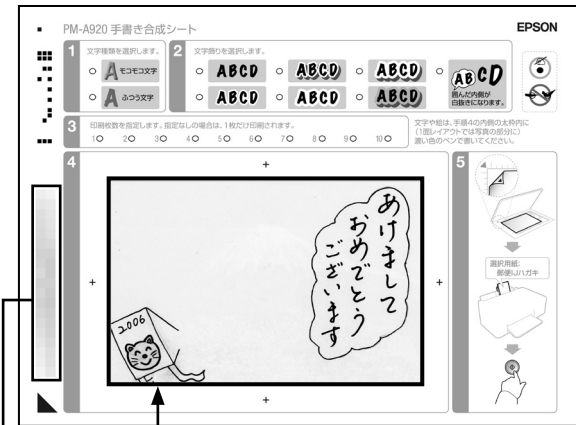
つづく

メモリカードから写真プリント

2 「手書き合成シート」上の手順 2 で、手書きの文字飾りを 1 つだけ選択します（マークをつけます）。

ＨＢなどの濃い鉛筆か濃い色のペンで、○をしっかりと塗りつぶしてください。

3 「手書き合成シート」上の手順 3 で、印刷枚数を指定します（マークを付けます）。

HB などの濃い鉛筆か濃い色のペンで、○をしっかりと塗りつぶしてください。

4 「手書き合成シート」上の手順 4 の手書きエリアに、文字や絵などを書きます。

手書きエリア
太線の内側に、文字や絵を手書きしてください。モコモコ文字を選択している場合は、太いペン（2mm 以上）を使うとより効果的です。

この部分を汚さないでください。

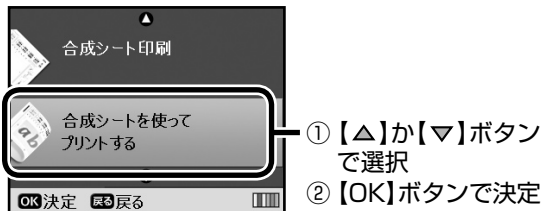
参考

- 文字や絵は、かすれにくい筆記用具を使って、濃くはっきりと書いてください。ボールペンやシャープペンシルなどによる細い文字、クレヨンや色鉛筆などによるかすれた文字、蛍光ペンなどの蛍光塗料で書かれた文字は、正常に合成されないことがあります。
- シールやステッカーを貼ることもできます。ただし、背景が白や淡い色の場合は、正常に合成されないことがあります。
- 手書きエリアより一回り大きなエリア全体が、設定した用紙サイズ（L 判 / ハガキ）に合わせて自動的に拡大 / 縮小され、印刷されます。
- 手書きエリアの外側に書かれた文字や絵は、印刷されません。

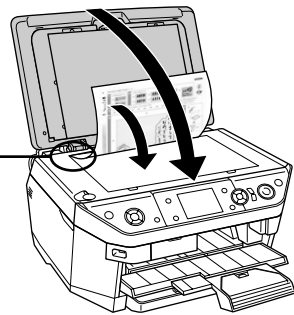
③合成シートをスキャンして合成写真プリント

1 印刷用紙を背面オートシートフィーダにセットします。

セットする用紙は、「手書き合成シート」上の手順 5 で確認してください。

2 ［合成シートを使ってプリントする］を選択します。

3 手書き合成シートを原稿台にセットします。

手書き文字が乾いていることを確認してから、図の向きでセットし、原稿カバーを閉じます。

合成シートの▼マークを、原稿台のマークに合わせる

4 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

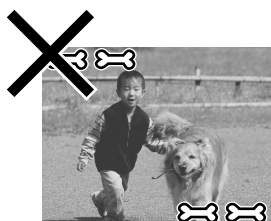
合成結果が印刷されます。

以上で、「手書きの文字やイラストを合成して印刷<手書き合成シート>」の説明は終了です。

こんなときは

- **手書きエリアのフチまで書いたのに、写真のフチに印刷されない（思ったより内側に入ってしまう）。**

手書きエリアの枠線は、写真のフチを表しているのではありません。手書きエリアに書いた内容は、写真のフチよりも内側に印刷されます。
機能の仕様上、写真のフチまで手書きの内容を入れることはできません。

手書きエリアの端に書いた文字やイラストは、このように写真の少し内側に合成されます。

このように、周辺ぎりぎりに文字やイラストを入れることはできません。

- **文字や絵がかすれて、きれいに印刷されない。**

手書きエリアの文字や絵は、書かれている文字や線の輪郭から形や範囲が認識されます。このため、線が細かったりかすれたりしていると、正しく認識されません。また、手書きエリアに印刷されている写真と同じような色（淡い色）のペンを使用すると、正しく認識されません。
文字や絵がかすれたり切れたりしてきれいに合成できないときは、太いペンや濃い色のペンなどを使用して、できるだけ太く、はっきりと書いてください。

- **絵の一部が欠けてしまう。**

手書き合成は、文字や線の部分のみ、または線の周囲ギリギリの部分を切り抜くため、線が途切れたり離れたりしている絵には不向きです。
絵を合成する場合は、絵を囲む（線をつなげる）ようにして、文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定すると、絵全体が切り抜かれてうまく合成することができます。

破線部分が切り抜かれます。

- **文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定すると、文字の一部まで白抜きになってしまう。**

「囲み内側白抜き」の機能の仕様です。

対処法（A）

文字飾りを「ふち取り」に設定して、絵の中（顔の部分）が透過しないように塗り潰してください。

対処法（B）

文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定して、文字全体を線で囲んでください。

- **用紙の汚れ（異物）が合成されてしまった。**

修正液（修正シール）などで汚れを消して、もう一度印刷をお試しください。

- **手書きの内容が等倍（100%）で印刷されない。**

手書きエリアや印刷エリアは、印刷される領域の実寸を表示していません。書き込んだ内容は、用紙のサイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小されますので、等倍にはなりません。

- **手書きした文字がにじんでしまう。**

手書き合成シートを印刷した直後は、まだインクが十分に乾燥していません。乾燥していないシートに水性ペンなどで文字を書き込むと、文字がにじんでしまうことがあります。手書き合成シートを十分に乾燥させてから、文字を書き込んでください。

- **手書きエリアの画像に位置を合わせて文字を書いたのに、合成結果がずれてしまう。**

手書きエリアの画像は位置合わせの目安になりますが、合成結果とぴったり一致するものではありません。
また、手書き合成シートのスキャン時にシートが傾いてセットされていると、合成結果が大きくずれることがあります。

写真に携帯電話で入力した文字を合成して印刷

携帯電話*1 の赤外線通信で文字を送信し、メモリカード内の写真に文字を入れて印刷することができます。

＊ 1：アドレス帳 (vCard) / メモ (vNote) のデータを、赤外線で送信できる機能が付いた携帯電話

横長写真

縦長写真

※ 写真を印刷せずに、文字だけを決められた位置に印刷することもできます。

1 メモリカードをセットします。

☞ 本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

携帯電話の写真を使用する場合や、写真を印刷しない場合は、メモリカードは必要ありません。

2 印刷用紙をセットします。

☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

3 【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。

4 メニューの［ケータイで文字入力］を選択します。

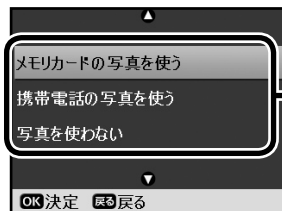
①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

5 レイアウトを選択します。

ハガキ / カード /L 判 /KG サイズのそれぞれ縦と横のレイアウトを設定できます。
［ハガキ宛名面］はここでは選択しないでください。次ページの「携帯電話の電話帳からハガキに宛名印刷」でのみ選択します。
文字は最大 2 箇所まで入れることができます。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

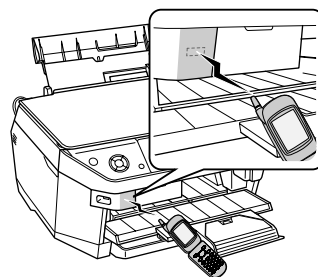
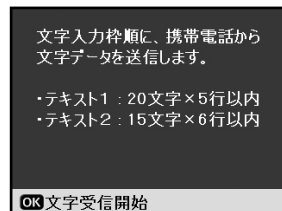
6 メモリカードと携帯電話、どちらの写真を使用するかを選択します。

写真を印刷しない場合は［写真を使わない］を選択し、手順 8 へ進みます。

7 印刷する写真を 1 つだけ選択します。

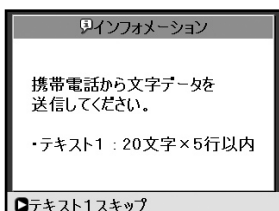
■メモリカードの写真の場合

①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【OK】ボタンで決定

■携帯電話の写真の場合

本製品の画面の指示に従い、携帯電話で写真を選択してデータを送信します。
携帯電話の赤外線ポートを、本製品の赤外線ポートに向けて（20cm 以内に近づけて）、送信してください。

8 文字数を確認し、【OK】ボタンを押します。

① 文字数確認
レイアウトによって異なります。
②【OK】ボタンを押す

9 **文字入力枠（テキスト 1/ テキスト 2）ごとに、携帯電話で文字を入力し、本製品の赤外線ポートに向けてデータを送信します。**

文字は、携帯電話のメモ帳（vNote）で入力してください。
文字入力を行わない場合は、【▷】ボタンを押して、次へ進みます。

携帯電話からの受信が完了すると、本製品に受信完了のメッセージが表示され、手順 10 の画面に変わります。

10 **印刷枚数を設定します。**

複数枚の設定にすると、通常のメモリカード印刷に比べて印刷時間が長くなります。

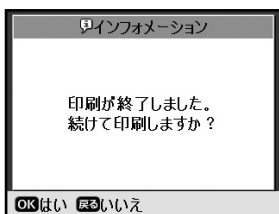
① 【+】か【−】ボタンで枚数設定

11 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

手順 10 の画面に表示されている設定内容を変更することができます。
テキスト（文字）の色は、黒 / 赤 / 青 / 黄色 / 水色 / ピンク / オレンジ / 紫 / 白を設定できます。
画像回転は、なし / 右に 90 度 / 左に 90 度 /180 度を設定できます。

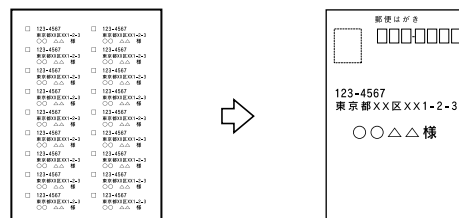
12 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

13 **同じ合成写真をもう一度印刷する場合は、【OK】ボタンを押します。**

手順 10 の画面に戻ります。
終了する場合は、【戻る】ボタンを押してください。

以上で、「写真に携帯電話で入力した文字を合成して印刷」の説明は終了です。

携帯電話の電話帳からハガキに宛名印刷

携帯電話の赤外線通信で電話帳（vCard）を送信し、ハガキに宛名印刷することができます。
※ ハガキの郵便番号欄に郵便番号を印刷することはできません。

電話帳データ

1 **【ファンプリント】ボタンを押して、ファンプリントモードにします。**

2 **メニューの［ケータイで文字入力］を選択します。**

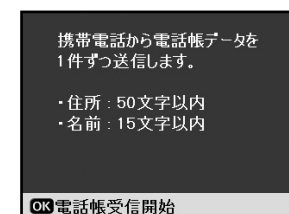
① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

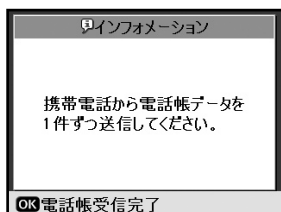
3 **レイアウトを［ハガキ宛名面］に設定します。**

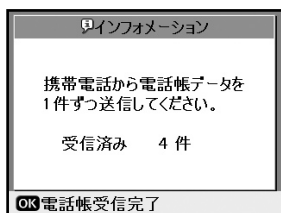
① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

4 **携帯電話の電話帳データ（文字数）を確認し、【OK】ボタンを押します。**

① データ確認
② 【OK】ボタンを押す

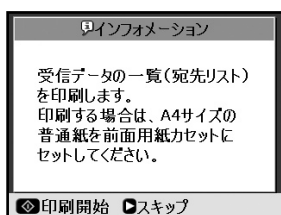
つづく

5 **携帯電話の赤外線ポートを本製品の赤外線ポートに向けて（20cm 以内に近づけて）、電話帳データを 1 件ずつ送信します。**

必要な宛名の件数分、データを送信します。

携帯電話からの受信が完了すると、本製品に受信完了のメッセージが表示され、手順 6 の画面に変わります。

6 **すべてのデータ受信が完了したら、【OK】ボタンを押します。**

① 【OK】ボタンを押す

7 **受信データを確認するための宛先リストを印刷することができます。**
印刷する場合は、A4 サイズの普通紙を前面用紙カセットにセットして、【スタート】ボタンを押します。

☞本書 17 ページ「前面用紙カセットへの用紙のセット（基本手順）」

印刷しない場合は、【 ▷】ボタンを押して画面を確認し、【OK】ボタンを押して次へ進みます。

8 **ハガキ（宛名面）を背面オートシートフィーダにセットします。**

☞ 本書 19 ページ「ハガキのセット」

9 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

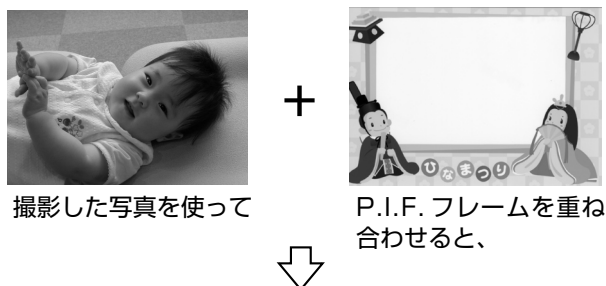
以上で、「携帯電話の電話帳からハガキに宛名印刷」の説明は終了です。

フレームを付けて印刷< P.I.F. 印刷>

エプソンの PRINT Image Framer は、写真データにフレーム*（飾り枠）や年賀状 / カレンダーなどのレイアウト*（書式）を重ね合わせて、楽しい印刷ができます。
＊ 写真データに重ね合わせるフレームやレイアウトのデータを「P.I.F. フレーム」といいます。

撮影した写真を使って

＋

P.I.F. フレームを重ね合わせると、

楽しい写真の出来上がり！

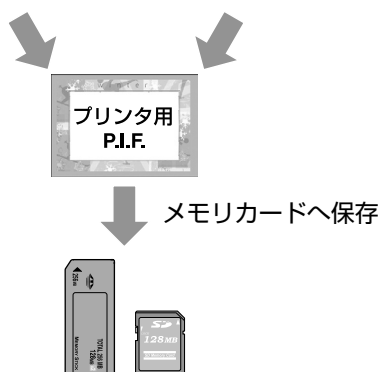
①フレームデータをメモリカードに保存

エプソンのホームページ、または付属の『ソフトウェア CD-ROM』から、P.I.F. フレームを入手してメモリカードに保存します。
フレームデータをメモリカードに保存するには、付属のアプリケーションソフト「EPSON PRINT Image Framer Tool」をパソコンにインストールしておく必要があります。

（2006 年 5 月現在の画面）

ダウンロード

メモリカードへ保存

参考

- メモリカードへの保存方法は、以下でも詳しく説明しています。
  『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「プリンタ単体で写真にフレームを付けて印刷しよう」

1 メモリカードを本製品にセットします。

本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」
本書 114 ページ「メモリカードドライブとしての使い方」

2 パソコンで、エプソンのホームページ、または『ソフトウェア CD-ROM』から、P.I.F. フレームを入手します。

< http://www.epson.jp >

3 付属のアプリケーションソフト「EPSON PRINT Image Framer Tool」を起動します。

< Windows の場合>
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON PRINT Image Framer］－［EPSON PRINT Image Framer Tool］の順にクリックします。

< Mac OS X の場合>
ハードディスク内の［アプリケーション］－［PRINT Image Framer Tool］－［PRINT Image Framer Tool］の順にダブルクリックします。

4 P.I.F. フレームをメモリカードに保存します。

「EPSON PRINT Image Framer Tool」のヘルプ

- 「EPSON PRINT Image Framer Tool」では、オリジナルの P.I.F. フレームを作成することもできます。

5 保存が終了したら、一旦メモリカードを取り出します。

② P.I.F. 印刷の実行

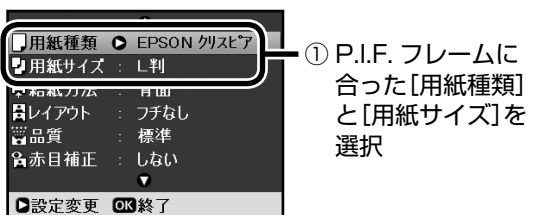
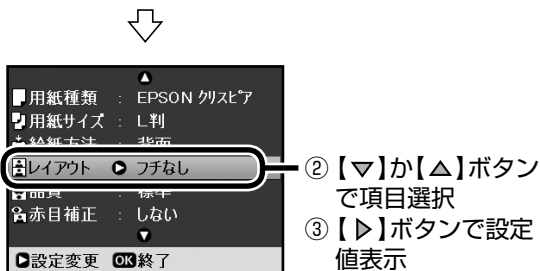
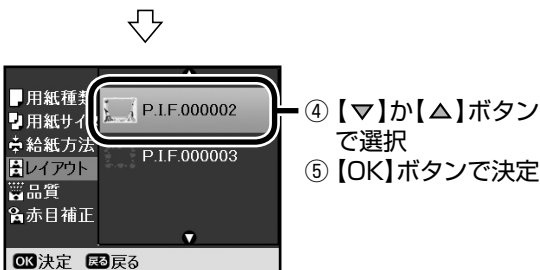
P.I.F. フレームと写真を合成して印刷します。

1 **メモリカード印刷の基本手順に従い、メモリカードモードのメニューを選択します。**

☞本書 50 ページ「メモリカード印刷の基本手順」手順 1 ～ 4

メモリカードは、前ページの手順 5 で取り出した（P.I.F. フレームと写真が保存されている）カードをセットしてください。

2 **【印刷設定】ボタンを押して印刷設定画面を表示し、［レイアウト］で P.I.F. フレームを選択します。**

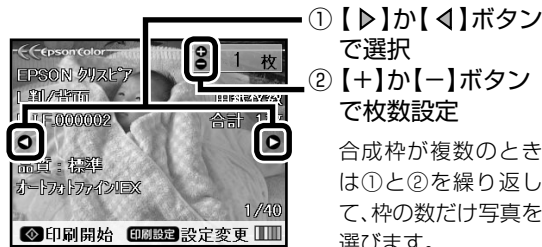
P.I.F. フレームは L 判用、ハガキ用など、対応用紙サイズが決まっています。対応用紙サイズはメモリカードに保存する際にご確認ください。［用紙種類］と［用紙サイズ］の組み合わせによって、それに対応した P.I.F. フレームが表示されます。

① P.I.F. フレームに合った[用紙種類]と[用紙サイズ]を選択

②【▽】か【△】ボタンで項目選択
③【▷】ボタンで設定値表示

④【▽】か【△】ボタンで選択
⑤【OK】ボタンで決定

3 **必要に応じて他の項目も設定し【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

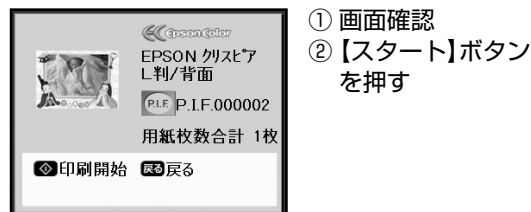
☞ 本書 76 ページ「印刷設定」

> **参考**
> - フチなしの P.I.F. フレームを使用する場合でも、［フチなし領域調整］の設定は反映されません。

4 **合成する写真を表示して、合成枚数を設定します。**

手順 2 で選択した P.I.F. フレームの、合成可能な写真（合成枠）の数だけ選択してください。
合成枠の数に満たないときや、合成枠の数を超えて設定したときは、合成されない枠ができます。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【＋】か【－】ボタンで枚数設定
合成枠が複数のときは①と②を繰り返して、枠の数だけ写真を選びます。
③【OK】ボタンで決定

> **参考**
> - 写真の一部をズームアップすることもできます。
> ☞ 本書 57 ページ「ズームアップして印刷」

5 **合成結果を確認し【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

① 画面確認
②【スタート】ボタンを押す

> **参考**
> - P.I.F. は 1 回の印刷で 1 種類しか使用できません。
> - メモリカードに関連付け P.I.F. *1 があると、メモリカードをセットしたときに検出され、メッセージが表示されます。撮影した通りの合成写真を印刷する場合は、【OK】ボタンで進み、印刷を実行してください。
>
>   ＊ 1：デジタルカメラで P.I.F. と合成して撮影した写真データや、特定の携帯電話の「飾りっプリ」で撮影 / 編集した写真データ

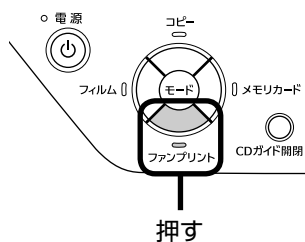
以上で、「フレームを付けて印刷 <P.I.F. 印刷 >」の説明は終了です。

動画から 1 コマを切り出して印刷

メモリカード内の動画から 1 コマを切り出して印刷します。
使用できる動画データについては、以下をご覧ください。
本書 169 ページ「動画印刷できる画像ファイル形式」

1 印刷用紙をセットします。

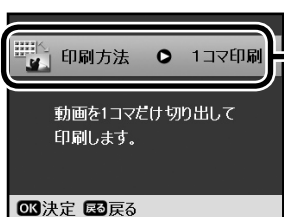
本書 16 ページ「用紙のセット方法」

2【ファンプリント】ボタンを押してファンプリントモードにします。

3 メモリカードをセットします。

本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

4 メニューの［動画印刷］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

5 印刷方法を［1 コマ印刷］に設定します。

① 【▷】ボタンで設定値表示

② 【▽】か【△】ボタンで選択
③ 【OK】ボタンで決定
④ 【OK】ボタンで設定終了

6 印刷する動画を選択し、再生します。

① 【△】【▽】【▷】【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定(再生)

7 印刷するシーンを選択します。

① 【△】か【▽】ボタンで一時停止
② 【▷】か【◁】ボタンでコマ送り / コマ戻しをして最適な 1 コマを選択
③ 【OK】ボタンで決定

参考

- 動画再生中に【▷】か【◁】ボタンを押すと、早送りまたは早戻しができます。ボタンを押すごとに、2 倍速→ 4 倍速→ 8 倍速→ 1 倍速になります。
- 【ズーム / 表示切替】ボタンを押すと、動画全体を 4 つのチャプター（章）に区切り表示します。

① 【◁】か【▷】ボタンで、再生を開始するチャプターを選択
② 【OK】ボタンで再生画面を表示

- メモリカードのデータ転送速度や動画データによっては、滑らかに再生できないことがあります。

8 印刷枚数を設定します。

① 【+】か【−】ボタンで枚数設定

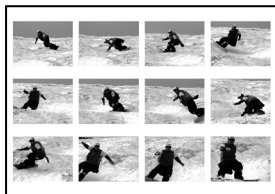
9 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

本書 76 ページ「印刷設定」

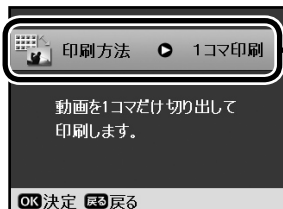
10【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、「動画から 1 コマを切り出して印刷」の説明は終了です。

動画の 1 シーンを切り出して連続印刷

メモリカード内の動画から 1 シーンを切り出して、1 枚の用紙に 12 コマ連続で印刷します。
使用できる動画データについては、以下をご覧ください。
☞ 本書 169 ページ「動画印刷できる画像ファイル形式」

1 **動画印刷の手順に従い、メニューの［動画印刷］を選択します。**

☞本書 73 ページ「動画から 1 コマを切り出して印刷」手順 1 ～ 4

2 **印刷方法を［連続印刷］に設定します。**

① 【 ▷】ボタンで設定値表示

② 【 ▽】か【 △】ボタンで選択
③ 【OK】ボタンで決定
④ 【OK】ボタンで設定終了

3 **印刷する動画を選択し、再生します。**

①【 △】【 ▽】【 ▷】【 ◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定（再生）

4 **印刷するシーンを決定（再生）します。**

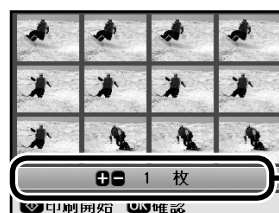
① 【 △】か【 ▽】ボタンで一時停止
② 【 ▷】か【 ◁】ボタンでコマ送り / コマ戻しをして選択
③ 【OK】ボタンで始まりを決定
④ 【OK】ボタンで終わりを決定

参考

- 開始から終了までの時間が短いほど、12 コマ中に同じ画像が複数表示されることがあります。
- 動画再生中に【 ▷】か【 ◁】ボタンを押すと、早送りまたは早戻しができます。ボタンを押すごとに、2 倍速→ 4 倍速→ 8 倍速→ 1 倍速になります。
- 【ズーム / 表示切替】ボタンを押すと、動画全体を 4 つのチャプター（章）に区切り表示します。

① 【 ◁】か【 ▷】ボタンで、再生を開始するチャプターを選択
② 【OK】ボタンで再生画面を表示

- メモリカードのデータ転送速度や動画データによっては、滑らかに再生できないことがあります。

5 **印刷部数を設定します。**

① 【＋】か【－】ボタンで部数設定

【OK】ボタンで 1 コマずつ確認することができます。

6 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

☞ 本書 76 ページ「印刷設定」

7 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、「動画の 1 シーンを切り出して連続印刷」の説明は終了です。

設定項目の詳細

メモリカードからの印刷で設定できる項目と設定値について説明します。

写真の表示切替と枚数設定方法

写真選択の際（本書 51 ページ手順 5）、【ズーム / 表示切替】ボタンで、以下のように画面表示を切り替えることができます。また、各画面で印刷枚数の設定ができます。
なお、［すべて印刷］/［オーダーシート］/［スライドショー］では、表示切替はできません。

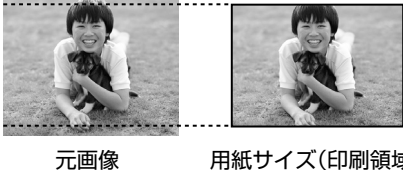
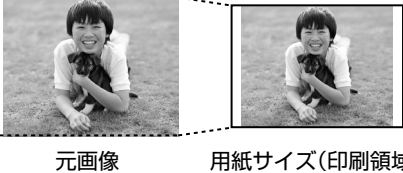
表示	説明
1 面表示 ＋ 印刷設定表示	メモリカード内の写真を、1 枚ずつ表示します。 また、印刷設定情報を表示します。 ①【▷】か【◁】ボタンで写真表示 ②【＋】か【－】ボタンで枚数設定
ズーム枠表示（ズーム設定画面）	表示された写真をズームアップして印刷します。 ①【ズーム / 表示切替】ボタンを押す ②【＋】か【－】ボタンで枠を拡大 / 縮小 ③【△】【▽】【◁】【▷】ボタンで枠を移動
1 面表示（印刷設定表示なし）	印刷設定情報の表示を消します。 ①【ズーム / 表示切替】ボタンを押す ②【▷】か【◁】ボタンで写真表示 ③【＋】か【－】ボタンで枚数設定
16 面表示	メモリカード内の写真を、一度に 16 枚表示します。 ①【ズーム / 表示切替】ボタンを押す ②【▷】か【◁】ボタンで写真表示 ③【＋】か【－】ボタンで枚数設定

写真のスライドショー表示

メモリカードモードのメニューの［スライドショー］を選択すると、メモリカード内の写真を一定間隔で順次表示します。
【△】か【▽】ボタンで一時停止 / 再実行することができます。【OK】ボタンを押してスライドショーを停止すると、その写真を印刷できます。【戻る】ボタンを押すと、メモリカードモードのメニューに戻ります。

印刷設定

「印刷設定」が表示されている画面で【印刷設定】ボタンを押すと、印刷設定画面が表示されます。

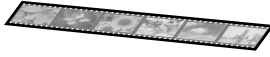
- 設定値の組み合わせによっては、表示されない（設定できない）項目や設定値があります。

設定項目	設定値の詳細
用紙種類 セットした用紙の種類に設定を合わせると、きれいに印刷できます。	EPSON クリスピア：写真用紙クリスピア＜高光沢＞ 写真用紙：写真用紙＜光沢＞、写真用紙＜絹目調＞ 写真用紙エントリー：写真用紙エントリー＜光沢＞ フォトマット紙：フォトマット紙 郵便 IJ ハガキ：郵便ハガキ（インクジェット紙）の通信面、スーパーファイン専用ハガキの通信面 郵便光沢ハガキ：郵便光沢ハガキ（写真用）の通信面 郵便ハガキ：郵便ハガキ（再生紙）、ハガキの宛名面 普通紙：両面上質普通紙＜再生紙＞、事務用普通紙 両面マット紙：両面マット紙＜再生紙＞（名刺サイズ） ミニフォトシール 16：ミニフォトシール フォトシール全面：フォトシール フリーカット アイロンペーパー：アイロンプリントペーパー
用紙サイズ セットした用紙のサイズを設定します。	L 判、2L 判、ハガキ、六切、カード、ハイビジョンサイズ、KG サイズ、A4、名刺
給紙方法 給紙装置を設定します。	前面：前面用紙カセットから給紙します。 背面：背面オートシートフィーダから給紙します。
レイアウト 用紙にどのような配置 / 面付けで印刷するかを設定します。	フチなし　フチあり　上半分　2 面　4 面 8 面　16 面（シール用）　20 面　30 面　80面(インデックス) 証明写真　A4 額縁サイズ　楕円 -1 面　楕円 - 上半分 20 面 /30 面 /80 面は、各写真の下にコマ番号や日付が印刷されますので、インデックス印刷（写真一覧）としてご利用になれます。

つづく

つづき

設定項目	設定値の詳細
動画補正処理 動画の 1 コマ印刷時に動画を補正して印刷します。	しない　：補正処理を行いません。 する　：画像をくっきりさせ、ノイズを低減して印刷します。 ※動画データの形式や、選択シーンによっては、「する」に設定しても効果が得られない場合があります。
品質 印刷品質を設定します。	速い、標準、きれい ※速い < 標準 < きれい の順に印刷品質が高くなりますが、印刷速度は遅くなります。
赤目補正 赤目補正して印刷します。	しない　：赤目補正を行いません。 する　：赤目（カメラのフラッシュによって、人物の目の色が赤色に撮影される現象）を修正して印刷します。
フチなし領域調整 フチなし印刷設定時の拡大率を調整します。	標準　：フチなし標準の拡大率で印刷します。フチが完全になくなります。 少ない　：フチなし標準より少なめの拡大率で印刷します。余白が出ることがあります。 より少ない　：フチなしギリギリの拡大率で印刷します。余白が出ることがあります。
フィルタ 写真に特殊効果を加えて印刷します。	なし　：特殊効果を加えずに印刷します。 セピア　：セピア色で印刷します。 モノクロ　：モノクロで印刷します。
自動画質補正 写真を、最適な色合いに自動補正して、印刷します。	オートフォトファイン !EX：画像に合わせて最適な補正をして印刷します。写真データに Exif Print＊の撮影情報が付加されていれば、この情報に基づいた補正も行います。 P.I.M.　：PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に、写真データに付加されるプリント指示情報に基づいて最適な補正をして印刷します。 なし　：画像を補正せずに印刷します。 ＊：Exif Print（イグジフプリント）機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に、写真データに付加される撮影情報です。
補正モード 自動画質補正で［オートフォトファイン !EX］に設定した場合は、写真のシーンに合わせてモードを設定します。	標準　：標準的な色調で補正します。 人物　：人物や肌色を暖かく柔らかく補正します。 風景　：風景の空や緑をあざやかに補正します。 夜景　：夜景の明暗がはっきりするように補正します。
明るさ調整 写真の明るさを調整して印刷します。	より明るく、明るく、標準、暗く、より暗く
コントラスト 写真のコントラスト（メリハリ）を調整して印刷します。	標準、強く、より強く
シャープネス 写真のシャープさを調整して印刷します。	シャープネス強、シャープネス弱、標準、ソフトフォーカス弱、ソフトフォーカス強
鮮やかさ調整 写真の鮮やかさを調整して印刷します。	より鮮やか、鮮やか、標準、くすんだ、よりくすんだ
日付表示 撮影した日付を入れて印刷します。	しない　：日付を入れない 年 / 月 / 日　：年、月、日の順に印刷　例）2006.10.21 月 / 日 / 年　：月、日、年の順に印刷　例）Oct.21.2006 日 / 月 / 年　：日、月、年の順に印刷　例）21.Oct.2006 ※パソコンで保存し直した写真データ（Exif の情報が削除されたデータ）は保存日で印刷されます。 ※レイアウトによっては日付が印刷されないことがあります（例:L 判に 2 面以上、2L 判 / ハガキ /KG サイズに 4 面以上の面付けレイアウトを選択した場合など）。 なお、20 面 /30 面 /80 面は日付表示の設定に関わらず、各写真の下に写真情報（コマ番号･日付など）が印刷されます。 ※スキャンしたデータをメモリカードに保存する機能（メモリカードモード / フィルムモードの［スキャンしてメモリカードに保存］）を使用してメモリカードに保存されたデータでは、日付表示の設定は無効となります。

つづく

つづき

設定項目	設定値の詳細
撮影情報印刷 撮影したデジタルカメラの情報を入れて印刷します。	しない　：撮影情報を印刷しません。 する　：写真データの Exif 情報に基づいて撮影環境に関する情報を印刷します。
トリミング 印刷枠に対して元画像をトリミングして印刷します。	する　：印刷領域の一辺と画像の一辺のサイズを合わせて印刷します。 横長の画像の場合は、縦の印刷領域に合わせて印刷します。印刷領域に収まらない上下（または左右）の画像が切り取られます。 元画像　用紙サイズ（印刷領域） しない　：画像データを切り取ることなく用紙サイズの印刷領域に収まるように印刷します。 元画像　用紙サイズ（印刷領域） ※パノラマ写真のように、長辺の画素数が短辺の画素数の 2 倍以上ある場合は、トリミングの設定が無効となります。 ※フチなし、上半分のレイアウトを選択した場合は、常にトリミングして印刷します。
双方向印刷 双方向印刷により、印刷速度が速くなります。	する　：プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷します。 ※印刷速度が速くなりますが、印刷品質が多少低下します。 しない　：双方向印刷をしません。 ※片方向印刷により高品質になりますが、印刷速度が多少遅くなります。

CD/DVD 印刷時の印刷設定

設定項目	設定値の詳細	
メディア種類	CD/DVD レーベル	CD/DVD ジャケット
用紙種類	CD/DVD レーベル、普通紙 ※［普通紙］に設定すると、A4 サイズの普通紙に試し印刷することができます。	EPSON クリスピア、写真用紙、 写真用紙エントリー、フォトマット紙、普通紙
用紙サイズ	CD/DVD	A4
給紙方法	CD-R、前面、背面	前面、背面
レイアウト	CD-1 面、CD-4 面、CD-8 面、CD-12 面 本書 58 ページ	CD ケース－片面、CD ケース－ Index 本書 59 ページ
CD 外径内径調整 12cm CD/DVD レーベルの印刷領域を調整します（ワイドエリアタイプに対応）。	外径：116 mm が標準です。114～120 mm まで 1mm 刻みで調整できます。 内径：43 mm が標準です。18～46 mm まで 1mm 刻みで調整できます。 ①【▷】か【◁】ボタンで外径調整 ②【△】か【▽】ボタンで内径調整 ③【OK】ボタンで決定 ④【OK】ボタンで設定終了	－
CD 濃度調整	標準、濃く、より濃く	－

その他の項目は 76、77 ページをご覧ください。

いろいろなフィルム印刷

フィルムの種類（スキャンするフィルムの選択）

■カラーネガフィルム
カラー画像の濃淡が反転して記録されているフィルム

■モノクロネガフィルム
モノクロ画像の濃淡が反転して記録されているフィルム

☞80 ページ

■カラーポジフィルム（ストリップ）
カラー画像がそのまま再現されているフィルム

☞80 ページ

■カラーポジフィルム（マウント）
カラー画像がそのまま再現されているフィルム

☞81 ページ

写真プリント

■レイアウト設定
フチなし / フチありを設定して印刷

☞86 ページ

■退色復元
色あせた写真フィルムを、元の色に復元して印刷

☞83 ページ

■ズーム印刷
写真の一部をズームアップして印刷

☞87 ページ

■いろいろなサイズの用紙に印刷
L 判 /2L 判 /KG サイズ / カード /A4

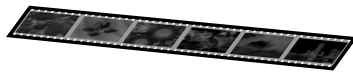
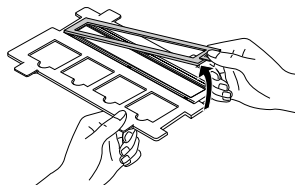
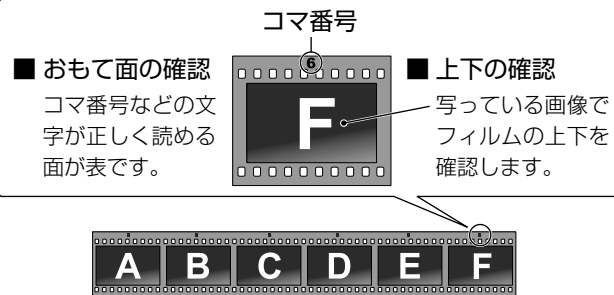
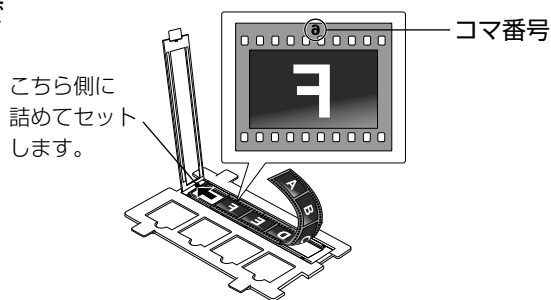
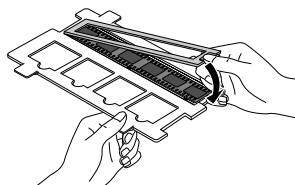
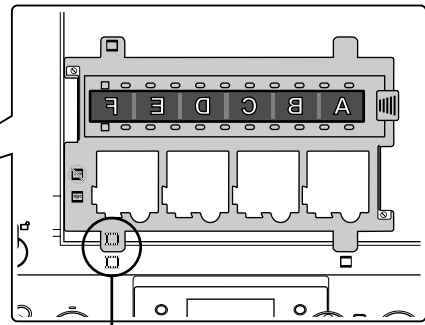
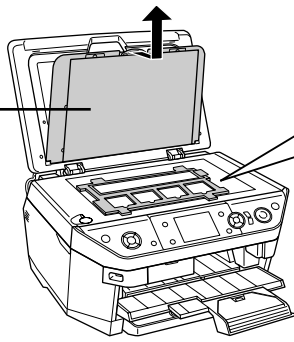
☞86 ページ

フィルムのセット方法

フィルムをセットするときは付属のフィルムホルダが必要です。フィルムホルダが原稿カバー内（保護マットの裏）に収納されている場合は取り出してください。なお、取り外した保護マットはそのまま（取り外した状態）にしておいてください。
☞ 本書 85 ページ「フィルムホルダの取り外し」

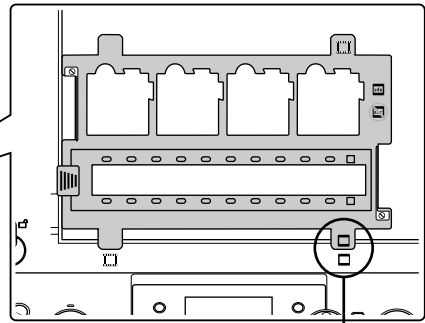
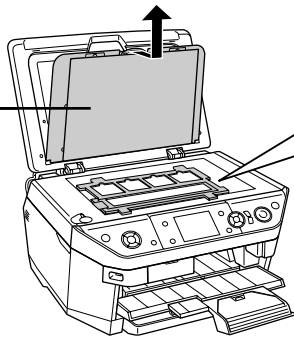
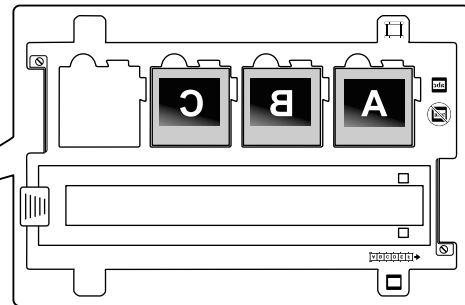
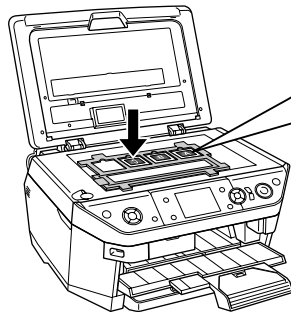
！注意

- ストリップフィルムとマウントフィルムとでは、セット方法が異なります。2 種類のフィルムを同時にセットしないでください。
- フィルムは正しい向きにセットしてください。画像を取り込んだ後に反転することはできません。

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）のセット方法

1 ストリップフィルムをフィルムホルダにセットします。

2 保護マットを取り外して、フィルムホルダを原稿台に置きます。

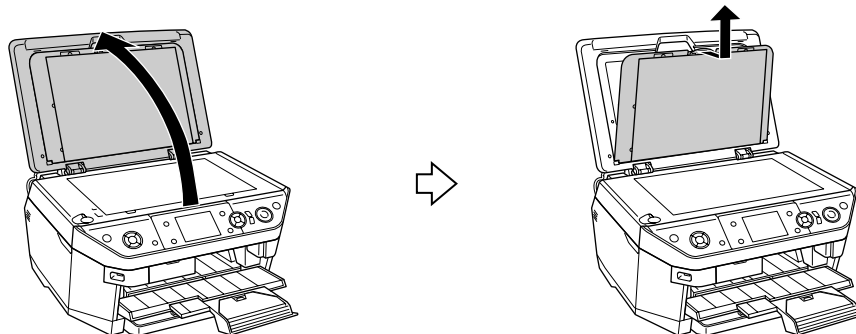
以上で、「35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）のセット方法」の説明は終了です。

35mm マウント（スライド）フィルムのセット方法

1 保護マットを取り外して、フィルムホルダを原稿台に置きます。

2 マウントフィルムを 1 枚ずつ、フィルムホルダにセットします。

以上で、「35mm マウント（スライド）フィルムのセット方法」の説明は終了です。

フィルム印刷の基本手順

①フィルムをスキャン

1 原稿カバーを開けて、保護マットを取り外します。

2 原稿台にフィルムをセットして、原稿カバーを閉じます。

☞ 本書 80 ページ「フィルムのセット方法」

3 印刷用紙をセットします。

☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

以降の手順は操作パネルの操作方法を記載しています。パソコンと接続してパソコンからスキャンする場合は、以下をご覧ください。

☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「フィルムをスキャンしよう」

4 【フィルム】ボタンを押して、フィルムモードにします。

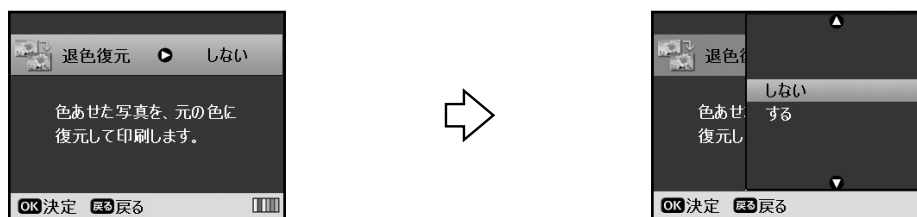
①押す　②ランプが点灯したことを確認する

参考

- フィルムモードにならない場合は、もう一度【フィルム】ボタンを押してください。電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンが反応しません。
- 液晶ディスプレイが暗くなっているとき（スリープモード時）や、スクリーンセーバ起動中は、【フィルム】ボタンを 2 回押してください。

5 セットしたフィルムの種類を選択します。

6 退色復元の設定をします。

色あせた古い写真フィルムを元の色に復元して印刷する場合は、［する］に設定します。退色復元しない場合は、【OK】ボタンを押して次の手順に進みます。

① 【▷】ボタンで設定値表示

② 【▽】か【△】ボタンで設定値選択
③ 【OK】ボタンで決定

7 【OK】ボタンを押して、スキャンを実行します。

すべての写真がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。また、プレビューが終わるまで原稿カバーを開けないでください。

8 スキャン結果を確認し、【OK】ボタンを押します。

スキャンし直す場合は、【戻る】ボタンを押してください。

① スキャン結果を確認
② 【OK】ボタンで決定

参考

- フィルムの画像によっては正常にスキャンできない場合があります。その場合は、パソコンと接続してパソコンからスキャンを行ってみてください。
  ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「フィルムをスキャンしよう」

②スキャンした写真を印刷

1 メニューの［すべて印刷］または［選んで印刷］を選択します。

スキャンした写真を選んで印刷する場合は、［選んで印刷］を選択します。
写真を一度にすべて印刷する場合は、［すべて印刷］を選択し、以下のページにお進みください。
☞ 本書 87 ページ「すべての写真を印刷」

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

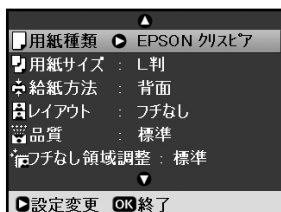
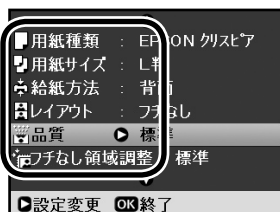
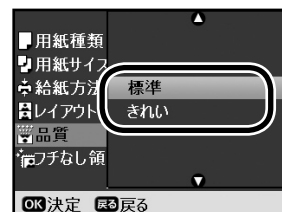
2 印刷する写真を表示して、印刷枚数を設定します。

写真を 1 つだけ選択する場合は、①と②の手順のみになります。
複数の写真を印刷する場合は、①〜④の手順を繰り返してください。

①【▷】か【◁】ボタンで写真表示
②【＋】か【−】ボタンで枚数設定

③【▷】か【◁】ボタンで次の写真を表示
④【＋】か【−】ボタンで枚数設定

3 【印刷設定】ボタンを押して、印刷設定を変更します。

用紙の設定は、セットした印刷用紙に合わせてください。［用紙種類］を設定してから［用紙サイズ］を設定します。また、印刷用紙をセットした給紙装置と［給紙方法］の設定が合っていることを確認してください。
☞ 本書 88 ページ「印刷設定」

①【印刷設定】ボタンで設定画面表示

②【▽】か【△】ボタンで項目選択
③【▷】ボタンで設定値表示

④【▽】か【△】ボタンで設定値選択
⑤【OK】ボタンで決定
⑥【OK】ボタンで設定終了

4 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

印刷が終了したら、フィルムホルダからフィルムを取り外します。
印刷終了後も、続けてスキャンができるように、原稿カバー裏のランプが点灯していることがあります。ランプはしばらくそのままにしておくと、自動的に消灯します。

以上で、「フィルム印刷の基本手順」の説明は終了です。

フィルムホルダの収納と取り出し

フィルムホルダの収納

フィルムホルダを使用しないときは、原稿カバー内（保護マットの裏）に収納しておくことができます。

保護マットを取り付けてある場合は取り外す

保護マットを裏面（白いマットがない面）にする

フィルムホルダを収納する

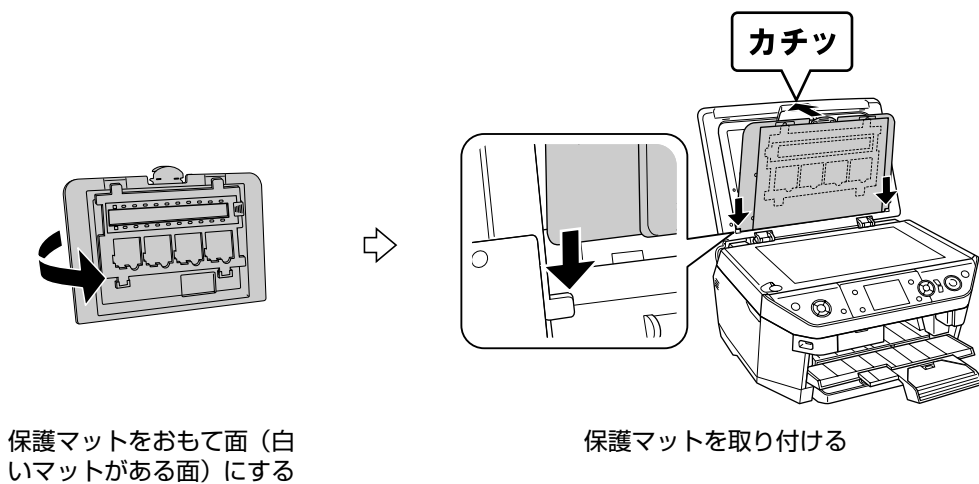
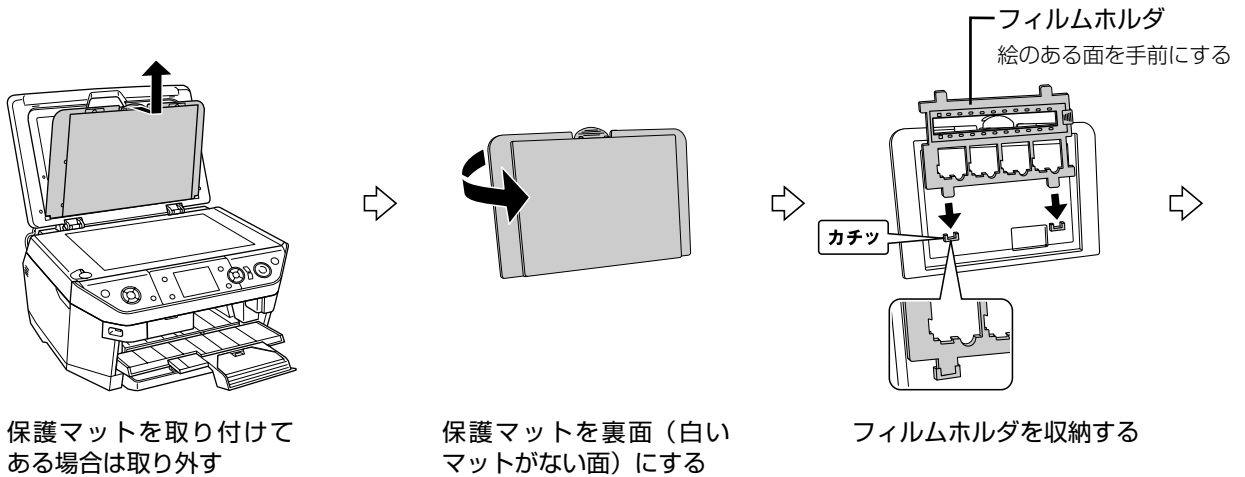
保護マットをおもて面（白いマットがある面）にする

保護マットを取り付ける

フィルムホルダの取り出し

保護マットを取り付けてある場合は取り外す

保護マットを裏面（白いマットがない面）にする

フィルムホルダを取り外す

参考

- フィルムから写真プリントするときは、保護マットは取り外した状態にしておいてください。
  フィルムのセット方法は、以下をご覧ください。
  ☞ 本書 80 ページ「フィルムのセット方法」

フィルム印刷の応用手順

用紙と余白を設定して印刷

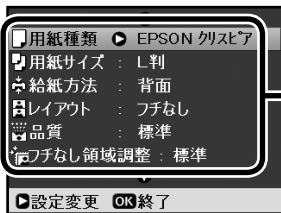
セットした用紙の種類 / サイズを設定したり、余白を設定して印刷します。

フチなし

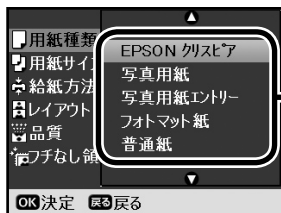
フチあり

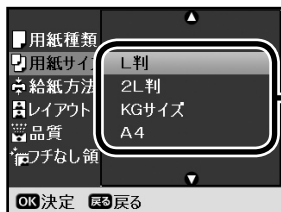
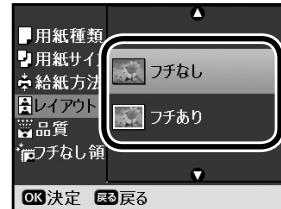
1 **フィルム印刷の基本手順に従い、フィルムをスキャンします。**

☞本書 82 ページ「①フィルムをスキャン」～「②スキャンした写真を印刷」手順 1 ～ 2

2 **【印刷設定】ボタンを押して、設定する項目を選択します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

3 **[用紙種類] / [用紙サイズ] / [レイアウト] の設定値を選択します。**

用紙種類［写真用紙］/［普通紙］などの場合

①【▽】か【△】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

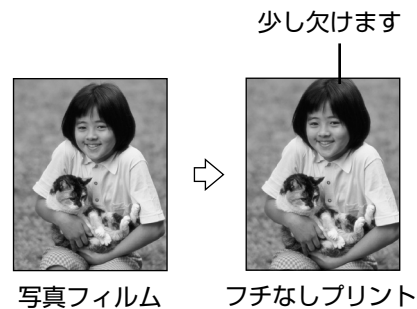
用紙サイズ［L 判］/［A4］などの場合

レイアウト（余白）［フチなし］/［フチあり］の場合

①【▽】か【△】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

参考

- ［フチなし］設定は、写真を少し拡大し、印刷用紙からはみ出させて印刷することにより、余白をなくします。そのため、写真の周囲が少し欠けることがあります。欠けが気になる場合は、印刷設定の［フチなし領域調整］で拡大率を調整してください。
  ☞ 本書 88 ページ「印刷設定」

少し欠けます

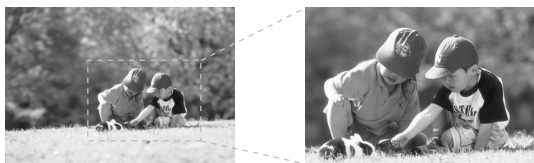
写真フィルム

フチなしプリント

4 **必要に応じて他の項目も設定し、【OK】ボタンを押して、設定を終了します。**

5 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、「用紙と余白を設定して印刷」の説明は終了です。

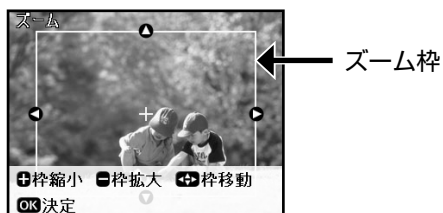
ズームアップして印刷

写真の一部をズームアップして印刷します。

1 **フィルム印刷の基本手順に従い、フィルムをスキャンします。**

本書 82 ページ「①フィルムをスキャン」～「②スキャンした写真を印刷」手順 1

2 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

本書 88 ページ「印刷設定」

3 **印刷する写真を表示します。**

4 **【ズーム / 表示切替】ボタンを押します。**

ズーム枠が表示されます。

5 **ズームアップする範囲を設定します。**

ズームアップ設定の詳細および以降の手順については、以下をご覧ください。

本書 57 ページ「メモリカードから写真プリント」－「ズームアップして印刷」手順 5 ～ 9

参考
- フィルム印刷では、ズーム枠の向きを変更（回転）することはできません。

以上で、「ズームアップして印刷」の説明は終了です。

すべての写真を印刷

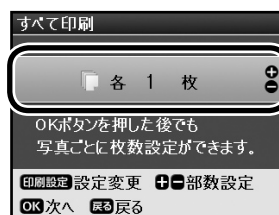
セットしたフィルム内のすべての写真を印刷します。

1 **フィルム印刷の基本手順に従い、フィルムをスキャンします。**

本書 82 ページ「①フィルムをスキャン」

2 **メニューの［すべて印刷］を選択します。**

参考
- 上記画面で【スタート】ボタンを押すと、本製品が記憶している印刷設定に関わらず、以下の設定ですべての写真を印刷します。
  用紙種類　：EPSON クリスピア
  用紙サイズ：L 判
  給紙方法　：背面
  レイアウト：フチなし

3 **印刷部数を設定します。**

参考
- 【OK】ボタンを押すと、写真ごとに印刷枚数を設定できます。

4 **【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。**

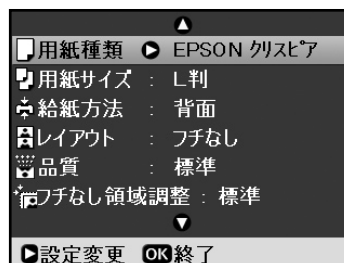
本書 88 ページ「印刷設定」

5 **【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。**

以上で、「すべての写真を印刷」の説明は終了です。

設定項目の詳細

フィルムモードで設定できる項目と設定値について説明します。

印刷設定

「印刷設定」が表示されている画面で【印刷設定】ボタンを押すと、印刷設定画面が表示されます。

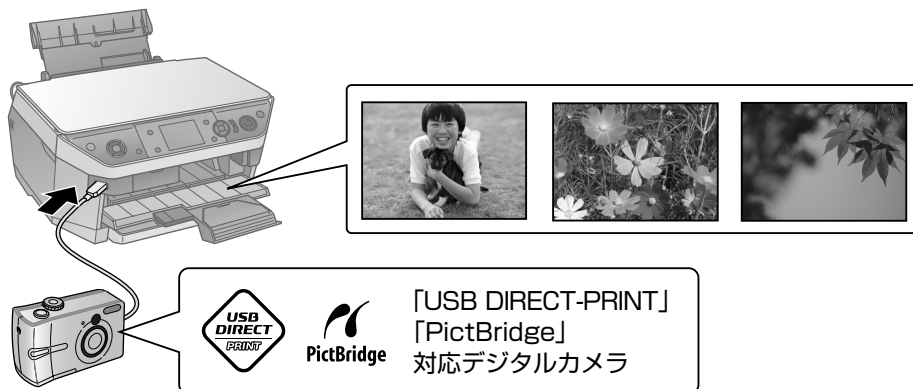
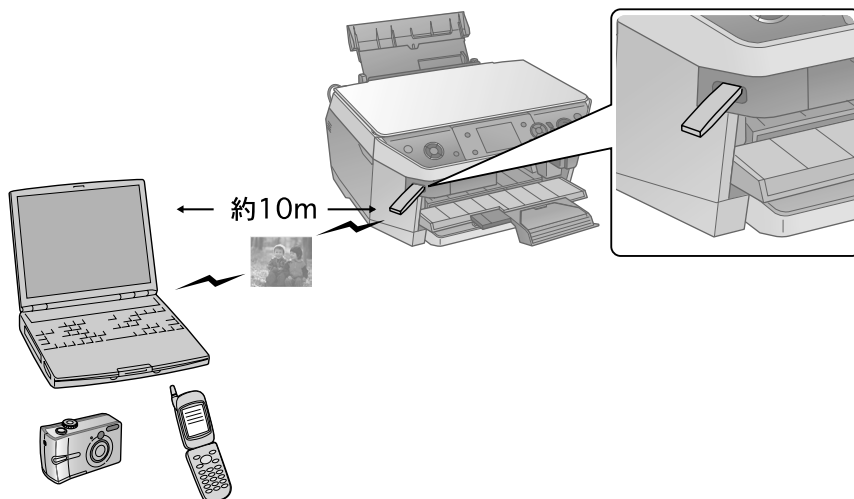
参考

- 設定値の組み合わせによっては、表示されない（設定できない）項目や設定値があります。

設定項目	設定値の詳細
用紙種類 セットした用紙の種類に設定を合わせると、きれいに印刷できます。	EPSON クリスピア ：写真用紙クリスピア＜高光沢＞ 写真用紙 ：写真用紙＜光沢＞、写真用紙＜絹目調＞ 写真用紙エントリー ：写真用紙エントリー＜光沢＞ フォトマット紙 ：フォトマット紙 普通紙 ：両面上質普通紙＜再生紙＞、事務用普通紙
用紙サイズ セットした用紙のサイズを設定します。	L 判、2L 判、カード、KG サイズ、A4
給紙方法 給紙装置を設定します。	前面：前面用紙カセットから給紙します。 背面：背面オートシートフィーダから給紙します。
レイアウト 用紙にどのような配置 / 面付けで印刷するかを設定します。	フチなし　フチあり
品質 印刷品質を設定します。	速い、標準、きれい ※速い ＜ 標準 ＜ きれい の順に印刷品質が高くなりますが、印刷速度は遅くなります。
フチなし領域調整 フチなし印刷設定時の拡大率を調整します。	標準 ：フチなし標準の拡大率で印刷します。フチが完全になくなります。 少ない ：フチなし標準より少なめの拡大率で印刷します。余白が出ることがあります。 より少ない ：フチなしギリギリの拡大率で印刷します。余白が出ることがあります。
自動露出レベル 露出（光を取り込む量）を調整します。	淡い、標準、鮮やか
赤目補正 赤目補正して印刷します。	しない ：赤目補正を行いません。 する ：赤目（カメラのフラッシュによって、人物の目の色が赤色に撮影される現象）を修正して印刷します。 ※［する］に設定すると、［自動画質補正］の設定は［オートフォトファイン !EX］になります。
フィルタ 写真に特殊効果を加えて印刷します。	なし ：特殊効果を加えずに印刷します。 モノクロ ：モノクロで印刷します。
自動画質補正	オートフォトファイン !EX、なし 本書 77 ページ ※［なし］に設定すると、［赤目補正］の設定は［しない］になります。

ダイレクトプリントについて

※ 携帯電話のメモリカードから写真プリントする方法は、
☞ 本書 47 ページ「メモリカードから写真プリント」

※ デジタルカメラのメモリカードから写真プリントする方法は、
☞ 本書 47 ページ「メモリカードから写真プリント」

携帯電話から赤外線通信で印刷

携帯電話の赤外線通信機能を使い、ワイヤレスで印刷することができます。
印刷可能な携帯電話については、エプソンのホームページでご案内しています。
＜ http://www.epson.jp ＞

印刷可能なデータと適切な用紙サイズ

携帯電話から赤外線経由で送信される以下のデータを、所定のフォーマット（レイアウト）で印刷します。
※ お使いの携帯電話によって、印刷できるデータやメニュー名称などが異なります。

印刷可能なデータと印刷形式			適切な用紙サイズ
①	電話帳（vCard）	一件印刷	名刺
②	電話帳（vCard）	全件印刷	A4
③	メール（vMessage）		A4
④	メモ（vNote）		A4
⑤	予定表/スケジュール（vCalendar）		A4
⑥	ToDo リスト（vCalendar）		A4
⑦	画像*		カード /L 判 / ハガキ

＊：JPEG 画像のみ対応。

印刷イメージ

①電話帳 1 件印刷（名刺サイズ）

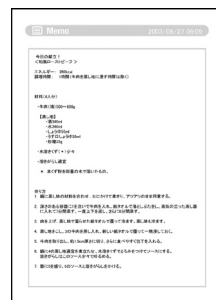
画像データがある場合、このように印刷されます。

名刺よりも大きなサイズの用紙に印刷すると、余白が多くなります。

②電話帳全件印刷（A4 サイズ）

画像データがある場合、このように印刷されます。

テキストデータのみの場合、最大1000件の電話帳を印刷できます。画像データがある場合は、件数が少なくなります。

③メール（A4 サイズ）④メモ（A4 サイズ）

- メール / メモは、用紙 1 枚の印刷エリア内に可能な限り印刷されます。印刷エリア内に収まらない長文のメールなどは、途中で印刷が途切れます。
- 一部の携帯電話を除いて、メールの中の絵文字や写真は印刷されません。

⑤予定表 / スケジュール（A4 サイズ）

⑥ ToDo リスト（A4 サイズ）

⑦ JPEG 画像

印刷の際、本製品の操作パネルで各種印刷設定ができます。
☞ 本書 76 ページ「印刷設定」

携帯電話からの印刷方法

1 **印刷用紙をセットします。**

本書 16 ページ「用紙のセット方法」

2 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

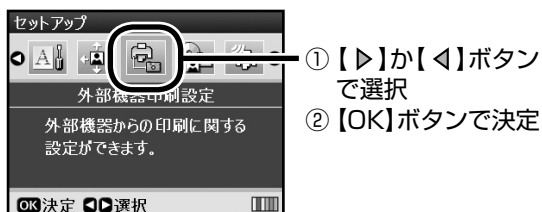
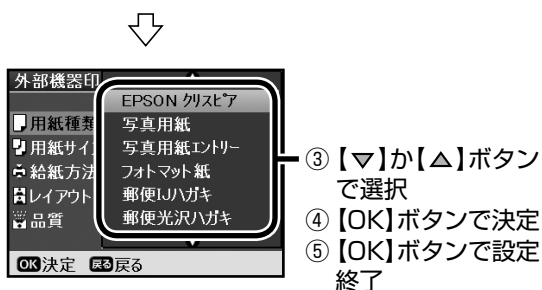
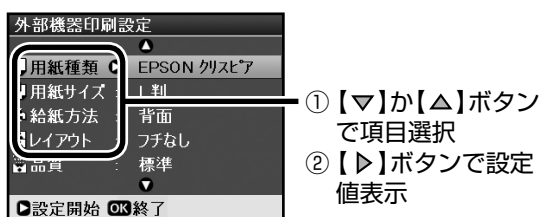
3 **メニューの［外部機器印刷設定］を選択します。**

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

4 **印刷設定をします。**

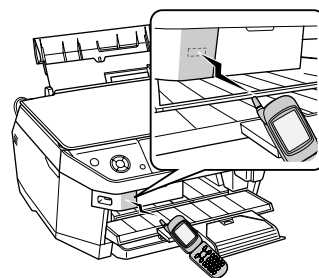
本書 76 ページ「印刷設定」

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

③ 【▽】か【△】ボタンで選択
④ 【OK】ボタンで決定
⑤ 【OK】ボタンで設定終了

参考

- 外部機器印刷設定での［品質］の設定値は、［標準］または［きれい］のみになります（［速い］は表示されません）。
- メモリカード印刷時の設定は反映されません。［外部機器印刷設定］で設定してください。

5 **携帯電話からデータを送信して、印刷を実行します。**

携帯電話の赤外線ポートを、本製品の赤外線ポートに向けて（20cm 以内に近づけて）送信してください。正常にデータを受信すると、印刷が始まります。

参考

- 携帯電話の操作方法については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- カメラ付き携帯電話で撮影した写真に、文字を入れて印刷する場合は、以下をご覧ください。
  本書 68 ページ「写真に携帯電話で入力した文字を合成して印刷」
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の直下などの場所では、正常に通信できない場合があります。
- 画像データの送信時は、印刷中のデータを含め、最大 10 件まで印刷予約することができます。ただし、データ容量の合計は 3MB までです。
- 電話帳全件送信の際、携帯電話の機種によっては、暗証番号以外に「認証パスワード」が求められる場合があります。その場合は、本製品で設定した IrDA/BT パスキーの値（4 桁の数字）を入力してください。
  本製品の［IrDA/BT パスキー設定］をしていない場合、初期値の「0000」となります。
  本書 93 ページ「Bluetooth ユニットの通信設定」
- 各データの文字数によっては、印刷エリアに収まらず、印刷が途切れたり、レイアウトが崩れたりすることがあります。
  そのようなときは、データの文字数を調整してください。

以上で、「携帯電話から赤外線通信で印刷」の説明は終了です。

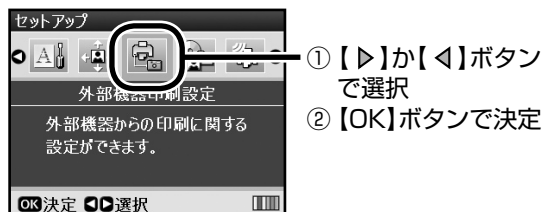
デジタルカメラから USB 接続で印刷

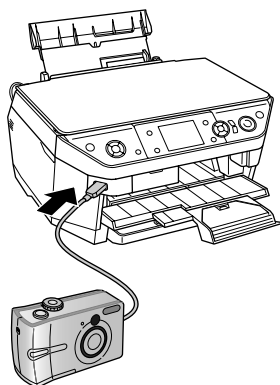
「USB DIRECT-PRINT」または「PictBridge」の規格に対応したデジタルカメラから、USB 接続で直接印刷することができます。本製品と接続可能なデジタルカメラの情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp >
なお、デジタルカメラからダイレクトプリントを行う際の注意事項をご確認ください。
☞ 本書 170 ページ「ダイレクト印刷仕様」

1 印刷用紙をセットします。
☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

2 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

3 メニューの［外部機器印刷設定］を選択し、必要に応じて印刷設定をします。
☞本書 91 ページ「携帯電話からの印刷方法」手順 3 ～ 4

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

参考
- メモリカード印刷時の設定は反映されません。［外部機器印刷設定］で設定してください。

4 デジタルカメラの電源をオンにして、USB ケーブルで接続します。

5 デジタルカメラで各種設定をします。
① 印刷する写真と枚数を設定します。
② お好みでその他の項目を設定します。

6 デジタルカメラから印刷を実行します。

以上で、「デジタルカメラから USB 接続で印刷」の説明は終了です。

Bluetooth でワイヤレス印刷

本製品と通信が可能な製品

Bluetooth 対応の製品で、以下のプロファイル*に対応している必要があります。

＊ Bluetooth 通信を行うための規格です。製品ごとの特長や使用目的に応じて複数のプロファイルが制定されています。Bluetooth 通信を行うためには、通信する機器がお互いに共通のプロファイルに対応している必要があります。

BIP（Basic Imaging Profile）

- 最大 2.5MB の JPEG 画像に対応しています。
- 本製品の操作パネルで、外部機器印刷設定を行ってから、データを送信して印刷します。
- 一度に送信できるデータは 1 件です。印刷中のデータを含め、最大 10 件まで印刷予約することができます。ただし、データ容量の合計は 3MB までです。

OPP（Object Push Profile）

- JPEG 画像、および vObject に対応しています。
☞ 本書 90 ページ「携帯電話から赤外線通信で印刷」
- 本製品の操作パネルで外部機器印刷設定を行ってから、データを送信して印刷します。

HCRP（Hardcopy Cable Replacement Profile）

- データを送信する機器の設定に従って印刷します。本製品の操作パネルでは、設定できません。

BPP（Basic Printing Profile）

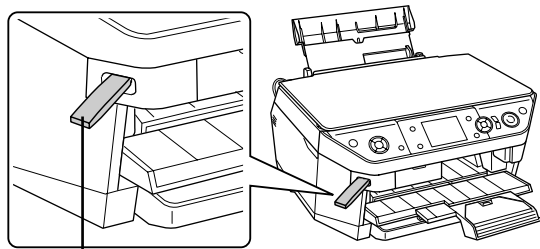
- BPP 規定の通信手順に従って、XHTML-Print ドキュメントの印刷ができます。
- XHTML-Print ドキュメント形式で対応する画像は JPEG（Exif）、PNG、BMP になります。
- 送信相手が選択した通信方法によって、操作パネルの設定が有効になる場合と、携帯電話側での設定が有効になる場合があります。

参考

- ご利用の製品の取扱説明書などで、上記のプロファイルに対応しているかをご確認ください。
Bluetooth 対応の製品でも、上記のプロファイルに対応していない場合は、Bluetooth ユニットと通信することはできません。
- 通信可能な Bluetooth 製品の情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
＜ http://www.epson.jp ＞

Bluetooth ユニットの通信設定

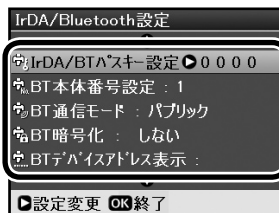
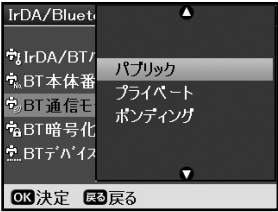
印刷前に Bluetooth の通信設定を行います。

1 本製品にオプションの Bluetooth ユニットを接続します。

Bluetooth ユニット
（型番：PMDBU3）

2 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

3 メニューの［IrDA/Bluetooth 設定］を選択します。

4 Bluetooth の設定をします。

各項目の設定方法は、次ページの「Bluetooth の通信設定」をご覧ください。

各項目を設定したら、【OK】ボタンを押して設定を終了します。

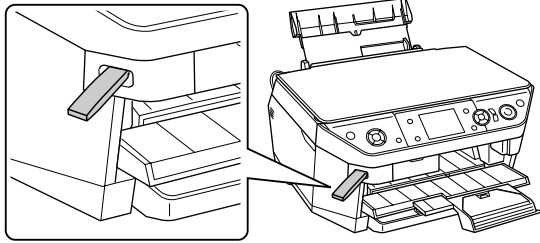
つづく

Bluetooth の通信設定

設定項目	設定値 / 説明	設定方法
IrDA/BT パスキー設定	任意の 4 桁の数字 （初期値：0000） セキュリティ確保のためにパスキーを設定します。パスキーを設定すると、デジタルカメラなどから印刷を実行する際に、パスキーの入力が必要になります。 Bluetooth 通信でパスキーを使用する場合は、［BT 通信モード］を［ボンディング］に設定するか、［BT 暗号化］を［する］に設定してください。	①【△】か【▽】ボタンで設定 ②【▷】か【◁】ボタンで桁移動 ③【OK】ボタンで決定
BT 本体番号設定	0 ～ 9 Bluetooth 通信が可能な距離に、複数台の Bluetooth 対応機器がある場合に、混信を防ぐため異なる番号を設定します。 電源を一旦オフにすると設定が有効になります。	①【△】か【▽】ボタンで設定 ②【OK】ボタンで決定
BT 通信モード	パブリック Bluetooth 対応機器から検索と印刷ができます。 プライベート Bluetooth 対応機器から検索できないようにします。印刷するためには、一度パブリックモードで、本製品を検索する必要があります。 ボンディング Bluetooth 対応機器から検索と印刷をする際には、パスキーが必要になります。	①【▽】か【△】ボタンで設定 ②【OK】ボタンで決定
BT 暗号化	しない / する 通信の内容を暗号化することができます。パスキーの入力が必要になります。	①【△】か【▽】ボタンで設定 ②【OK】ボタンで決定
BT デバイス アドレス表示	（例）11-11-11-11-11-11 本製品が固有に持っている Bluetooth 通信アドレスを表示します。本製品と通信を行う機器で、本製品のデバイスアドレスを入力する必要がある場合に、ここで表示されたデバイスアドレスを入力しても通信できないことがあります。その場合は、カラリオインフォメーションセンターにお問い合わせください。 ☞ 本書 164 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」	

印刷方法

印刷前に Bluetooth の通信設定を行ってください。
☞ 本書 93 ページ「Bluetooth ユニットの通信設定」

1 本製品に Bluetooth ユニットを接続します。

2 印刷用紙をセットします。

☞本書 16 ページ「用紙のセット方法」

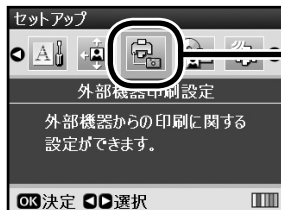
HCRP プロファイルの場合は手順 5 に進みます。

3 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

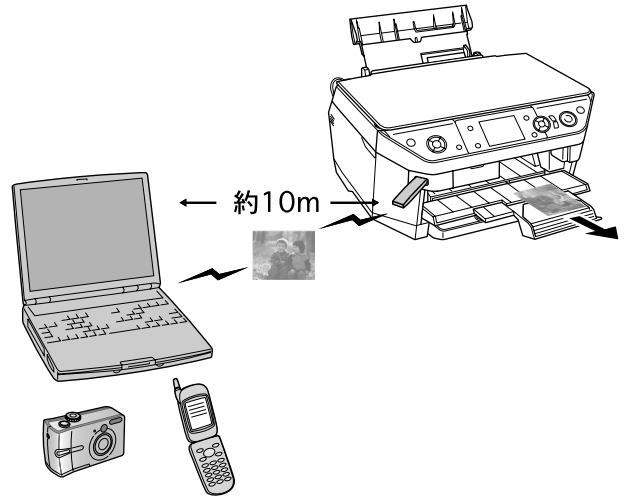
4 メニューの［外部機器印刷設定］を選択し、必要に応じて印刷設定をします。

☞本書 91 ページ「携帯電話からの印刷方法」手順 3 ～ 4

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

参考

- メモリカード印刷時の設定は反映されません。［外部機器印刷設定］で設定してください。

5 お使いの Bluetooth 対応機器での設定をして、印刷を実行します。

設定の方法は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。
正常にデータを受信すると、印刷が始まります。

参考

- 通信中や印刷中は、操作パネル以外の部分に触れないでください。
- 操作パネルに Bluetooth 通信中を示すメッセージが表示されない場合は、Bluetooth ユニットの通信設定を確認してください。
☞本書 93 ページ「Bluetooth ユニットの通信設定」

以上で、「Bluetooth でワイヤレス印刷」の説明は終了です。

いろいろな使い方

■ ファンプリント機能 98

エプソン独自のおもしろい機能、便利な機能を紹介しています。

■ 年賀状 / ハガキ印刷 99

写真を使った年賀状など、作品例を紹介しています。

あけまして
おめでとう

■ スキャンしてメモリカードに保存 100

写真やフィルム
をスキャンして
データ化

メモリカードに保存

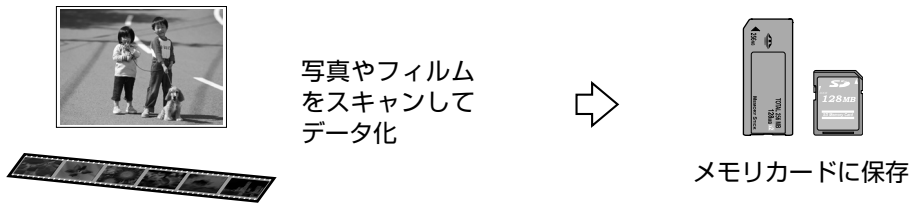
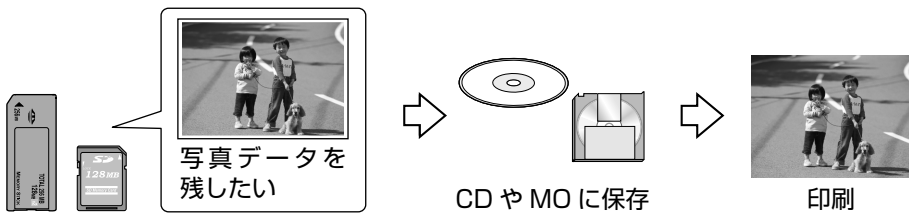
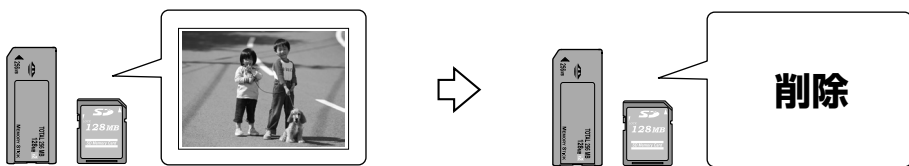
■ メモリカードのデータを保存（バックアップ）、そして印刷............................ 102

写真データを
残したい

CD や MO に保存

印刷

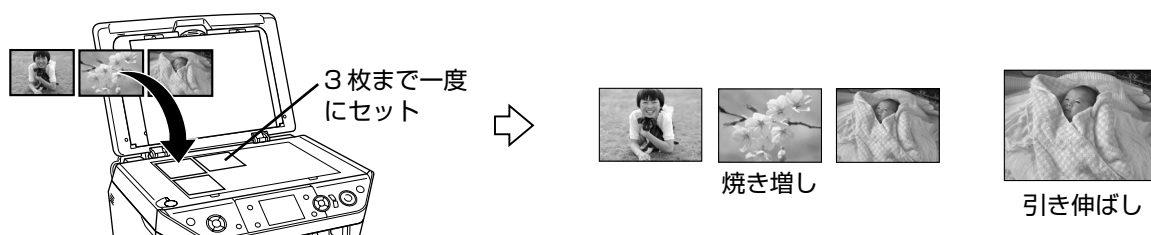
■ メモリカードのデータ削除.. 104

削除

ファンプリント機能（おもしろ写真プリント）

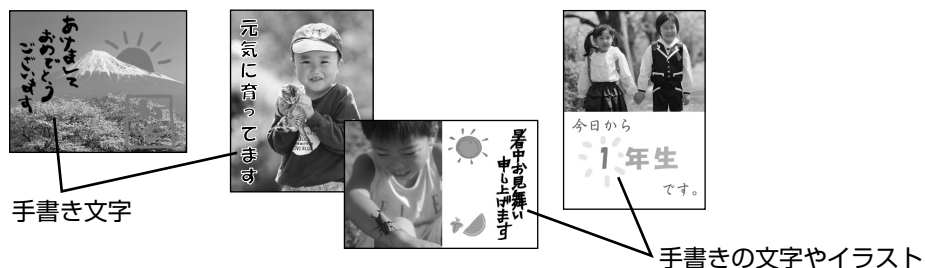
【ファンプリント】ボタンを押すと、ファンプリントモードになります。ファンプリントモードでは、エプソン独自の、便利でおもしろい写真プリントができます。

■写真コピー

写真の焼き増しや引き伸ばしが簡単にできます。さらにＬ判サイズ以下の小さな写真は、3 枚まで一度にセットできます。

☞ 本書 38 ページ「写真の焼き増し<写真コピー>」

■手書き合成シート

メモリカードの写真に、手書きの文字やイラストを合成して印刷します。

☞ 本書 64 ページ「手書きの文字やイラストを合成して印刷<手書き合成シート>」

■ケータイで文字入力

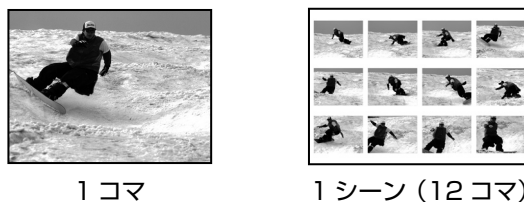
メモリカード、または携帯電話の写真に、携帯電話で入力した文字を合成して印刷します。

☞ 本書 68 ページ「写真に携帯電話で入力した文字を合成して印刷」

■動画印刷

メモリカード内の動画からコマを切り出して印刷します。

1 コマ

1 シーン（12 コマ）

1 コマを切り出して印刷する場合‥‥ ☞ 本書 73 ページ「動画から 1 コマを切り出して印刷」
1 シーンを切り出して印刷する場合‥ ☞ 本書 74 ページ「動画の 1 シーンを切り出して連続印刷」

年賀状 / ハガキ印刷

本製品では、いろいろな方法で、年賀状やご案内ハガキなどを作成することができます。

■写真を印刷する

フチなし

フチあり

- **メモリカードの写真を使う**
  ☞ 本書 54 ページ「用紙と余白を設定して印刷」
- **プリント写真（紙）を使う（コピー）**
  ☞ 本書 32 ページ「余白設定の変更<標準コピー/ フチなしコピー/ ギリギリコピー>」
  ☞ 本書 38 ページ「写真の焼き増し<写真コピー>」
- **写真フィルムを使う**
  ☞ 本書 86 ページ「用紙と余白を設定して印刷」

上半分

印刷後に
手書きする

- **メモリカードの写真を使う**
  ☞ 本書 54 ページ「用紙と余白を設定して印刷」
- **プリント写真（紙）を使う（コピー）**
  レイアウトを[フチなし]に設定してから、印刷設定で倍率を[L 判→ハガキ上半分]に設定します。
  ☞ 本書 32 ページ「余白設定の変更<標準コピー/ フチなしコピー/ ギリギリコピー>」
  ☞ 本書 44 ページ「印刷設定」

複数の写真を
割り付け

- **メモリカードの写真を使う**
  ☞ 本書 55 ページ「複数の写真を割り付けて印刷」

■写真に文字やイラストを入れて印刷する

手書き文字

- **メモリカードの写真に手書きの文字やイラストを入れる**
  ☞ 本書 64 ページ「手書き文字やイラストを合成して印刷<手書き合成シート>」

- **メモリカードや携帯電話の写真に、携帯電話から文字入力する**
  ☞ 本書 68 ページ「写真に携帯電話で入力した文字を合成して印刷」

■写真をフレームで飾って印刷する

- **メモリカードの写真を使う**
  ☞ 本書 71 ページ「フレームを付けて印刷< P.I.F. 印刷>」
- **プリント写真（紙）を使う**
  ☞ 本書 40 ページ「写真にフレームを付けて焼き増し< P.I.F. 印刷>」

参考

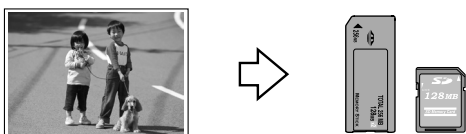
- ハガキのセット方法は、以下をご覧ください。ハガキの両面を印刷する場合は、給紙不良を防ぐため、先に宛名面から印刷することをお勧めします。
  ☞ 本書 19 ページ「ハガキのセット」
- パソコンとつないで、年賀状作成用のアプリケーションソフトなどを使用すると、文字やレイアウトなど、より多彩なデザインが可能になります。

スキャンしてメモリカードに保存

写真や雑誌原稿をスキャンしてメモリカードに保存

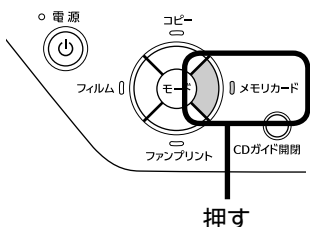
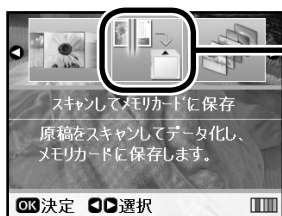
印刷物や写真などの反射原稿をスキャンして、画像データとしてメモリカードに保存します。

スキャンしてデータ化

1 **メモリカードをセットします。**

☞ 本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **原稿をセットします。**

☞ 本書 28 ページ「原稿のセット方法」

3 **【メモリカード】ボタンを押して、メモリカードモードにします。**

4 **メニューの［スキャンしてメモリカードに保存］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

5 **スキャンの設定をします。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示
③【▽】か【△】ボタンで設定値選択
④【OK】ボタンで決定

設定項目	設定値
保存形式	JPEG 写真などに適した保存形式 PDF 文書などに適した保存形式
スキャン範囲	**自動キリトリ** 原稿サイズを自動認識し、原稿の部分だけをスキャン。 **最大範囲** スキャン領域すべて（原稿のない部分も含む）をスキャン。
原稿タイプ	**文字** 文章など **写真** 写真やイラストなど
保存品位	**速度優先** 原稿種が［写真］の場合 300 × 300dpi（約 100KB *1）、［文字］の場合 200 × 200dpi(約 500KB *1）でスキャン。 **画質優先** 原稿種が［写真］の場合 300 × 300dpi（約 300KB *1 *2）、［文字］の場合 300 × 300dpi（約 800KB *1）でスキャン。

＊ 1：ファイルの容量は以下の原稿をスキャンしたときの目安です。画像の内容によって容量が大きく変わります。
- 原稿種が［写真］のとき：L 判写真
- 原稿種が［文字］のとき：A4 文書

＊ 2：JPEG 圧縮率を［最高画質］で保存します。

6 **【OK】ボタンを押して、スキャンを実行します。**

スキャン後、メモリカードに保存されます。

参考

- 保存されたデータを削除するには、以下をご覧ください。
☞本書 104 ページ「メモリカードのデータ削除」
☞本書 114 ページ「メモリカードドライブとしての使い方」

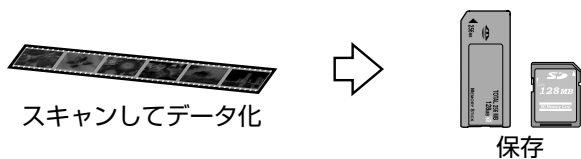
以上で、「写真や雑誌原稿をスキャンしてメモリカードに保存」の説明は終了です。

フィルムをスキャンしてメモリカードに保存

写真フィルムをスキャンして、画像データとしてメモリカードに保存します。

スキャンしてデータ化

保存

1 **メモリカードをセットします。**

☞ 本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

2 **フィルムをセットします。**

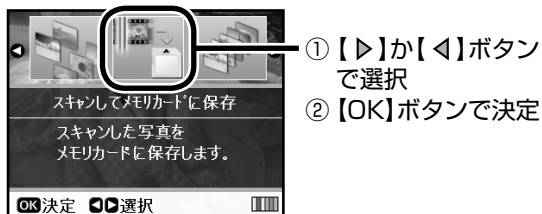
☞ 本書 80 ページ「フィルムのセット方法」

3 **【フィルム】ボタンを押して、フィルムモードにします。**

4 **フィルム印刷の基本手順に従い、フィルムをスキャンします。**

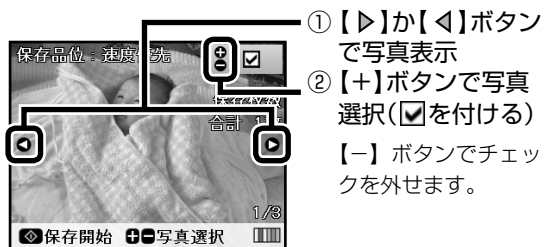
☞本書 83 ページ「①フィルムをスキャン」
手順 5 ～手順 8

5 **メニューの［スキャンしてメモリカードに保存］を選択します。**

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

6 **保存する写真を選択します。**

複数の写真を選択する場合は、①②を繰り返し、最後に【OK】ボタンを押します。

① 【▷】か【◁】ボタンで写真表示
② 【+】ボタンで写真選択（☑を付ける）

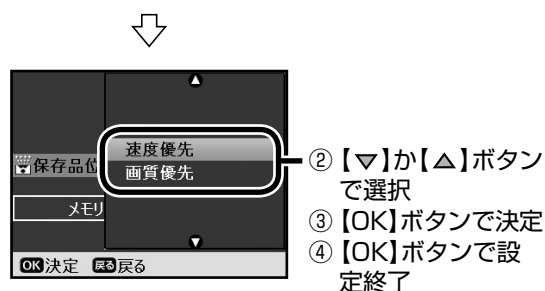
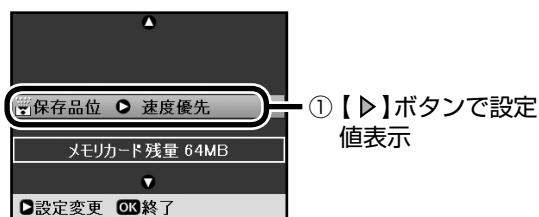
【−】ボタンでチェックを外せます。

なお、【ズーム / 表示切替】ボタンを押すと、以下のような6面表示になります。

① 【▷】か【◁】ボタンで枠を移動
② 【+】ボタンで写真選択（☑を付ける）

【−】ボタンでチェックを外せます。

7 **必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、保存品質を設定します。**

⇩

② 【▽】か【△】ボタンで選択
③ 【OK】ボタンで決定
④ 【OK】ボタンで設定終了

設定項目	設定値
保存品位	速度優先：1200 × 1200dpi（約 200KB *1）で保存。 画質優先：2400 × 2400dpi（約 500KB *1）で保存。

＊ 1：ファイルの容量はカラーネガフィルムをスキャンしたときの目安です。画像の内容によって容量が大きく変わります。

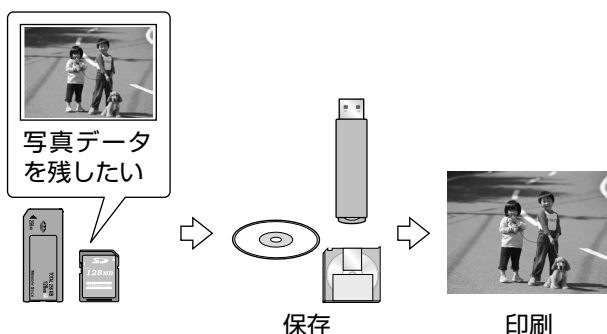
8 **【スタート】ボタンを押して、保存を実行します。**

写真データがメモリカードに保存されます。

- 保存されたデータを削除するには、以下をご覧ください。
  ☞本書 104 ページ「メモリカードのデータ削除」
  ☞本書 114 ページ「メモリカードドライブとしての使い方」

以上で、「フィルムをスキャンしてメモリカードに保存」の説明は終了です。

メモリカードのデータを保存（バックアップ）、そして印刷

デジタルカメラで撮影した写真データを残しておきたい、でもメモリカードがいっぱいになるから削除しないと…そんなときは、パソコンを介さずに、外部記憶装置（CD や USB フラッシュメモリなど）に保存することができます。また、保存したデータを印刷することもできます。

外部記憶装置について

使用できる外部記憶装置、およびメディアは、以下の通りです。
ただし、すべての動作を保証するものではありません。動作確認済みの記憶装置の情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp >

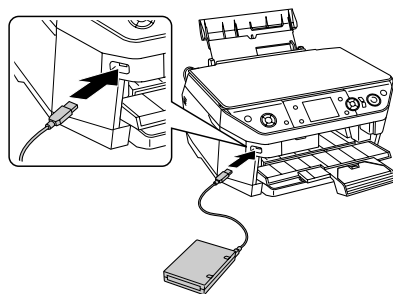
外部記憶装置	メディア
CD-R ドライブ*1 DVD-R ドライブ*1	CD-R 650/700MB DVD-R 4.7GB ※ CD-RW、DVD+R、DVD ± RW、DVD-RAM には対応していません。
MO ドライブ*1	MO 128/230/640MB、1.3GB ※ DOS/Windows フォーマット済みのもの。
USB フラッシュメモリ	

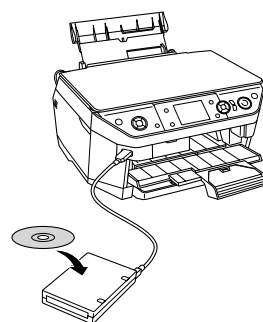
＊ 1：バスパワーでの電源供給はできません。必ず AC アダプタを接続してお使いください。

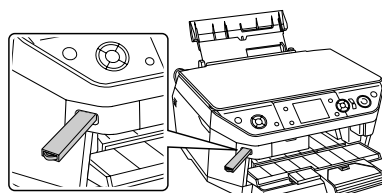
外部記憶装置の接続方法

CD/DVD/MO ドライブの場合

1. 本製品と外部記憶装置の電源をオフにします。

2. 外部機器接続コネクタに、外部記憶装置の USB ケーブルを差し込みます。

3. 本製品と外部記憶装置の電源をオンにします。

4. 外部記憶装置にメディア（CD-R/DVD-R/MO）をセットします。

USB フラッシュメモリの場合

本製品の電源をオンにして外部機器接続コネクタに、USB フラッシュメモリを差し込みます。

保存（バックアップ）方法

1 保存するデータの入ったメモリカードをセットします。

☞ 本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

2 外部記憶装置を接続します。

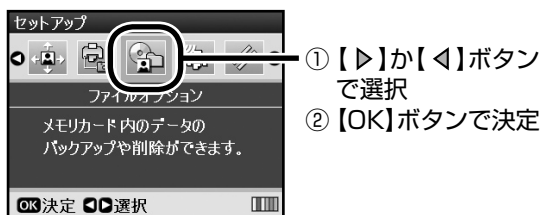
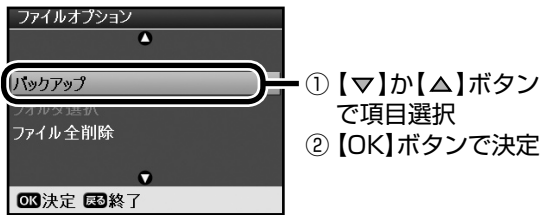
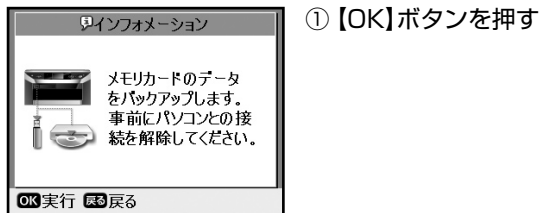
☞ 本書 102 ページ「外部記憶装置の接続方法」

3 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

4 メニューの［ファイルオプション］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

5 ［バックアップ］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

6 画面を確認し、【OK】ボタンを押します。

① 【OK】ボタンを押す

7 【OK】ボタンを押して、バックアップを実行します。

8 バックアップが完了し、手順 5 の画面に戻ったら、【戻る】ボタンを押して終了します。

参考

- 本製品では、外部記憶装置にバックアップしたデータは、削除できません。削除する場合は、お手持ちのパソコンなどで操作してください。
  CD-R/DVD-R のデータはパソコンからも削除することはできません。

以上で、「保存（バックアップ）方法」の説明は終了です。

バックアップしたデータの印刷方法

1 外部記憶装置を接続し、バックアップしたデータの入ったメディアをセットします。

☞ 本書 102 ページ「外部記憶装置の接続方法」

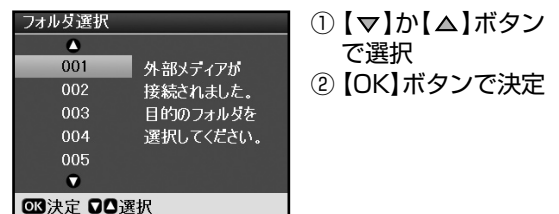
参考

- 本製品以外でバックアップしたデータは正常に印刷できない場合があります。
- メモリカードがセットされている場合は取り外してください。メモリカードがセットされていると、外部記憶装置が認識されません。
- ファイル容量が 3MB を超える画像*を印刷すると、印刷開始までに数十分程度の時間がかかる場合があります。3MB を超える画像を印刷する場合は、外部記憶装置から直接印刷せずに、パソコンから印刷、またはメモリカードから印刷することをお勧めします。
  ☞本書 47 ページ「メモリカードから写真プリント」
  ＊：6M ピクセル(600 万画素)以上のデジタルカメラで撮影した画像や TIFF 画像などは、おおむね 3MB 以上になります。

2 印刷用紙をセットします。

☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

3 以下の画面が表示された場合は、印刷する写真が含まれているフォルダを選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

4 この後は、メモリカードからの印刷と同様の手順で印刷します。

☞本書 50 ページ「メモリカード印刷の基本手順」手順 2 〜手順 8

以上で、「バックアップしたデータの印刷方法」の説明は終了です。

メモリカードのデータ削除

すべてのファイルを削除

メモリカード内のデータを、パソコンを介さずに、すべて削除することができます。

参考

- データを個別に削除することはできません。その場合は、パソコンとつないで行ってください。
  ☞本書 114 ページ「メモリカードドライブとしての使い方」

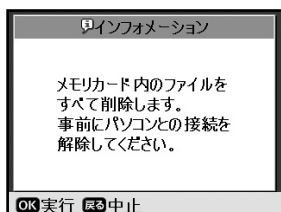
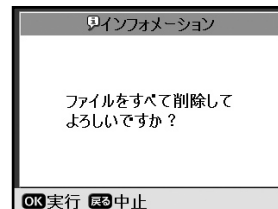
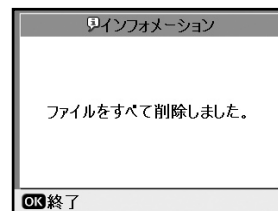
1 データを削除するメモリカードをセットします。

☞ 本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

2 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

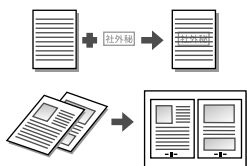
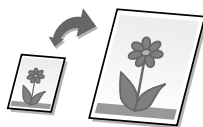
3 メニューの［ファイルオプション］を選択します。

4 ［ファイル全削除］を選択します。

5 画面を確認し、【OK】ボタンを押します。

6 【OK】ボタンを押して、ファイル全削除を実行します。

7 【OK】ボタンを押して、終了します。

以上で、「メモリカードのデータ削除」の説明は終了です。

パソコンと接続すると…

本製品をパソコンと接続すると、高性能プリンタ / スキャナとして、パソコンのメモリカードドライブとして、より活用の幅が広がります。

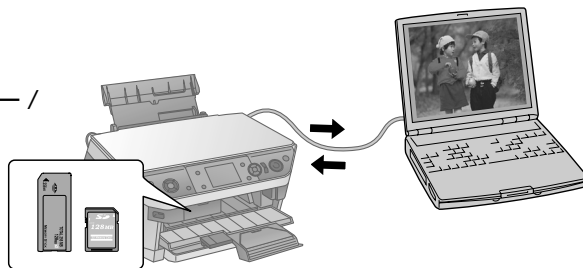
エプソンのホームページなどに接続し、最新ソフトウェアのダウンロードや、最新情報を入手することもできます。

文書の印刷
☞108 ページ

写真プリント
☞110 ページ

CD/DVD レーベルの作成と印刷
☞111 ページ

※同様の方法で名刺も作成できます。

EPSON Scan を使ってスキャン

入門：全自動モード
標準：ホームモード
上級：プロフェッショナルモード

ファイルのコピー / 保存が自由自在

参考

- パソコンと接続して使用するときは、プリンタドライバやスキャナドライバ（EPSON Scan）を、パソコンにインストールしておく必要があります。そのほかにも、活用の幅を広げる専用アプリケーションソフトがたくさん用意されています（『ソフトウェア CD-ROM』に収録されています）ので、すべてインストールすることをお勧めします。インストールされていない場合は、本書 154 ページ「ドライバの再インストール」をご覧ください。また、使い方については『PM-A920 活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）や各アプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。
- パソコンと接続して使用するときは、操作パネルでの設定は必要ありません（どのモードになっていてもかまいません）。

ソフトウェアの使い方 / 活用方法は、活用＋サポートガイドをご覧ください

活用＋サポートガイドとは

活用＋サポートガイドとは、パソコンの画面でご覧いただくマニュアルです。
ソフトウェアのインストールの際、同時にパソコンにインストールされます。
CD-ROM を毎回セットする必要はありません。

参考

- 活用＋サポートガイドは、Microsoft Internet Explorer（Version 5.0 以上）などのブラウザでご覧いただけます。また、PDF データをダウンロードしてご覧いただくこともできます。ダウンロードサービスは、ホームページでご案内しています。
 ＜ http://www.epson.jp/guide/pcopy/ ＞

活用＋サポートガイドの表示方法

デスクトップ上の［EPSON PM-A920 活用＋サポートガイド］のアイコンをダブルクリックして表示します。

参考

- デスクトップ上にアイコンが表示されない場合は以下をご覧ください。
 ＜ Windows の場合＞
 ①［スタート］－②［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－③［EPSON］－④［EPSON PM-A920 活用＋サポートガイド］の順にクリックします。
 ＜ Mac OS X の場合＞
 ①［ハードディスク］－②［アプリケーション］－③［EPSON_TPMANUAL］－④［PM-A920］－⑤［JPN］－⑥［INDEX.HTM］の順にダブルクリックします。

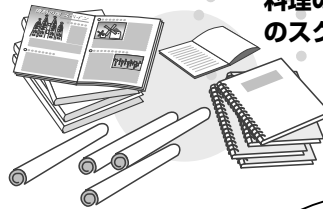
『活用＋サポートガイド』には本製品を活用するアイディアがいっぱい !!

『活用＋サポートガイド』では、パソコンを使って PM-A920 を楽しく、便利に活用する方法を紹介しています。

プリント編

スキャン編

ソフトウェア編

※ 本製品に付属しているソフトウェアの機能や起動方法を説明しています。

ホームページの素材を楽しく活用

エプソンのホームページには、季節のイベントに使える素材やクラフト素材などがたくさん用意されています。これらの素材を使って楽しく活用する方法をホームページで紹介しています。

結婚式の写真や家族のスナップ写真も…

⇩

ホームページ素材を使えば、こんなに楽しく変身します！

パソコンから印刷する方法

文書の印刷

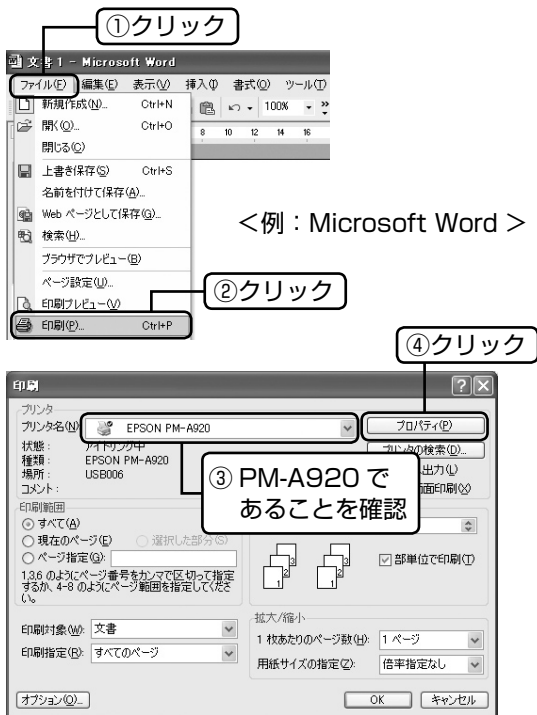
Windows の場合

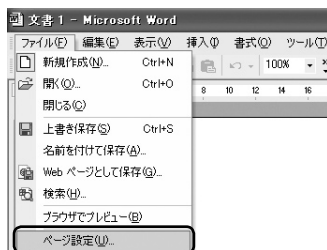
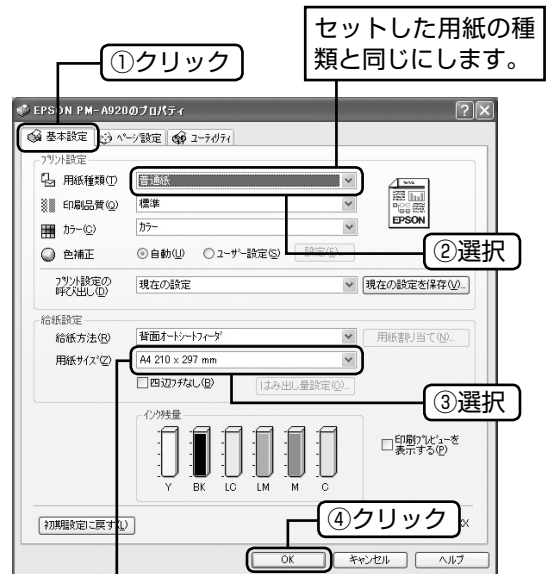
1 **印刷用紙をセットします。**

☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

2 **お使いのアプリケーションソフトからプリンタドライバを開きます。**

☞『PM-A920 活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「プリンタドライバの画面を表示するには」

＜例：Microsoft Word ＞

参考

- アプリケーションソフトで作成したデータの用紙のサイズは、［ファイル］メニューの［用紙設定］や［ページ設定］などの項目で確認できます。

3 **プリンタドライバで印刷の設定をします。**

4 **印刷を実行します。**

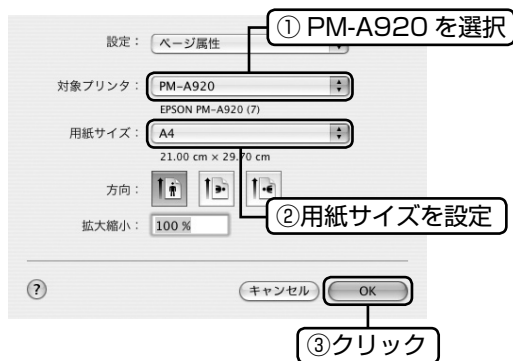
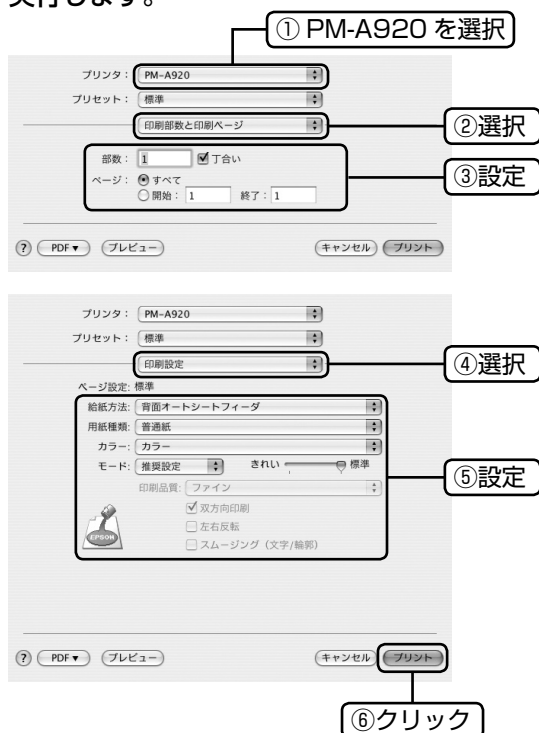
以上で、Windows での「文書の印刷」の説明は終了です。

Mac OS X の場合

1 **印刷用紙をセットします。**

☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

2 **お使いのアプリケーションソフトで印刷するデータを表示してから、プリンタドライバの［ページ設定］を設定します。**

☞『PM-A920 活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「プリンタドライバの画面を表示するには」

3 **［プリント］画面で印刷設定をして、印刷を実行します。**

以上で、Mac OS X での「文書の印刷」の説明は終了です。

写真プリント

写真の印刷は、付属のアプリケーションソフト『EPSON Easy Photo Print（エプソン イージー フォト プリント）』におまかせ。フチなし印刷はもちろん、複数写真の割り付けや、写真フレームの合成など、簡単な操作でさまざまな印刷ができます。

参考

- ソフトウェアの詳しい使い方は、『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）、およびアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1 印刷用紙をセットします。

Mac OS X から印刷する場合には、背面オートシートフィーダにセットしてください。

本書 16 ページ「用紙のセット方法」

2 パソコンで、『EPSON File Manager（エプソン ファイル マネージャー）』を起動します。

デスクトップ上の［EPSON File Manager］アイコンをダブルクリックしてください。

Windows の場合　Mac OS X の場合

参考

- デスクトップ上にアイコンが表示されない場合は以下をご覧ください。

  ＜ Windows の場合＞
  ［スタート］－［すべてのプログラム（またはプログラム）］－［EPSON Creativity Suite］－［File Manager］－［EPSON File Manager］の順にクリックします。

  ＜ Mac OS X の場合＞
  ［ハードディスク］アイコンー［アプリケーション］フォルダー［EPSON］フォルダー［Creativity Suite］フォルダー［File Manager］フォルダー［EPSON File Manager］アイコンの順にダブルクリックします。

3 印刷する写真を選択します。

4 『EPSON Easy Photo Print』を起動します。

［かんたん写真プリント］をクリックしてください。

5 用紙設定やレイアウト調整をし、印刷を実行します。

［印刷］をクリックすると、印刷が始まります。

参考

- 日付を入れて印刷したい場合は、レイアウト調整画面で、レイアウトの［四辺フチなし（撮影日時付き）］を選択してください。

以上で、「写真プリント」の説明は終了です。

CD/DVD レーベルの作成と印刷

CD/DVD レーベルの作成と印刷は、付属のアプリケーションソフト『EPSON Multi-PrintQuicker（エプソン マルチ プリントクイッカー）』におまかせ。背景やイラストのテンプレート、文字のバリエーションが豊富なので、オリジナルのレーベルが簡単に作成できます。もちろん、写真を取り込んで印刷することもできます。

参考

- 『EPSON Multi-PrintQuicker』では、レーベル印刷のほか、CD/DVD ジャケット印刷や名刺 / カード印刷もできます。
- ソフトウェアの詳しい使い方は、『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）、およびアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1 **CD/DVD をセットします。**

本書 24 ページ「CD/DVD のセット方法」

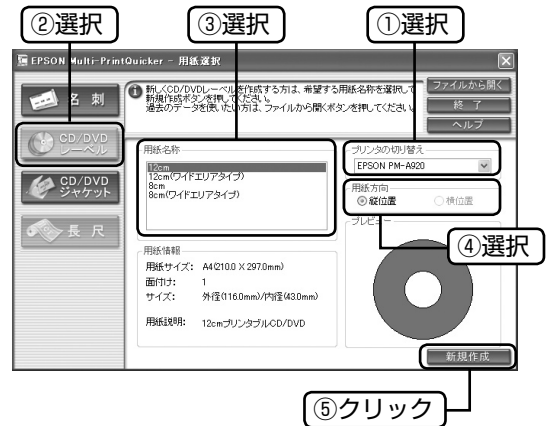
2 **パソコンで、『EPSON Multi-PrintQuicker』を起動します。**

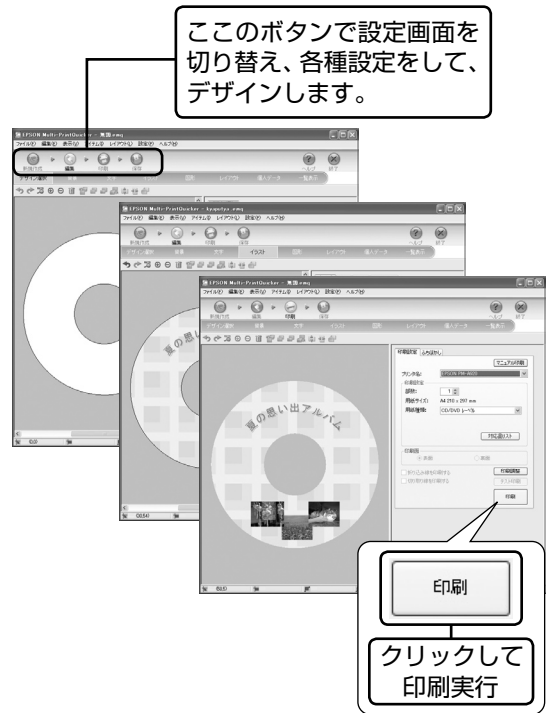
デスクトップ上の［EPSON Multi-PrintQuicker］アイコンをダブルクリックしてください。

Windows の場合　　Mac OS X の場合

ダブルクリック　　ダブルクリック

- デスクトップ上にアイコンが表示されない場合は以下をご覧ください。
  ＜ Windows の場合＞
  ［スタート］－［すべてのプログラム（またはプログラム）］－［EPSON Multi-PrintQuicker］－［EPSON Multi-PrintQuicker］の順にクリックします。
  ＜ Mac OS X の場合＞
  ［ハードディスク］アイコン－［アプリケーション］フォルダー［EPSON Multi-PrintQuicker］フォルダー－［EPSON Multi-PrintQuicker］アイコンの順にダブルクリックします。

3 **プリンタと用紙名称の選択をします。**

4 **各種設定をしてレーベルを作成し、印刷を実行します。**

［印刷］をクリックすると、印刷が始まります。

参考

- お手持ちの写真データを背景にするには、［背景］編集画面の［イメージ］からファイルを選択してください。また、［イラスト］編集画面では複数のファイルを背景に挿入することができます。

5 **印刷終了後、印刷動作が止まったら、CD/DVD トレイを取り出します。**

本書 25 ページ「CD/DVD の取り出し方法」

以上で、「CD/DVD レーベルの作成と印刷」の説明は終了です。

パソコンからスキャンする方法

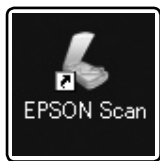
全自動モードで簡単スキャン

1 **原稿をセットします。**

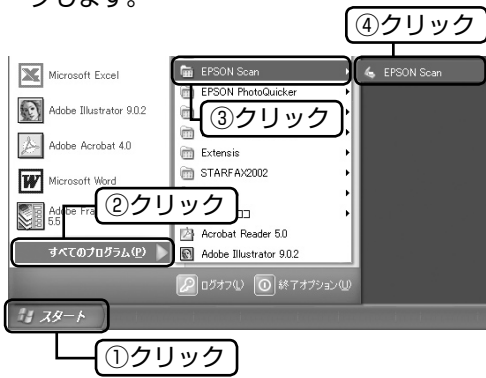
本書 28 ページ「原稿のセット方法」

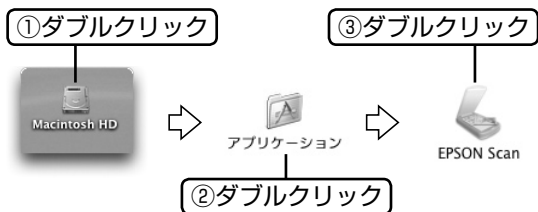
2 **EPSON Scan を起動します。**

＜ Windows の場合＞

デスクトップ上の［EPSON Scan］アイコンをダブルクリックします。

参考

- ［EPSON Scan］アイコンがない場合は、①［スタート］－②［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－③［EPSON Scan］－④［EPSON Scan］の順にクリックします。

④クリック
③クリック
②クリック
①クリック

＜ Mac OS X の場合＞

①ハードディスク内の②［アプリケーション］フォルダ －③［EPSON Scan］の順にダブルクリックします。

3 **以下の画面が表示されますので、［スキャン］をクリックします。**

参考

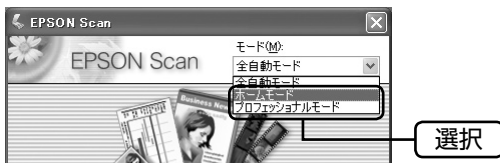
- 保存場所やファイル名、ファイル形式などを設定するには［オプション］をクリックし、表示される画面で［保存ファイルの設定］をクリックしてください。

以上で、「全自動モードで簡単スキャン」の説明は終了です。

スキャンモードの切り替え方法

簡単スキャン（全自動モード）で思い通りにスキャンできない場合は、EPSON Scan のホームモードやプロフェッショナルモードに切り替えて、詳細設定をしてお試しください。

1 EPSON Scan が起動して下の画面が表示されたら、画面右上の［モード］で［ホームモード］または［プロフェッショナルモード］を選択します。

設定の詳細は、『PM-A920 活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

参考

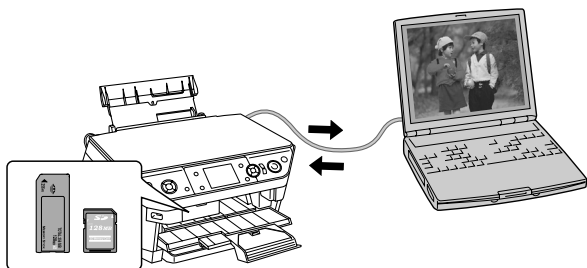
- 次回起動時には、ここで設定したモードで起動します。

ホームモード

プロフェッショナルモード

以上で、「スキャンモードの切り替え方法」の説明は終了です。

メモリカードドライブとしての使い方

本製品のメモリカードスロットは、フロッピーディスクドライブと同じように、メモリカードドライブとして、ファイル（画像データなど）を取り込んだり（コピーしたり）、書き込んだり（保存したり）することができます。

1 電源をオンにして、メモリカードをセットします。

本書 48 ページ「メモリカードのセット方法」

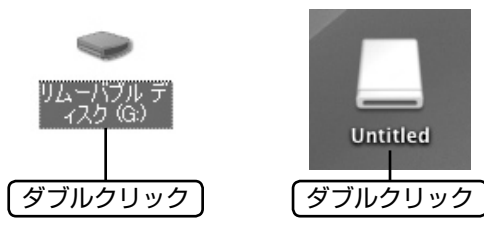
2 パソコンのメモリカードドライブを開きます。

< Windows XP の場合>
［スタート］－［マイコンピュータ］の順にクリックし、［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックします。

< Windows 98/Me/2000 の場合 >
デスクトップ上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックします。

< Mac OS X の場合 >
デスクトップ上のメモリカードドライブのアイコンをダブルクリックします。

参考

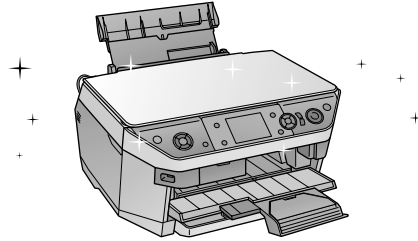
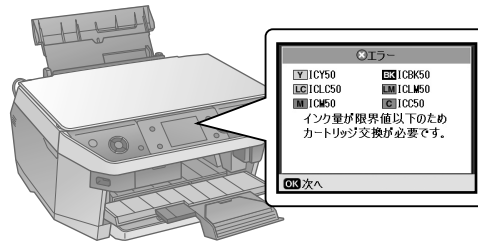
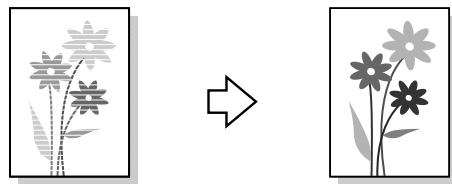
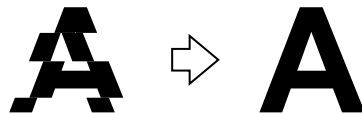
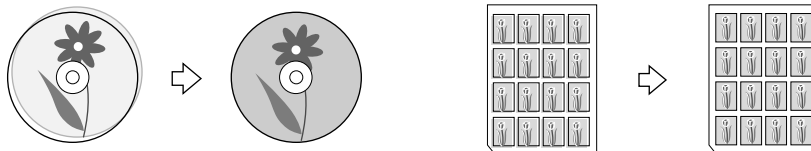
- ドライブ名（アイコン名）は、ボリュームラベルが設定されている場合は、そのボリュームラベルが表示されます。

3 データをコピーしたり、保存したりします。

4 メモリカードドライブを閉じます。

5 Mac OS X の場合は、メモリカードドライブのアイコンを、ゴミ箱に捨てます（ドラッグアンドドロップします）。

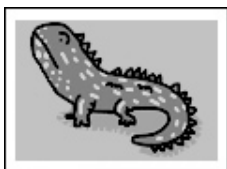
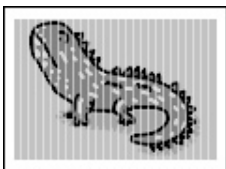
6 メモリカードスロットのランプが点滅していないことを確認し、メモリカードを取り出します。

以上で、「メモリカードドライブとしての使い方」の説明は終了です。

メンテナンスについて

上手に長くお使いいただくコツ

プリントヘッド（ノズル）の目詰まりを防ぐ

プリントヘッド（用紙にインクを吹き付ける部分）が目詰まりすると、印刷結果にスジが入ってシマシマになったり、おかしな色味で印刷されたりします。

正常時

目詰まり時

プリントヘッドの乾燥を防ぐ

■ 万年筆やボールペンなどにペン先の乾燥を防ぐためのキャップがあるように、本製品にもプリントヘッドの乾燥を防ぐためのキャップがあります。通常は印刷終了後などに自動的にキャップされますが、動作中に突然電源が切れたりすると、正しくキャップされずに乾燥してしまいます。

これを防ぐには
- 電源プラグは、スイッチ付きテーブルタップなどに接続せず、壁などに直付けされたコンセントに差し込んでください。
- 電源のオン / オフは、必ず操作パネル上の【電源】ボタンで行ってください。

■ 万年筆などを長期間放置すると乾燥して書けなくなるのと同じように、本製品も長期間使用しないでいると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする場合があります。

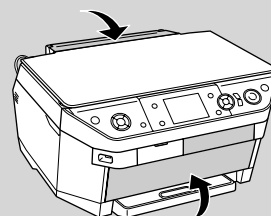
これを防ぐには
定期的に印刷することをお勧めします。定期的に印刷することで、プリントヘッドを常に最適な状態に保つことができます。

■ インクカートリッジを取り外したまま放置すると、プリントヘッドがキャップされない状態になり、乾燥してしまいます。

これを防ぐには
インクカートリッジを取り外したまま放置しないでください。

ホコリが付かないようにする

■ プリントヘッドのノズル（インクを出す穴）はとても小さいため、ホコリが付いただけでも目詰まりする場合があります。

これを防ぐには
- 使用しないときは、内部にホコリが入らないように、用紙サポートや排紙トレイを閉じてください。
- 長期間使用しないときは、布やシートなど（静電気が起きにくいもの）をかけておくことをお勧めします。

■ 内部の汚れをティッシュペーパーなどでふくと、ティッシュペーパーの繊維くずがプリントヘッドに付いて目詰まりする場合があります。

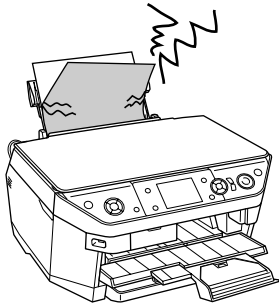
これを防ぐには
内部の汚れはふき取らずに、以下のコピー操作によりクリーニングしてください。
① 用紙をセットします。
② 原稿台のガラス面と保護マットに汚れがないかを確認します。
③ 原稿台に原稿をセットせずに、コピーを実行します。
☞ 本書 30 ページ「コピーの基本手順」
※ 用紙にインクの汚れが付かなくなるまで、①～③の手順を繰り返してください。

印刷を実行する前に

■ プリントヘッドの目詰まりを防いでいても、環境などによっては目詰まりして、きれいに印刷されない場合もあります。

これを防ぐには
印刷品質を重視する写真の印刷や、大量に印刷する場合は、印刷を実行する前に、ノズルチェック（目詰まりの確認）を行うことをお勧めします。
☞本書 122 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

紙詰まりを防ぐ

頻繁に紙詰まりが発生すると、故障の原因となります。

これを防ぐには
- 指定外の用紙は使用しないでください。
☞ 本書 14 ページ「印刷できる用紙・CD/DVD」
- 用紙によって取り扱い方やセットできる枚数が異なります。用紙ごとにセット方法をご確認ください。
☞ 本書 16 ページ「用紙のセット方法」

きれいにコピー/ スキャンするために

原稿台や原稿に汚れやホコリが付かないようにする

原稿台や原稿自体が汚れていたり、ホコリが付いていたりすると、汚れやホコリまでスキャンしてしまいます。

これを防ぐには
- 原稿をセットする前に、原稿台に汚れやホコリが付いていないかを確認してください。
- 原稿台（ガラス面）を、ティッシュペーパーなどの繊維くずが出るものでふかないでください。メガネふきなどの繊維くずが出ない布で汚れをふき取ることをお勧めします。
- 原稿や写真フィルムのホコリを取ろうとして、息を吹きかけないでください。つばが飛んで原稿や写真フィルムが汚れる場合があります。
- 印刷した用紙を原稿としてセットする場合は、インクが原稿台に付かないように、よく乾燥させてからセットしてください。
- 使用しないときは、原稿台にホコリが付かないように、原稿カバーを閉じておいてください。

印刷後の品質を保つために

一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

- 各専用紙の取り扱い方法は、各専用紙の取扱説明書をご覧ください。

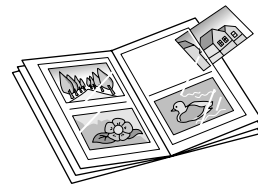
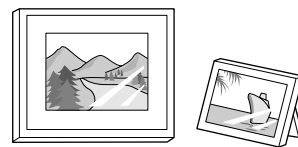
十分に乾燥させる

印刷後は、印刷面が重ならないように注意して十分に乾燥させてください。やむをえず重ねて乾燥させる場合は、それぞれを 15 分程度乾燥させた後、吸湿性のあるコピー用紙などを 1 枚ずつ挟んでください。
十分に乾燥していない状態でアルバムなどに保存すると、にじみが発生することがあります。

- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。

保存・展示方法

乾燥後は速やかに保存・展示を行ってください。

- **クリアファイルやアルバムに入れ、暗所で保存**
  光や空気が遮断されるため、変色の度合いを極めて低く抑えることができます。

- **ガラス付き額縁に入れて展示**
  空気が遮断されるため、変色の度合いを抑えることができます。

参考
- ガラス付き額縁などに入れた場合も、屋外での展示は避けてください。
- 写真現像室など化学物質がある場所での保存・展示は避けてください。
- ミニフォトシールを保存するときは、吸湿性のあるコピー用紙などに挟んでクリアファイルに入れてください。

インクカートリッジの交換

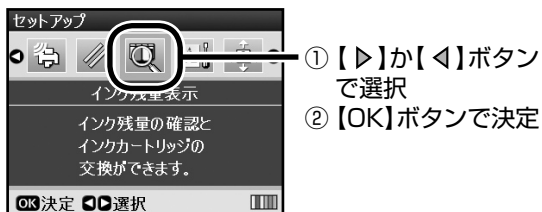
インク残量の確認

1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

インクカートリッジ交換のメッセージが表示されているときは、インク残量の表示はできません。インクカートリッジを交換してください。

☞本書 120 ページ「インクカートリッジ交換のメッセージが表示されたときは」

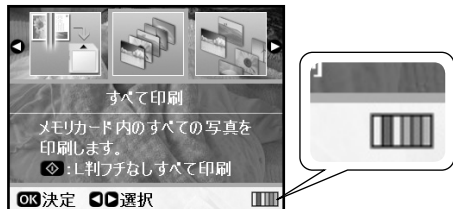
2 **メニューの［インク残量表示］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

3 **インク残量を確認します。**

【▷】か【◁】ボタンで［終了］を選択して【OK】ボタンを押すと、メニューに戻ります。

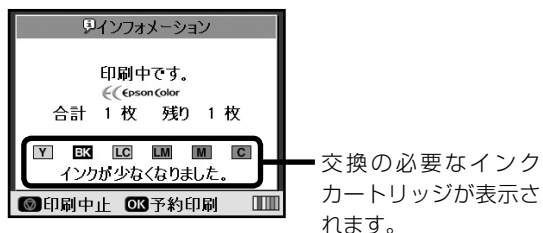
インクが少なくなると表示されます。

参考

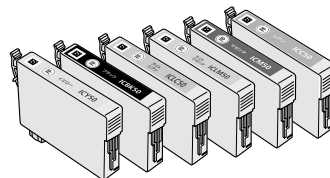
- インク残量は、初回のインク充てん後およびインクカートリッジ交換後の状態を100% とし、グラフで表示されます。
- インク残量は、各画面の右下のアイコンでも 3 段階のバーで簡易表示されます。

- 非純正インクカートリッジでは、インク残量は表示されません。
- インクカートリッジを交換する場合は以下をご覧ください。
  ☞本書 121 ページ「メッセージが表示される前に交換するときは」

新しいインクカートリッジの用意

インクが残り少なくなると、インク残量表示で「！」マークが表示されたり、印刷時のメッセージ画面に「インクが少なくなりました」と表示されます。

交換の必要なインクカートリッジが表示されます。

しばらくは印刷できますが、インクカートリッジ交換のメッセージが表示されると印刷できなくなります。
お早めに新しいインクカートリッジをご用意ください。

エプソンのインクカートリッジ純正品型番

【Y】	イエロー	: ICY50
【BK】	ブラック	: ICBK50
【LC】	ライトシアン	: ICLC50
【LM】	ライトマゼンタ	: ICLM50
【M】	マゼンタ	: ICM50
【C】	シアン	: ICC50

参考

- 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。非純正品を使うと印刷品質に悪影響がでるなど、製品本来の性能を発揮できない場合があります。
- 弊社は純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 非純正品の場合、プリンタドライバなどにインク残量は表示されません。

インクカートリッジ交換時のご注意

⚠注意

- インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。目に入った場合はすぐに水で洗い流し、皮膚に付着した場合はすぐに水や石けんで洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。
- インクカートリッジを分解しないでください。
- インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、インクが漏れることがあります。
- インクカートリッジは、お子様の手の届かないところに保管してください。また、インクは飲まないでください。

使用上のご注意

- インクカートリッジは個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また､開封後は6ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。
- インクカートリッジの緑色の基板には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。なお、再装着の際は、プリンタの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で、インク供給孔部分を下にするか横にして保管してください（インク供給孔部を上にして保管しないでください）。なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありませんが、供給孔部に付いたインクで周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温で放置してからご使用ください。
- インクカートリッジは、黄色いフィルムをはがしてお使いください。なお、その他のフィルムやラベルは絶対にはがさないでください。インクが漏れるおそれがあります。

保管上のご注意

- インクカートリッジは冷暗所で保管してください。
- インクカートリッジはお子様の手の届かないところに保管してください。

交換時のご注意

- インクカートリッジにインクを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。また、インクカートリッジは IC チップにインク残量を記憶していますが、インクを補充しても IC チップ内の残量値は書き換わらないため、使用できるインク残量は変わりません。
- 電源がオフの状態でインクカートリッジを交換しないでください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インクカートリッジを取り外した状態で、本製品を放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 交換中は電源をオフにしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- インク充てん中は、電源をオフにしないでください。充てんが不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用済みのインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いている場合がありますのでご注意ください。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはポリ袋などに入れて、弊社指定の最寄の回収ポストまでお持ちいただくか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。
- 黄色いフィルムは、必ずはがしてからセットしてください。はがさないまま無理にセットすると、印刷結果がかすれることがあります。

使用済みインクカートリッジについて

- 使用済みインクカートリッジの回収にご協力ください。
☞ 本書裏表紙「インクカートリッジの回収について」
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。

インク消費について

印刷時以外にも以下の場合にインクが消費されます。
- インクカートリッジ装着時
- 印刷前に行われるセルフクリーニング時
- プリントヘッドのクリーニング時

※ 初めてインクカートリッジを取り付ける際（セットアップ時）は、充てんによりインクが消費されます。

インクカートリッジ交換のメッセージが表示されたときは

インクカートリッジ交換のメッセージが表示されると、印刷できなくなります。画面に表示されているインクカートリッジを交換してください。エプソンの純正インクカートリッジのご使用をお勧めします。

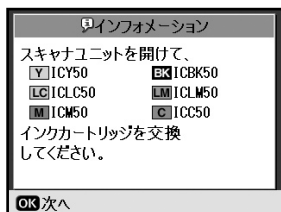
！注意

- CD/DVD トレイが挿入してある場合は取り出して、CD/DVD ガイドを通常の位置に戻してください。
- インクカートリッジ交換時は、操作部分（グレーで示した部分）以外には手を触れないでください。

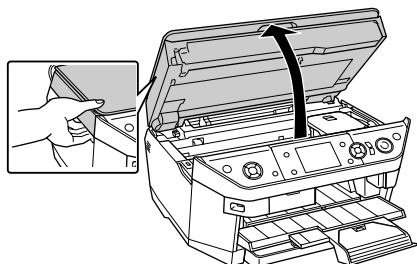
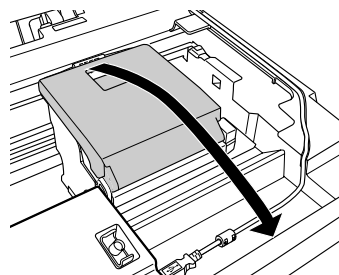
1 以下の画面が表示されたら【OK】ボタンを押します。

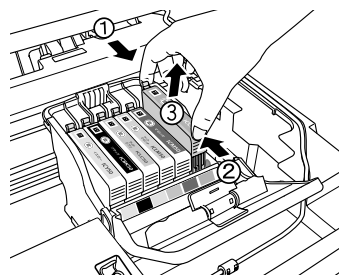
プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置へ移動します。

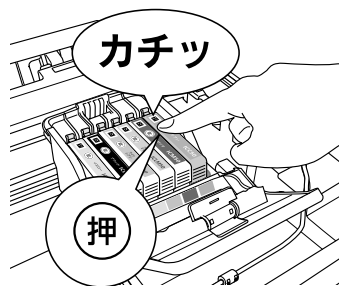
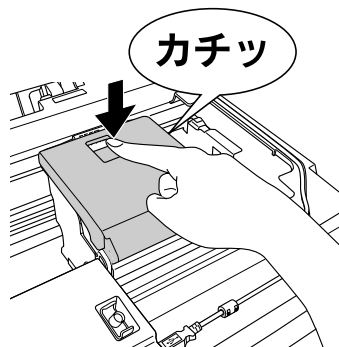
① 【OK】ボタンを押す

交換の必要なインクカートリッジが表示されます。

2 新しいインクカートリッジを袋から取り出して、黄色いフィルムのみをはがします。

3 スキャナユニットを開けます。

両側の取っ手に手をかけて、静かに開けます。

4 カートリッジ固定カバーを開けます。

5 交換するインクカートリッジを取り外します。

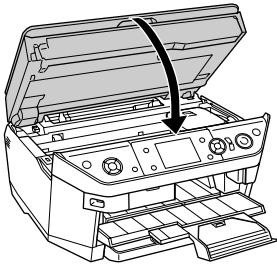
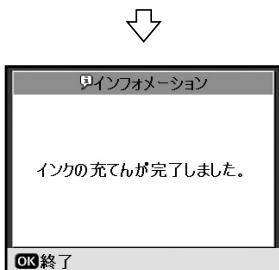
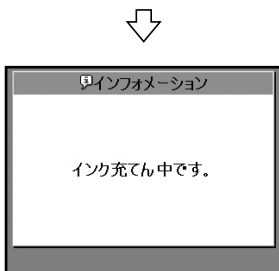
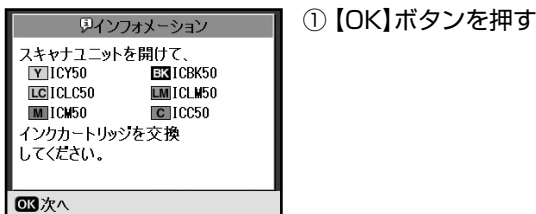
フックをつまみ、真上に取り外します。
外れないときは、強く引き抜いてください。

6 新しいインクカートリッジをセットします。

㊞の部分を、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込みます。

7 カートリッジ固定カバーを元の位置に倒してしっかりと閉じます。

8 **スキャナユニットを閉じます。**

9 **【OK】ボタンを押します。**

インク充てんが始まります。
インク充てんは約 2 分かかります。

① 【OK】ボタンを押す

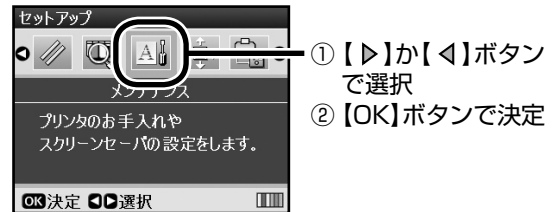
！注意

- インク充てんが始まらずに、「インクカートリッジがありません。」と表示された場合は、インクカートリッジをセットし直してみてください。
- 交換終了の画面が表示されない場合は、メッセージに従ってください。
- コピー中のインクカートリッジ交換作業では、原稿の位置がずれる可能性があります。【ストップ / 設定クリア】ボタンを押してコピーを中止後、残りのコピーを原稿のセットからやり直してください。

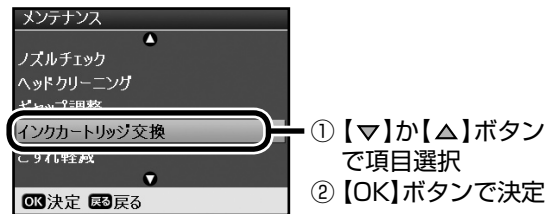
以上で、「インクカートリッジの交換」の説明は終了です。

メッセージが表示される前に交換するときは

大量印刷などのためにメッセージ表示前に交換するときは、以下の手順に従ってください。

1 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

2 **メニューの［メンテナンス］を選択します。**

3 **［インクカートリッジ交換］を選択します。**

プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置へ移動します。

この後は、前ページの「インクカートリッジ交換のメッセージが表示されたときは」の手順 2 以降に従ってください。

メンテナンス

ノズルチェックと ヘッドクリーニング

ノズルチェック

印刷結果にスジが入ったり、おかしな色味で印刷される場合は、ノズルチェック機能を使ってノズルの目詰まりを確認し、ノズルが目詰まりしている場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。

☞ 本書巻末「プリントヘッドの目詰まり」サンプル

①ノズルチェックパターンの印刷

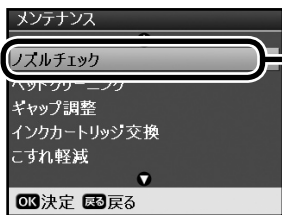
1 **背面オートシートフィーダに A4 サイズの普通紙をセットします。**

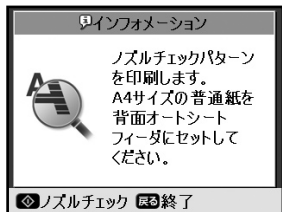
☞本書 16 ページ「背面オートシートフィーダへの用紙のセット（基本手順）」

2 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

3 **メニューの［メンテナンス］を選択します。**

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

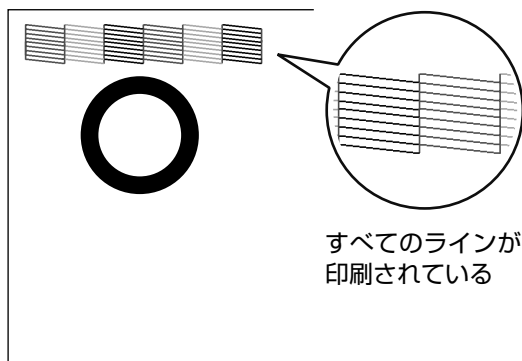
3 **［ノズルチェック］を選択します。**

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

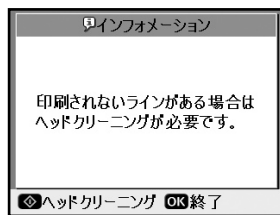
4 **ノズルチェックパターンを印刷します。**

① 【スタート】ボタンで実行

②ノズルチェック（目詰まりの確認）

印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

すべてのラインが印刷されている場合

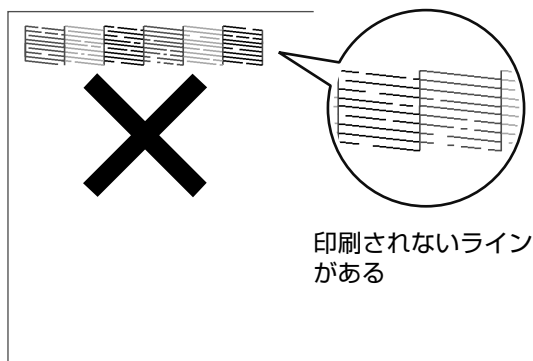
正常な印刷例

ノズルは目詰まりしていません。

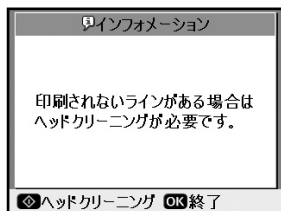
ノズルチェックを終了します。

① 【OK】ボタンで終了

参考

- きれいに印刷できない（印刷品質が低下した）原因がほかに考えられますので、以下のページをご覧ください。
  ☞ 本書 138 ページ「印刷品質 / 結果のトラブル」

印刷されないラインがある場合

ノズルが目詰まりしているときの印刷例

ノズルは目詰まりしています。

【スタート】ボタンを押してヘッドクリーニングを実行し、次のヘッドクリーニングの手順 5 に進んでください。

① 【スタート】ボタンでヘッドクリーニング実行

参考

- ノズルチェックパターンのすべてのラインが印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。
- 長期間使用していない場合、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、目詰まりが改善されない場合があります。
  ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に 4 回程度繰り返しても改善されない場合は、本製品の電源をオフにして 6 時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。
  それでも目詰まりが改善できない場合は、エプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
  ☞本書 164 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

以上で、「ノズルチェック」の説明は終了です。

ヘッドクリーニング

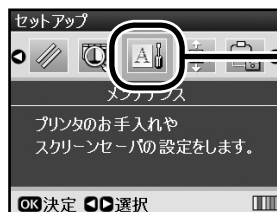
！注意

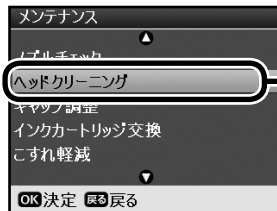
- CD/DVD トレイが挿入してある場合は取り出して、CD/DVD ガイドを通常の印刷位置に戻してください。
  ☞ 本書 25 ページ「CD/DVD の取り出し方法」

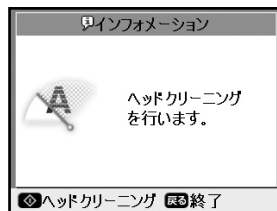
参考

- ヘッドクリーニングは、インクを吐出して、プリントヘッドのノズルをクリーニングします。必要以上に行わないでください。
- 十分なインク残量がないときは、ヘッドクリーニングはできません。インクカートリッジを交換してから実行してください。

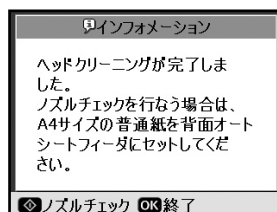
1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 メニューの［メンテナンス］を選択します

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

3 ［ヘッドクリーニング］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

4 ヘッドクリーニングを実行します。

① 【スタート】ボタンで実行

5 ノズルの目詰まりを再確認します。

【スタート】ボタンを押してノズルチェックパターンを印刷し、前ページの「②ノズルチェック（目詰まりの確認）」を行ってください。

① 【スタート】ボタンでノズルチェックパターン印刷

以上で、「ヘッドクリーニング」の説明は終了です。

プリントヘッドのギャップ調整

縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップがずれている可能性があります。下記の手順でギャップ調整してください。

1 **背面オートシートフィーダに A4 サイズの普通紙をセットします。**

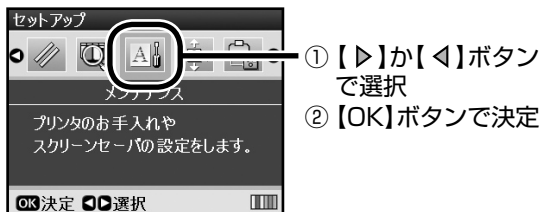
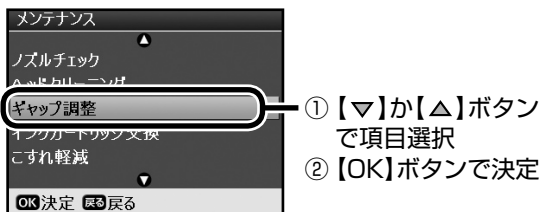
☞本書 16 ページ「背面オートシートフィーダへの用紙のセット（基本手順）」

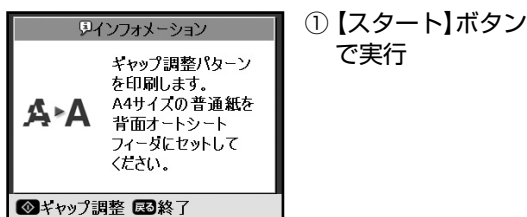
2 **【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。**

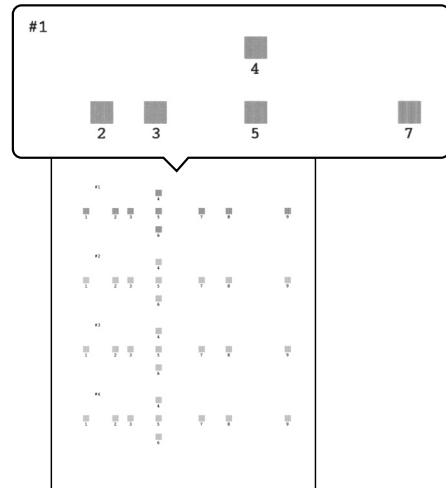
3 **メニューの［メンテナンス］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

4 **［ギャップ調整］を選択します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【OK】ボタンで決定

5 **ギャップ調整パターンを印刷します。**

①【スタート】ボタンで実行

6 **印刷されたギャップ調整パターンを確認します。**

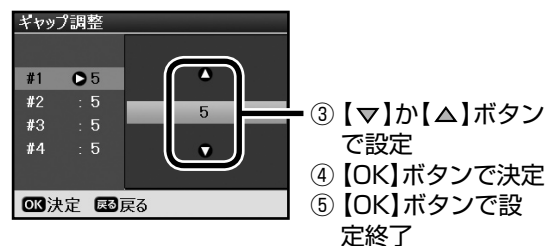
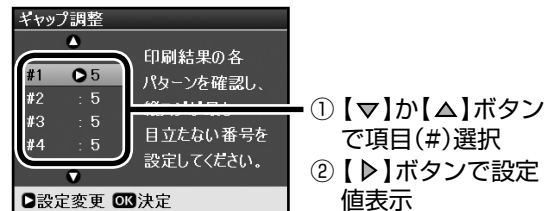
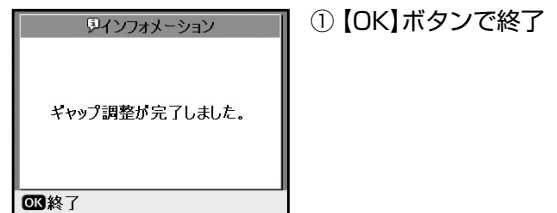
＃１から＃４それぞれについて、もっとも縦スジが入っていないように見えるパターンを探します。下図の＃１の例では「3」を選択します。

7 **印刷結果の情報を設定します。**

＃１から＃４まで、手順 6 で確認した番号を設定します。

①【▽】か【△】ボタンで項目(#)選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで設定
④【OK】ボタンで決定
⑤【OK】ボタンで設定終了

8 **【OK】ボタンを押して、終了します。**

①【OK】ボタンで終了

次の印刷から調整結果が反映されます。

以上で、「プリントヘッドのギャップ調整」の説明は終了です。

印刷こすれの軽減

印刷面がこすれて汚れる場合は、「こすれ軽減」機能をお試しください。印刷面とプリントヘッドの間隔をわずかに広げて印刷することにより、印刷こすれが軽減されます。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

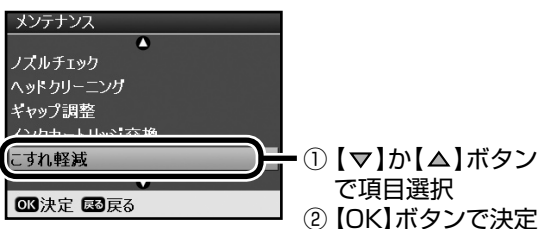
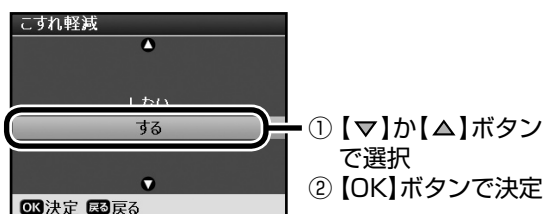
2 メニューの［メンテナンス］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

3 ［こすれ軽減］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

4 こすれ軽減を［する］に設定します。

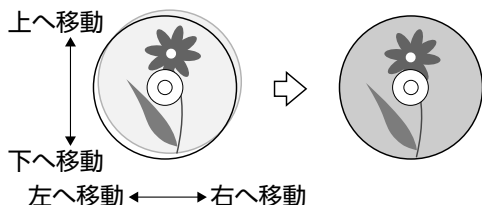
① 【▽】か【△】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

次の印刷から調整結果が反映されます。

- こすれ軽減の設定は、電源をオフにするまで有効です。一旦電源をオフにして、もう一度電源をオンにすると、こすれ軽減の設定が［しない］に戻ります。

以上で、「印刷こすれの軽減」の説明は終了です。

印刷位置調整

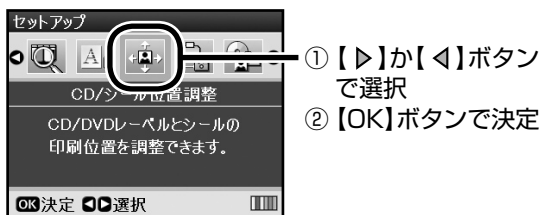
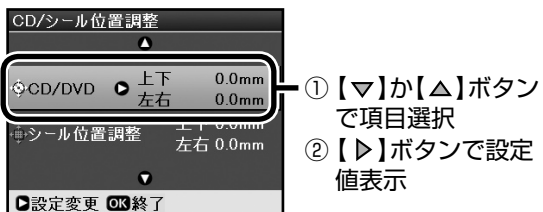
CD/DVD レーベルの位置調整

印刷位置がずれている場合は、以下の手順で画像の印刷位置を上下左右に調整することができます。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

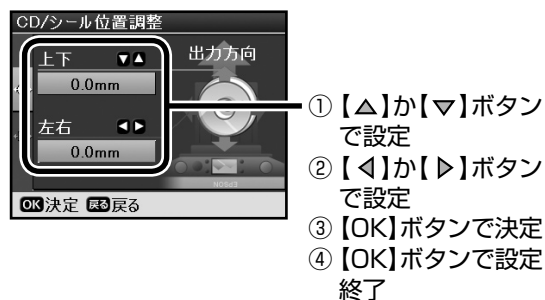
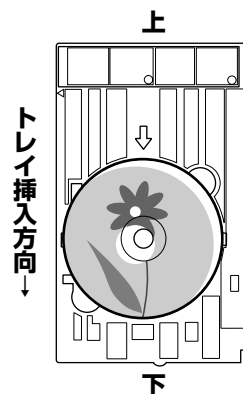
2 メニューの［CD/ シール位置調整］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

3 ［CD/DVD］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

4 印刷位置を設定します。

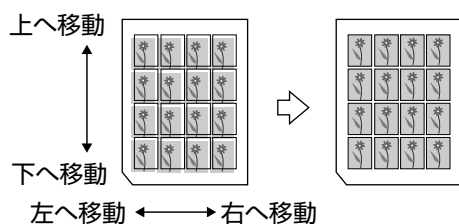
0.1mm 単位で、上下左右「0.0〜2.0mm」の範囲で設定できます。

① 【△】か【▽】ボタンで設定
② 【◁】か【▷】ボタンで設定
③ 【OK】ボタンで決定
④ 【OK】ボタンで設定終了

トレイの挿入方向が調整をするときの「下」になります。挿入されたトレイを図の向きに持ち替えてから、上下 / 左右のずれを確認してください。

次の印刷から調整結果が反映されます。

- CD コピー時に印刷位置（範囲）が大きくずれる場合は、原稿台にゴミや汚れがないかを確認してください。汚れがあると正しくスキャンされず、正しい位置に印刷されないことがあります。

以上で、「CD/DVD レーベルの位置調整」の説明は終了です。

ミニフォトシールの位置調整

印刷位置がずれている場合は、以下の手順で画像の印刷位置を上下左右に調整することができます。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 メニューの［CD/ シール位置調整］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

3 ［シール位置調整］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【▷】ボタンで設定値表示

4 印刷位置を設定します。

0.1mm 単位で、上下左右「0.0～2.5mm」の範囲で設定できます。

① 【△】か【▽】ボタンで設定
② 【◁】か【▷】ボタンで設定
③ 【OK】ボタンで決定
④ 【OK】ボタンで設定終了

次の印刷から調整結果が反映されます。

以上で、「ミニフォトシールの位置調整」の説明は終了です。

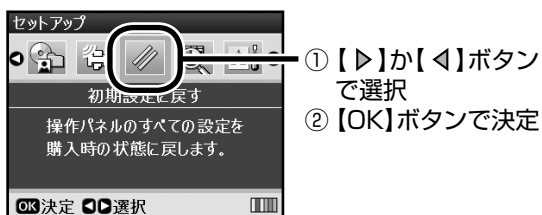
操作パネルの設定

設定値の初期化

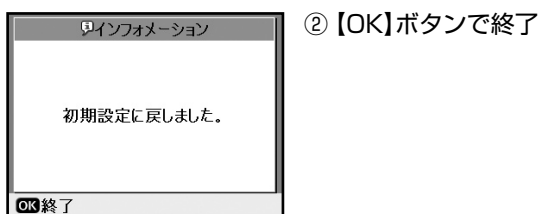
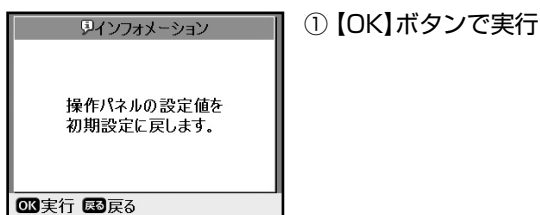
本製品の設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 メニューの［初期設定に戻す］を選択します。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

3 初期化を実行します。
お買い上げ時の設定になります。

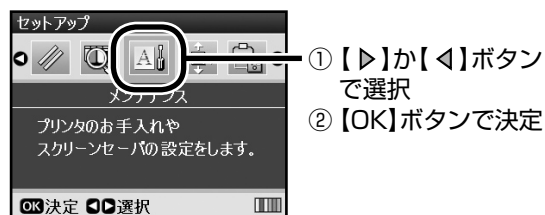
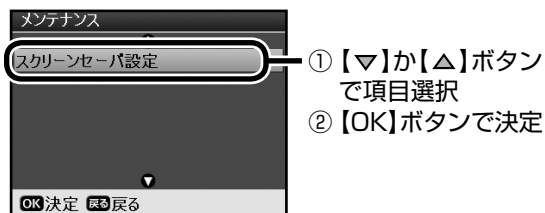
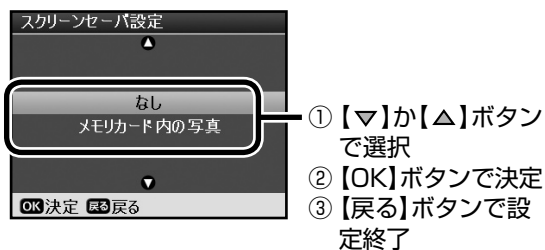
①【OK】ボタンで実行

②【OK】ボタンで終了

以上で、「設定値の初期化」の説明は終了です。

スクリーンセーバの設定

液晶ディスプレイのスクリーンセーバに、メモリカードの写真を設定することができます。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 メニューの［メンテナンス］を選択します。

3 ［スクリーンセーバ設定］を選択します。

4 ［メモリカード内の写真］を選択します。
以降、写真データが保存されているメモリカードをセットした状態で、約3分間操作をしない場合に、メモリカードの写真がスクリーンセーバとして順次表示されます。

［なし］を選択すると、スクリーンセーバは起動しません。

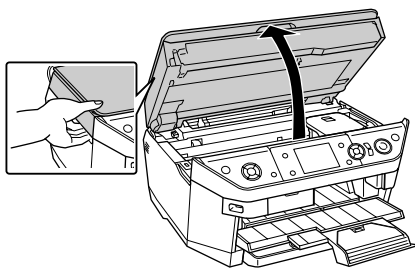
以上で、「スクリーンセーバの設定」の説明は終了です。

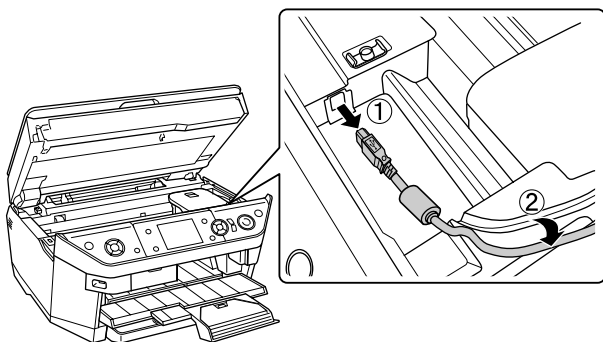
USB ケーブルの取り外し

USB ケーブルの取り外し方

USB ケーブルをお使いにならない場合は取り外すことができます。

1 スキャナユニットを開けます。

⚠注意
- スキャナユニットの開閉の際には、指などを挟まないように注意してください。特に、スキャナユニットの背面には手を近付けないようにしてください。

2 USB ケーブルを取り外します。

!注意
- ケーブルを傷付けないように注意してください。

参考
- 取り外した USB ケーブルは、パソコンと接続するときに必要になりますので、大切に保管しておいてください。

3 スキャナユニットを閉じます。

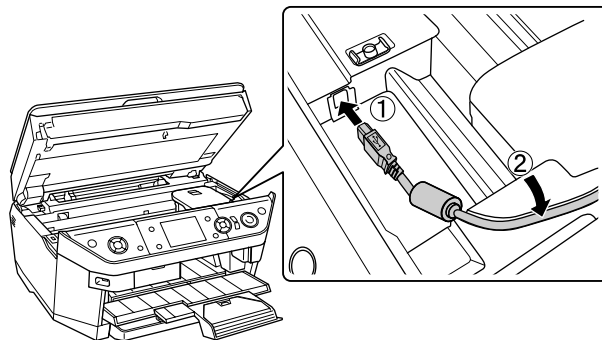
以上で、「USB ケーブルの取り外し方」の説明は終了です。

USB ケーブルの取り付け方

1 スキャナユニットを開けます。

⚠注意
- スキャナユニットの開閉の際には、指などを挟まないように注意してください。特に、スキャナユニットの背面には手を近付けないようにしてください。

2 USB ケーブルを取り付けます。

USB ケーブルを本体のコネクタに差し込み、側面の溝に沿って取り付けます。

3 スキャナユニットを閉じます。

!注意
- スキャナユニットでケーブルをつぶさないように注意してください。

参考
- USB ハブを使用する場合は、パソコンに直接接続されたハブに、接続してください。

以上で、「USB ケーブルの取り付け方」の説明は終了です。

輸送時（引っ越しや修理のとき）のご注意

本製品を輸送するときは、衝撃などから守るために、以下の作業を確実に行ってください。

プリントヘッドの固定

1 【電源】ボタンを押して、電源をオフにします。

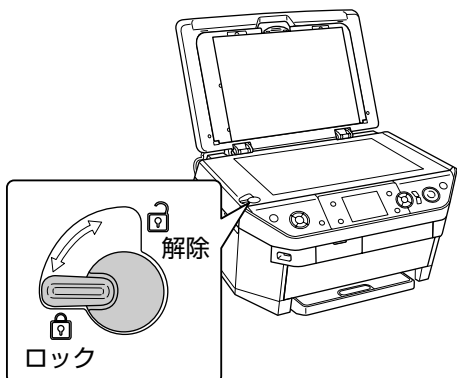
プリントヘッドが右側のホームポジション（待機位置）に移動し、固定されます。

!注意

- インクカートリッジは取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- プリントヘッドの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、プリントヘッドがホームポジションに移動せず、固定できません。その場合は、もう一度電源をオンにしてから、【電源】ボタンを押して電源をオフにしてください。

輸送用固定レバーのロック

1 原稿カバーを開けます。

2 輸送用固定レバーをロック側にします。

!注意

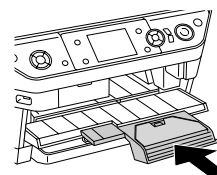
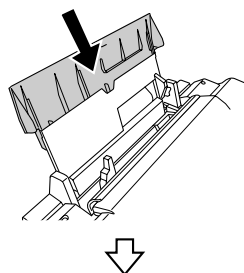
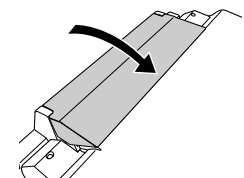
- 輸送用固定レバーをスムーズに動かせないときは、一旦電源をオンにしてから、【電源】ボタンを押して電源をオフにしてください。

3 原稿カバーを閉じます。

梱包

1 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを本体から取り外します。

電源がオンになっている場合は、【電源】ボタンを押して電源をオフにしてから、電源プラグを抜いてください。

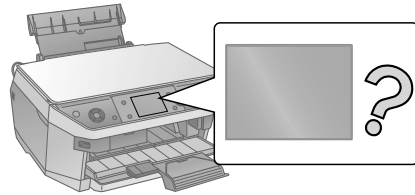
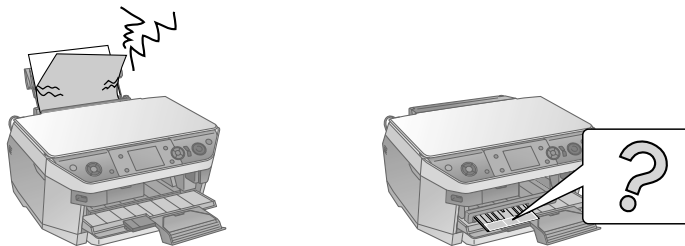
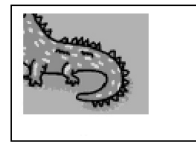
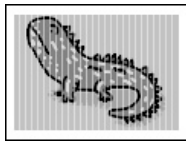
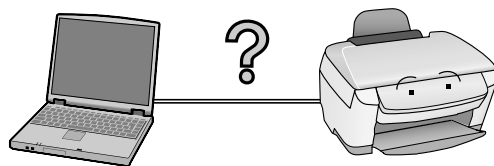
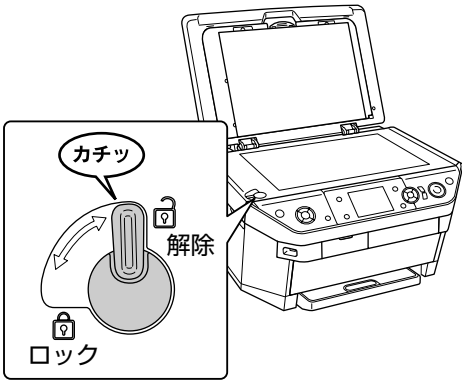
2 用紙サポートと排紙トレイを収納します。

3 保護材を取り付け、本製品を水平にして梱包箱に入れます。

!注意

- 保護材の取り付け時や輸送時には、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態にしてください。

輸送後のご注意

- 輸送用固定レバーのロックを解除してください。
- 印刷不良が発生した場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
  ☞本書 122 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

どんなトラブル？

電源 / 操作パネルのトラブル

<table>
<tr><th colspan="2">症状 / トラブル状態</th><th>確認 / 対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="3">● 電源が入らない</td><td rowspan="2">電源ランプが
点滅 / 点灯しない</td><td>■ 【電源】ボタンを少し長めに押してください。</td></tr>
<tr><td>■ 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
差し込みが浅かったり、斜めに差し込まれていないかをご確認ください。
■ コンセントに電源はきていますか？
ほかの電化製品の電源プラグを差し込んで、電源が入るかをご確認ください。ほかの電化製品の電源が入る場合は、本製品の故障が考えられます。</td></tr>
<tr><td>電源ランプは点灯しているが、液晶ディスプレイに何も表示されない</td><td>■ 液晶ディスプレイのスリープモード状態です（電源は入っています）。
【電源】ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。操作画面が表示されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">● 電源が切れない</td><td>■ 【電源】ボタンを少し長めに押してください。
それでも電源が切れない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、もう一度電源を入れて、必ず【電源】ボタンで電源をオフにしてください。そのまま放置すると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする場合があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">● 電源をオンにすると、ガタガタと音がする
● スキャナエラーやプリンタエラーが表示される</td><td>■ 輸送用固定レバーが<🔒>位置（ロック）になっていませんか？
【電源】ボタンを押して電源をオフにしてから、原稿台の横にある輸送用固定レバーを<🔓>位置（解除）にしてください。ロックが解除されます。
☞ 本書 9 ページ「⑲ 輸送用固定レバー」
カチッ　解除　ロック
■ 内部に異物（輸送用の青い保護テープ、用紙など）が入っていませんか？
【電源】ボタンを押して電源をオフにしてからスキャナユニットを開け、内部に異物が入っていないか確認してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">● 液晶ディスプレイが暗くなった</td><td>■ 液晶ディスプレイのスリープモード状態です。
【電源】ボタン以外のいずれかのボタンを押してください。操作画面が表示されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">● 液晶ディスプレイに表示されたメッセージの内容がわからない</td><td>■ メッセージを確認し、エラー表示一覧をご覧ください。
☞ 本書 157 ページ「エラー表示一覧」</td></tr>
<tr><td colspan="2">● 印刷設定で、設定したい用紙サイズ（B5 やカードなど）が表示されない</td><td>■ 用紙の設定は［用紙種類］を設定してから［用紙サイズ］を設定してください。
例えば B5 サイズのコピー用紙を設定する場合は、用紙種類を［普通紙］に設定してから、用紙サイズを［B5］に設定します。</td></tr>
</table>

給紙 / 排紙のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 用紙が詰まった ● CD/DVD トレイが詰まった	■ 無理に引っ張らずに、以下のページの手順に従って取り除いてください。 ☞ 本書 135 ページ「詰まった用紙や CD/DVD トレイの取り除き方法」
● L 判 /A4 などの定形紙が、うまく給紙できない / 送られない	■ 用紙のセット方法は正しいですか？ 以下の項目をチェックしてください。 • 用紙の端をよく揃えましたか？ • 用紙を縦方向にセットしていますか？（往復ハガキのみ横方向） • セットしている用紙の量が多すぎませんか？ 正しいセット方法をご確認ください。 ☞ 本書 13 ページ「印刷用紙、CD/DVD のセット方法」 ■ 給紙方法の設定は正しいですか？ 実際に用紙をセットしている給紙装置と、印刷設定で設定している［給紙方法］が合っていないと、給紙されません。［給紙方法］を正しく設定してください。 ☞ 本書 44 ページ、76 ページ、88 ページ「印刷設定」 ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「プリンタドライバの基本的な使い方」 ■ 本製品で使用できない用紙をお使いではありませんか？ 使用できない用紙を使うと、紙詰まりの原因になります。以下の項目をチェックしてください。 • 用紙にシワや折り目はないですか？ • 用紙は厚すぎたり薄すぎたりしませんか？ • 用紙が湿気を含んでいませんか？ • 用紙が反っていませんか？ • ルーズリーフ用紙やバインダ用紙などの、穴のあいている用紙ではありませんか？ 使用できる用紙をご確認ください。 ☞ 本書 13 ページ「印刷用紙、CD/DVD のセット方法」 ■ 本製品は水平な場所に設置されていますか？ 以下の場合は、本製品の内部機構に無理な力がかかって歪み、印刷や給紙に悪影響を及ぼします。 • 設置場所が水平ではない • 設置場所とプリンタの間に何か物が挟まれている • プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出している また、水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。 ■ 一般の室温環境下で使用されていますか？ 一般の室温環境下(室温:15～25 度、湿度:40～60%)以外で使用した場合は、専用紙や専用ハガキを正常に紙送りできない場合があります。 ■ 製品内部のローラが汚れている可能性があります。 ＜前面用紙カセットからうまく給紙できない場合＞ 背面オートシートフィーダから印刷してください。 ＜背面オートシートフィーダからうまく給紙できない場合＞ お使いのエプソン製専用紙に、クリーニングシートが添付されている場合は、クリーニングシートを使ってローラをクリーニングしてください。 ☞ 本書 116 ページ「ホコリが付かないようにする」

つづく

つづき

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● CD/DVD トレイがうまく送られない ● CD/DVD トレイが排出されてしまう	■ CD/DVD トレイのセット方法は正しいですか？ 以下の項目をチェックしてください。 • 排紙トレイの引き出し部が収納されていますか？ • CD/DVD ガイド（トレイを差し込む部分）が、CD/DVD 印刷位置になっていますか？ • CD/DVD トレイを差し込む際、本体側とトレイ上の三角マークを合わせましたか？ 正しいセット方法をご確認ください。 本書 24 ページ「CD/DVD のセット方法」 ■ 市販の CD/DVD レーベル印刷対応アプリケーションソフトから印刷する場合、給紙方法の設定は正しいですか？ CD/DVD に印刷する場合は、プリンタドライバの給紙方法の設定が［CD/DVD トレイ］以外に設定されていると、正しく給紙されません。［CD/DVD トレイ］に設定してください。 『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「アプリケーションソフト別印刷設定一覧」

詰まった用紙や CD/DVD トレイの取り除き方法

注意

- 詰まった用紙を手で取り除くときは、絶対に強く引っ張らないでください。強く引っ張ると、本製品が故障するおそれがあります。
- 詰まった用紙がどうしても取り除けない場合は、本製品を分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、修理をご依頼ください。
  ☞本書 164 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

参考

- 自動両面印刷時に詰まったときは、以下のページの手順に従って取り除いてください。
  ☞本書 176 ページ「自動両面ユニットに詰まった用紙の取り除き方法」

L 判 /A4 などの定形紙の場合

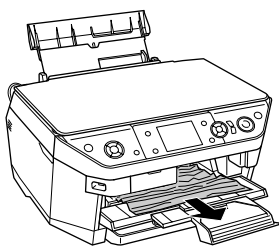
1 【スタート】ボタンを押します。

詰まった用紙が排出される場合があります。
排出されない場合は、手順 2 に進んでください。

2 電源をオフにします。

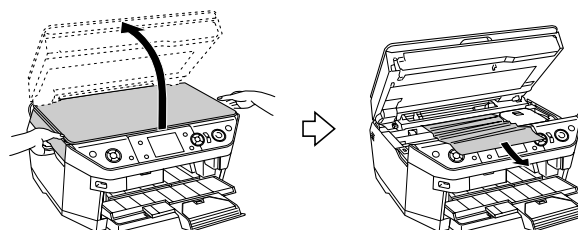
液晶ディスプレイと、すべてのランプが消えたことを確認します。

■排紙トレイ部から取り除く

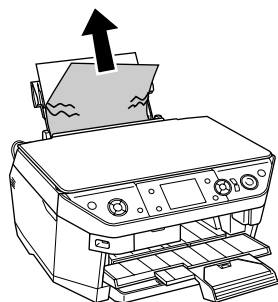
1 排紙トレイの奥に詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。

取り除けない場合は、次の項目に進んでください。

■プリンタ内部から取り除く

1 スキャナユニットを開け、内部に詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。

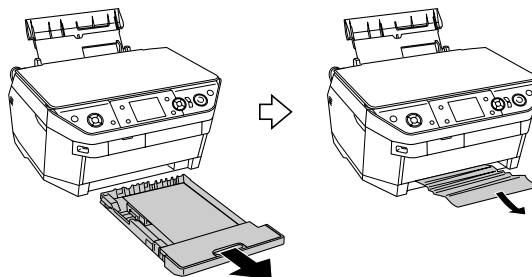
取り除いたらスキャナユニットを閉じてください。

取り除けない場合は、次の項目に進んでください。

■背面オートシートフィーダ部から取り除く

1 背面オートシートフィーダに詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。

取り除けない場合は、次の項目に進んでください。

■前面用紙カセット部から取り除く

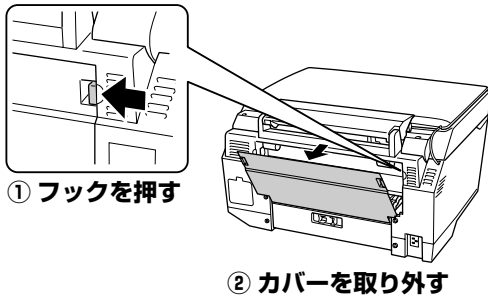
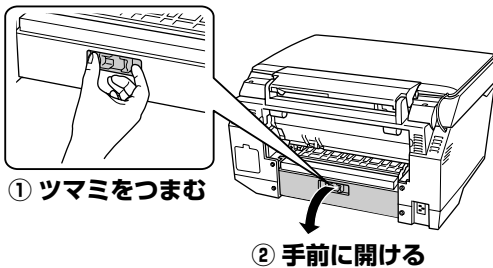
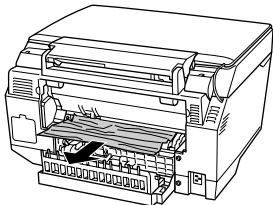
1 排紙トレイを閉じます。

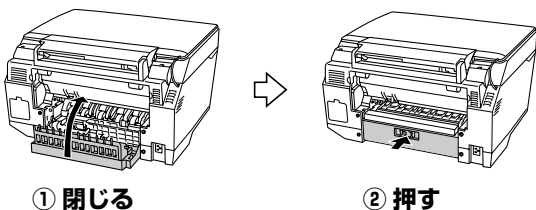
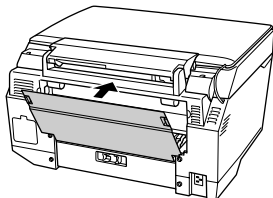
2 前面用紙カセットを取り外し、奥に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。

3 前面用紙カセットを取り付けます。

取り除けない場合は、次の項目に進んでください。

■プリンタ背面部から取り外す

1 背面カバー(上)を取り外します。

カバー両端のフックを押して、取り外してください。

2 背面カバー（下）のツマミをつまんで手前に開けます。

3 内部に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。

4 背面下部を閉じます。

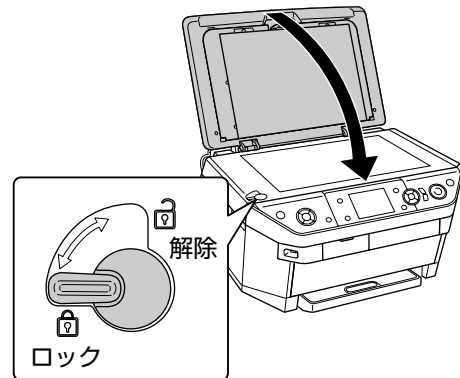
ゆっくり閉じて、最後にしっかり押してください。

5 背面カバー(上)を取り付けます。

取り除けない場合は、次の項目に進んでください。

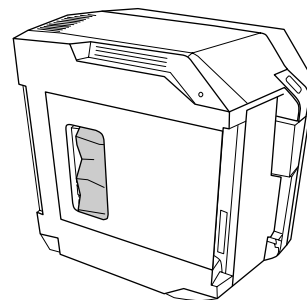
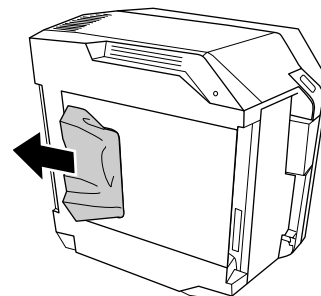
■プリンタ底面部から取り除く

1 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを本体から取り外します。

電源がオンになっている場合は、【電源】ボタンを押して電源をオフにしてから、電源プラグを抜いてください。

2 原稿カバーを開けます。

3 輸送用固定レバーをロック側にして、原稿カバーを閉じます。

4 用紙サポートを収納します。

5 前面用紙カセットを取り外し、本体を横向きに立てます。

6 本体底面から内部を確認して、用紙が詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。

6 本体を元に戻し､前面用紙カセットを取り付けます。

7 電源コードを接続します。

8 原稿カバーを開け､輸送用固定レバーを解除側にして､原稿カバーを閉じます。

名刺 / カードなどの小さい用紙の場合

1 名刺またはカードサイズの用紙を､もう 1 枚セットします。

必ず縦方向にセットしてください。

2 【スタート】ボタンを押します。

詰まっている用紙が送り出されます。
送り出されずに内部で止まっている場合は、手順 3 に進んでください。

3 電源をオフにします。

液晶ディスプレイと、すべてのランプが消えたことを確認します。

4 スキャナユニットを開け、内部に詰まっている用紙をゆっくりと引き抜きます。

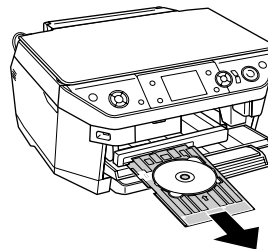
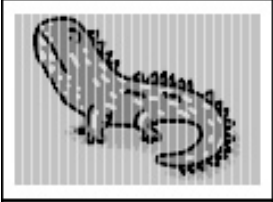
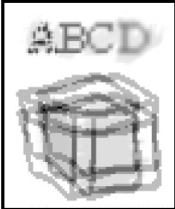
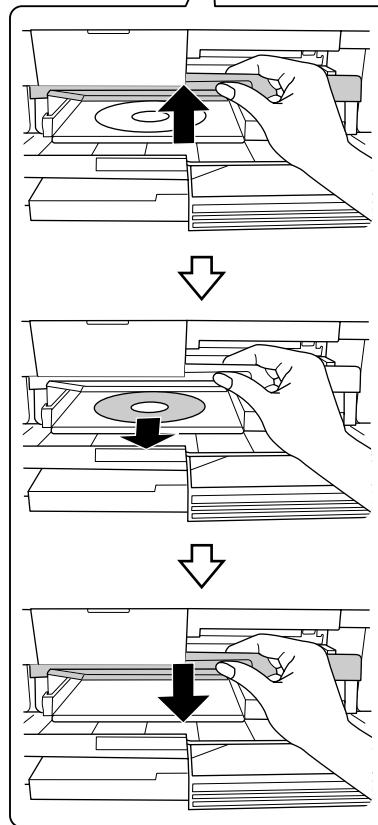
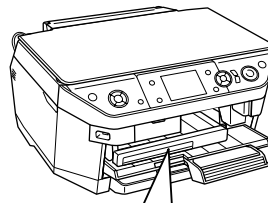
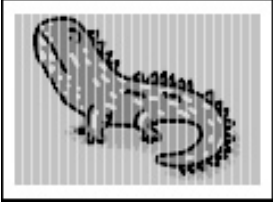
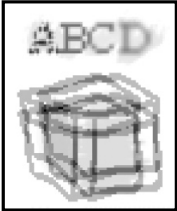
参考

- 誤って名刺やカードなどを前面用紙カセットから給紙して詰まったときは、以下の手順に従って取り除いてください。
  ① 電源をオフにして、液晶ディスプレイとすべてのランプが消えたことを確認します。
  ② 背面カバー（上）を取り外します。
  ③ 背面カバー（下）のツマミをつまんで手前に開き、内部に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。
  ④ 背面下部を閉じ、背面カバーを取り付けます。
  ⑤ スキャナユニットを開け、内部に用紙が詰まっている場合はゆっくりと引き抜き、スキャナユニットを閉じます。

CD/DVD の場合

1 【スタート】ボタンを押します。

CD/DVD トレイが排出されます。
排出されない場合は、手順 2 に進んでください。

2 CD/DVD トレイを、手でゆっくりと引き抜きます。

参考

- CD/DVD ガイドの中に CD/DVD が入ってしまったときは、CD/DVD ガイドの上蓋を開けて取り除いてください。
  取り除いた後は、しっかり蓋を閉じてください。

以上で、「詰まった用紙の取り除き方法」の説明は終了です。

印刷品質 / 結果のトラブル

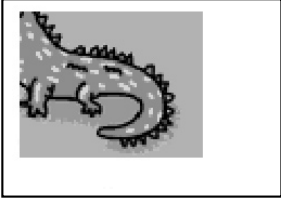
＜印刷品質が悪い / きれいに印刷できない＞

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● かすれる ● スジや線が入る / シマシマになる ● ぼやける ● 文字や罫線がガタガタになる ● 色合いがおかしい ● 印刷されない色がある ● 印刷にムラがある ● モザイクがかかったように印刷される ● 印刷の目が粗い（ギザギザしている）	－本体－ ■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？ ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。 ＜操作パネルで操作する場合＞ ☞ 本書 122 ページ「ノズルチェックとヘッドグリーニング」 ＜パソコンから操作する場合＞ ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 ■ インクカートリッジは推奨品（エプソン純正品）をお使いですか？ 本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に色調整されています。純正品以外を使うと印刷品質が低下する場合があります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。 ☞ 本書裏表紙「インクカートリッジの型番」 ■ 古くなったインクカートリッジを使用していませんか？ 古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が低下します。開封後は 6 ヵ月以内に使い切ってください。未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載されています。 ■ パソコンのディスプレイ表示と印刷結果を比較していませんか？ ディスプレイ表示とプリンタで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。 ■ 双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？ 本製品は高速で印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。この印刷方式を「双方向印刷」と呼びます。この双方向印刷をしているときに、まれに、右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になる場合があります。 ギャップ調整機能を使って、ギャップのズレをご確認ください。 ＜操作パネルで操作する場合＞ ☞ 本書 124 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」 ＜パソコンから操作する場合＞ ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「ギャップ調整」 ■ 背面カバー（下）は閉じていますか？ 背面下部のカバーは、しっかり閉じてください。 ☞ 本書 136 ページ「プリンタ背面部から取り除く」手順 4

つづく

●●●➡つづき

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● かすれる ● スジや線が入る / シマシマになる ● ぼやける ● 文字や罫線がガタガタになる ● 色合いがおかしい ● 印刷されない色がある ● 印刷にムラがある ● モザイクがかかったように印刷される ● 印刷の目が粗い（ギザギザしている）	－用紙－ ■ 写真などを普通紙に印刷していませんか？ 画像などの、文字に比べ印刷面積の大きい原稿を普通紙に印刷すると、インクがにじむ場合があります。画像などを印刷するときや、より良い品質で印刷するためには、専用紙のご使用をお勧めします。 ☞ 本書 14 ページ「印刷できる用紙･CD/DVD」－「エプソン製専用紙」 ■ 用紙の裏面に印刷していませんか？ 専用紙には裏表があります。以下のページ、または専用紙の説明書を参照し、セットしてください。 ☞ 本書 22 ページ「写真用紙 / 特殊用紙（バラエティ用紙）のセット」 ■ 印刷後、用紙を重なった状態で放置していませんか？ 印刷後の用紙が重なっていると、重なった部分の色が変わる（重なった部分に跡が残る）ことがあります。印刷後の用紙は、速やかに 1 枚ずつ広げて乾燥させてください。重なっている状態で放置すると、1 枚ずつ広げて乾燥させても跡が消えなくなります。 ☞ 本書 117 ページ「印刷後の品質を保つために」
	－印刷設定－ ■ ［用紙種類］の設定は正しいですか？ セットした用紙の種類と、印刷設定の［用紙種類］が合っていないと、印刷品質が悪くなります。印刷設定をご確認ください。 ☞ 本書 26 ページ「［用紙種類］の設定」 ■ 印刷品質の低いモード（［速い］など）で印刷していませんか？ 印刷品質の設定値は［用紙種類］などによって異なりますが、［速い］や［エコノミー］に設定していると、低解像度で印刷されます。［きれい］などの設定で印刷をお試しください。 ■ カラー調整の設定をしていませんか？ 明るさやコントラストなどのカラー調整をすると、印刷結果の濃さが変わります。印刷設定をご確認ください。 ☞ 本書 77 ページ「印刷設定」 ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「色を補正して印刷しよう」 ■ オートフォトファイン（自動画質補正）の設定で印刷していませんか？ • オートフォトファインは、被写体の配置などを解析して画像処理を行います。このため、被写体の配置が変わる操作（回転、拡大 / 縮小、トリミングなど）を行うと、印刷される色合いが変わることがあります。また、フチなし印刷時とフチあり印刷時とでは被写体の配置が若干変わるため、色合いが変わることがあります。 • オートフォトファインで印刷すると、画像内のピントがあっていない場所で不自然な階調が生じる場合があります。この場合は、オートフォトファイン以外のモードを選択して印刷してください。 ☞ 本書 77、88 ページ「印刷設定」

つづく●●●➡

つづき

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法

● かすれる
● スジや線が入る / シマシマになる

● ぼやける

● 文字や罫線がガタガタになる

● 色合いがおかしい
● 印刷されない色がある
● 印刷にムラがある
● モザイクがかかったように印刷される
● 印刷の目が粗い（ギザギザしている）

－データ－

■ 写真データの画像サイズが、印刷サイズに適していますか？
デジタルカメラで撮影した写真データは、細かい点（画素）の集まりで構成されています。同じサイズの用紙に印刷する場合には、この画素数が多いほど、なめらかで高画質な印刷ができます。また、印刷サイズが大きくなればなるほど画素数の多い画像データが必要になります。
画像サイズに適した印刷サイズは以下の通りです。

デジタルカメラの画素数	標準的な画像サイズ（ピクセル）	印刷サイズの目安			
		カード	L判	2L判	A4
約 30 万画素	640 × 480	◎	○	△	△
約 48 万画素	800 × 600	◎	○	△	△
約 80 万画素	1024 × 768	◎	◎	○	△
約 130 万画素	1280 × 1024	◎	◎	◎	△
約 200 万画素	1600 × 1200	□	◎	◎	○
約 300 万画素	2048 × 1536	□	◎	◎	○
約 400 万画素	2240 × 1680	□	◎	◎	◎
約 500 万画素	2560 × 1920	＊	□	◎	◎
約 600 万画素	2816 × 2120	＊	□	◎	◎
約 700 万画素	3072 × 2304	＊	□	◎	◎
約 800 万画素	3250 × 2450	＊	□	□	◎

△：画素数が少なく、良好な印刷結果が得られない。
○：やや画素数が少ないが、良好な印刷結果が得られる。
◎：必要十分な画素数があり、高い印刷結果が得られる。
□：やや画素数が多いが、高い印刷結果が得られる。
＊：良好な印刷結果が得られるが、印刷結果向上のためにはこれほど多くの画素は必要なし。

『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「写真をきれいに印刷するポイント」

■ 動画データを印刷していませんか？
動画は一般的に静止画より画素数が少ないため、静止画と同等の印刷結果は得られません。また画素数が同じであっても、動画は画像の圧縮率が高いため、静止画と同等の結果は得られません。
なお、動画データの品質は、デジタルカメラの機種によって異なります。

● CD/DVD への印刷が濃い / 薄い

－印刷設定－

■ ご利用の CD/DVD の種類によっては、印刷濃度が意図したものと異なる場合があります。
印刷濃度の調整をお試しください。
本書 45 ページ「印刷設定」
本書 78 ページ「CD/DVD 印刷時の印刷設定」
『EPSON Multi-PrintQuicker ヘルプ』－「こんなときは」

● 印刷面がこすれる / 汚れる

－本体－

■ 本製品の内部が汚れていませんか？
本製品の内部がインクで汚れていたりすると、用紙に汚れが付着し、印刷結果を汚すおそれがあります。以下をご覧の上、内部をクリーニングしてください。
本書 116 ページ「ホコリが付かないようにする」

■ 背面カバー（下）はしっかり閉じていますか？
背面下部のカバーは、しっかり閉じてください。
本書 136 ページ「プリンタ背面部から取り除く」手順 4

つづく

●●●➡つづき

<table>
<tr><th>症状 / トラブル状態</th><th>確認 / 対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">● 印刷面がこすれる / 汚れる
</td><td>ー用紙ー

■ ハガキの通信面に印刷した後、その印刷結果（インク）が乾いていない状態で宛名面に印刷していませんか？
インクが乾いていない状態で宛名面に印刷すると、次のハガキに転写する場合があります。通信面を印刷した後は、十分に乾かしてから宛名面に印刷してください。また、先に宛名面から印刷することをお勧めします。
■ 反りのある用紙や、用紙の端面にバリのある用紙を使用していませんか？
反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の断裁のときに出る「かえり」）のある用紙に印刷すると、プリントヘッドが用紙をこする場合があります。用紙の反りやバリを取ってから、本製品にセットしてください。
なお、一部のエプソン製専用紙は、反りを修正する際に印刷面を傷つけてしまうおそれがありますので、以下のページを確認してから、反りを修正してください。
☞ 本書 13 ページ「印刷用紙、CD/DVD のセット方法」
■ 用紙を横方向にセットしていませんか？
用紙は、縦方向にセットしてください。横方向にセットした場合、プリントヘッドが印刷面をこする場合があります。
※往復ハガキのみ横方向にセットしてください。
■ 仕様外の厚い用紙を使用していませんか？
本製品で使用できるエプソン純正品以外の用紙の厚さは、0.08～0.27mmです。この規格以外の用紙を使用すると、プリントヘッドが印刷面をこすって、印刷結果が汚れる場合があります。仕様に合った用紙をご使用ください。
■ 専用紙に印刷後、すぐに重ねていませんか？
専用紙は普通紙などと比べてインクの乾きが遅いため、印刷直後に手や別の用紙などが印刷面に触れると、汚れる場合があります。印刷直後は印刷面に触れないように、排紙トレイから 1 枚ずつ取り去って十分に乾かしてください。</td></tr>
<tr><td>ー印刷設定ー

■ フチなし印刷時、フチなし印刷推奨の用紙をお使いになっていますか？
フチなし印刷を行う場合は、下記の用紙をお使いになることをお勧めします。下記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。
<table><tr><th>用紙サイズ</th><th>用紙種類</th></tr><tr><td>A4</td><td>写真用紙、フォトマット紙</td></tr><tr><td>ハガキ</td><td>各種郵便ハガキ、各種エプソン製専用ハガキ</td></tr><tr><td>カード、L 判、KG サイズ、2L 判、六切、ハイビジョンサイズ</td><td>写真用紙</td></tr><tr><td>名刺</td><td>両面マット紙</td></tr></table>■ フチなし印刷推奨の用紙でも汚れが発生しますか？
「こすれ軽減」機能をお試しください。
なお、「こすれ軽減」機能は、印刷速度が遅くなる場合があります。印刷こすれが発生したときのみご使用ください。
☞ 本書 125 ページ「印刷こすれの軽減」
☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「印刷面がこすれる / 汚れる」
■ 標準（フチあり）印刷時、印刷推奨領域外に印刷していませんか？
印刷推奨領域外では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。
「こすれ軽減」機能をお試しください。設定手順は、この上の項目と同じです。</td></tr>
</table>

＜印刷結果のトラブル＞

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 印刷位置がずれる / はみ出す 	－本体－ ■ 用紙とエッジガイドの間に、すき間はありませんか？ また、用紙が曲がってセットされていませんか？ 一旦用紙を取り出してよく整えてから、用紙をまっすぐにセットし、エッジガイドを用紙の側面に合わせてください。 本書 16 ページ「用紙のセット方法」 ■ CD レーベルや原稿のコピー時に、原稿台や保護マットにゴミや汚れがついていませんか？ 原稿台にゴミや汚れがあると、汚れを含めた範囲をコピーしてしまうため、印刷位置がずれる場合があります。原稿台や保護マットの汚れを取り除いてから原稿をセットしてください。
	－用紙－ ■ ミニフォトシール、または CD/DVD レーベルに印刷していませんか？ ミニフォトシール、または CD/DVD レーベルの印刷位置がずれる場合は、印刷位置を上下左右に微調整することができます。 本書 126 ページ「印刷位置調整」
	－印刷設定－ ■ 用紙サイズの設定は正しいですか？ セットした用紙のサイズと、印刷設定の［用紙サイズ］が合っていないと、印刷位置がずれたり、はみ出したりします。印刷設定をご確認ください。 本書 44、76、88 ページ「印刷設定」 『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「用紙別プリンタドライバ設定一覧」 ■ フチなし印刷をしていませんか？ フチなし印刷は、原稿を用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。そのため、用紙からはみ出した部分は印刷されません。なお、はみ出し量は 3 段階［標準］/［少ない］/［より少ない］で調整することができます。 本書 45、77、88 ページ「印刷設定」 『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「四辺フチなし印刷をしよう」 ■ 本製品単体で、フィルムから写真プリントしていませんか？ フィルム印刷は、フィルム画像より一回り小さい範囲がスキャンされ、そのスキャンデータが印刷されます。フチなし印刷の場合は、スキャンした画像を少し拡大して印刷するため、画像の周りがさらに欠けてしまいます。 パソコンと接続すると、スキャナドライバのホームモードまたはプロフェッショナルモードで、取り込み領域を指定してスキャンすることができます。 『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「必要な部分だけを切り取ってスキャン」 ■ ホームページを印刷していませんか？ ホームページを印刷する場合は、付属のアプリケーションソフトで印刷できます。 本書 143 ページ「ホームページを思い通りに印刷できない」

つづく

つづき

<table>
<tr><th colspan="2">症状 / トラブル状態</th><th>確認 / 対処方法</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">● フチなし印刷ができない</td><td>－印刷設定－

■ 印刷時に、フチなし印刷をするように設定しましたか？
< PM-A920 単体で使用する場合>
操作パネルで、印刷設定の［レイアウト］を［フチなし］に設定して印刷してください。
本書 43 ページ「コピー設定」
本書 76、88 ページ「印刷設定」
<パソコンから印刷する場合>
• 付属のアプリケーションソフト『EPSON Easy Photo Print』を使用すれば、簡単にフチなし印刷することができます。
『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「写真をかんたんきれいに印刷しよう」
• 市販のアプリケーションソフトを使用する場合は、プリンタドライバの［給紙設定］の［四辺フチなし］をチェックして印刷してください。ほかにも、写真データと用紙サイズの縦横比を調整するなど、注意が必要です。
『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「市販ソフトウェアで写真を印刷しよう」</td></tr>
<tr><td>－用紙－

■ 規格サイズ*以外の用紙を使用していませんか？
規格サイズ以外の用紙を使用すると、フチなし印刷されずに余白ができます。フチなし印刷する場合は、規格サイズの用紙をお使いください。
＊ A4：210 × 297mm、ハガキ：100 × 148mm、
KG サイズ：102 × 152mm、名刺：55 × 91mm、カード：54 × 86mm、
L 判：89 × 127mm、2L 判：127 × 178mm、六切：203 × 254mm
ハイビジョンサイズ：102 × 181mm</td></tr>
<tr><td rowspan="3">● ホームページを思い通りに印刷できない</td><td>ページの右端が欠けて印刷される</td><td>■ ホームページが、印刷のことを考えて制作されていないためです。
• 付属のアプリケーションソフト「EPSON Web-To-Page」を使用すれば、ページの右端が欠けることなく印刷できます。
• ブラウザソフトの標準機能で印刷することも可能です。
『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「ホームページを思い通りに印刷できない」</td></tr>
<tr><td>背景色が印刷されない</td><td>■ Microsoft Internet Explorer の初期設定では、ホームページの背景色や背景の画像は、印刷されない設定になっています。
背景を印刷する場合は、以下をご覧ください。
『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「ホームページを思い通りに印刷できない」</td></tr>
<tr><td>画像が粗い</td><td>■ ホームページでは、データ通信を優先するために低解像度の画像が使用されている場合が多くあります。
低解像度の画像は、ディスプレイ上できれいに見えても、印刷すると期待した印刷品質が得られない場合があります。</td></tr>
</table>

スキャン品質 / 結果のトラブル

<スキャン品質が悪い>

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 画像が暗い	■ EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。 明るさとコントラストを調整してみてください。 ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル） －「明るさとコントラストを調整する 1（簡単設定）」 －「明るさとコントラストを調整する 2（ヒストグラム調整）」 －「明るさとコントラストを調整する 3（濃度補正）」 ■ EPSON Scan のカラー調整の設定を確認してください。 EPSON Scan の［ホームモード］/［プロフェッショナルモード］画面下にある［環境設定］をクリックして、［カラー］タブをクリックし、以下の手順で確認してください。 ①［ドライバによる色補正］の［常に自動露出を実行］がチェックされていることを確認してください。チェックが外れていると、自動露出の効果がかからず、露出（明暗）が不適切な画像になる場合があります。 ②［推奨値］をクリックしてください。EPSON Scan の自動露出が正しく機能するようになります。 ③ 印刷する場合は、［ドライバによる色補正］の［ディスプレイガンマ］を設定してください。設定は、ご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。印刷しない場合は、［1.8］に設定してください。なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。 ■ ディスプレイの表示設定を確認してください。 ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。ディスプレイの表示設定を確認してください。 ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ（カラーマネージメント）」
● 画像がぼやける	■ 解像度が適切に設定されていますか？ EPSON Scan で適切な解像度を設定してスキャンしてください。 ■ EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。 • EPSON Scan のプロフェッショナルモードで画像をプレビューした後、スキャン範囲を指定してから［自動露出］をクリックしてみてください。 •［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用してみてください。 なお、［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用すると、モアレ（網目状の陰影）が生じる場合があります。モアレが生じる場合は、［モアレ除去フィルタ］機能を使用してみてください。 ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル） －「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」 －「モアレ（網目状の陰影）を取り除く（モアレ除去）」

つづく

つづき

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 画像の色合いがおかしい ● 画像の色が原稿の色と違う	■ EPSON Scan の［イメージタイプ］を正しく設定していますか？（全自動モードを除く） スキャンする原稿の種類や画像の用途に合わせて、［イメージタイプ］を正しく設定してください。 ■ EPSON Scan の画質調整を使っていませんか？また使っている場合は適切に設定していますか？ 明るさ調整など、EPSON Scan の画像調整機能を使うと、原稿と色合いが異なる場合があります。 ■ ディスプレイの表示設定を確認してください。 ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあるため、正しく調整されていなければ、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。ディスプレイの表示設定を確認してください。 『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ（カラーマネージメント）」 ■ アプリケーションソフトでのディスプレイ設定をしていますか？ Adobe Photoshop などのフォトレタッチソフトを使用している場合は、フォトレタッチソフト側の［モニタ設定］などで、ディスプレイのキャリブレーションを行ってください。 ディスプレイ設定を行うと、ディスプレイやディスプレイアダプタによるクセをソフトウェア上で取り除き、画像を適切に表示することができます。 詳しい手順は、お使いのフォトレタッチソフトの取扱説明書やヘルプをご覧ください。 ■ 原稿（印刷物）とディスプレイの色は一致しません。 印刷物の色とディスプレイ表示の色は、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。 自分が最も気になる部分（肌色など）が合うように、EPSON Scan またはフォトレタッチソフトで調整してみてください。
● 裏写りする	■ 裏が透けて見えるほど薄い原稿をセットしていませんか？ 原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りしてスキャンされることがあります。その場合は、黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねてスキャンすると、改善できる場合があります。 ■ スキャン時の設定は原稿に合っていますか？ 原稿に合った設定でスキャンしてください。 正しく設定することによって、ハイライト（画像の最も明るい部分）が真っ白になるように調整されるため、裏写りを防止できます。また、背景地の黄色味などの色かぶりを除去できます。 『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「雑誌などの記事をスキャンして電子スクラップを作ろう」

つづく

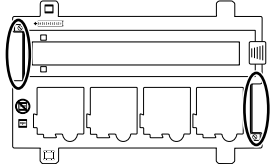
つづき

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 画像にモアレ(網目状の陰影)が出る	■ EPSON Scan の画質調整機能を使ってみてください。 •［モアレ除去フィルタ］機能を使用してみてください。 •［アンシャープマスクフィルタ］機能を使用している場合は、無効にしてみてください。 『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル） －「モアレ（網目状の陰影）を取り除く（モアレ除去）」 －「ぼやけた画像をくっきりさせる（アンシャープマスク）」 ■ 原稿の向きを変えて原稿台にセットし、スキャンしてみてください。 スキャンしたい向きと異なる向きになってしまったら、スキャン後にお使いのアプリケーションソフトで画像を回転させ、正しい向きに直してください。 ■ EPSON Scan（プロフェッショナルモード）で［解像度］の設定を少し変更してスキャンしてみてください。 解像度を変更することで、モアレを除去できることがあります。
● 画像にムラ / シミ / 斑点が出る	■ 原稿台が汚れていませんか？ 原稿台のガラス面は、きれいにしておいてください。 本書 117 ページ「きれいにコピー / スキャンするために」 ■ スキャンするときに、原稿を強く押さえ付けませんでしたか？ スキャンするときに原稿カバーや原稿を強く押さえ付けると、原稿台のガラス面に原稿が貼り付いて、ムラや斑点が出ることがあります。強く押さえ過ぎないようにしてください。写真の紙質や表面の加工状態によっても、ムラや斑点が出ることがあります。その場合は、原稿のセット位置をずらしてみてください。
● フィルムスキャン時、画像の上に円や楕円状の縞模様が出る	■ フィルムが反っていたり、原稿台に密着していませんか？ フィルムが反っていたり、原稿台に密着していると、フィルムの一部が原稿台と密着して、ニュートンリング（円または楕円状の縞模様）が発生することがあります。 この場合は、ベース面（像が正しく見える面 / フィルムメーカー名が正しく見える面）を上にセットしてから、EPSON Scan（全自動モード以外のモードをお使いください）でスキャンしてください。 スキャンしたい向きと異なる向きになってしまったら、スキャン後にお使いのアプリケーションソフトで画像を回転させ、正しい向きに直してください。

<正常にスキャンできない>

症状 / トラブル状態		確認 / 対処方法
● 画像が切れる ● 隣りの画像の一部がスキャンされる ● 画像が認識されない	共通	■ 原稿がセットされていますか？ 原稿台に原稿がセットされているか確認してください。 ■ 原稿カバーに保護マットが付いていますか？ 写真などの反射原稿をスキャンするときには、原稿カバーに保護マットを取り付ける必要があります。逆に、フィルムなどの透過原稿をスキャンするときには、保護マットを取り外す必要があります。 本書 28 ページ「原稿のセット方法」 ■ 原稿台のガラス面にゴミがありませんか？ 原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがあると、正常にスキャンできない場合があります。原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがある場合は取り除いてください。

つづく

つづき

<table>
<tr><th colspan="2">症状 / トラブル状態</th><th>確認 / 対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">● 画像が切れる
● 隣りの画像の一部がスキャンされる
● 画像が認識されない</td><td>全自動モードでスキャンするとき</td><td>■ EPSON Scan の全自動モードでスキャンする場合、全自動モードに対応した原稿をセットしていますか？
全自動モードでスキャンできる原稿は以下の通りです。
全自動モードに対応していない原稿を、全自動モードでスキャンすると、正常にスキャンできない場合があります。
• カラーおよびモノクロの写真
• 新聞、雑誌、書類、イラスト、線画など
• カラーの 35mm フルサイズストリップのフィルム（ネガ、ポジ）
• カラーの 35mm フルサイズマウントフィルム
なお、上記の原稿をセットしても、思い通りの結果でスキャンできない場合があります。その場合は、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードのプレビューで[サムネイル表示]のチェックを外してプレビューし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。
『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「プレビュー表示」

■ 極端に暗い（または明るい）原稿をセットしていませんか？
以下のような原稿をセットしていると、正常にスキャンできない場合があります。
• 極端に暗い（または明るい）画像
• ポジフィルムで単色に近い画像
• 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像
その場合は、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常プレビューでスキャンし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。</td></tr>
<tr><td>EPSON Scan のサムネイルプレビューでスキャンするとき</td><td>■ サムネイルプレビューに対応した原稿をセットしていますか？
サムネイルプレビューで使用できる原稿は以下の通りです。
サムネイルプレビューに対応していない原稿を、サムネイルプレビューでスキャンしても、正常にスキャンできません。
• カラーおよびモノクロの写真
• 白黒またはカラーの 35mm フルサイズストリップのフィルム（ネガ、ポジ）
• 白黒またはカラーの 35mm フルサイズマウントフィルム
なお、上記の原稿をセットしても、思い通りの結果でスキャンできない場合があります。その場合は、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードのプレビューで[サムネイル表示]のチェックを外してプレビューし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。
『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「プレビュー表示」

■ 極端に暗い（または明るい）原稿をセットしていませんか？
以下のような原稿をセットしていると、正常にスキャンできない場合があります。
• 極端に暗い（または明るい）画像
• ポジフィルムで単色に近い画像
• 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像
その場合は、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常プレビューでスキャンし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。

■ スキャン領域のサイズを調整してみてください。（全自動モードを除く）
EPSON Scan の［環境設定］にある［プレビュー］画面で、［サムネイル取込領域］のスライダを調整して、サムネイルプレビューのスキャン領域の大きさを調整してください。</td></tr>
</table>

つづく

つづき

症状 / トラブル状態		確認 / 対処方法
● スキャン範囲がおかしい	写真を複数枚同時にスキャンするとき	■ 正しい位置に原稿をセットしていますか？ 写真などの原稿を並べてセットするときは、以下の点に注意して置いてください。 ＜写真コピー時＞ • 原稿台の原点マークから 5mm 以上離してセットしてください。 • 写真と写真の間隔を 5mm 以上あけてください。 ☞ 本書 38 ページ「写真の焼き増し＜写真コピー＞」 ＜ EPSON Scan 使用時＞ • 写真と写真の間隔を 20mm 以上あけてください。 • 全自動モード・サムネイルプレビュー選択時： 原稿台の原点マークから 5.5mm 以上離してセットしてください。 • ホームモード・プロフェッショナルモードの通常プレビュー時： 原稿台の原点マークから 2.5mm 以上離してセットしてください。
	フィルムをスキャンするとき	■ 保護マットを外していますか？ フィルムなどの透過原稿をスキャンするときには、保護マットを取り外す必要があります。 ☞ 本書 82 ページ「フィルム印刷の基本手順」 ■ フィルムホルダを使用していますか？ フィルムは、原稿台に直接セットせずに、付属のフィルムホルダにセットしてください。 ☞ 本書 80 ページ「フィルムのセット方法」 ■ フィルムホルダの切り欠き部分に、フィルムがかかっていませんか？ 付属のフィルムホルダには、光量を補正するための切り欠き部分があります。切り欠き部分にフィルムがかからないように、正しくセットしてください。 ☞ 本書 80 ページ「フィルムのセット方法」 ■ フィルムホルダの裏側にある白い小さな四角形の部分に、汚れや傷がありませんか？ 汚れや傷があると、EPSON Scan の全自動モードで正しくスキャンできなくなるおそれがあります。 ■ フィルムホルダにある小さな穴がふさがれていませんか？ 穴がふさがれていると、スキャナがフィルムの種類を認識できなくなるおそれがあります。 ■ 標準コマとパノラマが混在していませんか？ セットしたフィルムに、標準コマとパノラマが混在していると、パノラマが正常にスキャンされません。パノラマを含むフィルムをスキャンする場合は、EPSON Scan のホームモードまたはプロフェッショナルモードの通常プレビューでスキャンし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。

つづく

つづき

症状 / トラブル状態		確認 / 対処方法
● スキャン範囲がおかしい	テキストデータに変換するときの認識率が悪い	■ 原稿が斜めにセットされていませんか？ 原稿が斜めにセットされていると、認識率が低下するため、原稿はまっすぐセットしてください。原稿カバーは、セットした原稿がずれないよう、ゆっくり閉じてください。 ■ EPSON Scan のしきい値を調整してみてください。 ［しきい値］機能を調整してみてください。 ☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「雑誌などの記事をスキャンして電子スクラップを作ろう」 ■ 原稿の品質に問題がありませんか？ 文字原稿の認識率は、原稿の状態に左右されます。次の場合、認識率が下がることがあります。 • 何度もコピーした原稿（コピーのコピー） • FAX 受信した原稿 • 文字間や行間が狭すぎる原稿 • 文字に罫線や下線がかかっている原稿 • 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、8 ポイント未満の小さな文字が使われている原稿 • 折り跡やしわがある原稿 • 本の綴じ込み付近 • 手書き文字

＜その他のトラブル＞

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● フィルムのセット時に、蛍光ランプが消えない	■ フィルムのスキャンが終了した後も、原稿カバー裏のランプがしばらく点灯しています。 ウォーミングアップの時間を短縮するため、しばらくランプが点灯しています。特に問題ありませんので、そのままでお使いください。
● スキャンに時間がかかる	■ 画像を高解像度でスキャンしていませんか？ 画像を高解像度でスキャンする設定にしていると、スキャンに時間がかかります。解像度を下げて、画像をスキャンしてください。 適切な解像度がわからないときは、EPSON Scan の全自動モードでスキャンしてください。 『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「解像度を上げるときれいになる？」 ■ フィルムをスキャンしていませんか？ フィルムのスキャンでは複雑な画像変換処理が必要なため、写真などの原稿よりも時間がかかります。 ■ USB1.1 を使用してスキャンしていませんか？ お使いの環境が USB2.0 対応になっているかを確認してください。 USB2.0 に対応している場合、USB2.0 を使用すると、USB1.1 を使用したときと比べて高速に画像をスキャンできます。 USB2.0 非対応の機器をお使いの場合には、USB1.1 として動作します。ただし、USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります。 USB2.0 を使用しても原稿の種類と解像度によっては、スキャンに時間がかかる場合があります。または USB1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られない場合があります。
● PDF 形式でスキャンするとスキャンが止まってしまう	■原稿を 100 ページより多くスキャンしていませんか？ EPSON Scan では 100 ページまでスキャンできます。 100 ページを超えるスキャンは、一旦ファイルを保存し、スキャンを再開してください。 ■ハードディスクの空き容量は十分ですか？ ハードディスクに十分な空き容量がないと、スキャンが止まってしまうことがあります。空き容量がないときは、空き容量を増やしてください。 ■解像度が適切に設定されていますか？ 解像度の設定は、スキャン後のデータサイズに影響を与えます。解像度を上げるとスキャン後のデータサイズが大きくなるため、スキャン後の総データサイズの制限を超えてしまうことがあります。EPSON Scan で解像度の設定を下げてスキャンし直してください。適切な解像度については以下をご覧ください。 『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「解像度を上げるときれいになる？」
● 画像が画面に大きく表示される	■ 画像を高解像度でスキャンしていませんか？ 通常ディスプレイの解像度は 70 ～ 90dpi くらいしかありません。しかし、アプリケーションソフトによっては、スキャンした画像データの各画素（画像を構成している細かな点の 1 つ 1 つ）を画面の解像度に対応させて表示するものがあります。その場合、高解像度の画像データは大きく表示されますので、アプリケーションソフト上で縮小してご確認いただければ、問題ありません。印刷すると原稿と同じ大きさになります。
● プレビュー画像の色がおかしい	■ ［環境設定］画面の［高速プレビュー］をチェックしていませんか？ ［環境設定］画面の［プレビュー］タブで［高速プレビュー］のチェックを外すと、プレビュー画像が高品位になります。

パソコンから印刷 / スキャンできない

パソコンから印刷できない(Windows)

印刷を実行しても何も印刷されない、プリンタが動作しない場合は、以下の手順でパソコンをチェックしてください。
Mac OS X の場合、およびスキャンできない場合は、本書 153 ページをご覧ください。

1 USB ケーブルをパソコンにしっかりと接続し、本製品の電源をオンにします。

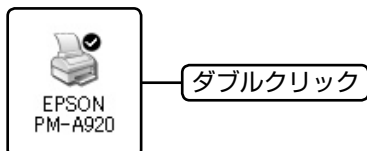
2 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを開きます。

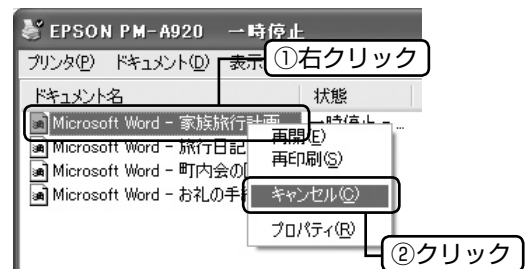
< Windows XP の場合>
[スタート]－[コントロールパネル]の順にクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックして、[プリンタとFAX]をクリックします。

< Windows 98/Me/2000 の場合>
[スタート] － [設定] － [プリンタ] の順にクリックします。

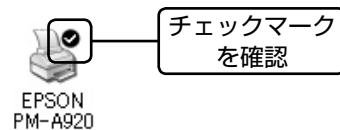
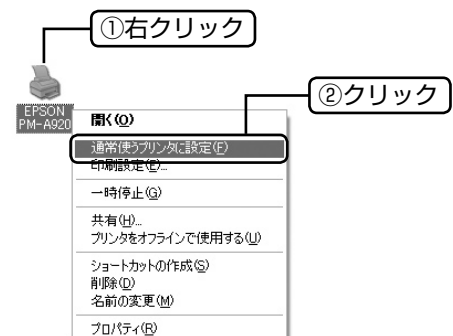
①印刷待ちのデータがありませんか？

パソコンに印刷待ちのデータが残っていると、印刷が始まらない場合があります。データが残っている場合は、一旦取り消してください。

1 上記［プリンタ］フォルダの［EPSON PM-A920］アイコンをダブルクリックします。

2 印刷待ちのデータが残っている場合は、データを右クリックして、［キャンセル］または［印刷中止］などをクリックします。

< Windows XP の場合>

⇩ 次の項目をチェック

②「通常使うプリンタ」の設定になっていますか？

1 [プリンタ]フォルダの[EPSON PM-A920]アイコンにチェックマークが付いていることを確認します。

2 マークが付いていない場合はアイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックを付けます。

つづく

③ プリンタが［一時停止］の状態になっていませんか？

1 **[プリンタ]フォルダの[EPSON PM-A920]アイコンを右クリックして、一時停止の状態でないことを確認します。**

< Windows XP の場合>

※［印刷の再開］が表示されている場合は一時停止の状態です。

< Windows 98/Me/2000 の場合>

※［一時停止］にチェック（✔）が付いている場合は一時停止の状態です。

2 **［一時停止］になっている場合は、一時停止を解除します。**

< Windows XP の場合>
［印刷の再開］をクリックします。

< Windows 98/Me/2000 の場合>
［一時停止］をクリックしてチェック（✔）を外します。

⇩ 次の項目をチェック

④［オフライン］の状態になっていませんか？

Windows XP の場合のみ確認してください。

1 **[プリンタ]フォルダの[EPSON PM-A920]アイコンを右クリックして、オフラインの状態でないことを確認します。**

※［プリンタをオンラインで使用する］が表示されている場合はオフラインの状態です。

2 **オフラインの状態になっている場合は、［プリンタをオンラインで使用する］をクリックします。**

オンラインの状態になります。

⇩ 次の項目をチェック

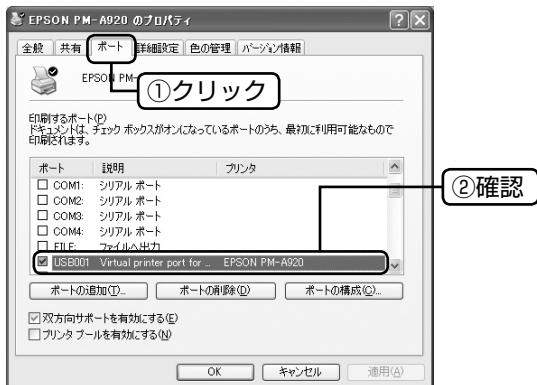
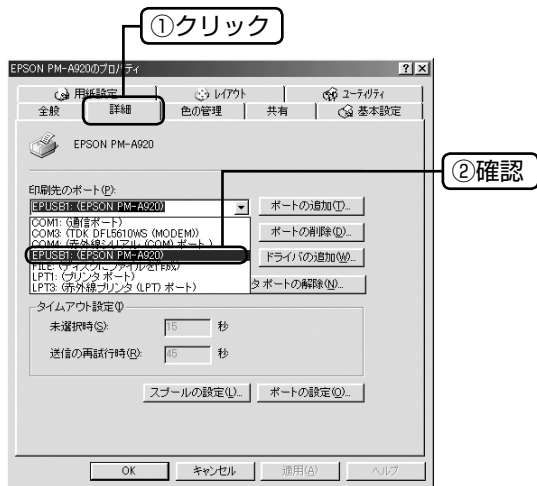
⑤印刷先（ポート）の設定は正しいですか？

印刷先が［LPT1（プリンタポート）］などの USB 以外に設定されていると、印刷できません。印刷先が USB ポートに設定されているか確認してください。

1 **[プリンタ]フォルダの[EPSON PM-A920]アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

※ Windows 98/Me の場合は、メニューが異なります。

2 印刷先（ポート）の設定を確認します。

< Windows 2000/XP の場合>
［ポート］タブをクリックし、［USBxxx EPSON PM-A920］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

< Windows 98/Me の場合>
［詳細］タブをクリックし、［EPUSBx:（EPSON PM-A920）］（x には数字が入ります）が選択されていることを確認します。

⑥もう一度印刷を実行してください

以上を確認しても印刷できない場合は、ドライバをインストールし直してください。

☞ 本書 154 ページ「ドライバの再インストール」

! 注意

- ［ポートの追加］によるポートの設定は行わないでください。

パソコンから印刷できない(Mac OS X)

印刷を実行しても何も印刷されない、プリンタが動作しない場合は、以下の手順でパソコンをチェックしてください。

印刷のステータスが［一時停止］になっていませんか？

1 ［プリンタ設定ユーティリティ］を表示し、停止中のプリンタドライバをダブルクリックします。

2 ［ジョブを開始］をクリックします。

もう一度印刷を実行してください

上記を確認しても印刷できない場合は、プリンタリストから該当プリンタを削除して、ドライバをインストールし直してください。

☞ 本書 154 ページ「ドライバの再インストール」

パソコンからスキャンできない

本製品の電源がオンになっていること、USB ケーブルが接続されていることを確認してください。
それでもスキャンできない場合は、ドライバをインストールし直してください。

☞ 本書 154 ページ「ドライバの再インストール」

ドライバの再インストール

スキャナドライバ / プリンタドライバをインストールし直します。

1 **本製品の電源をオフにして、USB ケーブルをパソコンに接続します。**

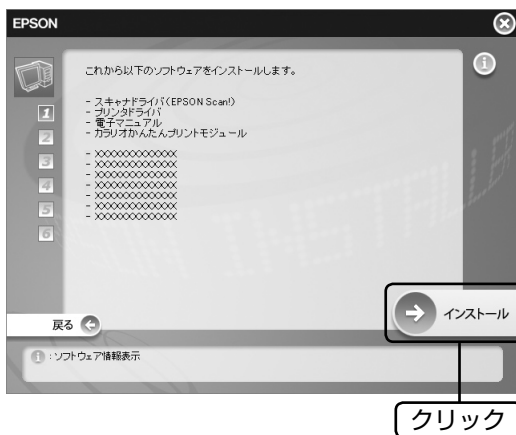
2 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

3 **『ソフトウェア CD-ROM』をパソコンにセットします。**

Mac OS X の場合は、表示された画面内のアイコンをダブルクリックします。

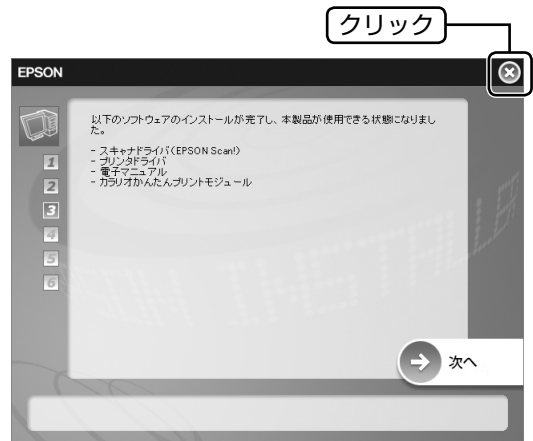
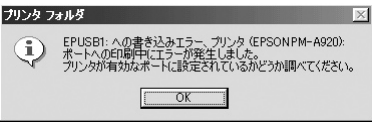
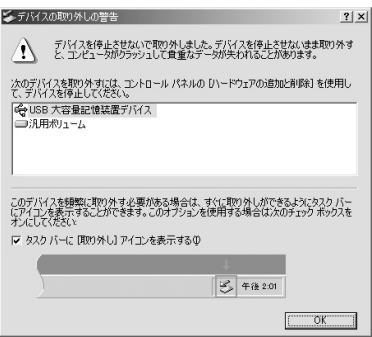
4 **以下の画面が表示されますので、［おすすめインストール］をクリックします。**

5 **［インストール］をクリックします。**

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

クリック

参考
- 電源オンを指示されたら、本製品の電源をオンにしてください。

6 **ドライバのインストールが終了すると、以下の画面が表示されます。 をクリックして画面を閉じます。**

この後は画面の指示に従ってください。

参考
- アプリケーションソフトを再インストールする場合は、［次へ］をクリックします。

7 **インストールが終了したら、原稿のスキャンや印刷を実行してみてください。**

以上で、「ドライバの再インストール」の説明は終了です。

その他のトラブル

<パソコンにエラー画面が表示される>

<table>
<tr><th>症状 / トラブル状態</th><th>確認 / 対処方法</th></tr>
<tr><td>「給紙に失敗しました。」などのエラー内容が表示される

</td><td>■ 本製品にエラーが発生している場合は、解除してください。
エラー内容の下に対処方法が表示されている場合は、その対処方法に従ってください。
何も対処方法が表示されていない場合は、以下のページを参照してエラーを解除してください。
☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「パソコンから印刷できない」</td></tr>
<tr><td>「通信エラー」や「書き込みエラー」などのメッセージが表示される

</td><td>■ 次の原因によって表示される可能性があります。
• プリンタドライバが正しくインストールされていない場合
• パソコンと本製品がケーブルで正しく接続されていない場合
•「印刷先のポート」設定が、実際に本製品を接続しているポートと合っていない場合
以下のページにそれぞれの確認方法を説明していますのでご確認ください。
☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「パソコンから印刷できない」</td></tr>
<tr><td>Windows で、「高速ではない USB ハブに接続している高速 USB デバイス」と表示される

</td><td>■ お使いのパソコンは USB2.0 に対応していません。
もし、パソコンに USB2.0 の差込口がある場合は、そこにケーブルを接続し直してください。USB2.0 の差込口がない場合でも、USB1.1 としてご使用いただけます。画面を閉じるには、右上の[×]をクリックします。
☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「パソコン画面にエラーが表示される」</td></tr>
<tr><td>Windows 2000 で、「デバイスの取り外しの警告」画面が表示される

</td><td>■ パソコン起動中に本製品の電源をオフにすると表示されます。
パソコンの電源をオフにしてから、本製品の電源をオフにするようにしてください。
☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「メモリカードドライブとしての使い方」</td></tr>
</table>

<その他のトラブル>

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
ヘッドクリーニングが動作しない	■ 本製品にエラーが発生していませんか？ エラーが発生している場合は、解除してください。 また、十分なインク残量がないときは、ヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 本書 118 ページ「インクカートリッジの交換」
黒印刷しかしていないのに、カラーインクが減っている	■ カラー印刷以外にも、カラーインクを使う場合があります。 本製品では用紙種類によって、カラーインクを使った混色黒印刷を行う場合があります。また、印刷時以外にも、以下の動作時にブラック / カラーそれぞれのインクが消費されます。 • ヘッドクリーニング時 • セルフクリーニング時 セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、すべてのインクを微量吐出してノズルの乾燥を防ぐ機能で、印刷実行前などに自動的に行われます。 <クリーニング時にブラックとカラー両方のインクを使う理由> ノズルにインクが詰まると、インクが出なくなったりかすれたりして正常に印刷できなくなります。黒のみの印刷をしていても、ある日突然カラー印刷をしたくなった際に、カラーインクが出ないということでは使い物になりません。そのため、双方のノズルをクリーニングして、常に良好な状態にしておく仕組みになっています。
連続して印刷をしている途中、印刷速度が遅くなった	■ 高温によるプリンタ内部の損傷を防ぐための機能が働いています。 連続印刷中*1 に、プリンタの動作が一旦停止し印刷速度が極端に遅くなった場合は、印刷を中断し電源オンの状態で 30 分程度放置してください。印刷を再開すると、通常の速度で印刷できるようになります。 ※印刷速度が遅くなっても、印刷を続けることはできます。 ※電源をオフにして放置しても、印刷速度は回復しません。
製品に触れた際に電気を感じる（漏洩電流）	■ 多数の周辺機器を接続している環境下では、本製品に触れた際に電気を感じることがあります。 このようなときには、本製品を接続しているパソコンなどからアース（接地）を取ることをお勧めいたします。

＊ 1：30 分以上、印刷し続けている状態（時間は印刷状況によって異なります）

エラー表示一覧

本製品にエラーが発生すると、液晶ディスプレイにメッセージが表示されますので、画面の指示に従ってエラーを回避してください。対処方法が複雑なエラーについては、下表をご覧の上、対処してください。

メッセージ	対処方法
スキャナエラーが発生しました。電源をオフにし、輸送用固定レバーのロックが解除されているか確認してください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。	■ 電源を一旦オフにし、キャリッジの輸送用ロックが解除されているか確認してください。 ☞ 本書 9 ページ「⑲ 輸送用固定レバー」 それでもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
プリンタエラーが発生しました。マニュアルをご覧ください。	■ 電源を一旦オフにした後、再度電源をオンにしてください。 それでもエラーが解除されない場合は、電源をオフにしてスキャナユニットを開け、内部に異物（輸送用の青い保護テープ、用紙など）が入っていないか確認し、電源をオンにしてください。
用紙または CD/DVD トレイが詰まりました。スタートボタンを押してください。トレイが排出されない場合は、手で取り出してください。	■【スタート】ボタンを押してください。 詰まった用紙または CD/DVD トレイが排出されない場合は、以下のページをご覧の上、用紙を取り除いてください。 ☞ 本書 135 ページ「詰まった用紙や CD/DVD トレイの取り除き方法」
詰まった用紙と同じサイズの用紙を 1 枚縦方向にセットし、スタートボタンを押してください。それでもエラーが解除されない場合は、同じ操作を繰り返してください。	■ 用紙が詰まりました。 以下のページをご覧の上、用紙を取り除いてください。 ☞ 本書 135 ページ「詰まった用紙や CD/DVD トレイの取り除き方法」
CD/DVD トレイが正しくセットされていません。正しくセットしてスタートボタンを押してください。	■ 一旦 CD/DVD トレイを引き抜き、本製品の動作が完全に止まっていることを確認してから、正しくセットし直してください。【スタート】ボタンを押すと印刷が始まります。 本製品はプリントヘッドの目詰まりを防ぐために、自動的にクリーニングを実行します。そのときに CD/DVD トレイが挿入されていると、プリントヘッドが接触して損傷するおそれがあるため、一旦 CD/DVD トレイが排出されます。 ☞ 本書 24 ページ「CD/DVD のセット方法」
CD/DVD ガイドの位置が正しくありません。CD ガイド開閉ボタンを押して、CD/DVD 印刷位置（上段）にしてください。	■ CD/DVD ガイドを CD/DVD 印刷位置にしてください。 ☞ 本書 24 ページ「CD/DVD のセット方法」
CD/DVD ガイドが CD/DVD 印刷位置になっています。CD ガイド開閉ボタンを押して、通常の印刷位置（下段）にしてください。	■ CD/DVD ガイド（排紙トレイ）を通常の印刷位置（下段）にしてください。 CD/DVD 印刷以外の印刷実行時に CD/DVD ガイドが上段になっていると、操作できません。 ☞ 本書 25 ページ「CD/DVD の取り出し方法」 ■ CD コピー時に用紙種類が［普通紙］に設定されています。 CD/DVD レーベルにコピーする場合は、用紙種類を［CD/DVD レーベル］に設定してください。 普通紙にお試し印刷をする場合は、排紙トレイを通常の印刷位置（下段）にしてください。
手書き合成シートが正しくセットされていません。正しくセットして再度実行してください。	■ 手書き合成シートを正しくセットしてください。 ☞ 本書 66 ページ「③合成シートをスキャンして合成写真プリント」

メッセージ	対処方法
文字飾りのマーキングが正しくありません。文字飾りを 1 つだけ選んで正しくマークしてください。確認後、再度実行してください。	■ 正しくマーキングをしてください。 本書 65 ページ「②手書き合成シートに記入」
オーダーシートが正しくセットされていません。正しくセットして再度実行してください。	■ オーダーシートを正しくセットしてください。 本書 62 ページ「②オーダーシートに記入して写真プリント」
オーダーシートとメモリカードが一致していません。シートを印刷し直して再度実行してください。	■ もう一度オーダーシートを印刷してください。 写真の印刷が終了するまでメモリカードの内容を変更しないでください。 本書 61 ページ「①オーダーシートを印刷」
手書き合成シートとメモリカードが一致していません。シートを印刷し直して再度実行してください。	■ もう一度手書き合成シートを印刷してください。 写真の印刷が終了するまでメモリカードの内容を変更しないでください。 本書 64 ページ「①手書き合成シートの印刷」
バックアップ中にエラーが発生しました。 バックアップを中止します。 エラーコード XXXXXXXX	■ バックアップ時に問題が発生したため、バックアップを中止しました。 表示されているエラーコードを控えて、カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。 本書 164 ページ「本製品に関するお問合せ先」
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。	■ インク残量が限界値[*1] を下回りました。 新しいインクカートリッジに交換してください。
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に近付いています。 お早めにお買い求めの販売店か修理センターへ、交換をご依頼ください。	■ 廃インク吸収パッド[*2] の吸収量が限界に近付いています。[*3] お客様ご自身による交換はできません。お早めにお買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達しました。 お買い求めの販売店か修理センターへ、交換をご依頼ください。	■ 廃インク吸収パッド[*2] の吸収量が限界に達しました。[*3] お客様ご自身による交換はできません。お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。

＊ 1：本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。
＊ 2：クリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品です。
＊ 3：お客様のご使用頻度等によって期間は異なりますが、廃インク吸収パッドの交換が必要になります。メッセージが表示されたら、エプソン修理センターに交換をご依頼ください。保証期間経過後は有償となります。
なお、パッドの吸収量が限界に達した場合、インクがあふれることを防ぐため、パッドを交換するまで印刷ができないようになっています。

トラブルが解決しないときは

本製品をパソコンと接続して使用している場合は、『PM-A920 活用＋サポートガイド』をご覧ください

ドライバと同時にインストールされた『PM-A920 活用＋サポートガイド』の「トラブル対処方法」には、パソコン接続時のトラブル対処方法がより詳しく記載されています。

☞ 本書 106 ページ「活用＋サポートガイドの表示方法」

参考

- Windows をお使いの場合は、以下の画面からも『PM-A920 活用＋サポートガイド』の「トラブル対処方法」を表示させることができます。

『PM-A920 活用＋サポートガイド』がインストールされていない場合は、上のメッセージが表示されます。
[はい] をクリックすると、インターネットを通してエプソンのホームページへ接続します。

インターネットに接続できる場合は、インターネット FAQ をご覧ください

『PM-A920 活用＋サポートガイド』をご覧いただいても問題が解決しない、ちょっとわからないことがある。こんなときに、お客様の環境がインターネットに接続できる場合は、インターネット FAQ をお勧めします。
エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
< http://www.epson.jp/faq/ >
上記『PM-A920 活用＋サポートガイド』の「インターネット FAQ のご案内」からも接続できます。

本体が故障していないかをご確認の上、お問い合わせください

動作確認の方法、お問い合わせ先は、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 162 ページ「サービス・サポートのご案内」

本章のもくじ

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。
☞ 本書 164 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
☞ 本書 165 ページ「マニュアルデータのダウンロードサービス」

「故障かな？」と思ったら（お問い合わせの前に）

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書の「困ったときは」、および『PM-A920 活用＋サポートガイド』の「トラブル対処方法」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないかを必ず確認してください。それでもトラブルが解決しない場合は、本体が故障していないかご確認の上、お問い合わせください。

本体の動作確認方法

本体のパネル操作でノズルチェックパターンを印刷して、動作確認を行います。パソコンと接続していない状態でノズルチェックパターンを印刷することにより、プリンタが故障しているか確認できます。

① 本製品の電源をオンにします。
② 背面オートシートフィーダに用紙をセットします。
③【セットアップ】ボタンを押してノズルチェックを実行します。
☞ 本書 122 ページ「ノズルチェック」

ノズルチェックパターンが印刷できない

故障している可能性があります。
お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
☞本書 164 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

修理へ出す際は、以下のページをご確認ください。
☞本書 163 ページ「修理 / アフターサービスについて」
☞本書 130 ページ「輸送時（引っ越しや修理のとき）のご注意」

ノズルチェックパターンが印刷できる

カラリオインフォメーションセンターへご相談ください。
☞本書 164 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

お問い合わせの際は、ご使用の環境（パソコンの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称をご確認の上ご連絡ください。

修理 / アフターサービスについて

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記載漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 5 年間です。
※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスに関しての受付窓口

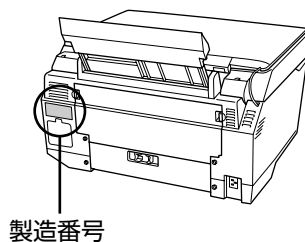
保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
●お買い求めいただいた販売店
●エプソン修理センター（本書 164 ページの一覧表をご覧ください）
受付日時：月曜日〜金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く） 9：00 〜 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
詳細につきましては、お買い求めの販売店またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類	概要	修理代金	
		保証期間内	保証期間外
持込 / 送付修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
ドア to ドア サービス	• 指定運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドア to ドアサービス料金のみ）	有償 （ドア to ドアサービス料金＋修理代）

製造番号の表示位置

保守サービスなどのお問い合わせの際に製造番号が必要になる場合があります。下図のラベル内容をご確認ください。

本製品に関するお問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリの
おすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

【電話番号】　050-3155-8022
【受付時間】　月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。
上記番号をご利用できない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、042-589-5251におかけください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

【電話番号】　0570-090-090
【受付時間】　月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日は除く）

＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ（株）の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電各社へご依頼ください。また、携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊松本修理センターは365日受付可（平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします）
＊ドアtoドアサービスついて詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/

○スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内
東京　TEL（03）5321-9738　　大阪　TEL（06）6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊スケジュールなどはホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/school/

○ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　　〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

○消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンOAサプライでお買い求めください。
（ホームページアドレスhttp://epson-supply.jpまたはフリーコール0120-251-528）

○FAXインフォメーション　エプソン製品の情報をFAXにてお知らせします。
札幌（011）221－7911　東京（042）585－8500　名古屋（052）202－9532　大阪（06）6397－4359　福岡（092）452－3305

○エプソンディスクサービス
各種ドライバを郵送でお届けします。お申し込み方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

コンシューマ（SPC）　2006. 5

付属のソフトウェアに関するお問い合わせ先

読ん de!! ココパーソナル

エー・アイ・ソフト株式会社

- エー・アイ・ソフト株式会社が提供するサポートサービスの内容について
  ユーザーズマニュアルの「サポートサービス総合案内」もしくはホームページ <http://www.aisoft.co.jp/support>
  「製品サポートサービスに関する総合案内」をご確認ください。
  ユーザーズマニュアルは以下の手順に従って確認できます。
  Windows 版：［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［読ん de!! ココ］－［ドキュメント］－［ユーザーズマニュアル］の順にクリックします。
  Mac OS X 版：［アプリケーション］－［読ん de!! ココ パーソナル］－［ユーザーズマニュアル］－［ユーザーズマニュアル .html］の順にクリックします。

  お問い合わせ窓口もこちらで確認できます。
- 以下の手順に従って製品ユーザー登録をお願いします。
  Windows 版：［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［読ん de!! ココ］－［Web ユーザー登録］の順にクリックします。
  Mac OS X 版：［アプリケーション］－［読ん de!! ココ パーソナル］－［Web ユーザー登録］－［ユーザー登録 .html］の順にクリックします。

上記以外のソフトウェアに関するお問い合わせは、カラリオインフォメーションセンターへお問い合わせください。

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品マニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。
＜ http://www.epson.jp/guide/pcopy/ ＞

付録

製品仕様

技術的な仕様について記載しています。

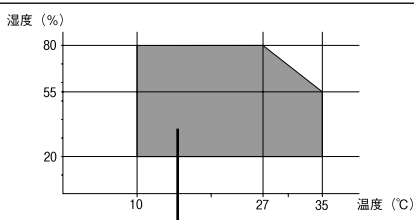
プリンタ部基本仕様

ノズル配列	黒インク：90 ノズル カラー：90 ノズル× 5 色（シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ）
印字方向	双方向最短距離印刷（ロジカルシーキングつき）
解像度	最大 5760 *× 1440dpi ＊：最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷します。
紙送り方式	ASF 方式フリクションフィード
入力データバッファ	64Kbyte

スキャナ部基本仕様

走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
画像読み取りセンサ	6 ライン CCD（千鳥配列）オンチップマイクロレンズ付
原稿サイズ	A4、US レターまで
最大有効領域	216 × 297mm
最大有効画素	主走査 27200 画素×副走査 37440 画素（3200dpi）
解像度	主走査：3200dpi　副走査：6400dpi
読み取り解像度	50 ～ 6400dpi（1dpi 刻みで設定可能）、9600dpi、12800dpi
階調	16bit（入力）/1、8、16bit（出力）
読み取り時間	• 600dpi、A4 データ転送時間含まず モノクロ 2 値：約 4.9msec/line フルカラー：約 4.9msec/line • 3200dpi、A4 データ転送時間含まず モノクロ 2 値：約 23msec/line フルカラー：約 23msec/line

インク仕様

形態	専用インクカートリッジ
型番	黒インクカートリッジ：ICBK50 カラーインクカートリッジ： ICC50（シアン）:ICM50（マゼンタ）:ICY50（イエロー） ICLC50（ライトシアン）：ICLM50（ライトマゼンタ）
推奨使用期間	個装箱に記載されている期限 開封から 6 ヵ月以内
保存温度	保存時：－ 30℃～ 40℃（40℃の場合 1 ヵ月以内） 本体装着時：－ 20℃～ 40℃（40℃の場合 1 ヵ月以内）
カートリッジ外形寸法	幅 12.7mm ×奥行き 68.0mm ×高さ 47.0mm

参考

- インクは－16℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25℃）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。
- 初めて取り付けるインクカートリッジでは、本製品を印刷可能な状態にするためにもインクが使用されるため、2 回目以降に取り付けるインクカートリッジに比べて印刷できる枚数は少なくなります。

電気関係仕様

定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90 ～ 110V
定格周波数	50 ～ 60Hz
入力周波数範囲	49.5 ～ 60.5Hz
定格電流	0.6A
消費電力	コピー時　：約 26W（ISO/IEC 10561 レターパターン原稿コピー） 低電力モード時　：約 15W スリープモード時：約 4.5W

総合仕様

プリントヘッド寿命	60 億ショット（1 ノズルあたり）
温度	動作時：10℃～ 35℃ 保存時：－ 20℃～ 40℃（0℃の場合 1 ヵ月）
湿度	動作時：20 ～ 80%（非結露） 保存時：5 ～ 85%（非結露）
	湿度（%） 80 55 20 / 温度（℃） 10 27 35 この範囲で使用してください。
製品質量	約 12kg
製品外形寸法	幅 446mm ×奥行き 432mm ×高さ 241mm（収納時） 幅 446mm ×奥行き 615mm ×高さ 330mm（使用時）

環境基本仕様

消費電力	コピー時　：約 26W（ISO/IEC10561 レターパターン原稿コピー） 低電力モード時　：約 15W スリープモード時：約 4.5W 電源オフ時　：約 0.3W ※ 消費電力を 0W にするためには、電源ボタンで電源をオフにしてから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。
回収リサイクル体制	インクカートリッジのリサイクル 弊社は、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては本書 163、164 ページをご覧ください。
補修用性能部品の保有期間	製品の製造終了後 5 年
消耗品の保有期間	製品の製造終了後 5 年

USB インターフェイス仕様

規格	Universal Serial Bus Specifications Revision 2.0 Universal Serial Bus Device Class Definition for Printing Devices Version1.1（プリンタ部） Universal Serial Bus Mass Storage Class Bulk-Only Transport Revision 1.0（ストレージ部）		
転送速度	480Mbps（High Speed Device）		
適合コネクタ	USB Series B		
入力コネクタにおける信号の配列および信号の説明			
ピン番号	信号名	入力 / 出力	機能
1	VCC	−	ケーブル電源、最大電流 2mA
2	− DATA	双方向	データ
3	＋ DATA	双方向	データ、1.5k Ωの抵抗を経由して＋ 3.3V にプルアップ
4	Ground −	−	ケーブルグラウンド

USB ケーブルについて

本製品に付属のケーブルをお使いください。

接続条件

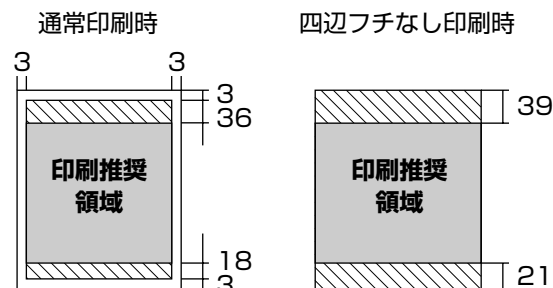
- Windows 98/Me/2000/XP プレインストールパソコン、または Windows 98/Me/2000 プレインストールモデルからアップグレードしたパソコン
- USB インターフェイスを標準搭載した Mac OS

USB2.0 対応について

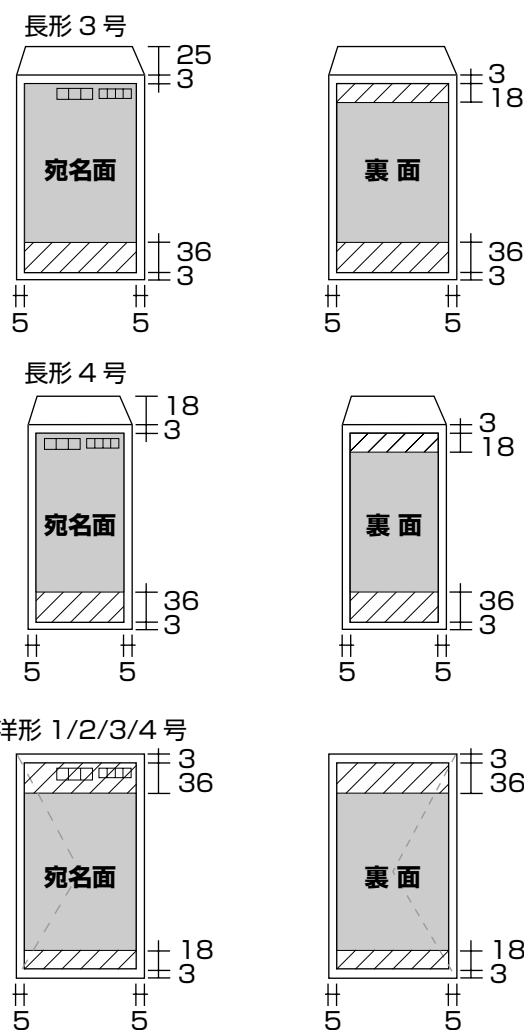
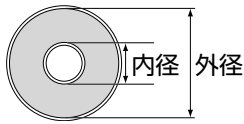
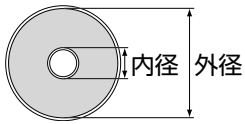
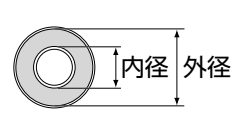
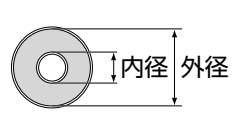
- USB2.0 としてご使用いただくためには、USB2.0 に対応したケーブルをお使いください。また、パソコン側も USB2.0 に対応している必要があります。USB2.0 非対応のパソコンをお使いの場合は、USB1.1 として動作します (USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります)。
- USB2.0 用インターフェイスボードまたは PC カードによって増設した場合には、マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバが必要になります。マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバの入手方法はマイクロソフト株式会社のホームページでご確認ください。
- USB2.0 対応 OS は Windows 2000/XP、Mac OS X v10.2.8 以降です。Windows 98/Me では、USB1.1 として動作します。
- USB2.0 を使用しても原稿と解像度によっては、スキャンに時間がかかる場合があります。また、USB1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られない場合があります。
- USB ハブをお使いになる場合は、USB2.0 に対応しているものをお使いください。
- USB2.0 非対応のハブをお使いの場合は、USB1.1 として動作します（USB2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります）。

印刷領域

下図の斜線およびグレーの領域に印刷されます。ただし、本製品の機構上、斜線の部分は印刷品質が低下する場合があります。

定形紙

（単位：mm）

※ 用紙幅が 216mm を超える場合は、右側の余白が 3mm 以上になります。

封筒

（単位：mm）

※ 印刷データによっては、印刷品質が低下する場合があります。

つづく

付録

CD/DVD

下図のグレーの領域に印刷されます。印刷機能、CD/DVD のサイズにより、印刷できる領域が異なります。

	12cm CD/DVD		12cm CD/DVD ワイドエリアタイプ*1		8cm CD/DVD		8cm CD/DVD ワイドエリアタイプ*1	
	内径	外径	内径	外径	内径	外径	内径	外径
PM-A920 単体 CD コピー時*3	46mm	114mm	印刷設定画面で設定します。*4		選択できません。			
PM-A920 単体 メモリカード 印刷時*3	43mm	116mm						
パソコン 使用時*2 *3	43mm	116mm	26mm	116mm	43mm	76mm	26mm	76mm

＊ 1：印刷可能範囲が広いタイプ（内側ギリギリまで印刷可能）の CD/DVD。
＊ 2：付属のアプリケーションソフト『EPSON Multi-PrintQuicker』を使用する場合の、標準設定の数値です。
＊ 3：内径は最小 18mm まで、外径は最大 120mm まで設定可能ですが、設定値によっては CD/DVD やトレイが汚れるおそれがあります。ご使用になる CD/DVD レーベルの印刷範囲内で設定してください。
＊ 4：CD 外径内径調整で設定してください。
本書 45、78 ページ「CD 外径内径調整」

CD/DVD 印刷時のご注意

印刷前

- CD/DVD への印刷は、データ記録後に行うことをお勧めします。印刷してからデータ記録を行うと、ゴミや汚れやキズなどによって、記録時に書き込みエラーになるおそれがあります。
- CD/DVD の種類や印刷データによっては、にじみが発生する場合があります。不要な CD/DVD を使用して試し印刷を行い、印刷品質を確認することをお勧めします。色合いについては 24 時間以上経過した後の状態を確認してください。
- CD/DVD に印刷するときの初期設定では、印刷品質を確保するために、エプソン製専用紙より低い濃度で印刷されます。印刷濃度の設定については以下をご覧ください。
  <CD コピーの場合 >
  本書 45 ページ「印刷設定」
  < メモリカードから印刷する場合 >
  本書 78 ージ「CD/DVD 印刷時の印刷設定」

印刷後

- 印刷後は、CD/DVD トレイを必ず引き抜いておいてください。挿入したままの状態でプリントヘッドのクリーニングなどを行うと、プリントヘッドがトレイの先端と接触するおそれがあります。
- 印刷後は、24 時間以上乾燥させてください。また、乾燥するまでは CD-ROM ドライブなどの機器にセットしないでください。
- 直射日光を避けて乾燥させてください。
- 印刷面がべたついて乾燥しない場合は、印刷濃度が濃いことが考えられます。以下をご覧の上、印刷濃度を調整して印刷することをお勧めします。
  <CD コピーの場合 >
  本書 45 ページ「印刷設定」
  < メモリカードから印刷する場合 >
  本書 78 ージ「CD/DVD 印刷時の印刷設定」
- 印刷面に水滴などが付くと、にじみが発生するおそれがあります。
- 印刷位置がずれて CD/DVD トレイ上に印刷された場合や、CD/DVD の内側の透明部分に印刷された場合は、すぐにふき取ってください。
- 一度印刷したレーベル面に再度印刷しても、きれいに仕上がりません。

カードスロット仕様

カードスロット規格

<上段スロット>
- xD-Picture Card[TM] スロット
  xD-Picture Card[TM] Card Specification Version 1.20 準拠 Type M/H 対応
- Memory Stick スロット
  MemoryStick Standard version 1.42-00 準拠
- Memory Stick PRO スロット
  MemoryStick Standard Memory Stick PRO Format Specifications version 1.02-00 準拠
- SD/SDHC スロット
  SD Memory Card Specifications/PART1. Physical Layer Specification Version 2.0 準拠
- MultiMediaCard スロット
  MultiMediaCard System Specification Version 3.31 準拠

<下段スロット>
- CF Type II スロット
  CF+ and CompactFlash SpecificationRevision 3.0 準拠

対応メモリカード

下記は 2006 年 8 月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページでご案内しています。
<http://www.epson.jp>

- xD-Picture Card[TM]
- xD-Picture Card[TM] Type M
- xD-Picture Card[TM] Type H
- Memory Stick（メモリーセレクト機能付きを含む）
- Memory Stick PRO（著作権保護機能は非対応）
- Memory Stick Duo *1
- Memory Stick PRO Duo *1
- MagicGate Memory Stick（著作権保護機能は非対応）
- MagicGate Memory Stick Duo *1
- SD メモリーカード
- SDHC メモリーカード
- miniSD カード*1
- miniSDHC カード*1
- microSD カード*1
- microSDHC カード*1
- MultiMediaCard
- Compact Flash（True-IDE モード対応のメモリカードのみ）
- Microdrive

＊ 1：必ず専用アダプタを使用して、本製品にセットすること。

対応電圧

3.3V 専用または 3.3V/5V 兼用、供給電圧は 3.3V のみ対応
※ 3.3V/5V 兼用メディアへは 3.3V を供給
※メモリカードへの供給電流は最大 500mA
※ 5V タイプのメモリカードは非対応

印刷できる画像ファイル形式

本製品で印刷できる画像ファイルの形式は以下の通りです。

デジタルカメラ	DCF *1 Version2.0 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF *1 Version1.0 または 2.0 規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG *2 形式、TIFF *2 形式の画像ファイル
有効画像サイズ	横 80 ～ 9200 ピクセル、縦 80 ～ 9200 ピクセル
最大ファイル数	999 個

＊ 1：DCF は、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称です。
＊ 2：Exif Version2.21 準拠。

動画印刷できる画像ファイル形式

本製品で再生、印刷できる画像ファイルの形式は以下の通りです。

拡張子	動画形式（動画コーデック）	記録品質*1
AVI	Motion-JPEG	640 × 480（VGA）：30 fps 320 × 240（QVGA）：60 fps
MOV	Motion-JPEG	848 × 480（WVGA）：30 fps
MPG	MPEG-1	640 × 480（VGA）：30 fps

＊ 1：本製品が対応している最大フレームサイズおよび、最大フレームレートです。なお、条件を満たしていても再生できない動画ファイルがあります。

※ ファイル 1 つの最大サイズ：2GB まで
※ 最大ファイル数：100 個
※ 拡張子が「AVI」、「MOV」、「MPG」であっても、動画形式（動画コーディック）が対応していない場合は、「？」が表示されて再生できません。また、録画時間が長い動画も「?」が表示されて表示できない場合があります。

付録

ダイレクト印刷仕様

デジタルカメラから USB 接続でダイレクトプリントを行う際は、以下の点にご注意ください。

対応規格

- USB DIRECT-PRINT
- PictBridge

注意

- お使いのデジタルカメラによって設定項目や設定値、設定方法、操作方法などが異なります。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 印刷の設定は、基本的にデジタルカメラ側での設定が優先されます。ただし、「標準設定」*1 などを選択した場合やデジタルカメラ側で設定できない機能については、本製品側の設定が反映されます。なお、設定内容が本製品の仕様上実現不可能な組み合わせの場合は、実現可能な組み合わせに自動調整して印刷されます。
  ※ この調整結果が本製品側の設定値と一致するとは限りません。
- CD/DVD に印刷する場合は、本製品側で印刷の設定をしてから、デジタルカメラ側で写真を選択して印刷を実行してください。
  ただし、お使いのデジタルカメラによっては、DPOF *2 設定での CD/DVD 印刷ができない場合があります。
- セピアまたはモノクロで印刷したい場合は、本製品側でセピア印刷またはモノクロ印刷の設定をしてください。
- TIFF 画像の印刷はできません。TIFF 画像を印刷したい場合は、メモリカードから直接印刷してください。

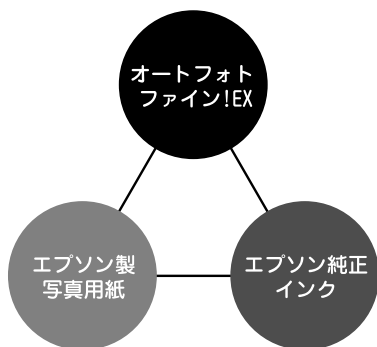
＊１：本製品側の設定を反映させる設定値（設定値の名称はデジタルカメラによって異なります。例：「標準設定」「プリンタ指定」など）

＊２：DPOF < Ver1.10 >に対応したデジタルカメラであらかじめ印刷設定した「プリント指定ファイル」により印刷する機能（ファイル指定の名称はデジタルカメラによって異なります。例：「DPOF」「プリント予約」など）

Epson Color について

Epson Color とは

Epson Color とは、エプソンお薦めの写真品質のことです。
人物の顔を自動判別し、肌色を中心に写真の色合いをきれいに自動補正する「オートフォトファイン !EX＊」と耐オゾン性、耐光性に優れる「エプソン純正インク」、そして美しい仕上がりを誇る「エプソン製写真用紙」が組み合わさることで実現されます。
＊：オートフォトファイン !EX は人物写真だけでなく、風景写真もより鮮やかな色合いに自動補正します。

エプソンお薦めの写真品質

参考

- 補正や加工は印刷時に処理されるだけで、データそのものは補正 / 加工されません。
- オートフォトファイン !EX は、被写体の配置などを解析して画像処理を行います。このため、被写体の配置が変わる操作（回転、拡大 / 縮小、トリミングなど）を行うと、印刷される色合いが変わることがあります。また、四辺フチなし印刷時とフチあり印刷時とでは被写体の配置が若干変わるため、色合いが変わることがあります。
- 印刷する画像に Exif Print の撮影情報が付加されていれば、この情報に基づいた画像補正を行います。

Epson Color で印刷するためには

Epson Color で印刷するためには、Epson Color 対応用紙に印刷してください。

Epson Color 対応用紙

- 写真用紙クリスピア＜高光沢＞
- 写真用紙＜光沢＞
- 写真用紙エントリー＜光沢＞
- 写真用紙＜絹目調＞
- 写真用紙＜絹目調＞はがき

印刷手順

プリンタに Epson Color 対応用紙をセットし、［用紙種類］で対応の用紙を選択すれば、Epson Color で印刷されます。
※ 自動画質補正機能は［オートフォトファイン !EX］に設定してください。

■プリンタ単体で印刷する場合（パソコンを使用しないで印刷）

Epson Color 対応用紙を選択して印刷します。
このとき設定画面に「Epson Color」ロゴが表示されます。

■付属の写真印刷ソフトウェア「EPSON Easy Photo Print」から印刷する場合

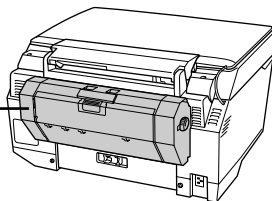
Epson Color 対応用紙を選択して印刷します。
このとき［レイアウト調整］画面に「Epson Color」ロゴが表示されます。

■市販のアプリケーションソフトから印刷する場合

プリンタドライバの［基本設定］画面で Epson Color 対応用紙を選択して印刷します。
このとき［基本設定］画面に「Epson Color」ロゴが表示されます。

- Mac OS X では、市販のアプリケーションソフトから Epson Color をご利用いただけません。

自動両面印刷

オプションの自動両面ユニットを装着すると、自動で両面コピーや両面印刷ができます。

使用できる機能と用紙

機能	用紙名称	サイズ
自動両面コピー*1	両面上質普通紙＜再生紙＞	A4
	コピー用紙 事務用普通紙	B5、A4
自動両面印刷*2	両面上質普通紙＜再生紙＞	A4
	コピー用紙 事務用普通紙	B5、A4
	郵便ハガキ（再生紙）*3 郵便ハガキ（インクジェット紙）*3 郵便光沢ハガキ（写真用）*3 写真用紙＜絹目調＞はがき スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ

＊１：プリンタ単体での使用時のみ
＊２：パソコンからの使用時のみ
＊３：日本郵政公社製

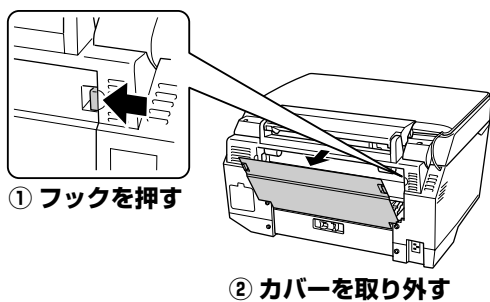
参考

- ハガキの自動両面印刷を行うときは、ハガキ自動両面印刷に対応したアプリケーションソフトが必要です。対応アプリケーションソフトについては、エプソンのホームページでご案内しています。
  ＜ http://www.epson.jp ＞
- 自動両面コピー、または自動両面印刷中にインク残量が限界値以下になると、インクカートリッジ交換のメッセージが表示されコピーや印刷の動作が停止します。インクカートリッジを交換すると印刷中の用紙は排出され、印刷が再開されますが、一部印刷されないことがあります。印刷されないページは再度コピーまたは印刷し直してください。

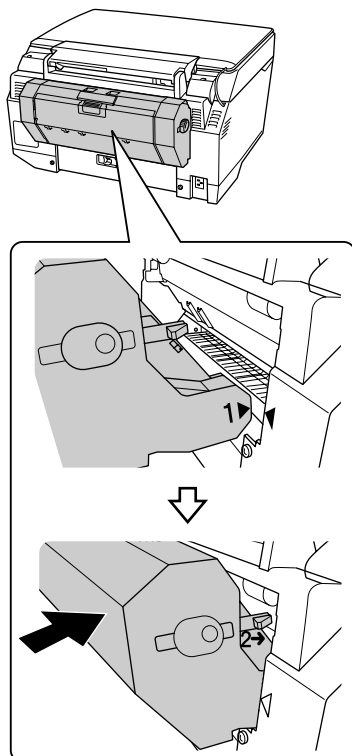
自動両面ユニットの取り付け

1 【電源】ボタンを押して、電源をオフにします。

2 背面カバー（上）を取り外します。

カバー両端のフックを押して、取り外してください。

参考

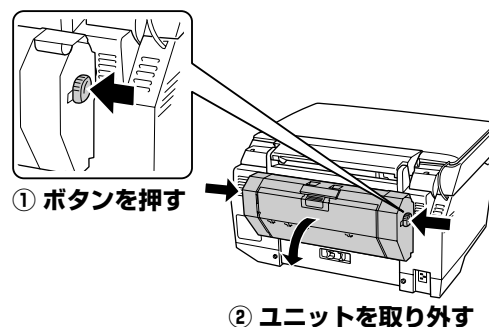
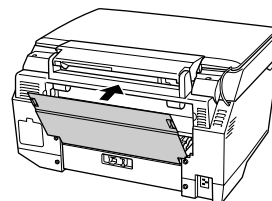
- 取り外した背面カバー（上）は、自動両面ユニットを取り外したときに必要となりますので、大切に保管しておいてください。

3 自動両面ユニットを取り付けます。

以上で、「自動両面ユニットの取り付け」の説明は終了です。

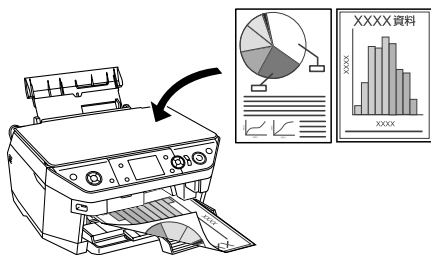
自動両面ユニットの取り外し

1 【電源】ボタンを押して、電源をオフにします。

2 自動両面ユニットを取り外します。

自動両面ユニットの両端のボタンを押しながら、手前に引いて取り外してください。

3 背面カバー（上）を取り付けます。

以上で、「自動両面ユニットの取り外し」の説明は終了です。

両面コピー

2 枚の原稿を、A4 または B5 サイズの 1 枚の用紙の両面にコピーします。

両面コピーの手順

1 電源をオンにします。

2 印刷用紙をセットして、排紙トレイを開けます。

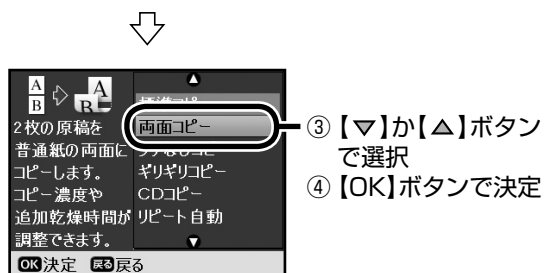
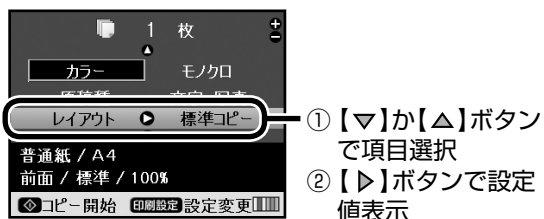
本書 16 ページ「用紙のセット方法」

3 【コピー】ボタンを押してコピーモードにします。

4 レイアウトを［両面コピー］に設定します。

必要に応じて、コピー枚数やカラー / モノクロコピーの設定も行います。

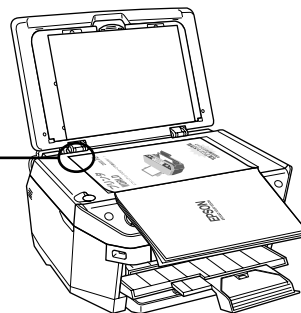
①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【▷】ボタンで設定値表示

③【▽】か【△】ボタンで選択
④【OK】ボタンで決定

5 必要に応じて【印刷設定】ボタンを押し、設定をします。

6 1 枚目の原稿をセットして、原稿カバーを閉じます。

手順 6 と手順 8 のイラストでは、本などの厚みのある原稿を例に説明していますが、1 枚だけの原稿でもセット方法は同様です。

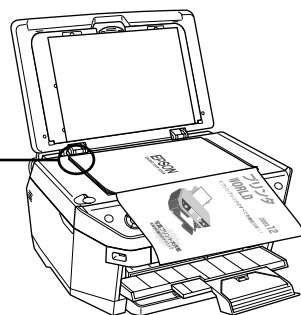
本書 28 ページ「原稿のセット方法」

1 枚目の原稿は、原稿の上端を原稿台の ⇲ マークに合わせる

7 【スタート】ボタンを押して、コピーを実行します。

1 枚目の原稿のコピーが始まります。
片面の印刷が終了すると、一旦前面に排紙されますが、手を触れずに手順 8 に進んでください。

8 2 枚目の原稿をセットする旨のメッセージが表示されたら、2 枚目の原稿をセットしてカバーを閉じ、【スタート】ボタンを押します。

2 枚目の原稿のコピーが始まり、コピー結果が排出されます。【ストップ / 設定クリア】ボタンを押すと、1 枚目のコピー結果だけが排出されます。

2 枚目の原稿は、原稿の下端を原稿台の ⇲ マークに合わせる

両面コピー時のコピー / 印刷設定

設定項目	設定値の詳細
レイアウト	両面コピー
倍率	等倍、オートフィット、A4 →ハガキ（46%）、2L 判→ハガキ（76%）、L 判→ハガキ（110%）、L 判→ 2L 判（139%）、2L 判→ A4（165%）、ハガキ→ A4（201%）、L 判→ A4（235%） ☞ 本書 44 ページ
用紙種類	普通紙 ☞ 本書 44 ページ
用紙サイズ	A4、B5
給紙方法	前面：前面用紙カセットから給紙 背面：背面オートシートフィーダから給紙
品質	エコノミー、標準、きれい ☞ 本書 44 ページ
コピー濃度*1	-4、-3、-2、-1、0、+1、+2、+3、+4 ☞ 本書 45 ページ
追加乾燥時間	標準、長い、より長い

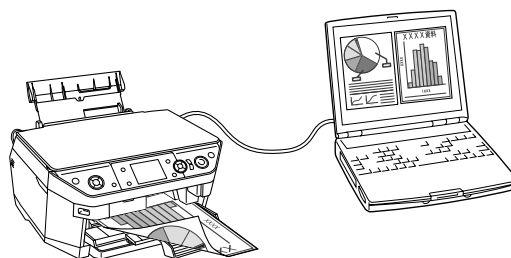
＊ 1：両面コピーと片面コピーではコピー結果の色合いや濃度に違いが見られることがあります。

参考

- 表面と裏面の設定を変えることはできません。
- 印刷結果にこすれが発生するときは、［コピー濃度］や［追加乾燥時間］を調整してください。

以上で、「両面コピー」の説明は終了です。

両面印刷

パソコンと接続して使用すると、自動両面印刷ができます。

両面印刷をするときは、以下をご覧ください。

☞『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）－「両面に印刷しよう」

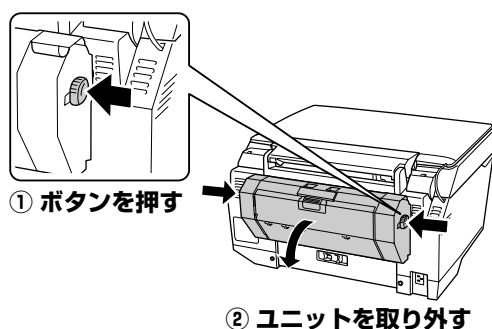
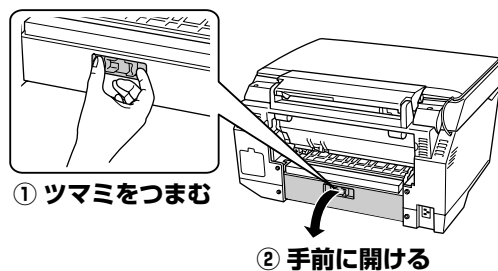
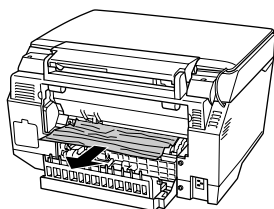
以上で、「両面印刷」の説明は終了です。

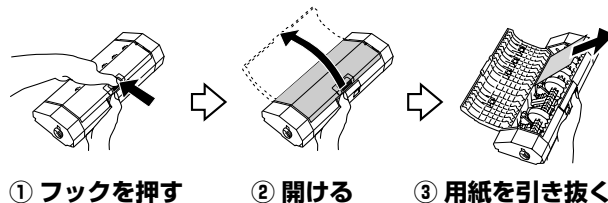
付録

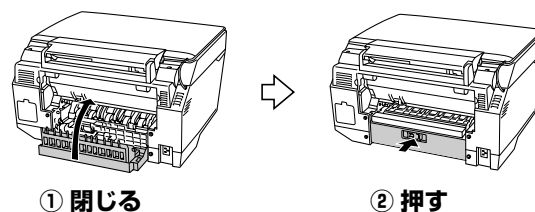
自動両面ユニットに詰まった用紙の取り除き方法

自動両面ユニット内に用紙が詰まると、液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージを確認し、以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1　電源はオンにしたままで、自動両面ユニットを取り外します。

自動両面ユニットの両端のボタンを押しながら、手前に引いて取り外してください。

2　背面カバー（下）のツマミをつまんで手前に開けます。

3　内部に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。

取り除けない場合は、次の項目に進んでください。

4　自動両面ユニットを開け、内部に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。

5　背面下部を閉じます。

ゆっくり閉じて、最後にしっかり押してください。

6　自動両面ユニットを取り付けます。

コピーまたは印刷中のデータが残っている場合、自動両面ユニット取り付け後に印刷が再開されますが、一部印刷されない箇所が発生することがあります。そのようなときは、不足しているページを再度コピー、または印刷し直してください。

- 自動両面ユニット内に用紙が詰まっていないときは、以下のページの手順に従って取り除いてください。
  本書 135 ページ「詰まった用紙や CD/DVD トレイの取り除き方法」

以上で、「自動両面ユニットに詰まった用紙の取り除き方法」の説明は終了です。

本文中で用いる P.I.F. は PRINT Image Framer の略称です。

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版の表記について本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 98、Windows Me、Windows 2000 と表記しています。Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版の表記について本書では、Windows XP と表記しています。
また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は、「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。
本製品が対応している Mac OS のバージョンは、Mac OS X v10.2.8 以降です。
本書中では、上記オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しているところがあります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条　通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条　など
以下の行為は、法律により禁止されています。
- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。
- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　ー注意ー

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

索引

数字

アルファベット

五十音

付録

設定項目一覧

各モードのメニュー / 設定			印刷設定
1 コピーモード ☞ 本書 30 ページ ※ 写真のコピーは、ファンプリントモードになります。	（コピー設定） • コピー枚数 • カラー / モノクロ • 原稿種 • レイアウト → ☞ 本書 43 ページ	（原稿種） • 文字 • 文字・写真 • 写真 （レイアウト / 割り付け） • 標準コピー ☞ 本書 32 ページ • 両面コピー*1 ☞ 本書 174 ページ • フチなしコピー ☞ 本書 32 ページ • ギリギリコピー ☞ 本書 32 ページ • リピート自動 ☞ 本書 37 ページ • ポスター 16 ☞ 本書 35 ページ • 2 アップコピー ☞ 本書 36 ページ （バラエティ用紙に印刷） • CD コピー ☞ 本書 42 ページ • ミラーコピー ☞ 本書 33 ページ • フォトシール全面 ☞ 本書 34 ページ • ミニフォトシール 16 ☞ 本書 34 ページ	（印刷設定） ☞ 本書 44 ページ • 倍率 • 用紙種類 • 用紙サイズ • 給紙方法 • 品質 • コピー濃度 • フチなし領域調整 • CD 外径内径調整

＊ 1：両面コピーは、オプションの自動両面ユニットを装着したときに表示されます。

2 メモリカードモード	（印刷方法）→ • すべて印刷 ☞ 本書 52 ページ • 選んで印刷 ☞ 本書 50 ページ • 日付選択印刷 ☞ 本書 53 ページ		（印刷設定 1） • 用紙種類 • 用紙サイズ • 給紙方法 • レイアウト • 品質 • 赤目補正 （印刷設定 2） • フチなし領域調整 • フィルタ • 自動画質補正 • 補正モード • 明るさ調整 • コントラスト （印刷設定 3） • シャープネス • 鮮やかさ調整 • 日付表示 • 撮影情報印刷 • トリミング • 双方向印刷 ☞ 本書 76 ページ
	（印刷方法）→ • CD/DVD 印刷 ☞ 本書 58 ページ	• CD/DVD レーベル印刷 ☞ 本書 58 ページ • CD/DVD ジャケット印刷 ☞ 本書 59 ページ	（印刷設定 1） • メディア種類 • 用紙種類 • 用紙サイズ • 給紙方法 • レイアウト • 赤目補正 （印刷設定 2） • フィルタ • 自動画質補正 • 補正モード • 明るさ調整 • シャープネス • 鮮やかさ調整 （印刷設定 3） • CD 外径内径調整 • CD 濃度調整 ☞ 本書 78 ページ
	（印刷方法）→ • オーダーシート ☞ 本書 61 ページ （その他） • スライドショー ☞ 本書 75 ページ • スキャンしてメモリカードに保存 ☞ 本書 100 ページ	• オーダーシートを印刷 • オーダーシートから写真プリント	（シート上で印刷設定） • 用紙種類 / 用紙サイズ • フチなし / フチあり • 日付を入れる • 印刷枚数

各モードのメニュー / 設定			印刷設定
3 フィルムモード （画面：カラーネガフィルム　カラー画像の濃淡が反転して記録されている最も一般的なフィルムです。※保護マットを取り外してください。　OK決定　◀▶選択） ☞ 本書 82 ページ	（フィルム選択）→ • カラーネガフィルム • カラーポジフィルム（ストリップ） • カラーポジフィルム（マウント） • モノクロネガフィルム	（スキャン設定） • 退色復元 ↓	
	（画面：すべて印刷　スキャンした写真をすべて印刷します。◇：L判フチなしすべて印刷　OK決定　◀▶選択）	（印刷方法）→ • すべて印刷 ☞ 本書 87 ページ • 選んで印刷 ☞ 本書 84 ページ	（印刷設定 1） • 用紙種類 • 用紙サイズ • 給紙方法 • レイアウト • 品質 • フチなし領域調整 （印刷設定 2） • 自動露出レベル • 赤目補正 • フィルタ • 自動画質補正 ☞ 本書 88 ページ
	（画面：スキャンしてメモリカードに保存　スキャンした写真をメモリカードに保存します。　OK決定　◀▶選択）	（その他）→ • スキャンしてメモリカードに保存 ☞ 本書 101 ページ	（スキャン設定） • 保存品位

つづく ●●● ➡

付録

各モードのメニュー / 設定			印刷設定
4 ファンプリントモード 手書き合成シート お気に入りの写真に 手書きの文字やイラストを 合成して印刷します。 OK決定 選択	（メニュー） • 手書き合成シート ☞ 本書 64 ページ	（印刷方法） • 合成シート印刷 • 合成シートを使ってプリントする	（印刷設定） • 用紙種類 • 用紙サイズ • レイアウト • 合成フレーム （シート上で印刷設定） • 文字種類 • 文字飾り • 印刷枚数
写真コピー 写真の焼き増しや引き伸ばしが 簡単にできます。 OK決定 選択	（メニュー） • 写真コピー ☞ 本書 38 ページ	（スキャン設定） • 退色復元	（印刷設定 1） • 用紙種類 • 用紙サイズ • 給紙方法 • レイアウト • 品質 • 自動画質補正 （印刷設定 2） • フチなし領域調整 • フィルタ • 赤目補正 ☞ 本書 45 ページ
ケータイで文字入力 お気に入りの写真に 携帯電話から送信した文字を 合成して印刷します。 OK決定 選択	（メニュー） • ケータイで文字入力 ☞ 本書 68 ページ	（レイアウト設定） • ハガキ（縦 / 横） • カード（縦 / 横） • L 判（縦 / 横） • KG サイズ（縦 / 横）	（印刷設定 1） • 用紙種類 • 給紙方法 • 品質 • テキスト 1 の文字色 • テキスト 2 の文字色 • 画像の回転 （印刷設定 2） • 赤目補正 • フチなし領域調整 • フィルタ • 自動画質補正 • 補正モード • 明るさ調整 （印刷設定 3） • コントラスト • シャープネス • 鮮やかさ調整 ☞ 本書 76 ページ
			（携帯電話での設定） • テキスト 1 • テキスト 2
		（レイアウト設定） • ハガキ宛名面	（携帯電話での設定） • 電話帳データ
動画印刷 動画から好きなシーンを切り出して 印刷します。 OK決定 選択	（メニュー） • 動画印刷	（印刷方法） • 1 コマ印刷 ☞ 本書 73 ページ • 連続印刷 ☞ 本書 74 ページ	（印刷設定 1） • 用紙種類 • 用紙サイズ • 給紙方法 • レイアウト • 動画補正処理 • 品質 （印刷設定 2） • フチなし領域調整 • フィルタ • 自動画質補正 • 明るさ調整 • コントラスト • シャープネス （印刷設定 3） • 鮮やかさ調整 • トリミング • 双方向印刷 ☞ 本書 76 ページ

プリントヘッド(ノズル)の目詰まり

プリントヘッドのノズルが目詰まりすると、以下のサンプルのような症状が現れることがあります。このような場合は、まずノズルチェックを行い、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングを実行してください。

☞ 本書 122 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

正常時

目詰まり時

全体の色彩 / 色味がおかしい

サンプル B

正常時

目詰まり時

部分的に色彩 / 色味がおかしい

サンプル C

正常時

目詰まり時

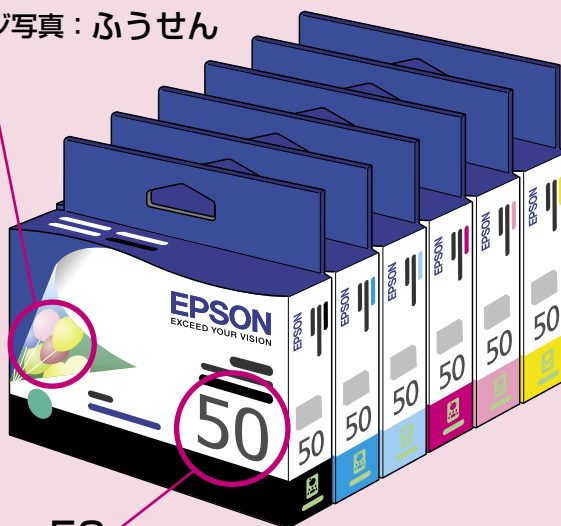
全体や部分的にスジが入る

インクカートリッジの型番

ブラック	：ICBK50
シアン	：ICC50
ライトシアン	：ICLC50
マゼンタ	：ICM50
ライトマゼンタ	：ICLM50
イエロー	：ICY50

お得な６色パックもあります。

６色パック	：IC6CL50

イメージ写真：ふうせん

50

※パッケージのイメージ写真と番号を、お買い求めいただく際の目印としてご活用ください。

PM-A920　操作ガイド

【インクカートリッジは純正品をお勧めします】

プリンタ性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンタ本体や印刷品質に悪影響がでるなど、プリンタ本体の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷､故障については､保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の場合、ドライバなどでインク残量は表示されません。

インクカートリッジの回収について

インクカートリッジの回収にご協力ください

環境保全の一環として、使用済みインクカートリッジの回収ポストをエプソン製品取り扱い店に設置しています。回収されたインクカートリッジは、原材料に再生し､リサイクルしています。最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp >

使用済みインクカートリッジの回収によるベルマーク運動

ベルマーク運動参加校は、学校単位での使用済みカートリッジの回収数量に応じて、一定のベルマークポイントが付与されます。これにより、資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図るとともに、教育支援活動に参画しています。
詳細はエプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp/toner/ >

本製品は、PRINT Image Matching III に対応しています。
PRINT Image Matching に関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。
PRINT Image Matching に関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

410671400

Printed in Japan XX.XX-XX XXX

この取扱説明書は再生紙を使用しています。本書はリサイクルに配慮して作成しています。不要になった場合は資源物としてお取り扱いください。

EPSON